

(様式1)

工 事 設 計 書

受 付 番 号		担 当 所 属	横浜市立大学附属 市民総合医療センター 施設担当	担当者 TEL	伊藤 博史 (253-5308) (内線2521)
工 事 名 公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館4階生殖医療センター改修工事					
工事場所 神奈川県横浜市南区浦舟町4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター本館4階					
工事期間 契約締結日から令和6年1月31日					
かし担保					
その他 特約事項					
現場説明 要 月 日 時 分 場所 不要					
概要 金額入り ・ 金額抜き					
..... 本館4階会議室に生殖医療機能を整備する工事です。.....					
備 考					

(様式2)

設	計	金	額	¥	—
内訳	工	事	価	格	¥
	消費税及び地方消費税相当額			¥	—

	名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
	直接工事費						
	A. 建築工事		1	式			
	B. 電気設備工事		1	式			
	C. 機械設備工事		1	式			
	計						
	共通費						
	共通仮設費	積上共通仮設	1	式			
	共通仮設費	率共通仮設	1	式			
	現場管理費		1	式			
	一般管理費等		1	式			
	計						
	合計(工事価格)		1	式			
	消費税等相当額		1.00	式			10%
	総合計(工事費)		1.00	式			

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	フェーズ1	平日夜間・土・日・祝日昼間作業					
	直接仮設		1	式			
	金属		1	式			
	建具		1	式			
	内外装		1	式			
	ユニット及びその他		1	式			
	撤去		1	式			
	発生材運搬・積込費		1	式			
	発生材処分費		1	式			
	フェーズ1 計	平日夜間・土・日・祝日昼間作業					

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	直接仮設						
	墨出し	内部改修 個別改修	9.30	m ²			
	墨出し	内部改修 複合改修	11.10	m ²			
	養生	内部改修 個別改修	9.30	m ²			
	養生	内部改修 複合改修	11.10	m ²			
	養生	内部改修 搬出入路部分	249.00	m ²			
	整理清掃後片付け	内部改修 個別改修	9.30	m ²			
	整理清掃後片付け	内部改修 複合改修	11.10	m ²			
	整理清掃後片付け	内部改修 搬出入路部分	249.00	m ²			
	内部仕上足場 (簡易型移動式足場)	階高5.7m以上7.4m未満 設置期間2週間	20.40	m ²			
	壁 仮設間仕切	LGS+GB-R12.5×2片面張り GW充填	13.90	m ²			
	仮設扉	W1800*H2100想定	1.00	か所			
	直接仮設 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	金属						
	P1・PK1・PK2 軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	3.50	m ²			
	軽量壁下地開口部補強	65形 三方補強 W600×H1000	1.00	か所			
	軽量鉄骨天井下地	19形 @360 下地張りあり ふところ高1.5m未満	20.40	m ²			
	天井点検口 軽量鉄骨天井下地開口補強	19形 450×450 ホ`ト`切込共	31.00	か所			
	軽量鉄骨天井下地開口補強	19形 150×150 ホ`ト`切込共	9.00	か所			
	軽量鉄骨天井下地開口補強	19形 200×200 ホ`ト`切込共	4.00	か所			
	軽量鉄骨天井下地開口補強	19形 400×400 ホ`ト`切込共	1.00	か所			
	軽量鉄骨天井下地開口補強	19形 450×450 ホ`ト`切込共	5.00	か所			
	軽量鉄骨天井下地開口補強	19形 760×521 ホ`ト`切込共	3.00	か所			
	軽量鉄骨天井下地開口補強	19形 1250×150 ホ`ト`切込共	12.00	か所			
	軽量鉄骨天井下地開口補強	19形 1250×220 ホ`ト`切込共	16.00	か所			
	軽量鉄骨天井下地開口補強	19形 1860×521 ホ`ト`切込共	3.00	か所			
	軽量鉄骨天井下地開口補強	19形 1860×1060 ホ`ト`切込共	3.00	か所			
	軽量鉄骨天井下地開口補強	19形 1860×1360 ホ`ト`切込共	1.00	か所			
	軽量鉄骨天井下地開口補強	19形 1860×1460 ホ`ト`切込共	1.00	か所			
	壁付手摺下地 壁補強材	スチール 厚0.8 W=150	3.30	m			
	腰壁見切材下地 壁補強材	スチール 厚0.8 W=200	3.30	m			

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	建具						
	(スチールパーテーション)						
	SP-11 スチールパーテーション	W4110×H2700 額入片引戸 W900×H2115 2か所	1.00	か所			
		アクリル樹脂エマルジョン焼付塗装 パネル厚70 不燃戸					
		点検パネルは天井まで 引戸錠 シリンダーサムターン					
		ドアハンドル(引手) 引戸用ハンガーレール					
		自閉装置ストップ付 付属金物一式共					
	(ガラス)						
	SP-11 型板ガラス	厚4.0 W100×H1665	2.00	か所			
	ガラスシーリング	片面幅5×5程度 ハックアップ材共 シリコン系1成分形	14.20	m			
	ガラスクリーニング		0.30	m ²			
	建具 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	内外装						
	床 ビニル床タイル	置敷 厚5.0 既存フリーアクセスフロア面	5.50	m ²			
		田島ルーフィング [®] レイフラットタイル LF-3000同等					
	床 タイルカーペット	総厚6.5 500角 1種ルーフト [®] パイル フリーアクセスフロア面	1.70	m ²			
		田島ルーフィング [®] タビ [®] セレクト同等					
	床 タイルカーペット	総厚6.5 500角 1種ルーフト [®] パイル 既存フリーアクセスフロア面	3.00	m ²			
		田島ルーフィング [®] タビ [®] セレクト同等					
	床 タイルカーペット	総厚6.5 500角 1種ルーフト [®] パイル 既存RC面	1.00	m ²			
		田島ルーフィング [®] タビ [®] セレクト同等					
	床 フリーアクセスフロア	FA-1 パネル構法 H=150 ウィスカ対策仕様	1.70	m ²			
		耐荷重:3000N/m ² 耐震性:1.0G以上					
		表面仕上別計上 図RA-014					
	床 フリーアクセスフロア端部処理	FA-1 パネル構法 H=150 ウィスカ対策仕様	7.10	m			
		壁取合部クッション材共 図RA-014					
	ソフト巾木	高さ75	4.90	m			
	腰壁 壁面保護材	H=925 複層ビニル床シート FS 厚2.5 田島ルーフィング [®] パーマリュームEM同等	3.30	m			
	壁 不燃積層石膏ボード	厚9.5 不燃 鋼製下地 継目処理 下張GB-R 厚12.5	1.20	m ²			
	壁 硬質石膏ボード	厚9.5 不燃 鋼製下地 継目処理 下張GB-F 厚12.5	4.30	m ²			

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	天井内壁 硬質石膏ボード	厚9.5 不燃 鋼製下地 突付け 下張GB-F 厚12.5	0.20	m ²			
	壁 硬質石膏ボード	厚9.5 不燃 鋼製下地 継目処理 下張GB-R 厚12.5	2.40	m ²			
	壁 塗装下地壁紙	専用塗料塗布共 不燃認定 ボード面 (一般)素地B種	5.50	m ²			
		サンゲツ サンウォール等					
	壁 ビニールクロス	ボード面 素地ごしらえ共 サンゲツ 不燃認定同等	12.60	m ²			
	壁 耐火間仕切継目処理	ハバールエッジ	6.90	m ²			
	壁ボード出隅 コーナーボード	塩ビ	2.70	m			
	天井 ロックール吸音板	フラット内部用 厚9 不燃 下張GB-NC 厚 9.5共	20.40	m ²			
	天井廻縁	塩化ビニル製	37.30	m			
	T3 耐火間仕切	1時間耐火・耐衝撃 厚109 軽鉄壁下地 65形	4.70	m ²			
		両面強化石膏ボード 厚12.5 硬質石膏ボード 厚9.5					
		吉野石膏 ハイパーウォール同等					
	T3 耐火間仕切四周処理	耐火シール	18.30	m			
	内外装 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ユニット及びその他						
	コーナーガード	耐衝撃 既製品 76×76 H=2140	1.00	か所			
		笠木:耐衝撃性硬質樹脂(抗菌) 笠木受:アルミ押出型材					
		ナカ工業 NS-76同等					
	腰壁 壁見切材	H=25 樹脂製 既製品 ナカ工業 セフティモールFW-25同等	3.30	m			
	壁付手摺	既製品 コーナー・端部役物共 笠木:半硬質樹脂 40×32	3.30	m			
		目隠しチューブ入 笠木受:アルミ押出型材					
		ブラケット:亜鉛ダイキャスト成型品 梨地クロムメッキ処理					
		ナカ工業 ネットD-432M+ JS-55タイプ 同等					
	診察室番号表示	W200×H618 本体:アクリル板 t10 塩ビシート張り	1.00	か所			
		表示:シルク印刷 一部マグネット着脱式 枠:スチールFB-5×10 焼付塗装					
		SUS丸棒 φ6 図RA-063/番号-1					
	室名表示G(職員用)	H=30 塩ビシート切文字 2~6文字程度	1.00	か所			
		図RA-063/番号-3					
	ユニット及びその他 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去						
	LD-21A 両開扉撤去	W1600×H2100 枠共 集積共	1.00	か所			
	SD-1 両開扉撤去	W1600×H2100 枠共 集積共	1.00	か所			
	床仕上撤去	ビニル床シート (FA下地面) 集積共	7.60	m ²			
	床仕上撤去	タイルベット (FA下地残置) 集積共	31.30	m ²			
	床仕上撤去	タイルベット (FA下地面) 集積共	51.60	m ²			
	床仕上撤去	タイルベット (RC下地面) 集積共	5.10	m ²			
	床下地撤去	フリアクセスフロア H150 集積共	51.60	m ²			
	巾木仕上撤去	ビニル巾木 集積共	68.70	m			
	壁 合板・ボード撤去	二重張り 一般 集積共	102.00	m ²			
	天井内壁 合板・ボード撤去	二重張り 一般 集積共	42.30	m ²			
	壁クロス撤去	集積共	167.00	m ²			
	腰壁 壁面保護材撤去	H=925 集積共	3.30	m			
	壁下地撤去	LGS65形 集積共	18.40	m ²			
	壁下地撤去	LGS100形 集積共	43.10	m ²			
	天井 合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	7.60	m ²			
	天井 合板・ボード撤去	二重張り 一般 集積共	104.00	m ²			
	天井下地撤去	LGS19形 集積共	112.00	m ²			

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	発生材運搬・積込費						
	とりこわし発生材積込費	石膏ボード	5.10	m3			
	とりこわし発生材積込費	混合廃棄物	3.50	m3			
	とりこわし発生材積込費	廃プラスチック 0.05m3	1	式			
	とりこわし発生材積込費	金属屑	0.50	m3			
	小計						
	とりこわし発生材運搬費	石膏ボード	5.10	m3			
	とりこわし発生材運搬費	混合廃棄物	3.50	m3			
	とりこわし発生材運搬費	廃プラスチック	1	式			
	とりこわし発生材運搬費	金属屑	0.50	m3			
	小計						
	発生材運搬・積込費 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	発生材処分費						
	とりこわし発生材処分費	石膏ボード	5.10	m3			
	とりこわし発生材処分費	混合廃棄物	3.50	m3			
	とりこわし発生材処分費	廃プラスチック 0.05m3	1	式			
	とりこわし発生材処分費	金属屑	0.50	m3			
	発生材処分費 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	フェーズ2	平日昼間作業					
	直接仮設		1	式			
	防水		1	式			
	金属		1	式			
	建具		1	式			
	内外装		1	式			
	ユニット及びその他		1	式			
	撤去		1	式			
	発生材運搬・積込費		1	式			
	発生材処分費		1	式			
	フェーズ2 計	平日昼間作業					

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	直接仮設						
	墨出し	内部改修 個別改修	5.40	m ²			
	墨出し	内部改修 複合改修	95.10	m ²			
	養生	内部改修 個別改修	5.40	m ²			
	養生	内部改修 複合改修	95.10	m ²			
	整理清掃後片付け	内部改修 個別改修	5.40	m ²			
	整理清掃後片付け	内部改修 複合改修	95.10	m ²			
	内部仕上足場 (簡易型移動式足場)	階高5.7m以上7.4m未満 設置期間2ヶ月	100.00	m ²			
	壁 仮設間仕切	LGS+GB-R12.5×2片面張り GW充填	7.60	m ²			
	直接仮設 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	防水						
	クリーンルーム壁端部 シーリング	一般部 シリコン系(SR-1) 6×6 防カビ仕様	52.00	m			
	クリーンルーム壁・天井目地 シーリング	一般部 シリコン系(SR-1) 6×6 防カビ仕様	230.00	m			
	クリーンルーム壁コーナー材取合 シーリング	一般部 シリコン系(SR-1) 6×6 防カビ仕様	142.00	m			
	クリーンルーム廻縁取合 シーリング	一般部 シリコン系(SR-1) 6×6 防カビ仕様	122.00	m			
	防水 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	金属						
	P1・PK1・PK2 軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	83.20	m ²			
	胴縁 軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	2.70	m ²			
	軽量壁下地開口部補強	65形 三方補強 W800×H2100	1.00	か所			
	軽量壁下地開口部補強	65形 三方補強 W1000×H2100	1.00	か所			
	軽量壁下地開口部補強	65形 三方補強 W1200×H2100	1.00	か所			
	軽量壁下地開口部補強	65形 三方補強 W1100×H2100	2.00	か所			
	軽量壁下地開口部補強	65形 四方補強 W515×H590	2.00	か所			
	軽量壁下地開口部補強	65形 四方補強 W685×H590	2.00	か所			
	天井 軽量鉄骨天井下地	19形 @225 下地張りなし ふところ高1.5m未満	8.90	m ²			
	天井 軽量鉄骨天井下地	19形 @360 下地張りあり ふところ高1.5m未満	88.30	m ²			
	腰壁見切材下地 壁補強材	スチール 厚0.8 W=200	1.60	m			
	カーテンレール 天井補強材	Wバー	21.30	m			
	金属 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	建具						
	(鋼製軽量建具)						
		特記なき限り 点検パネルは天井まで					
		運搬・取付費 付属金物一式共					
	LHD-1A 片引ハンガー戸	W800×H2100 枠見込132 不燃戸 フラット枠	1.00	か所			
		アクリル樹脂エマル焼付塗装 引戸錠 シリンドーサムターン					
		ドアハンドル(引手) 引戸用ハンガーレール					
		自閉装置ストップなし LHD-2A(インターロック仕様)					
	LHD-1B 片引ハンガー戸	W1000×H2100 枠見込204 常開 特定防火設備 感知器連動	1.00	か所			
		フラット枠 アクリル樹脂エマル焼付塗装					
		ドアハンドル(引手) 引戸用ハンガーレール					
		自閉装置ストップなし					
	LHD-1C 片引ハンガー戸	W1000×H2100 枠見込204 常開 特定防火設備 感知器連動	1.00	か所			
		フラット枠 アクリル樹脂エマル焼付塗装					
		ドアハンドル(引手) 引戸用ハンガーレール					
		自閉装置ストップなし					
	LHD-1D 片引ハンガー戸	W1000×H2100 枠見込135 不燃戸 フラット枠	1.00	か所			
		アクリル樹脂エマル焼付塗装 引戸錠 シリンドーサムターン					

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
		引戸用ハンガーレール 自動ドア:手術用近接スイッチ					
		自動開閉装置別計上					
	LHD-2A 2連片引ハンガー戸	W800×H2100 枠見込204 不燃戸 フラット枠	1.00	か所			
		アクリル樹脂エマル焼付塗装 引戸錠 シリンドーサムターン					
		ドアハンドル(引手) 引戸用ハンガーレール					
		自閉装置ストップ なし LHD-1A(インターロック仕様)					
	LHD-2B 2連片引ハンガー戸	W800×H2100 枠見込170 不燃戸 フラット枠	1.00	か所			
		アクリル樹脂エマル焼付塗装 引戸錠 シリンドーサムターン					
		ドアハンドル(引手) 引戸用ハンガーレール					
		自閉装置ストップ なし					
	LHD-2C 2連片引ハンガー戸	W1200×H2100 枠見込132 不燃戸 フラット枠	1.00	か所			
		アクリル樹脂エマル焼付塗装 引戸錠 シリンドーサムターン					
		引戸用ハンガーレール 自動ドア:手術用近接スイッチ					
		自動開閉装置別計上 SP-13(インターロック仕様)					
	小計						
	(スチールパーテーション))						
	SP-14 スチールパーテーション	W2630×H2700 片引框戸 W1200×H2115	1.00	か所			
		アクリル樹脂エマル焼付塗装 パネル厚70 不燃戸					

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
		欄間:パネ 引戸錠 シリンダーサムターン					
		ドアハンドル(引手) 引戸用ハンカール					
		自閉装置ストップ付 LHD-2C(インターロック仕様)					
		付属金物一式共					
	小計						
	(自動開閉装置)						
	LHD-1D 自動開閉装置	W1000×H2100 片引戸用 赤外線方式	1.00	か所			
		パニックオープン機構付					
	LHD-2C 自動開閉装置	W1200×H2100 2連片引戸用 赤外線方式	1.00	か所			
		パニックオープン機構付					
	(ガラス)						
	SP-14 フロート板ガラス	厚5 2.18㎡以下	1.50	㎡			
	ガラスシーリング	片面幅5×5程度 バックアップ材共 シリコン系1成分形	10.30	m			
	ガラスクリーニング		1.50	㎡			
	不透明フィルム張り	ガラス面	7.30	㎡			
	建具 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	内外装						
	床 ビニル床タイル	置敷 厚5.0 フリーアクセスフロア面	19.70	m ²			
		田島ルーフィング [®] レイフラットタイル LF-3000同等					
	床 ビニル床タイル	置敷 厚5.0 既存フリーアクセスフロア面	21.30	m ²			
		田島ルーフィング [®] レイフラットタイル LF-3000同等					
	床 タイルカーペット	総厚6.5 500角 1種ループ [®] パイル 既存RC面	1.30	m ²			
		田島ルーフィング [®] 死 [®] セレクト同等					
	床 構造用合板	厚15+15 針葉樹 フリーアクセスフロア面	33.20	m ²			
	床 ビニル床シート	厚2.8mm 柄物 フリーアクセスフロア面 熱溶接工法 エポキシ接着	14.50	m ²			
		発泡複層ビニル床シート(HS) 抗菌・衝撃吸収					
		田島ルーフィング [®] ACフロア同等					
	床 ビニル床シート	厚2.0mm フリーアクセスフロア面 熱溶接工法 エポキシ接着	18.70	m ²			
		複層ビニル床シート(FS) 田島ルーフィング [®] パーメリュウムモンテ同等					
	床 ビニル床シート	厚2.0mm RC面 熱溶接工法 エポキシ接着	17.70	m ²			
		複層ビニル床シート(FS) 田島ルーフィング [®] パーメリュウムモンテ同等					
	床 フリーアクセスフロア	FA-1 パネル構法 H=150 ウィスカ対策仕様	53.00	m ²			
		耐荷重:3000N/m ² 耐震性:1.0G以上					
		表面仕上別計上 図RA-014					

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	床 フリーアクセスフロア端部処理	FA-1 パネル構法 H=150 ウィンド対策仕様	41.50	m			
		壁取合部クッション材共 図RA-014					
	ソフト巾木	高さ75	39.50	m			
	ビニル床シート巻上巾木	厚2.0mm H=100 多湿部 熱溶接工法	38.90	m			
		複層ビニル床シート(FS) 田島ルーフィング パーマリュウムEM同等					
	ビニル床シート巻上巾木	厚2.8mm 柄物 H=100 多湿部 熱溶接工法	13.10	m			
		発泡複層ビニル床シート(HS) 抗菌・衝撃吸収					
		田島ルーフィング ACフロア同等					
	巻上巾木見切縁	樹脂製	52.00	m			
	巻上巾木見切縁コーナー	樹脂製	27.00	か所			
	巻上巾木入隅	樹脂製 r15	52.00	m			
	腰壁 壁面保護材	H=925 複層ビニル床シート FS 厚2.5 田島ルーフィング パーマリュウムEM同等	1.60	m			
	壁 石膏ボード	厚12.5 不燃 鋼製下地 継目処理 下張GB-N 厚9.5共	16.50	m ²			
	壁 石膏ボード	厚12.5 不燃 鋼製下地 継目処理 下張GB-R 厚12.5共	21.10	m ²			
	壁 石膏ボード	厚12.5 不燃 鋼製下地 下地張	47.60	m ²			
	壁 不燃積層石膏ボード	厚9.5 不燃 鋼製下地 継目処理 下張GB-R 厚12.5	15.20	m ²			
	壁 不燃積層石膏ボード	厚9.5 不燃 鋼製下地 下地張 下張GB-R 厚12.5	6.40	m ²			
	片面撤去部壁 強化石膏ボード	厚21 不燃 鋼製下地 下地張 下張GB-F 厚21	15.40	m ²			

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	片面撤去部天井内壁 強化石膏ボード	厚21 不燃 鋼製下地 突付け 下張GB-F 厚21	0.60	m ²			
	壁 硬質石膏ボード	厚9.5 不燃 鋼製下地 継目処理 下張GB-R 厚12.5	26.80	m ²			
	壁 硬質石膏ボード	厚9.5 不燃 鋼製下地 下地張 下張GB-R 厚12.5	12.60	m ²			
	クリーンルーム壁 化粧ケイ酸カルシウム板	厚6.0 不燃 ボート [®] 下地 目透し 目地シーリング [®] 別計上	136.00	m ²			
		A&AM ステント [®] #500同等					
	クリーンルーム壁出隅 コーナー材	アルミ製 シルバー W=30	23.50	m			
	クリーンルーム壁入隅 コーナー材	アルミ製 シルバー R=30	39.70	m			
	壁 塗装下地壁紙	専用塗料塗布共 不燃認定 ボート [®] 面 (一般)素地B種	3.20	m ²			
		サンゲツ サウウォール [®] 同等					
	壁 ビニールクロス	ボート [®] 面 素地ごしらえ共 サンゲツ 不燃認定同等	112.00	m ²			
	壁 耐火間仕切継目処理	ハベルエッジ [®]	15.20	m ²			
	壁ボート [®] 出隅 コーナービード	塩ビ [®]	3.00	m			
	天井 ロックウール吸音板	フラット内部用 厚9 不燃 下張GB-NC 厚 9.5共	33.00	m ²			
	天井 ロックウール吸音板	フラット内部用 厚12 不燃 下張GB-NC 厚 9.5共	4.30	m ²			
	天井 石膏ボード	厚12.5 不燃 下地張	51.00	m ²			
	天井 不燃積層石膏ボード	厚9.5 不燃 トラハ [®] チン模様 突付け	8.90	m ²			
	クリーンルーム天井 化粧ケイ酸カルシウム板	厚6.0 不燃 ボート [®] 下地 目透し 目地シーリング [®] 別計上	51.00	m ²			
		A&AM ステント [®] #500同等					

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	クリーンルーム天井 天井廻縁	アルミ製 シルバー R-30	45.00	m			
	クリーンルーム出隅 コーナー材役物	アルミ製 シルバー 3方出隅 R-30	10.00	か所			
	クリーンルーム入隅 コーナー材役物	アルミ製 シルバー 3方入隅 R-30	22.00	か所			
	天井廻縁	塩化ビニル製	49.20	m			
	T1G 耐火遮音間仕切	1時間耐火+簡易遮音 厚115 軽鉄壁下地 65形	2.80	m ²			
		両面強化石膏ボード 厚12.5+12.5 グラスウール充填					
		吉野石膏 S12同等					
	T3G 耐火遮音間仕切	1時間耐火・耐衝撃+簡易遮音 厚109 軽鉄壁下地 65形	4.70	m ²			
		両面強化石膏ボード 厚12.5 硬質石膏ボード 厚9.5					
		グラスウール充填 吉野石膏 ハイパーウォールZ同等					
	TA 耐火間仕切	2時間耐火 厚149 軽鉄壁下地 65形	19.60	m ²			
		両面強化石膏ボード 厚15+15					
	T1G 耐火間仕切四周処理	耐火シール	16.40	m			
	TA 耐火間仕切四周処理	耐火シール	66.60	m			
	耐火壁片面撤去部 耐火間仕切四周処理	耐火シール	32.60	m			
	T1G 耐火間仕切開口部補強	65形 W800×H2100	1.00	か所			
	TA 耐火間仕切開口部補強	65形 W1000×H2100	2.00	か所			
	TA 耐火間仕切開口部補強	65形 W800×H2100	1.00	か所			

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ユニット及びその他						
	カーテンレール	アルミ製 天井直付 静音タイプ トナーメッキ(車式静音ランナー)同等	21.30	m			
	壁付モニター下地合板	厚12 500×500	1.00	か所			
	採卵室 滅菌水装置取付用合板	耐水 厚15 W550×H750	1.00	か所			
	4F処置室 防煙垂壁	固定式 H=500 免振タイプ 網入ガラス 厚6.8	0.80	m			
		フレーム:ステンレスHL					
	コーナーガード	耐衝撃 既製品 76×76 H=2140	14.00	か所			
		笠木:耐衝撃性硬質樹脂(抗菌) 笠木受:アルミ押出型材					
		ナ工業 NS-76同等					
	腰壁 壁見切材	H=25 樹脂製 既製品 ナ工業 セフティモールFW-25同等	1.60	m			
	採卵室 流し台	W800×D600+110×H850+300 製作:ISO9001認証工場	1.00	か所			
		天板:SUS304 t1.0 又はメラミンホーストフォーム					
		落込みシク:SUS304 t1.0 裏面ウレタンシートt4.0張り					
		本体外部:メラミン化粧合板張り 本体内部:ポリ合板					
		点検口:ポリ合板 厚4.0(ビス止) ライニング甲板:メラミンホーストフォーム					
		その他付属物共					
	採卵室 吊戸棚	W1600×D500×H650 幕板:メラミン化粧板 H=400	2.00	か所			
		製作:ISO9001認証工場 本体・棚板:ポリ化粧合板フラッシュ					

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
		建具:マリン化粧合板フラッシュ 蝶番:スライド蝶番					
		その他付属物共					
	前室 吊戸棚	W1550×D500×H650 幕板:マリン化粧板 H=400	1.00	か所			
		製作:ISO9001認証工場 本体・棚板:ポリ化粧合板フラッシュ					
		建具:マリン化粧合板フラッシュ 蝶番:スライド蝶番					
		その他付属物共					
	カクソクハク室 吊戸棚	W2600×D500×H650 幕板:マリン化粧板 H=400	1.00	か所			
		製作:ISO9001認証工場 本体・棚板:ポリ化粧合板フラッシュ					
		建具:マリン化粧合板フラッシュ 蝶番:スライド蝶番					
		その他付属物共					
	培養室-前室間 エアシャワー	外形寸法 W1100×D1000×H2100 日本エアテック EAS-8017AMR同等	1.00	か所			
	培養室 パスボックス	外形寸法 W685×D580×H590 スチール製焼付塗装	1.00	か所			
		日本エアテック EPB06-555R同等					
	培養室 パスボックス	外形寸法 W515×D420×H590 スチール製焼付塗装	1.00	か所			
		日本エアテック APB04-354R同等					
	採卵室 滅菌水装置	医療用手洗い水製造装置 東西化学産業 リオスター-TYPE101同等	1.00	か所			
	診察室番号表示	W200×H618 本体:アクリル板 t10 塩ビシート張り	5.00	か所			
		表示:シルク印刷 一部マグネット着脱式 枠:スチールFB-5×10 焼付塗装					

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	SUS丸棒 φ6					
室名表示A(一般)	W200×H600 本体:アクリル板 t5+5 塩ビシート張り 一部塗装仕上 表示:シルク印刷	3.00	か所			
室名表示G(職員用)	H=30 塩ビシート切文字 2~6文字程度	7.00	か所			
ベッドナンバー表記	W150×H250+20 本体:透明アクリル t3	5.00	か所			
	ブラケット:スチール曲げ加工 焼付塗装 表示:シート文字					
室名表示(天井吊り表示)	W200×H340+20 本体:透明アクリル t3	2.00	か所			
	ブラケット:SUS HL 表示:塩ビシート切文字 書体:新ゴ R					
ユニット及びその他 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去						
	SP-1 スチールパネーション一部撤去	W2410×H2700 撤去跡処理共 2枚引込戸 W950×H2115共 集積共	1.00	か所			
	床仕上撤去	ビニル床タイル (FA下地残置) 集積共	7.70	m ²			
	床仕上撤去	ビニル床タイル (FA下地面) 集積共	2.60	m ²			
	床仕上撤去	タイルカーペット (FA下地面) 集積共	2.00	m ²			
	床下地撤去	フリーアクセスフロア H150 集積共	4.60	m ²			
	巾木仕上撤去	ビニル巾木 集積共	15.20	m			
	壁 合板・ボード撤去	二重張り 一般 集積共	18.70	m ²			
	天井内壁 合板・ボード撤去	二重張り 一般 集積共	12.60	m ²			
	壁クロス撤去	集積共	40.90	m ²			
	壁下地撤去	LGS65形 集積共	0.60	m ²			
	天井 合板・ボード撤去	二重張り 一般 集積共	12.20	m ²			
	天井下地撤去	LGS19形 集積共	12.20	m ²			
	カーテンレール撤去	アルミ製 天井直付 集積共	0.80	m			
	スタッフ廊下 洗面化粧台撤去	W600×D520×H796 集積共	1.00	か所			
	撤去 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	発生材運搬・積込費						
	とりこわし発生材積込費	石膏ボード	0.90	m3			
	とりこわし発生材積込費	混合廃棄物	0.30	m3			
	とりこわし発生材積込費	廃プラスチック	0.10	m3			
	とりこわし発生材積込費	金属屑 0.03m3	1	式			
	小計						
	とりこわし発生材運搬費	石膏ボード	0.90	m3			
	とりこわし発生材運搬費	混合廃棄物	0.30	m3			
	とりこわし発生材運搬費	廃プラスチック	0.10	m3			
	とりこわし発生材運搬費	金属屑 0.03m3	1	式			
	小計						
	発生材運搬・積込費 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	発生材処分費						
	とりこわし発生材処分費	石膏ボード	0.90	m3			
	とりこわし発生材処分費	混合廃棄物	0.30	m3			
	とりこわし発生材処分費	廃プラスチック	0.10	m3			
	とりこわし発生材処分費	金属屑 0.03m3	1	式			
	発生材処分費 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	フェーズ3	平日夜間・土・日・祝日昼間作業					
	直接仮設		1	式			
	金属		1	式			
	建具		1	式			
	内外装		1	式			
	ユニット及びその他		1	式			
	撤去		1	式			
	発生材運搬・積込費		1	式			
	発生材処分費		1	式			
	フェーズ3 計	平日夜間・土・日・祝日昼間作業					

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	直接仮設						
	墨出し	内部改修 個別改修	5.20	m ²			
	墨出し	内部改修 複合改修	13.30	m ²			
	養生	内部改修 個別改修	5.20	m ²			
	養生	内部改修 複合改修	13.30	m ²			
	養生	内部改修 搬出入路部分	16.70	m ²			
	整理清掃後片付け	内部改修 個別改修	5.20	m ²			
	整理清掃後片付け	内部改修 複合改修	13.30	m ²			
	整理清掃後片付け	内部改修 搬出入路部分	16.70	m ²			
	内部仕上足場 (簡易型移動式足場)	階高5.7m以上7.4m未満 設置期間2週間	18.50	m ²			
	直接仮設 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	金属						
	軽量鉄骨天井下地	19形 @360 下地張りあり ふところ高1.5m未満	14.80	m ²			
	壁付手摺下地 壁補強材	スチール 厚0.8 W=150	2.60	m			
	腰壁見切材下地 壁補強材	スチール 厚0.8 W=200	0.80	m			
	カーテンレール 天井補強材	Wバー	3.40	m			
	金属 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	建具						
		特記なき限り アクリル樹脂エマルジョン焼付塗装					
		パネル厚70 不燃戸 付属金物一式共					
	(スチールパーテーション)						
	SP-9 スチールパーテーション	W3500×H2700 2連片引戸 W900×H2115 2か所	1.00	か所			
		点検パネルは天井まで 引戸錠 シリンドラサムターン					
		ドアハンドル(引手) 引戸用ハンガーレール					
		自閉装置ストップ付					
	SP-10 スチールパーテーション	W2410×H2700	1.00	か所			
	SP-12 スチールパーテーション	W2590×H2700 2連片引框戸 W1500×H2115	1.00	か所			
		欄間:オープン 引戸用ハンガーレール					
		自動ドア:赤外線式 自動開閉装置別計上					
	SP-13 スチールパーテーション	W1720×H2700 額入片引戸 W750×H2115 1か所	1.00	か所			
		欄間:パネル 引戸錠 シリンドラサムターン					
		引戸用ハンガーレール 自動ドア:赤外線式					
		自動開閉装置別計上					
	SP-3 スチールパーテーション改修	W1200×H2700 パネル取外し・復旧	1.00	か所			
		電気用ボックス開口(100×54×4) 穴明け加工					

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	SP-4 スチールパーテーション改修	W1200×H2700 パネル取外し・復旧	1.00	か所			
		電気用ボックス開口(100×54×4) 穴明け加工					
	小計						
	(自動開閉装置)						
	SP-12 自動開閉装置	W1500×H2115 2連片引戸用 手術用近接スイッチ(非接触)	1.00	か所			
		パネリックオープン機構付					
	SP-13 自動開閉装置	W750×H2115 片引戸用 手術用近接スイッチ(非接触)	1.00	か所			
		パネリックオープン機構付					
	小計						
	(ガラス)						
	SP-14 フロート板ガラス	厚5 2.18㎡以下	1.70	㎡			
	SP-13 型板ガラス	厚4.0 W100×H1665	1.00	か所			
	ガラスシーリング	片面幅5×5程度 パックアップ材共 シリコン系1成分形	24.40	m			
	ガラスクリーニング		1.80	㎡			
	不透明フィルム張り	ガラス面	1.70	㎡			
	小計						
	建具 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	内外装						
	床 ビニル床タイル	置敷 厚5.0 既存フリアクセスフロア面	9.80	m ²			
		田島ルーフィング [△] レイフラットタイル LF-3000同等					
	床 タイルカーペット	総厚6.5 500角 1種ルーフ [△] パイル 既存フリアクセスフロア面	1.90	m ²			
		田島ルーフィング [△] たび [△] スレクト同等					
	床 タイルカーペット	総厚6.5 500角 1種ルーフ [△] パイル 既存RC面	1.60	m ²			
		田島ルーフィング [△] たび [△] スレクト同等					
	ソフト巾木	高さ75	0.80	m			
	腰壁 壁面保護材	H=925 複層ビニル床シート FS 厚2.5 田島ルーフィング [△] パーマリュウムEM同等	0.80	m			
	壁 塗装下地壁紙	専用塗料塗布共 不燃認定 ポर्ट [△] 面 (一般)素地B種	1.40	m ²			
		サンゲツ サウウォール [△] ス同等					
	天井 ロックウール吸音板	フラット内部用 厚9 不燃 下張GB-NC 厚 9.5共	14.80	m ²			
	天井廻縁	塩化ビニル製	0.80	m			
	内外装 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ユニット及びその他						
	カーテンレール	アルミ製 天井直付 静音タイプ トナーメカ(車式静音ランナー)同等	3.40	m			
	腰壁 壁見切材	H=25 樹脂製 既製品 ナカ工業 セフティモールFW-25同等	0.80	m			
	壁付手摺	既製品 コーナ・端部役物共 笠木:半硬質樹脂 40×32	2.60	m			
		目隠しチェーブ入 笠木受:アルミ押出型材					
		ブラケット:亜鉛ダイキャスト成型品 梨地クロムメッキ処理					
		ナカ工業 ネットD-432M+ JS-55タイプ 同等					
	診察室番号表示	W200×H618 本体:アクリル板 t10 塩ビシート張り 表示:シルク印刷 一部マグネット着脱式 枠:スチールFB-5×10 焼付塗装	2.00	か所			
		SUS丸棒 φ6					
	室名表示(天井吊り表示)	W200×H340+20 本体:透明アクリル t3 ブラケット:SUS HL 表示:塩ビシート切文字 書体:新ゴ R	2.00	か所			
	ユニット及びその他 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去						
	SP-5 スチールパネーション一部撤去	W3500×H2700 撤去跡処理共 2枚引込戸 W1200×H2115共 集積共	1.00	か所			
	床仕上撤去	ビニル床タイル (FA下地残置) 集積共	9.90	m ²			
	床仕上撤去	タイルベット (FA下地残置) 集積共	1.90	m ²			
	床仕上撤去	タイルベット (RC下地面) 集積共	1.60	m ²			
	巾木仕上撤去	ビニル巾木 集積共	0.80	m			
	壁クロス撤去	集積共	1.40	m ²			
	腰壁 壁面保護材撤去	H=925 集積共	0.80	m			
	天井 合板・ボード撤去	二重張り 一般 集積共	15.00	m ²			
	天井下地撤去	LGS19形 集積共	15.00	m ²			
	カーテンレール撤去	アルミ製 天井直付 集積共	10.50	m			
	壁付手摺撤去	樹脂製 集積共	2.60	m			
	撤去 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	発生材運搬・積込費						
	とりこわし発生材積込費	石膏ボード	0.10	m3			
	とりこわし発生材積込費	混合廃棄物	0.20	m3			
	とりこわし発生材積込費	廃プラスチック	0.10	m3			
	とりこわし発生材積込費	金属屑 0.03m3	1	式			
	小計						
	とりこわし発生材運搬費	石膏ボード	0.10	m3			
	とりこわし発生材運搬費	混合廃棄物	0.20	m3			
	とりこわし発生材運搬費	廃プラスチック	0.10	m3			
	とりこわし発生材運搬費	金属屑 0.03m3	1	式			
	小計						
	発生材運搬・積込費 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	発生材処分費						
	とりこわし発生材処分費	石膏ボード	0.10	m3			
	とりこわし発生材処分費	混合廃棄物	0.20	m3			
	とりこわし発生材処分費	廃プラスチック	0.10	m3			
	とりこわし発生材処分費	金属屑 0.03m3	1	式			
	発生材処分費 計						

	名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
	B. 電気設備工事						
	電気設備工事		1	式			
	B. 電気設備工事 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	1. 電気設備工事						
	電灯設備		1	式			
	非常照明設備		1	式			
	誘導灯設備		1	式			
	コンセント設備		1	式			
	空調機電源配線設備		1	式			
	医用接地設備		1	式			
	構内交換設備		1	式			
	構内情報通信網設備	電カル系	1	式			
	構内情報通信網設備	一般系	1	式			
	テレビ共聴設備		1	式			
	電気時計設備		1	式			
	呼出表示設備		1	式			
	拡声設備		1	式			
	自動火災報知設備		1	式			
	3階改修工事		1	式			
	発生材処分費		1	式			
	電気設備工事 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	電灯設備						
	電線管	PF22 隠蔽	25	m			
	ケーブル	EM-EEF 1.6mm -2C ピット・天井	35	m			
	ケーブル	EM-EEF 1.6mm -2C PF管内	22	m			
	ケーブル	EM-EEF 1.6mm -3C ピット・天井	153	m			
	ケーブル	EM-EEF 1.6mm -3C PF管内	4	m			
	ケーブル	EM-CPEE 0.9mm -1P ピット・天井	9	m			
	ケーブル	EM-CPEE 0.9mm -1P PF管内	3	m			
	アウトレットボックス	四角中深	10	個			
	スイッチボックス	3個用	1				
	照明器具	R1	1	台			
	照明器具	S1	10	台			
	照明器具	T1	2	台			
	照明器具	U1	10	台			
	照明器具	V1	2	台			
	照明器具	W1	4	台			
	照明器具	X1	5	台			

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	埋込形ワイドスイッチ	1P15A×1	1	組			
	埋込形ワイドスイッチ	1P15A×2	5	組			
	埋込形ワイドスイッチ	1P15A×7	1	組			
	埋込形ワイドスイッチ	3W15A×1	2	組			
	埋込形ワイドスイッチ	調光1P15A×1	2	組			
	区画貫通処理	ケーブル貫通部 50Φ	3	組			
	撤去工事						
	電線管 撤去材料	PF22 隠蔽	8	m			
	電線管 撤去材料	PF28 隠蔽	1	m			
	アウトレットボックス 撤去材料	四角中浅 102×102×44	5	個			
	ケーブル 撤去材料	VVF 1.6mm -2C ピット・天井	26	m			
	ケーブル 撤去材料	VVF 1.6mm -2C PF管内	11	m			
	ケーブル 撤去材料	VVF 1.6mm -3C ピット・天井	122	m			
	照明器具 撤去材料	B1	2	台			
	照明器具 撤去材料	B4	3	台			
	照明器具 撤去材料	E1	1	台			
	照明器具 撤去材料	E2	12	台			

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	照明器具 撤去材料	L1	17	台			
	埋込形スイッチ 撤去材料	1P15A×1	2	組			
	埋込形スイッチ 撤去材料	1P15A×2	2	組			
	埋込形スイッチ 撤去材料	1P15A×3	1	組			
	取外し・再取付						
	照明器具 撤去材料	B1	1	台			
	照明器具 撤去材料	B2	1	台			
	照明器具 撤去材料	H3	2	台			
	照明器具 撤去材料	L1	3	台			
	電灯設備 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	非常照明設備						
	耐火ケーブル	FP-C 2.0mm-2C ピット・天井	25	m			
	非常照明	aa	6	台			
	非常照明	aaCL	5	台			
	撤去工事						
	耐火ケーブル 撤去材料	FP-C 2.0mm-2C ピット・天井	15	m			
	非常照明 撤去材料		5	台			
	取外し・再取付						
	非常照明	取外し・再取付	2	台			
	非常照明設備 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	誘導灯設備						
	ケーブル	EM-EEF 2.0mm -2C ピット・天井	18	m			
	誘導灯	b b	1	台			
	誘導灯	b b CL	1	台			
	誘導灯設備 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	コンセント設備						
	合成樹脂製可とう電線管	隠ぺい・コンクリート打込み PF- 22	290	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0mm -3C ピット・天井	876	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0mm -3C PF管内	290	m			
	アウトレットボックス	四角中深	71	個			
	埋込形コンセント(大角形)	2P15A×2 接地極付	41	組			
	埋込形コンセント(大角形)	2P15A×4 接地極付	13	組			
	医用 埋込コンセント	2P15A×2接地極付(取付枠付)	16	組			
	フロアコンセント	2P15A×2 接地極付	1	組			
	区画貫通処理	ケーブル貫通部 50Φ	3	組			
	撤去工事						
	合成樹脂製可とう電線管 撤去材料	隠ぺい・コンクリート打込み PF- 22	53	m			
	ケーブル 撤去材料	VVF 2.0mm -2C ピット・天井	10	m			
	ケーブル 撤去材料	VVF 2.0mm -2C PF管内	2	m			
	ケーブル 撤去材料	VVF 2.0mm -3C ピット・天井	76	m			
	ケーブル 撤去材料	VVF 2.0mm -3C PF管内	51	m			

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	アウトレットボックス 撤去材料	四角中浅 102×102× 44	21	個			
	埋込形コンセント(大角形) 撤去材料	2P15A×2 接地極・接地端子付	19	組			
	医用 埋込コンセント 撤去材料	2P15A×2接地極付(取付枠付)	2	組			
	コンセント設備 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	空調機電源設備						
	ケーブル	EM-EEF 2.0mm -3C ピット・天井	75	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0mm -3C PF管内	1	m			
	アウトレットボックス	四角中深	12	個			
	埋込形コンセント(大角形)	2P15A×1 抜け止め・接地極付	7	組			
	埋込形コンセント(大角形)	2P15A×1 抜け止め・接地極付 200V	5	組			
	電動機結線	7.5kW以下	12	台			
	撤去工事						
	ケーブル 撤去材料	VVF 2.0mm -3C ピット・天井	42	m			
	アウトレットボックス 撤去材料	四角中浅 102×102× 44	7	個			
	埋込形コンセント(大角形) 撤去材料	2P15A×1 抜け止め・接地極付	7	組			
	電動機結線 撤去	7.5kW以下	7	台			
	空調機電源設備 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	医用接地設備						
	合成樹脂製可とう電線管	隠ぺい・コンクリート打込み PF- 22	50	m			
	電 線	EM-IE 5.5mm2× 1 管内	25	m			
	電 線	EM-IE 5.5mm2× 1 PF管内	48	m			
	電 線	EM-IE 14mm2× 1 管内	8	m			
	電 線	EM-IE 14mm2× 1 PF管内	2	m			
	スイッチボックス	5個用 117×274× 44	1	個			
	医用 接地センタボディー		1	個			
	撤去工事						
	合成樹脂製可とう電線管 撤去材料	隠ぺい・コンクリート打込み PF- 22	17	m			
	電 線 撤去材料	IV 5.5mm2× 1 管内	16	m			
	電 線 撤去材料	IV 5.5mm2× 1 PF管内	10	m			
	電 線 撤去材料	EM-IE 14mm2× 1 管内	14	m			
	電 線 撤去材料	EM-IE 14mm2× 1 PF管内	7	m			
	スイッチボックス 撤去材料	5個用 117×274× 44	3	個			
	医用 接地センタボディー		3	個			
	医用接地設備 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	構内交換設備						
	合成樹脂製可とう電線管	隠ぺい・コンクリート打込み PF- 22	7	m			
	アウトレットボックス	四角中深	3	個			
	電子ボタン電話ケーブル(ツイストペアケーブル)	0.5mm-2P ピット・天井	25	m			
	電子ボタン電話ケーブル(ツイストペアケーブル)	0.5mm-2P PF管内	7	m			
	電話用モジュラジャック	6極 4心	3	組			
	撤去工事						
	合成樹脂製可とう電線管 撤去材料	PF- 16 隠ぺい	2	m			
	アウトレットボックス 撤去材料	四角中浅 102×102× 44	1	個			
	電子ボタン電話ケーブル(ツイストペアケーブル) 撤去材料	0.5mm-2P ピット・天井	11	m			
	電子ボタン電話ケーブル(ツイストペアケーブル) 撤去材料	0.5mm-2P PF管内	2	m			
	電話用モジュラジャック 撤去材料	6極 4心	1	組			
	取外し・再取付						
	PHSアンテナ 撤去材料		1	個			
	構内交換設備 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	構内情報通信網設備						
	(電カル・ウラフネット系)						
	合成樹脂製可とう電線管	PF- 22 隠ぺい	100	m			
	アウトレットボックス	四角中深	19	個			
	区画貫通処理	ケーブル貫通部 50Φ	3	組			
	撤去工事						
	合成樹脂製可とう電線管 撤去材料	PF- 22 隠ぺい	20	m			
	アウトレットボックス 撤去材料	四角中浅 102×102× 44	5	個			
	LAN用ケーブル UTPケーブル0.5mm 撤去材料	カテゴリー5 4P ピット・天井	90	m			
	LAN用ケーブル UTPケーブル0.5mm 撤去材料	カテゴリー5 4P PF管内	15	m			
	情報用モジュラジャック 撤去材料		5	組			
	構内情報通信網設備 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	構内情報通信網設備						
	(一般系)						
	合成樹脂製可とう電線管	PF- 22 隠ぺい	23	m			
	アウトレットボックス	四角中深	6	個			
	EM-LAN用ケーブル EM-UTPケーブル0.5mm	カテゴリ-5 4P ピット・天井	308	m			
	EM-LAN用ケーブル EM-UTPケーブル0.5mm	カテゴリ-5 4P PF管内	23	m			
	情報用モジュラジャック	カテゴリ-5	6	組			
	撤去工事						
	合成樹脂製可とう電線管 撤去材料	PF- 22 隠ぺい	2	m			
	アウトレットボックス 撤去材料	四角中浅 102×102× 44	1	個			
	LAN用ケーブル UTPケーブル0.5mm 撤去材料	カテゴリ-5 4P ピット・天井	5	m			
	LAN用ケーブル UTPケーブル0.5mm 撤去材料	カテゴリ-5 4P PF管内	2	m			
	情報用モジュラジャック 撤去材料		1	組			
	構内情報通信網設備 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	テレビ撤去設備						
	撤去工事						
	合成樹脂製可とう電線管 撤去材料	PF- 22 隠ぺい	4	m			
	アウトレットボックス 撤去材料	四角中浅 102×102× 44	1	個			
	テレビジョン受信用同軸ケーブル 撤去材料	S-5C-FB ピット・天井	7	m			
	テレビジョン受信用同軸ケーブル 撤去材料	S-5C-FB PF管内	4	m			
	直列ユニット 撤去材料		1	個			
	テレビ共聴設備 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	電気時計設備						
	撤去工事						
	ケーブル 撤去材料	AE 1.2mm-4C ピット・天井	15	m			
	ケーブル 撤去材料	AE 1.2mm-4C PP管内	1	m			
	子時計 壁掛形 撤去材料		1	台			
	電気時計設備 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	呼出表示設備						
	合成樹脂製可とう電線管	PF- 22 隠ぺい	10	m			
	アウトレットボックス	四角中深	6	個			
	ケーブル	EM-AE 1.2mm-4C ピット・天井	26	m			
	ケーブル	EM-AE 1.2mm-4C PF管内	10	m			
	呼出表示器		1	台			
	コンセント+握り押釦		5	個			
	インターホン	親機	1	台			
	インターホン	子機	1	台			
	撤去工事						
	合成樹脂製可とう電線管 撤去材料	PF- 22 隠ぺい	4	m			
	アウトレットボックス 撤去材料	四角中浅 102×102× 44	2	個			
	ケーブル 撤去材料	AE 1.2mm-4C ピット・天井	6	m			
	ケーブル 撤去材料	AE 1.2mm-4C PF管内	4	m			
	コンセント+握り押釦 撤去材料		2	個			
	呼出表示設備 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	拡声設備						
	合成樹脂製可とう電線管	PF- 22 隠ぺい	6	m			
	アウトレットボックス	四角中深	4	個			
	ケーブル	EM-HP 1.2mm-3C ピット・天井	35	m			
	ケーブル	EM-HP 1.2mm-3C PF管内	6	m			
	天井埋込スピーカー	クリーンルーム用	1	台			
	天井埋込スピーカー		4	台			
	アッテネーター		4	台			
	区画貫通処理	ケーブル貫通部 50Φ	2	組			
	撤去工事						
	合成樹脂製可とう電線管 撤去材料	PF- 16 隠ぺい	3	m			
	アウトレットボックス 撤去材料	四角中浅 102×102× 44	2	個			
	耐熱ケーブル 撤去材料	HP 1.2mm-3C ピット・天井	24	m			
	耐熱ケーブル 撤去材料	HP 1.2mm-3C PF管内	3	m			
	天井埋込スピーカー 撤去材料		2	台			
	天井埋込スピーカー 撤去材料	アッテネーター付	1	台			

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	自動火災報知設備						
	合成樹脂製可とう電線管	PF- 22 隠ぺい	6	m			
	アウトレットボックス	四角中深	13	個			
	ケーブル	EM-HP 1.2mm-2C ピット・天井	150	m			
	ケーブル	EM-HP 1.2mm-2C PF管内	3	m			
	ケーブル	EM-HP 1.2mm-5P ピット・天井	40	m			
	ケーブル	EM-HP 1.2mm-5P PF管内	3	m			
	機器収容箱	発信機・表示灯組込	1	式			
	光電アナログスポット型感知器	埋込型	10	個			
	熱アナログスポット型感知器		1	個			
	既設受信機	データ変更費	1	式			
	既設CRT	データ変更費	1	式			
	既設CRT	画面変更費	1	式			
	工事費		1	式			
	手続立会検査費		1	式			
	区画貫通処理	ケーブル貫通部 50Φ	2	組			

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去工事						
	合成樹脂製可とう電線管 撤去材料	PF- 22 隠ぺい	8	m			
	アウトレットボックス 撤去材料	四角中浅 102×102× 44	12	個			
	ケーブル 撤去材料	HP 1.2mm-2C ピット・天井	179	m			
	ケーブル 撤去材料	HP 1.2mm-2C PF管内	6	m			
	ケーブル 撤去材料	HP 1.2mm-5P ピット・天井	40	m			
	ケーブル 撤去材料	HP 1.2mm-5P PF管内	3	m			
	機器収容箱	発信機・表示灯組込	1	式			
	光電アナログスポット型感知器 撤去材料	埋込型	4	個			
	自動火災報知設備 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	3階改修工事						
	取外し・再取付						
	照明器具 撤去材料	埋込亚克力パネル 40W×1	1	台			
	照明器具 撤去材料	埋込ルーバー 40W×2	5	台			
	非常照明 撤去材料	ダウンライト IL40W	1	台			
	光電アナログスポット型感知器	埋込型	1	個			
	3階改修工事 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	発生材処理						
	発生材処理費	収集・運搬受託料金 3 t ダンプ車 片道25 k m	1	回			
		中間処理受託料金 安定型混合廃棄物	1	m3			
		最終処分受託料金 安定型混合廃棄物	1	m3			
	発生材処理 計						

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
C. 機械設備工事													
空気調和設備		機器設備		1		式							
		ダクト設備		1		式							
		換気設備		1		式							
		配管設備		1		式							
		排煙設備		1		式							
		総合調整費		1		式							
		自動制御設備		1		式							
給排水衛生設備		衛生器具設備		1		式							
		屋内給水設備		1		式							
		屋内排水設備		1		式							
		給湯設備		1		式							
		消火設備		1		式							
		医療ガス設備		1		式							
撤去工事				1		式							
発生材処理				1		式							
C. 機械設備工事		計											

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	空気調和設備		機器設備										
	U-FFU-2		天井カセット型										
	ファンフィルターユニット		冷房能力：3.6kW 暖房能力：4.3kW	2		台							
			送風量：1,140m ³ /h										
	U-FFU-3		天井カセット型										
	ファンフィルターユニット		冷房能力：3.6kW 暖房能力：4.3kW	1		台							
			送風量：1,140m ³ /h										
	U-FFU-4		天井カセット型										
	ファンフィルターユニット		冷房能力：4.4kW 暖房能力：4.8kW	1		台							
			送風量：1,350m ³ /h										
	U-FFU-5		天井カセット型										
	ファンフィルターユニット		冷房能力：5.8kW 暖房能力：6.8kW	1		台							
			送風量：1,800m ³ /h										
	ファンフィルターユニット運搬費			1		式							
	リーク測定・清浄度測定費			1		式							
	U-FCU-1		天井カセット型 (2方向)										
	ファンコイルユニット		冷房能力：1.26kW 暖房能力：1.26kW	3		台							
	搬入据付費		移設機器分を含む	1		式							
	機器設備		計										

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
空気調和設備		ダクト設備											
矩形ダクト		亜鉛鉄板	0.5t	3	m ²								
スパイラルダクト		亜鉛鉄板	100φ	5	m								
			150φ	59	m								
			200φ	8	m								
			225φ	3	m								
			250φ	2	m								
制気口類		VHS	150x150	6	個								
		HS	150x150	4	個								
			200x200	1	個								
ダンパー類		VD	100φ	2	個								
			150φ	4	個								
			200φ	1	個								
		FD	150φ	1	個								
			200φ	1	個								
保温工事				1	式								
制気口ボックス類				1	式								

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
空気調和設備		換気設備											
矩形ダクト		亜鉛鉄板	0.5t	1	m ²								
スパイラルダクト		亜鉛鉄板	100φ	6	m								
			150φ	26	m								
			200φ	3	個								
			225φ	1	m								
制気口類		HS	150x150	3	個								
			200x200	1	個								
ダンパー類		FD	150φ	2	個								
制気口ボックス類				1	式								
既設ダクト切断接続工事				1	式								
あと施工アンカー		M10		23	本								
換気設備													
計													

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
空気調和設備		配管設備											
冷水													
一般配管用ステンレス鋼管		屋内一般	20A	70	m								
			25A	62	m								
			40A	20	m								
温水													
一般配管用ステンレス鋼管		屋内一般	20A	70	m								
			25A	62	m								
			40A	20	m								
ドレン管													
配管用炭素鋼管 (SGP-白)		屋内一般	32A	67	m								
			40A	4	m								
弁類		GV (10K) SUS	(冷水) 20A	8	個								
			(冷水) 25A	2	個								
			(温水) 20A	8	個								
			(温水) 25A	2	個								
		ファンコイル弁	(冷水) 25A	6	個								
			(温水) 25A	6	個								
		ファンコイル用フレキ	(冷水) 25A	6	個								
			(温水) 25A	6	個								

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
弁類		(取付のみ) (冷水) ファンコイル弁 20A		6		個							
		(温水) 20A		6		個							
		(取付のみ) (冷水) ファンコイル用フレキ 20A		6		個							
		(温水) 20A		6		個							
		(冷水) 二方弁装置 20A		7		個							
		(冷水) 25A		4		個							
		(温水) 20A		7		個							
		(温水) 25A		4		個							
排水用金物類		Cトラップ 32A		5		個							
保温工事				1		式							
既設配管切断接続工事		水抜き・水張り工事を含む		1		式							
あと施工アンカー		M10		132		本							
配管設備													
計													

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
空気調和設備		排煙設備											
矩形ダクト		亜鉛鉄板	0.8t	1	m2								
排煙口類		パネル型	400x400	1	個								
断熱工事				1	式								
排煙口ボックス類				1	式								
手動開放装置再取付				1	式								
既設ダクト切断接続工事				1	式								
あと施工アンカー		M10		4	本								
排煙設備		計											

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
給排水衛生設備		屋内排水設備											
雑排水		屋内一般	40A	9	m								
排水用硬質塩ビライニング鋼管(D-VA)			50A	9	m								
			100A	1	m								
排水金物		プラグ	50A	1	個								
保温工事				1	式								
コア抜き工事		X線検査を含む		1	式								
既設配管切断接続工事				1	式								
あと施工アンカー		M10		7	本								
屋内排水設備		計											

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
給排水衛生設備		医療ガス設備											
配管材料費				1		式							
懸吊及び支持金物類				1		式							
配管工事費				1		式							
特殊銀ロー材並びに補助材				1		式							
機器取付費				1		式							
消耗品及び雑材料				1		式							
現場経費				1		式							
現場管理費				1		式							
試験調整費				1		式							
運賃梱包費				1		式							
諸経費				1		式							
医療ガス設備		計											

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	撤去工事												
	空気調和設備												
	矩形ダクト	空調	亜鉛鉄板	0.5t	3	m2							
		換気	亜鉛鉄板	0.5t	1	m2							
		排煙	亜鉛鉄板	0.8t	3	m2							
	スパイラルダクト	空調	亜鉛鉄板	150φ	30	m							
				200φ	3	m							
				250φ	9	m							
		換気	亜鉛鉄板	200φ	19	m							
				250φ	1	m							
	制気口類		VHS	150x150	0.03	3	個						
				200x200	0.04	1	個						
				250x250	0.07	2	個						
			HS	150x150	0.03	4	個						
				200x200	0.04	2	個						
	ダンパー類		FD	150φ	0.02	3	個						
	排煙口類			350x350	0.13	1	個						
				400x400	0.16	1	個						

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
ボックス類													
矩形ダクト			亜鉛鉄板	0.5t	11	m2							
			排煙										
			亜鉛鉄板	1.0t	5	m2							
保温			空調	屋内隠ぺい									
矩形ダクト			アルミガラスクロス	GW25t	2	m2							
			排煙	屋内隠ぺい									
			アルミガラスクロス	RW25t	3	m2							
保温			空調	屋内隠ぺい									
スパイラルダクト			アルミガラスクロス	GW25t	13	m2							
保温			空調	屋内隠ぺい									
制気口、排煙口ボックス類			アルミガラスクロス	内貼GW25t	11	m2							
			排煙	屋内隠ぺい									
			アルミガラスクロス	RW25t	5	m2							
冷水													
一般配管用ステンレス鋼管			屋内一般	20A	27	m							
				25A	37	m							
				40A	18	m							
温水													
一般配管用ステンレス鋼管			屋内一般	20A	27	m							
				25A	37	m							
				40A	18	m							
ドレン管													
配管用炭素鋼管 (SGP-白)			屋内一般	32A	28	m							
				40A	1	m							

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
給排水衛生設備													
上水	水道用硬質塩ビライニング鋼管(VA)	屋内一般	20A	6	m								
雑排水	排水用硬質塩ビライニング鋼管(D-VA)	屋内一般	40A	4	m								
			50A	1	m								
給湯	水道用耐熱性硬質塩ビライニング鋼管(HVA)	屋内一般	20A	7	m								
保温	アルミガラスクロス	上水	20A	6	m								
		屋内隠ぺい	20A	6	m								
		雑排水	32A	4	m								
		屋内隠ぺい	40A	1	m								
		給湯	20A	7	m								
		屋内隠ぺい	20A	7	m								
衛生器具撤去工事				1	式								
既設配管切断工事				1	式								
穴埋め補修工事				1	式								
撤去工事 計													

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
別紙明細（空調）No.2 空気調和設備		ダクト設備											
制気口ボックス類													
矩形ダクト		亜鉛鉄板 0.5t		9		m2							
内貼 25t グラスウール保温		屋内隠ぺい アルミガラスクロス		9		m2							
制気口ボックス類		計											

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
別紙明細（空調）No.3 空気調和設備		ダクト設備											
既設ダクト切断・接続工事													
スパイラルダクト		亜鉛鉄板	150φ	3	m								
			200φ	5	m								
			250φ	2	m								
スパイラルダクト ガラスウール保温		屋内隠ぺい アルミガラスクロス		3	m ²								
既設ダクト切断・接続工事		計											

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
別紙明細（空調）No.6													
空気調和設備		配管設備											
保温工事													
冷水		屋内隠ぺい											
グラスウール保温		アルミガラスクロス	20A	70	m								
		屋内隠ぺい											
		アルミガラスクロス	25A	62	m								
		屋内隠ぺい											
		アルミガラスクロス	40A	20	m								
温水		屋内隠ぺい											
グラスウール保温		アルミガラスクロス	20A	70	m								
		屋内隠ぺい											
		アルミガラスクロス	25A	62	m								
		屋内隠ぺい											
		アルミガラスクロス	40A	20	m								
ドレン		屋内隠ぺい											
グラスウール保温		アルミガラスクロス	32A	67	m								
		屋内隠ぺい											
		アルミガラスクロス	40A	4	m								
保温工事													
計													

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
別紙明細（空調）No.7 空気調和設備		配管設備											
		既設配管切断・接続工事											
冷水		20A		6		箇所							
		25A		2		箇所							
		40A		6		箇所							
温水		20A		6		箇所							
		25A		2		箇所							
		40A		6		箇所							
ドレン		32A		6		箇所							
		40A		3		箇所							

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	捨てバルブ	冷水 20A			8		箇所						
		冷水 25A			2		箇所						
		冷水 40A			2		箇所						
		温水 20A			8		箇所						
		温水 25A			2		箇所						
		温水 40A			2		箇所						
	水抜き・仮設ホース段取費	配管工 : x 4 人/回 配管工単価 : 24400 円			4		回						
	水張り・エア抜き確認費	配管工 : x 5 人/回 配管工単価 : 24400 円			4		回						
	既設配管切断・接続工事	計											

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
別紙明細（空調）No.9 空気調和設備		排煙設備											
排煙口ボックス類													
矩形ダクト		亜鉛鉄板	1.0t	3		m2							
外貼 25t ロックウール保温		屋内隠ぺい アルミガラスクロス		3		m2							
排煙口ボックス類													
計													

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
別紙明細（空調）No. 11													
空気調和設備		排煙設備											
既設ダクト切断・接続工事													
矩形ダクト		亜鉛鉄板	1.0t	2		m2							
矩形ダクト		屋内隠ぺい		2		m2							
ロックウール保温		アルミガラスクロス											
手動開放装置再取付													

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
別紙明細（空調）No.12 撤去工事													
既設ダクト切断工事													
スパイラルダクト		空調	1箇所：1.0m相当										
		亜鉛鉄板	150φ x4箇所	4		m							
矩形ダクト		排煙	200x200x1箇所										
		亜鉛鉄板	0.8t	0.8		m ²							
端部閉塞		空調	150φ x4箇所	0.1		m ²							
		排煙	200x200x1箇所	0.8		m ²							
		空調	保温										
		150φ x2箇所		0.1		m ²							
		排煙	断熱										
		200x200x1箇所		0.8		m ²							
既設ダクト切断工事 計													

名	称	摘	要	数	量	单	位	单	価	金	額	備	考
別紙明細（衛生）No. 3 給排水衛生設備		屋内給水設備											
既設配管切断・接続工事													
上水 SGP-VA		20A		8		箇所							
凍結工事		20A		8		箇所							
既設配管切断・接続工事	計												

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
別紙明細（衛生）No. 5 給排水衛生設備		屋内排水設備											
		コア抜き工事											
		機械はつり	コンクリート厚：200mm程度 床	3		箇所							
		X線検査	基本料金	1		日							
			フィルム費	3		枚							
			諸経費	1		式							
		コア抜き工事 計											

名	称	摘	要	数	量	单	位	单	価	金	額	備	考
別紙明細（衛生）No. 9 給排水衛生設備		給湯設備											
既設配管切断・接続工事													
給湯 SGP-HVA		20A		9		箇所							
凍結工事		20A		9		箇所							
既設配管切断・接続工事		計											

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
別紙明細（衛生）No. 11 撤去工事													
穴埋め補修工事													
コンクリート		床 100φ 3箇所		0.03 m3	→	0.1	m3						
		給水 床 100φ		1箇所									
		給湯 床 100φ		1箇所									
		排水 床 100φ		1箇所									
		穴埋め補修工事 計											

	名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
	積上共通仮設						
	共通仮設		1	式			
	積上共通仮設 計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	共通仮設						
	化学物質濃度測定	パッパ法 測定対象物質:ホルムアルデヒド、トルエン キシレン、エチルベンゼン、スチレン 測定方法:第三者機関により 厚生労働省の定める「室内 空气中化学物質の測定マニュアル」 の標準的方法	6.00	か所			
	交通誘導員		24.00	人			
	共通仮設 計						

公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター

本館4階生殖医療センター改修工事仕様書

本仕様書は、公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター横浜市立大学総合医療センター本館外来他レイアウト変更工事（以下、「工事」という。）の仕様を示すものであり、これに規定のない事項については、公立大学法人横浜市立大学工事請負契約約款（以下、「約款」という。）を適用し、約款に規定のない事項については、横浜市立大学担当職員（以下、「職員」という。）の指示を受けて行うものとする。

1 概要

- (1) 名称 公立大学法人横浜市立大学総合医療センター本館4階生殖医療センター改修工事
- (2) 場所 神奈川県横浜市南区浦舟町4丁目57番地
横浜市立大学附属市民総合医療センター本館4階
- (3) 内容 本館4階会議室に生殖医療機能を整備する工事
- (4) 工期 契約締結日から令和6年1月31日まで

2 一般共通事項

- (1) 工事の特性について
病院内の診療や職員の職務に対し支障のないよう工法、工程等を検討すること。
- (2) 関係法令について
修繕に関係する法令・条例及び諸規則を遵守すること。
- (3) 技術者の配置について
請負人は建設業法の規定による技術者を配置し、施工の技術上の管理を行うこと。
- (4) 諸官庁届出について
施工に必要な諸官公庁その他への届出は、請負人の責任において遅滞なく全て行うこと。届出を行うにあたっては、届出内容についてあらかじめ職員に報告すること。
- (5) 施工計画書について
請負人は、工事実施日までに、仕様書及び設計図書に対応した施工計画書を作成し職員の承認を受けること。

3 機械設備仕様

- (1) 一般仕様及び特記仕様
別紙工事設計書及び図面を参照のこと。
- (2) 共通仕様
設計図書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編 最新版）（電気設備工事編 最新版）（機械設備工事編 最新版）」、同「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編 最新版）（電気設備工事編 最新版）（機械設備工事編 最新版）」及び国土交通省大臣官房官庁環境課監修の「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編 最新版）（機械設備工事編 最新版）」による。

4 工事共通仕様

- (1) 作業時間について
原則診療時間外に施工すること。当院患者・職員に影響がない範囲にて日中作業を可能とする。資材搬出入・施工等で工事エリアに立入る際は、前日までに職員に連絡し承認を得ること。

- (2) 作業条件について
騒音及び振動の発生する作業は、土曜、日曜、祝日とする。作業内容の範囲については、職員に確認すること。
- (3) 関係車両の駐車場について
工具・機材等の運搬用車両については業者用駐車場を無料にて利用できるが、通勤等で業務用駐車場を利用することはできない。
- (4) 資材置場について
院内もしくはドライエリア等の露天に確保するが、車両の横付けができない場所もある。
- (5) 作業員詰所について
必要があれば契約後に打合せとする。
- (6) 院内のトイレ使用について
職員指定のトイレを使用すること。
- (7) 資材廃材等の搬出入ルートについて
職員指定のルートで搬出入を行うこと。
- (8) 工事用水・電気利用について
許容内で無償とする。
- (9) 火気使用について
修繕エリア内で火気を使用する作業を行う場合は、事前に職員に連絡し了承を得ること。
- (10) 現場代理人の常駐について
修繕期間中は、原則とし現場代理人が常駐し、工程管理、作業員の監督、風紀衛生の取締、火災等の事故防止に務めること。
- (11) 腕章の着用
技術者及び作業員は、院内において所属会社名が記載された腕章を着用すること。腕章は、請負人で作成すること。
- (12) 作業終了時
現場代理人は、救急棟地下1階中央監視室で作業終了の報告をし、作業人員及び作業内容を記帳すること。

5 提出書類

提出書類	期限	提出部数	その他
契約書	契約時	2部	大学指定書式
工程表	契約後7日以内	同上	同上
着手届出書	契約後7日以内	同上	同上
現場代理人選定通知書	契約後7日以内	同上	同上
下請負人選定通知書	契約後7日以内	同上	同上
施工計画書	契約後7日以内	同上	請負者書式
完成図書	竣工時	2部	同上
完成写真	竣工時	同上	同上
完成届出書	竣工時	同上	大学指定書式

公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館4階生殖医療センター改修工事

図面リスト

図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺		
	表紙・図面リスト	—				RE-001	電気設備工事特記仕様書	—					
RA-001	工事概要書	—				RE-002	既設分電盤結線図(参考図)	—			RM-001	機械設備 特記仕様書(1)	—
RA-002	改修特記仕様書(1)	—				RE-003	既設照明器具姿図(参考図)	—			RM-002	機械設備 特記仕様書(2)	—
RA-003	改修特記仕様書(2)	—				RE-004	照明器具姿図	—			RM-003	空調設備 4階外平面図(撤去)	1/50
RA-004	改修特記仕様書(3)	—				RE-005	空調機電源設備 4階平面詳細図(生殖医療センター)(改修後)	1/50			RM-004	空調設備 4階外平面図(改修後)	1/50
RA-005	改修特記仕様書(4)	—				RE-006	電灯設備 4階平面詳細図(生殖医療センター)(改修後)	1/50			RM-005	空調設備 4階配管平面図(撤去)	1/50
RA-006	改修特記仕様書(5)	—				RE-007	非常照明・誘導灯設備 4階平面詳細図(生殖医療センター)(改修後)	1/50			RM-006	空調設備 4階配管平面図(改修後)	1/50
RA-007	改修特記仕様書(6)	—				RE-008	コンセント設備 4階平面詳細図(生殖医療センター)(改修後)	1/50			RM-007	排煙設備 4階外平面図(撤去)	1/50
RA-008	工事区分表(1)	—				RE-009	医用接地設備 4階平面詳細図(生殖医療センター)(改修後)	1/50			RM-008	排煙設備 4階外平面図(改修後)	1/50
RA-009	工事区分表(2)	—				RE-010	構内情報設備(電カ系) 4階平面詳細図(生殖医療センター)(改修後)	1/50			RM-009	自動制御設備 計装図	—
RA-010	案内図・配置図	1/1,000				RE-011	構内情報設備(一般系) 4階平面詳細図(生殖医療センター)(改修後)	1/50			RM-010	自動制御設備 4階平面図(撤去・改修後)	1/100
RA-011	仕上特記	—				RE-012	ナースコール設備 4階平面詳細図(生殖医療センター)(改修後)	1/50			RM-011	衛生設備 4階平面図(撤去)	1/50
RA-012	記号凡例	—				RE-013	放送設備 4階平面詳細図(生殖医療センター)(改修後)	1/50			RM-012	衛生設備 4階平面図(改修後)	1/50
RA-013	間仕切壁リスト	1/5				RE-014	自動火災報知設備 凡例・注記・運動表(改修後)	—			RM-013	消火設備 4階平面図(撤去)	1/50
RA-014	エレメントリスト・仕上材料表	—				RE-015	自動火災報知設備 系統図(1)(改修後)	—			RM-014	消火設備 4階平面図(改修後)	1/50
RA-015	仕上表(改修前・改修後)	—				RE-016	自動火災報知設備 系統図(2)(改修後)	—			RM-015	医療ガス設備 仕様書・凡例・参考器具図	—
RA-016	4階平面図(改修前・仮設計画図)	1/150				RE-017	自動火災報知設備 4階平面詳細図(生殖医療センター)(改修後)	1/50			RM-016	医療ガス設備 4階平面図(撤去)	1/50
RA-017	4階平面図(改修後)	1/150				RE-018	幹線・電灯設備 4階平面図(撤去)	1/50			RM-017	医療ガス設備 4階平面図(改修後)	1/50
RA-018	4階ISS平面図	1/150				RE-019	非常照明・誘導灯・コンセント設備 4階平面図(撤去)	1/50					
RA-019	断面図	1/200				RE-020	医用接地・電話・情報設備 4階平面図(撤去)	1/50					
RA-020	4階平面詳細図(生殖医療センター)(改修前)	1/50				RE-021	弱電・ナースコール設備 4階平面図(撤去)	1/50					
RA-021	4階平面詳細図(生殖医療センター)(改修後)	1/50				RE-022	放送設備 4階平面図(撤去)	1/50					
RA-022	4階天井解体図・天井伏図(改修後)	1/50				RE-023	自動火災報知設備 凡例・注記・運動表(改修前)	—					
RA-023	3階天井解体・復旧図	1/50				RE-024	自動火災報知設備 系統図(1)(改修前)	1/50					
RA-024	建具特記仕様書	—				RE-025	自動火災報知設備 系統図(2)(改修前)	1/50					
RA-025	4階建具キープラン(改修前・改修後)	1/50				RE-026	自動火災報知設備 4階平面図(改修前)	1/100					
RA-026	建具表(既存・撤去・改修・新設)	1/100											
RA-027	建具詳細図(1)	図示											
RA-028	建具詳細図(2)	1/5											
RA-029	雑詳細図(1)	図示											
RA-030	雑詳細図(2)	図示											
RA-031	雑詳細図(3)	図示											
RA-032	4階サインキープラン	1/50											
RA-033	サイン詳細図	図示											
RA-034	4階ローテーション計画図	1/100											
RA-035	仮設計画(外部)	1/400											
RA-036	4階区画図(改修後)	1/150											



項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。
特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、●印の付いたものを適用する。
○印と●印の付いた場合は、ともに適用する。
●印のものは、適用しない。

工事概要				
1 工事名称	公立大学法人 横浜国立大学附属市民総合医療センター 本館4階生体医療センター改修工事			
2 工事場所 (地名地番) xxx (住居表示) 神奈川県横浜市南区蒲田町4丁目57番地				
3 建築主	公立大学法人 横浜国立大学 理事長			
4 工事期間	着手：契約日～完了：令和6年1月31日			
5 関係法令・条例等 (設計条件として 特別なもの)	○建築基準法 ○消防法 ○医療法 ○バリアフリー法			
6 建物概要	(1)敷地面積 18,493.50 m ² () 坪 (2)建物用途 病院 (3)建築面積 9,629.15 m ² (改修対象建物) () 坪 (4)延べ面積 73,946.24 m ² (改修対象建物) () 坪 (5)構造 ○鉄骨造 ○鉄骨鉄筋コンクリート造 ・鉄筋コンクリート造 () その他 () (6)階数 地下 2階 地上 15階 塔屋 1階			
7 主要設備の概要	(1)空気調和換気設備 熱源方式 モジュール型空冷ヒートポンプチャラー (300USRT) 空調方式 外気調和機+空冷ヒートポンプパッケージエアコン(放射線部門、診療部門、研究部門) 全熱交換機+ファンコイルユニット(事務部門) 単一ダクト+R1排気(R1部門) (2)給排水衛生設備 給水 加圧給水方式(既設本館受水槽より分岐) 給湯 中央方式:ガス焚き温水器(188KW)×2台、個別方式:電気温水器 排水設備 雨水:既設排水槽へ接続 汚水:既設排水槽へ接続、R1排水:貯留・半減後既設R1貯留槽へ接続 都市ガス設備 既設既設地内中圧ガス配管より分岐減圧後引込 医療ガス設備 酸素・空気・吸引・笑気(既設本館より分岐)、産酸ガス(ポンペ庫を新設) (3)防災設備 消火設備 スプリンクラー(既設本館より分岐)、連結送水管 排煙設備 自然排煙・機械排煙併用 防災設備 非常放送設備・火災報知設備 (4)電気設備 受変電設備 既設特高受変電設備より分岐-設備容量<6250KVA> 非常用発電機 ガスタービン式-500KVA 直流電源設備 M5E-900- 無停電電源設備 H09KVA- 照明設備 LED 幹線方式 単相三線200V/100V・三相三線200V・400V(巻機動力)- 弱電設備 電気時計設備-インターホン設備-カーネーション設備-テレビ共聴設備 電話・情報・呼出し (5)昇降機設備 エレベーター:乗用 4台、寝台用 4台、非常用 4台、物品用 4台、小荷物用昇降機 4台、エスカレーター 4台 (6)その他設備 自走自動車設備			
8 発注方式	・分離 ○一括			
9 発注区分・工事施工者	建築工事 : 未定 耐震補強工事 : - 空調設備工事 : 未定 給排水衛生設備工事 : 未定 電気設備工事 : 未定 外構工事 : -			
10 工事内容	○改修面積 126.00 m ² ○本館4階:生体医療センターの一部改修、会議室を生体医療センターへ拡張、改修 ○上記に伴う、空調設備・給排水衛生設備・電気設備の改修			
11 工事範囲	●「9 発注区分・工事施工者」のすべてを工事範囲とする。 ・「9 発注区分・工事施工者」のうち工事項目における工事範囲は下表のとおりとする。			
工事項目	工事範囲			
② 仮設工事				
3 防水改修工事				
4-1 外壁改修工事	コンクリート打放し仕上げ外壁			
4-2 外壁改修工事	モルタル塗り仕上げ外壁			
4-3 外壁改修工事	タイル張り仕上げ外壁			
4-4 外壁改修工事	塗り仕上げ外壁			
⑤ 建具改修工事				
⑥ 内装改修工事				
⑦ 塗装改修工事				
8 耐震改修工事	耐震改修範囲以外の躯体改修工事			
9 環境配慮改修工事				
12 その他の関連工事 (別途工事)	医療機器設置工事、医療情報設備工事、テナント工事-家具・備品工事、アート設置工事 消火器 (詳細は工事区分表による)			

① 立地条件等
2 構造設計条件
③ 耐震設計条件

(1) 設計降雨量
(7) 一般降雨条件
(a) とい設計用 (xxx) mm/時間
(b) 敷地排水設計用 (xxx) mm/時間
(c) 瞬間降雨条件 (xxx) mm/10分 (適用範囲:)
(d) 雨水流出抑制 ・要 ・不要
(a) 必要雨水貯留量 (xxx) m³
貯留方法 ・建屋内 ・敷地内
(b) 必要雨水浸透量 (xxx) m³/hr
(c) 許容放流量 (xxx) m³/s
オリフィス径 (xxx) φ

(2) 設計用地下水位 0L-(xxx) m
(3) 浸水対策 ・要 ・不要
(7) 想定冠水レベル 0L+(xxx) m未満 ※ハザードマップより
(d) 防水堤レベル 0L+(xxx) m
(4) 寒冷地対策 ・要 ・不要
(7) 凍結深度 地表面仕上-(xxx) m
(d) その他凍害等対策と範囲は設計図による。
(5) その他

(1) 設計荷重
(7) 主要部分積載荷重

種	室名	積載荷重(N/m ²)			適用
		床用	架橋用	地震力用	
		1,300	1,300	1,300	xxx
		xxx	xxx	xxx	xxx
		xxx	xxx	xxx	xxx
		xxx	xxx	xxx	xxx
		xxx	xxx	xxx	xxx
		xxx	xxx	xxx	xxx
		xxx	xxx	xxx	xxx
		xxx	xxx	xxx	xxx

(d) 積雪荷重
(a) 垂直積雪量 (xxx) cm
(b) 積雪の単位重量 (xxx) N/m²・cm
(c) 積雪荷重(水平面に対して)(xxx) N/m²
(d) 多雪地域指定の有無 ・あり ・なし
(e) 勾配面における積雪荷重並びに他の外力との組み合わせによる応力計算の扱いは、建築基準法施行令第3章第8節による。

(7) 風圧力(特記仕様書各章に別の記載があるものを除く)
(a) 設計用風圧力算定基準は、建築基準法・同施行令第82条の4及び告示(平12建告第1454号・同第1458号)により、算定条件は次による。
V₀ (xxx) m/s
非構造部材・設備機器設計用風速の割増し
※なし ・あり R=1.07(再現期間100年相当) (告示第1454号)
V_r = V₀ × R = (xxx) m/s
注) V₀を再現期間50年相当として、日本建築学会「建築物荷重指針・同解説1999年版」第6章による再現期間換算係数を乗じたものとする。告示第1458号による速度圧算定式において、V₀をこれに読み替える。
地表面粗度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ
注) (地表面粗度区分Ⅱの場合)非構造部材・設備機器設計用は、Ⅲとする(告示第1454号)
風力係数 ※告示による ・風洞実験による
(b) 他の外力との組合せによる応力計算の扱いは、建築基準法施行令第3章第8節による。

(1) 地震荷重
(a) 地域係数 Z ・1.0 ・0.9 ・0.8 ・0.7
(b) 地盤種別 ・第1種 ・第2種 ・第3種
(c) 地震力の割増し係数 I ・1.0 ・1.25 ・1.5
(d) 他の外力との組合せによる応力計算の扱いは、建築基準法施行令第3章第8節による。

(2) 構造耐震性能
(7) 確認の方法は、次による。
■許容応力度計算又は保有水平耐力計算
-限界耐力計算
-時刻歴応答解析
・

(d) 許容応力度等計算又は保有水平耐力計算による耐震計算ルート等

種名称	耐震計算ルート	一次設計用標準せん断力係数	適用
X	3	0.2	
	3	0.2	
Y	3	0.2	

(1) 計画建物の耐震グレードは次による。

種名称	耐震等級(割増率)	設備耐震等級	備考
本館	・Ⅰ ○Ⅱ ・Ⅲ	・S ○A ・B	
	・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ	・S ・A ・B	
	・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ	・S ・A ・B	

■設計当時、上記の定めがなく用途係数に1.0されていることからⅡ類相当とした。

(2) 建物に作用する層間変位及び地震力は次による。

想定地震規模	大地震	中地震
設計用層間変位角(H-増高)	H/100	H/200
設計用地震力	部材又は機器の自重(W)×設計用震度×Z 地域係数(Z)は、1.0以上とする。	
設計用震度	建物各部での設計用震度	
階	水平震度(K _x)	
	非構造部材	設備機器
塔屋階	1.0	2.0 1.5 1.0
上層階	1.0	2.0 1.5 1.0
中層階	1.0	1.5 1.0 0.6
地階	0.6	1.0 0.6 0.4
		(1.5)(1.0)(0.6)

(7) 階の定義は、次による。
塔屋階:塔屋部分
上層階:最上階から数えて4層の階(階数が12階以下の場合は上層3階、9階以下の場合は上層2階、6階以下の場合は最上階のみとする。)
中層階:1階・地下階と上層階を除く階
地階:1階・地下階
(d) 設備における耐震措置は、原則として日本建築センター「建築設備耐震設計・施工指針」最新版に準拠する。
(e) 設備機器でクラスA、Bの内、防振支持の機器の場合は、クラスを1ランク上げる。
(f) 免震構造上のははクラスを1ランク下げてよい。
(g) 機器に接続されている電気配線・配管・外管については、機器の耐震等級に準じるものとする。
(h) 上表において耐震等級Bと設定された場合においても、天井設置機器については耐震等級Aとする。

(3) 免震クリアランス・あり ・なし

クリアランス	設計値	水平方向(mm)	鉛直方向(mm)
		xxx	xxx

(4) 特定天井・耐震天井
特定天井(告示771号)の適用 ・あり(室名:○○○○○○○○) () ・なし
耐震天井(告示771号対象外)の適用 ・あり(室名:○○○○○○○○) () ・なし

(1) BOP対策 ・あり ・なし
電気 非常用発電機より3日分の機能を確保
熱源 中圧ガス遮断時、油燃料(3日分)に切替
給水 雨水貯留槽に災害時必要水量の3日分を備蓄。上水は浄化して利用想定
排水 地下ピットに災害時排水槽を整備
医療ガス 7日分の供給量確保(JIS基準)
都市ガス 耐震性の高い中圧管での引込
食料・水 防災倉庫や災害備蓄保管庫に3日分確保

(2) 騒音規制 ・騒音規制法 ・条例(○)市環境確保条例 ・該当なし

区域	午前6時から		午後5時から	
	午前6時から	午前9時まで	午後5時から	翌日午前0時まで
・第1種区域	45デシベル	50デシベル	45デシベル	40デシベル
・第2種区域	50デシベル	55デシベル	50デシベル	45デシベル
・第3種区域 A	55デシベル	60デシベル	55デシベル	50デシベル
・第3種区域 B	60デシベル	65デシベル	60デシベル	55デシベル
・第4種区域 A	60デシベル	65デシベル	60デシベル	55デシベル
・第4種区域 B	65デシベル	70デシベル	65デシベル	60デシベル

1 非構造部材
(1) 屋根葺材(長尺金属板葺き・折板葺き・粘土瓦葺き)・外装材・屋外に面する構壁及び屋内外のすべての非構造部材の支持構造部及び建築物の構造耐力上主要な部分に緊結する部位は、施行令第83~88条の規定による固定荷重・積載荷重・積雪荷重・風圧力・地震力・層間変位を考慮し、施行令第82条による組合せ応力に対して、構造耐力上安全であることとする。
また、避難の支障となる損傷がないものとする。
(2) 支持金物(取付ボルトやナット含む)は、該当各章の規定により、ステンレス・亜鉛めっき、錆止め塗装等の防錆処理を施したものとする。

2 設備機器及び同架台等
(1) 建築設備(昇降設備を除く)の支持構造部及び構造本体との緊結金物は、次による。
(7) 施行令第83~88条の規定による固定荷重・積載荷重・積雪荷重・風圧力・地震力・層間変位を考慮し、施行令第82条による組合せ応力に対して、構造耐力上安全であることとする。
(d) 耐震の措置は、本工事概要書「1.設計条件等」3.耐震設計条件のb)2)による。
また、機器本体の耐震性能は、製造者により確認されているものとする。
(7) 建築設備の支持構造部及び構造本体との緊結金物等は、所定の防錆処理を行う。
(2) 給湯設備は前述「a)1)~3)」及び平12建告第1388号 第5による。
(2) 屋上から突出する水構、煙突、冷却塔その他これらに類するもの支持構造部及び建築物の構造耐力上主要な部分に緊結する部位は、次による。
(7) 「1.設計条件等」3.耐震設計条件に規定した荷重による応力に対し、構造耐力上安全なものとする。ただし、採用する荷重は、平12建告第1389号に定める規定値を下回ってはならない。
(d) 支持構造部及び緊結金物の防錆仕様は、前項「a)3)」と同一とする。
(3) 煙突の屋上突出部の高さは、鉄製の補強がない場合、900mm以下とする。
また、室内の煙突部分の鉄筋のかぶり厚さは50mm以上とする。
(4) 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備その他これらに類するもの支持構造部及び建築物の構造耐力上主要な部分に緊結する部位は、次による。
(7) 風圧・土圧・水圧・地震その他の震動及び衝撃に対して、安全上支障のない構造とする。
(d) 風圧力及び地震力により建築物に生ずる層間変形に対しても追従でき、安全上支障のない構造とする。
(9) 建築物の部分を通って配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設けるなど、有効な管の損傷防止のための措置を講ずる。
(2) 管の伸縮その他の変形により当該管に変形が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可とう継手を設けるなど、有効な損傷防止のための措置を講ずる。
(4) 管を支持又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いるなど、有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずる。

① 設置基準
② 空気清浄度クラス
③ 降圧管理室

(1) 本工事に於いて、居室の床面積、廊下幅、階段幅等は医療法上の施設基準に適合するものとする。
(2) 施設基準は下記の数値による。
居室床面積 ■6.4㎡以上/床かつ平均0.0㎡以上/床 ・6.4㎡以上/床
病棟居室床面積 ■0.5㎡以上/床 ・1.0㎡以上/床
廊下幅(手摺内法) ■2.1m以上
病棟で片面居室のもの ■1.2m以上
病棟で両面居室のもの ■2.1m以上 ■2.7m以上
病棟以外で片面居室のもの ■1.2m以上
病棟以外で両面居室のもの ■1.6m以上
老健で片面居室のもの ■1.5m以上
老健で両面居室のもの ■1.8m以上
階段幅(壁内法) ■1.2m以上
■居室においては固定家具等の面積を除いた数値とする。
(3) 受注者は工事に先立ち施工図等で前項の寸法を必ず確認し、数値が基準以下となる場合は、速やかに監督職員に報告し、指示に従うこと。

・機械設備目録 特記仕様書による

空気清浄度クラス	室名
クラス100,000 (ISOクラス8)	
クラス10,000 (ISOクラス7)	培養室、採卵室
クラス1,000 (ISOクラス6)	
クラス100 (ISOクラス5)	

種別	概要	排気HEPA7(e9)	室名
・R1管理区域	区域全体で降圧(区域内は空調室参照)	○	
・第1種感染症病室	廊下-前室-病室 -20Pa -20Pa	○	
・第2種感染症病室(空気感染)	廊下-前室-病室 -20Pa -20Pa	○	
・第2種感染症病室(空気感染)	廊下より降圧	-	
・結核患者管理病室	降圧(-2.5Pa以上)	○	
・降圧病室(インテグレーション、取替、風弁)	降圧(常時は等圧)	-	
・感染対応室	降圧	○	
	降圧(除菌圧切替)	-	
・バイオハザード室	P2	○	

① 各業共通事項	(3) 建材の安全性に関する確認 使用する建材に含まれるホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物について、製造者が作成した安全データシート、試験データ等により成分が確認できない場合は、チャンパー法による材料の試験を行い、安全性を確認のうえ使用する。 (4) 準用すべき規格、基準 ●木質建材: JAS ●工業製品: JIS ●壁紙等: ISM・SV ●接着剤: JAI ●日本塗料工業会自衛基準 ●学校環境衛生の基準(教室等の空気) ●建築物における衛生的環境の確保に関する法律 ●住宅品質確保の促進等に関する法律 ●厚生労働省事務連絡「ホルムアルデヒド等の室内空气中の化学物質の抑制に関する措置について」 ●国土交通省住宅住宅総合整備推進計画「公営住宅における化学物質の室内濃度測定方法等」
② 仮設工事	① 騒音・粉じん等の対策 [2,1,3] (1) 騒音・粉じん等の対策は、次の(7)又は(4)により、適用は特記による。 なお、シート類は防炎処理されたものとする。 (7) 防音パネルは、隙間なく取り付ける。 (4) 防音シートは、重ねと結束を十分に施し、隙間なく取り付ける。 (2) 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲等は、特記による。 足場等は、防音パネル等の取付けに適した材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。 (3) プレーカー、縦孔機、破砕機、圧砕機等による粉じん発生時には、飛散防止対策を行う。 ② 足場等 [2,2,1] 内部足場 種別 ●脚立、足場板等 ●ローリングタワー ●図示 外部足場 種別 ● 工事用シート (●メッシュシート・防音用パネル) による養生 ●行う ●行わない 材料、撤去材等の運搬 ●A種 ●B種 ●C種 ●D種 ●E種 ●「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり専用足場方式により行う。 ●足場、作業橋台、仮囲い等は労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事編)その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。
③ 既存部分の養生 [2,3,1]	既存部分の養生 ●ビニルシート等 ●耐水合板 ●図示 既存家具等の養生 ●ビニルシート等 ●図示 固定家具等の移動 ●行わない ●行う(図示)
④ 仮設撤去切 [2,3,2]	仮設撤去切りの種別 [表2,3,1] 種別 下地 仕上材(厚さ mm) 充填材 塗装 ・A種 ●軽重鉄骨 ●合板(●9,0) ●●150 ●無し ・B種 ●木下地 ●石膏ボード(●9,5・12,5) ●不要 ●片面 ・C種 ●単管下地 防炎シート 仮設扉 ●木製扉 ●合板張り程度 ●無し ●鋼製扉 ●片面フラッシュ程度 ●有り
⑤ 監督職員事務所の設置規模及び仕上げの程度 [2,4,1]	○図示 ●10㎡程度 ●20㎡程度 ●35㎡程度 ●65㎡程度 ●80㎡程度 ●115㎡程度 ●上記のほか ●会議室(受注者等と共用で可、100㎡程度) ●女性専用更衣室(●5㎡・10㎡) ●女性専用(施工者と併用)更衣室 ●女性専用トイレ ●女性専用(施工者と併用)トイレ ○特に設ける必要はない
⑥ 監督職員事務所の設備・備品等 [2,4,1]	(1) 監督職員事務所には次の備品を置くこと。数量は監督職員の指示による。 ●量数の更衣室 ●便所 ●流し ●冷暖房設備 ●電話 ●机(人分) ●いす(人分) ●会議テーブル ●書籍 ●見本棚 ●図面架 ●A3カラー複合機(プリンター、コピー、コピー用紙、スキャナー、ファックス機能付き)、 ●A4カラー複合機(プリンター、スキャナー、複写機、複写機を含む)。 ●A1カラープリンター(請負者と共用可) ●ロッカー(人分)(ロッカーあたりハンガー2つ設置) ●ゴミ長靴 ●雨がっぱ ●塵埃防止用品 ●安全靴 ●防寒着(左記●人分) ●白板 ●製図機 ●デジタルカメラ ●携帯灯具 ●冷蔵庫 ●電子レンジ ●電気ポット ●顕微鏡 ●各種文房具 ●その他監督職員の指示するもの (2) 監督職員事務所には次のOA環境を備えること。 ●パソコンセッ ●セッ(うち●セッはノートパソコンとする) OS : ●Windows 11 Professional 64bit CPU : ●Core i5 以上 ●Core i7 以上 メモリ : ●8GB以上 ●16GB以上 HDD : ●500GB 以上 ●1TB 以上 光学ドライブ: ●DVDスーパーマルチドライブ ディスプレイ: (デスクトップ型) ●21インチ FHD 以上 (ノート型) ●15インチ FHD 以上 ●17インチ FHD 以上 グラフィック性能 ●導入するソフトのメーカー標準動作性能を満たすもの ●その他監督職員の指示するもの ●ソフト(バージョン等は監督職員の指示によるが、基本的に最新バージョンとする) ●Outlook ●Word ●Excel ●PowerPoint ●AutoCAD ●AutoCAD LT ●Vectorworks ●Revit ●QLOBBE ●Acrobat Standard ●Photoshop ●Illustrator ●セキュリティ(ウイルス)対策ソフト(McAfee VirusScan Enterprise 同等程度) ●その他監督職員の指示するもの ●ネットワーク ●インターネット回線への接続(光回線)(プロバイダー及び回線使用料を含む) ●適切なセキュリティを確保できるネットワーク構成とすること
⑦ 工事用水	構内既存の施設 ●利用できない ○利用できる ●有償 ●無償(メーター設置にて精算)
⑧ 工事用電力	構内既存の施設 ●利用できない ○利用できる ●有償 ●無償(メーター設置にて精算)

3 既存防水層等の撤去 [3,2,3~5]	既存保護層(平場)の撤去 ・行う(範囲・図示) 既存防水層(平場)の撤去 ・行う(範囲・図示) 立上り部の防水層撤去 [表3,1,1] ・行う(●POS(機械) ●POS I(機械) ●M4S ●M4S ●S4S(機械) ●S4S I(機械) ●図示) 露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・行う(●M4AS ●M4AS I ●M4C ●M4D I ●L4X ●図示) 改修用ドレン ・設ける(●POAS ●POAS I ●POD ●POD I ●POS ●POS I ●POX ●図示)
4 既存下地の処理 [3,2,6]	既存下地の処理方法 ●改修種仕(3,2,6)による ●図示 既存下地の処理箇所、範囲、数量等 ●図示
5 断熱材 [3,2,2(8)(9)] [3,4,2(3)] [3,5,2(3)]	断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ●既存に合わせる(●) ●25mm ●25mm+25mm(目地違い)(省エネ住宅) ●25mm+25mm+25mm(目地違い) ●25mm+25mm+40mm(目地違い)(省エネ+再エネ仕様) ●図示 断熱材の種類 保温断熱 ●押出ポリスチレンフォーム断熱材3種b A(スキン層あり)防水: JIS A 9521 露出防水 ●硬質ウレタンフォーム保温断熱2種1号
6 アスファルト防水 [3,3,2~5]	[表3,1,1] [表3,3,3~10] 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種類 保 ●P1B ●B-1 ●B-2 ●B-3 護 ●P1B I ●T1B I ●B I-1 ●B I-2 ●B I-3 防 ●P2A I ●A I-1 ●A I-2 ●A I-3 水 ●P2A 屋上機械基礎下部 ●A-1 ●A-2 ●A-3 露出 ●M4C ●C-1 ●C-2 ●C-3 ●C-4 防水 ●M3D ●POD ●D-1 ●D-2 ●D-3 ●D-4 室内 ●P1E ●P2E ●E-1 ●E-2 (保護層は図示による) 防水 アスファルトの種類 ●3種 ●4種(寒冷地) 保護コンクリートのコンクリート種類 ●無筋コンクリート コンクリートの厚さは、特記による。特記がなければ、こて仕上げの場合は、80mm 以上とし、床タイル張り等の仕上げの場合は、80mm 以上とする。保護コンクリートは、所定の勾配に仕上げする。コンクリートの仕上げの平たみさの種別は(表3,1,1)による POD工法の二重ドレン ●設けない ●設ける M3D、POD工法の脱気装置 ●設けない ●設ける 既存露出防水層表面の仕上げ塗装 (M4C工法の場合) ●除去する 立上り部の保護 ●れんがの種類 ●見え隠れ部分は市販品のれんが又は、市販品のれんが形コンクリートブロックとする。 ●乾式保護材の材料 ●押出成形セメント板 厚さ15mm
7 改修アスファルトシート防水 [3,4,2~4]	[表3,1,1] [表3,4,1~3] 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種類 厚さ(mm) ●M4AS工法 ●AS-T1 ●AS-T2 ●AS-J2 ●M3AS工法 ●AS-T3 ●AS-T4 ●AS-J1 ●POAS工法 ●AS-J3 ●M3AS I工法 ●AS I-T1 ●AS I-J1 ●M4AS I工法 ●POAS I工法 脱気装置 ●設けない ●設ける
8 合成高分子系ルーフイングシート防水 [3,5,2~4]	[表3,1,1] [表3,5,1~表3,5,3] 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種類 仕上げ塗料等 使用分類 ●POS I工法 ●バルコニー ●S-F1 ●S-M1 ●非歩行 ●S4S工法 屋外機械室 ●S-F2 ●S-M2 ●シルバー ●軽歩行 ●S3S工法 ●S-M3 ●M4S工法 ●S-M1 ●S-M2 ●POS I工法 屋上 ●S I-F1 ●S I-M1 ●S3S I工法 ●S I-F2 ●S I-M2 ●S4S I工法 ●M4S I工法 ●P1S工法 屋内防水 ●S-C-1 脱気装置 ●設ける ●設けない 目地処理 ALC及びPCOコンクリートの場合は図示による S-C-1の目地処理 ●モルタル金網130 ●
9 塗膜防水 [3,6,2~3]	[表3,1,1] [表3,6,1~2] 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種類 仕上げ塗料塗り ●POX工法 ●X-1 ●X-2 ●シルバー ●L4X工法 昇降口庇 ●X-1 ●X-2 ●カラー ●P1Y工法 屋内防水 ●Y-2 ●P2Y工法 既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装 (L4X工法の場合) ●除去する 脱気装置 ●設けない ●設ける
10 脱気装置 [3,3,3] [3,4,3] [3,5,3]	種類 材質 設置数量 ●平面部脱気型 ●ポリエチレン樹脂 ●ABS樹脂 ●50㎡当たり1箇所 ●図示 ●ステンレス ●鋼鉄 ●図示 ●立上り部脱気型 ●合成ゴム ●塩化ビニル樹脂 ●50㎡当たり1箇所 ●図示 ●ステンレス ●銅 ●図示

11 シーリング [3,7,2~8]	シーリング改修工法の種類 [表3,1,1] ●シーリング充填工法 ●シーリング再充填工法 ●拡張シーリング再充填工法 ●ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所 ●下表以外は、改修種仕3,7,1を標準とする 施工箇所 シーリング材の種類(記号) 図示 真鍮シーリング材が接する場合は、監督職員と協議する。 シーリング材の試験 外部に面するシーリング材の接着性試験 ●漏洩接着性試験 ●引張接着性試験 POB含有シーリング調査 1972年以前に着工した建物で2成分ポリサルファイド系シーリング材の使用が認められる場合 ●1次分析(POB含有分析の要否判定) 工事に先立ち、工事範囲のシーリング材を各部位毎に採取し、シーリング材種についての判定を行うこと。 なお、判定結果は速やかに監督職員に報告し、POB含有分析が必要な場合は監督職員と協議する。 ●2次分析(POB含有分析) POBの含有について分析を行うこと。なお、分析結果は速やかに監督職員に報告すること。 (1) 採取箇所 計 箇所 (2) 採取方法 分析機関の指定する方法により採取する (3) 分析方法 GC-EOD法による(JIS K 0114) シーリングにPOBが含有していた場合の措置 (1) 除去方法 改修種仕3,7,5(a)による (2) 処理方法 関係法令により適切に処理すること。また、密封できる容器に保管し、採取時期、採取部位、POBが含有していること等を明記の上、施設管理者へ引き渡す。
12 とい [3,8,2~3]	といの材種 屋内用 ●耐火二層管(内径VP) ●配管用鋼管 [表3,8,1] 屋外用 ●硬質ポリ塩化ビニル管(VP・RP-VP) ●ステンレス製 ●アルミ製 鋼管製といの防露巻き [表3,8,3~4] ●適用する() ●適用しない ルーフドレン 種別 施工箇所 ●ろく層用(●板型) ●構型) ●図示 ●バルコニー用 ●図示 ●バルコニー中継用 ●図示 ルーフドレンの材質 ●図示 ●鋼鉄製 (JIS S301)
13 アルミニウム製笠木 [3,9,2~3]	種別 ●250形 ●300形 ●350形 ●100形 ●400形 ●板材折曲形 表面処理 種別() ●種 皮膜等の種類(●表5,2)による() 着色(アンバー ●ブロンズ ●ブラック系 ●ステンカラー) 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ●適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(●1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ●適用しない ●コーナ部、突当り部等の役物は本体製作時の仕様による。 ●20mを越え設置する笠木(●むね上げ体仕様 ●電気工事による専体)
14 折板瓦 [1,2,2] [1,2,3]	[表13,2,1] 施工箇所 形式 山高、山どしつによる区分 耐力による区分 材料による区分 厚さ(mm) 軒先面凸板 耐火性能 ●重ね形 ●図示 ●図示 () ●種 ●JIS 9 3322 ●0.6 ●有り ●30分 ●はげ跡形 ●図示 ●図示 ●JIS 9 3314 ●0.8 ●無し ●無し ●かん合形 ●図示 ●図示 ●JIS 9 3317 ●1.0 ●無し ●無し ●無し ●無し 断熱材 ●有り(種別: 厚さ(mm): 防火性能: 時期) ●無し 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ●適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(●1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ●適用しない
4 外壁改修工事 共通事項	1 施工数量調査 [1,5,2] 調査範囲 ●外壁改修範囲 ●図示の範囲 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル仕上げ及びひび割れについては浮き部分を壁面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び浮き部分を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及び浮き部分を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規塗料との適合性を確認する。 調査報告書の部数 ●2部
2 改修材料 [4,2,2]	既製調査モルタル 保水率 単位容積質量 接着強さ(N/mm ²) 長さ変化率 曲げ強さ(N/mm ²) (%) (kg/L) 標準時 湿潤後 後(%) (N/mm ²) 70,0以上 1,80程度 0,60以上 0,40以上 0,20以下 4,0以上 パテ状エポキシ樹脂 初期硬化性(標準) 接着強さ(標準) 圧縮強さ 曲げ強さ 硬化収縮率 2,0N/mm ² 以上 6,0N/mm ² 以上 50,0N/mm ² 以上 30,0N/mm ² 以上 3,0(%)以下 (1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 (2) 対象とする被覆体を浸さず、かつ、周囲を汚染しないこと。 (3) 常温・常湿(温度5℃~35℃、湿度45%~85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。 (4) 試験方法は、JIS A 6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に準ずる。

4-1 外壁改修工事	1 ひび割れ部改修工法 [4,1,4]	●樹脂注入工法(主に割が0,2mm~1,0mm以下) 注入工法の種類 ●ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) 備考 ●自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0,05~0,2未満 ●200~250 ● ●手動式エポキシ樹脂注入工法 0,2~1,0以下 ●250~300 ● ●機械式エポキシ樹脂注入工法 0,3~0,8未満 ●100~200 ●70 ● ●機械式エポキシ樹脂注入工法 0,5~1,0以下 ●150~250 ●130 ● 注入材料 ●建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘剤又は中粘剤) ●0,5mm未満のひび割れ: 低粘剤 ●0,5mm以上のひび割れ: 中粘剤 検査(コア抜き) ●行う(●抜き部の補修方法: エポキシ樹脂モルタル充填 ●図示) ●行わない 検査回数 ●500mmに1ヶ所 ●各立面 ●図示
2 欠損部改修工法 [4,1,4] [4,2,2] [4,3,5] [4,1,4] [4,2,2] [4,3,6]	●シール工法(主に幅が0,2mm未満) ●パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024) ●可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024) ●充填工法(欠損部の面積1ヶ所あたり0,25㎡以下の場合) ●エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024): 欠損箇所に適用 ●ポリマーセメントモルタル: 仕上厚30mm以下の部分に適用 但し鉄筋が露出している場合は適用しない	
3 防水改修工事	1 一般事項 [3,1,2]	防水に関しては受注者・メーカー・施工者の3社連名の保障書を提出すること 保障期間は下記による ●アスファルト防水: 10年 ●合成高分子系ルーフイングシート防水: 10年 ●塗膜防水: 10年 ●ケイ酸質系塗布防水: 10年 防水: 年 防水の水張り試験 ●行う(部位: 全壁) ●行わない
2 降雨時に対する養生方法 [3,1,3]	降雨等に対する養生方法は、特記による。特記がなければ、次による。 (1) 降雨等の発生がある日は、既存の防水層及び外部に面するシーリング材の撤去等の作業は行わない。 (2) 一日の作業終了後は、原則として、降雨等に対して漏水のないようにシート等の養生を行う。 ただし、アスファルト防水で、新規防水層の1層目のアスファルトルーフイング類の張付け(砂付あきルーフイングを用いる絶縁工法は2層目)まで行う場合は、養生を省略することができる。 (3) (2)以外の特定の養生が必要な場合は、監督職員と協議する。	

<p>16 せっこうボードその他のボード張り [6,13,2]</p> <p>内装改修工事</p>	<p>種 類</p> <p>JIS記号</p> <p>厚さ (mm) ・規格等</p>	<p>表面の材質</p> <p>生地、透明塗料塗り (※フッ素系)</p> <p>不透明塗料塗り (※しな程度)</p> <p>板面の品質 (※A-A ・特記)</p> <p>厚さ (mm)</p> <p>接着の程度 (※1類 ・2類)</p> <p>・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理</p>
	<p>・天然木化粧合板</p>	<p>樹種名</p> <p>接着の程度 (※1類 ・2類)</p> <p>厚さ (mm)</p> <p>・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理</p>
	<p>・特殊加工化粧合板</p>	<p>化粧加工の方法 (・ホーロー・フッ素・塗装)</p> <p>表面性能 (※F ・特記) タイプ</p> <p>接着の程度 (※1類 ・2類)</p> <p>厚さ (mm)</p> <p>・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理</p>
	<p>・メラミン樹脂化粧板</p>	<p>JIS K 6903 による厚さ (※1,2)</p>
	<p>・メラミン樹脂化粧板</p>	<p>WDF</p> <p>・素地WDF (RS) ・化粧WDF (・DV ・DO ・DC)</p> <p>・3 ・7 ・9 ・12</p>
	<p>・単板張りパネル化粧板</p>	<p>・無研磨板 ・研磨板</p> <p>・10 ・12 ・15 ・18</p>
	<p>・化粧パネル化粧板</p>	<p>・単板ホーロー・フッ素ホーロー・フッ素</p> <p>・塗装</p> <p>・10 (難燃) ・12 (難燃)</p>
	<p>・ホーロー・素地</p>	<p>・無研磨板 (・ホーロー・フッ素)</p> <p>・研磨板 (・ホーロー・フッ素)</p> <p>・2.5 ・3.5 ・5 ・7</p>
	<p>・ホーロー・化粧</p>	<p>・内装用 ・外装用</p> <p>・2.5 ・3.5 ・5 ・7</p>
	<p>・インコーポレーション</p>	<p>A級 (・天井仕上 ・内装仕上)</p> <p>・9 ・12 ・15 ・18</p>

せっこうボード等の下地は図示による。

遮音シール材 ○適用する (※シーリング材 ・ジョイントコンパウンド) ・適用しない

合板類の張付け ※B種 ・A種

せっこうボードの目地工法 ○仕上げ表による

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材

※適用する (※シーリング材 ・ジョイントコンパウンド) ・適用しない

石膏ボード目地処理

※ 縫目処理工法 ・突付け目地工法 ・突付け工法 ・目隠し工法 [表6,13,5]

施工箇所	壁紙の種類			防火性能	備考
	紙	繊維 (動物) ビニル化学繊維	その他		
※仕上表による	○	○	○	○不燃・準不燃・難燃	
・各 差	○	○	○	○不燃・準不燃・難燃	
	○	○	○	○不燃・準不燃・難燃	
	○	○	○	○不燃・準不燃・難燃	
	○	○	○	○不燃・準不燃・難燃	
	○	○	○	○不燃・準不燃・難燃	

壁の仕様・抗湿仕様・表面強化・汚れ防止・消臭○図示

下地調整 (素地こしらえ)

モルタル、プラスチック面 ※R種 ・RA種 ・RO種 (施工箇所:)

コック押出成形材/外板面 ※R種 ・RA種 ・RO種 (施工箇所:)

せっこうボード面 ※R種 ・RA種 ・RO種 (施工箇所:)

18 モルタル塗り [6,15,3]

既製目地材 ・設ける 施工箇所 () 形状 (※図示)

※設けない

床目地 ※設ける (工法※押し目地)

※設けない

外壁タイル張り下地の均しモルタルの接着力試験

・適用する

・適用しない

吸水調整材

全固分 (%)	吸水量 (g)	接着強度 (N/mm ²)	界面剥離率 (%)
表示値±1.0	30分で1g以下	0.98以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

防水剤 (防水モルタル塗りの漏入剤)

防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤 (JIS A 1404による試験)

混合割合	凝 結 時 間	ゆけ及び圧縮強度比	吸水比	透水性
セメント重量の5%以下	JIS R 5201の試験において 始発 1時間以上 終結 10時間以内	70%以上	95%以下	80%以下

安定性、弾力性のひび割れおよびモリがないこと。

19 タイル張り [6,16,3]

施工箇所	主な用途による区分	形状寸法 (mm)	再生材の適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考
・	・	・	・	1類 Ⅱ類 Ⅲ類	滑り止め	有 無	標準 特注	有 無	・	・

セメントモルタル陶磁器質タイル張り

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

試験張り ※行わない ・行う ()

見本焼き ※行う () ・行わない ()

モルタル塗りのコンクリート素地の処理

・目尻工法 (高圧洗浄)

・目尻工法 (高圧水洗) を行う場合は、水圧50N/cm²以上、かつ、2.5分/m²とし、施工計画書を監督職員に提出し承諾を受ける。また、目尻の状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。

壁タイル張りの工法

内装タイル ・改良横上げ張り

・既製鋼合モルタル

モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、澱和剤等予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

・既製鋼合目地材

16,16,4

有機系接着剤による陶磁器質タイル張り

タイルの形状、寸法等

施工箇所	主な用途による区分	形状寸法 (mm)	再生材の適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考
・	・	・	・	Ⅰ類 Ⅱ類 Ⅲ類	滑り止め	有 無	標準 特注	有 無	・	・

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

試験張り ※行わない ・行う ()

見本焼き ※行う () ・行わない ()

壁タイル張工法 ・内装壁タイル接着剤張り

・せっこう系 (施工箇所及び厚さ) ※仕上表による (図示)

・セメント系 (施工箇所及び厚さ) ※仕上表による (図示)

20 セルフレブリング材 [6,17,2]

21 断熱材 (19,9,2) (19,9,3)

・断熱材打込み工法 (省エネ地域区分5~7:内断熱)

種 類	厚さ (mm)	施工箇所	品質等
・押出法※スチロール保温材	※保温板 (3種b)	※既存に合わせる (t=)	※外壁
	・25 (省エネ住宅)		λ=0.028以下
	・30		
	・50 (ZEB)		
	・70		
	(省エネ・再エネ東京仕様)		
	※保温板 (3種b) (※バネ付き)	※既存に合わせる (t=)	※壁根 (保護コン)
	・25		
	・50		
	・70 (省エネ住宅)		
	・100 (省エネ・再エネ東京仕様、ZEB)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (接地部分・ピット)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分)	
	・25		
	・30		
	・70 (省エネ住宅、省エネ・再エネ東京仕様)		
	※既存に合わせる (t=)	※床 (外気部分	

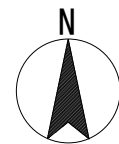
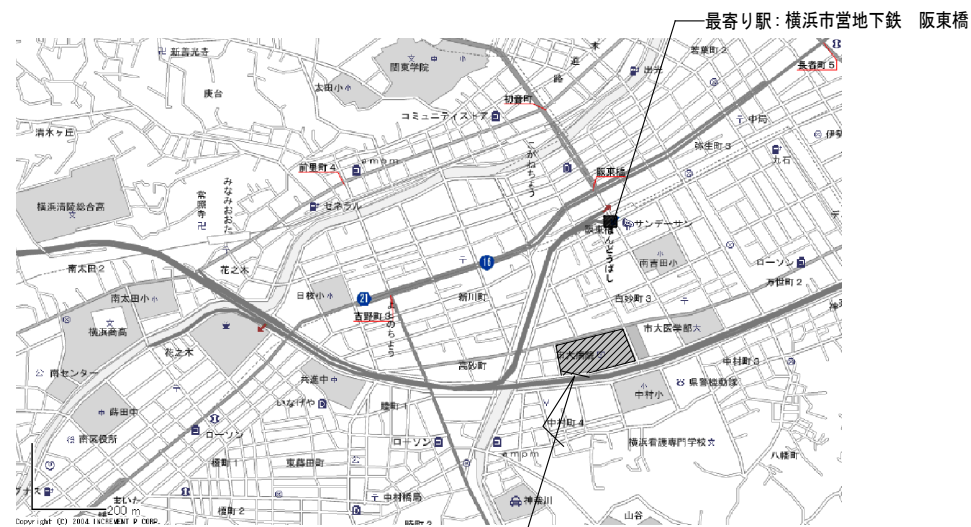
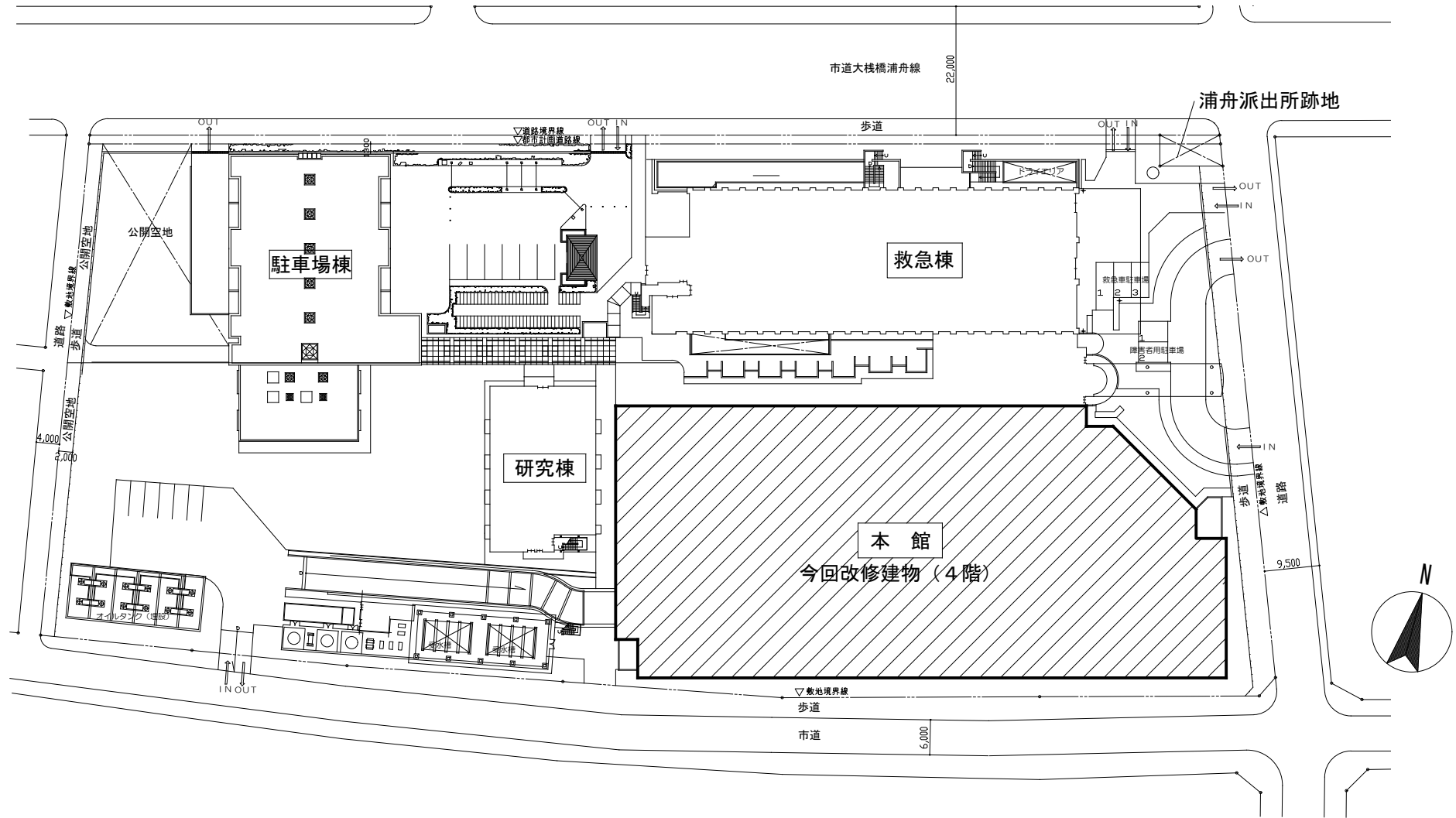
⑥	41	くつみきマント	<p>※図示</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>受け枠</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ※ステンレス鋼 (SUS 304) 製(ノンスリップ細目タイプ)</td> <td>※ステンレス鋼 (SUS 304) ・硬質アルミニウム合金</td> <td></td> </tr> </table>	材種	受け枠	備考	・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ※ステンレス鋼 (SUS 304) 製(ノンスリップ細目タイプ)	※ステンレス鋼 (SUS 304) ・硬質アルミニウム合金																																																																																											
	材種	受け枠	備考																																																																																																
	・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ※ステンレス鋼 (SUS 304) 製(ノンスリップ細目タイプ)	※ステンレス鋼 (SUS 304) ・硬質アルミニウム合金																																																																																																	
	42	遮し合ユニット (既製品)	<p>品質・性能 JIS A 4420による</p> <p>形状 ※図示</p>																																																																																																
43	屋内掲示板	<p>※図示</p> <p>枠の材質 ※アルミニウム製</p> <p>表面の材質 ※塩化ビニルシート張り</p>																																																																																																	
44	洗面カウンター	<p>※図示</p> <p>材種 ・メラミン樹脂化粧板張り(芯材:集成材) ・人工大理石</p> <p>奥行き(mm) ・約450 ・約600</p>																																																																																																	
⑦	①	材料	<p>屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※☆☆☆☆ ・規制対象外</p> <p>・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする</p> <p>・次の箇所を除き防火材料とする(箇所:)</p>																																																																																																
	②	下地調整	<p>既存塗膜の除去範囲(塗替えでR8種の場合)</p> <p>※塗替え面積の30% ※図示</p> <p>下地調整の種類等 [表7.2.1~7.2.7]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">下地面の種類</th> <th colspan="2">下地調整の種類</th> <th rowspan="2">ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <th colspan="2">塗替え</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>※R8種</td> <td>・R4種 ・R6種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※R8種</td> <td>・R4種 ・R6種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面(鋼製建具を除く)</td> <td>※R8種</td> <td>・R4種 ・R6種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面(鋼製建具)</td> <td>※R8種</td> <td>・R4種 ・R6種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モルタル面、プaster面</td> <td>※R8種</td> <td>・R4種 ・R6種</td> <td>・行う</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面、ALCパネル面</td> <td>※R8種</td> <td>・R4種 ・R6種</td> <td>・行う</td> </tr> <tr> <td>(2-UE、2-ASE、2-FUEは除く)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート面、押出成形セメント版面</td> <td>※R8種</td> <td>・R4種 ・R6種</td> <td>・行う</td> </tr> <tr> <td>(2-UE、2-ASE、2-FUEの場合)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面、その他ボード面</td> <td>※R8種</td> <td>・R4種 ・R6種</td> <td></td> </tr> </table>	下地面の種類	下地調整の種類		ひび割れ部の補修	塗替え		木部	※R8種	・R4種 ・R6種		鉄鋼面	※R8種	・R4種 ・R6種		垂鉛めっき鋼面(鋼製建具を除く)	※R8種	・R4種 ・R6種		垂鉛めっき鋼面(鋼製建具)	※R8種	・R4種 ・R6種		モルタル面、プaster面	※R8種	・R4種 ・R6種	・行う	コンクリート面、ALCパネル面	※R8種	・R4種 ・R6種	・行う	(2-UE、2-ASE、2-FUEは除く)				コンクリート面、押出成形セメント版面	※R8種	・R4種 ・R6種	・行う	(2-UE、2-ASE、2-FUEの場合)				せっこうボード面、その他ボード面	※R8種	・R4種 ・R6種																																																			
	下地面の種類	下地調整の種類			ひび割れ部の補修																																																																																														
		塗替え																																																																																																	
木部	※R8種	・R4種 ・R6種																																																																																																	
鉄鋼面	※R8種	・R4種 ・R6種																																																																																																	
垂鉛めっき鋼面(鋼製建具を除く)	※R8種	・R4種 ・R6種																																																																																																	
垂鉛めっき鋼面(鋼製建具)	※R8種	・R4種 ・R6種																																																																																																	
モルタル面、プaster面	※R8種	・R4種 ・R6種	・行う																																																																																																
コンクリート面、ALCパネル面	※R8種	・R4種 ・R6種	・行う																																																																																																
(2-UE、2-ASE、2-FUEは除く)																																																																																																			
コンクリート面、押出成形セメント版面	※R8種	・R4種 ・R6種	・行う																																																																																																
(2-UE、2-ASE、2-FUEの場合)																																																																																																			
せっこうボード面、その他ボード面	※R8種	・R4種 ・R6種																																																																																																	
3	錆止め塗料塗り	<p>錆止め塗料塗りの種類等 [表7.3.1~7.3.4]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">塗料種別</th> <th rowspan="2">工程種別</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>※A種</th> <th>※B種</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td>屋外・屋内</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>※A種(見え掛り)</td> <td rowspan="2">EP-6の場合</td> </tr> <tr> <td>屋内</td> <td>※B種</td> <td>※B種(見え隠れ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">垂鉛めっき鋼面</td> <td>塗替え</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>※C種(塗替え)</td> <td rowspan="2">EP-6の場合</td> </tr> <tr> <td>新造(鋼製建具を除く)</td> <td>※C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">新造鋼製建具</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>※A種 ・B種 ・C種</td> <td>※A種 ・B種 ・C種</td> <td rowspan="2">EP-6の場合</td> </tr> <tr> <td>※C種</td> <td>※A種 ・B種 ・C種</td> <td>2-UE、2-ASE、2-FUEは除く</td> </tr> </table> <p>新造鉄骨等の鉄鋼面の錆止め塗料塗りは、(7.3.3(2))による。</p>	塗装面	塗料種別		工程種別	備考	※A種	※B種	鉄鋼面	屋外・屋内	※A種 ・B種	※A種(見え掛り)	EP-6の場合	屋内	※B種	※B種(見え隠れ)	垂鉛めっき鋼面	塗替え	※A種 ・B種	※C種(塗替え)	EP-6の場合	新造(鋼製建具を除く)	※C種		新造鋼製建具	※A種 ・B種	※A種 ・B種 ・C種	※A種 ・B種 ・C種	EP-6の場合	※C種	※A種 ・B種 ・C種	2-UE、2-ASE、2-FUEは除く																																																																		
塗装面	塗料種別			工程種別	備考																																																																																														
	※A種	※B種																																																																																																	
鉄鋼面	屋外・屋内	※A種 ・B種	※A種(見え掛り)	EP-6の場合																																																																																															
	屋内	※B種	※B種(見え隠れ)																																																																																																
垂鉛めっき鋼面	塗替え	※A種 ・B種	※C種(塗替え)	EP-6の場合																																																																																															
	新造(鋼製建具を除く)	※C種																																																																																																	
新造鋼製建具	※A種 ・B種	※A種 ・B種 ・C種	※A種 ・B種 ・C種	EP-6の場合																																																																																															
	※C種	※A種 ・B種 ・C種	2-UE、2-ASE、2-FUEは除く																																																																																																
4	塗装	<p>塗装の種類 [表7.4.1~7.15.1]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">塗装の種類</th> <th rowspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">工 程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新 規</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・合成樹脂塗料(EP-T)塗り</td> <td>木部</td> <td>※B種</td> <td>※A種(屋外) ・B種(屋内)</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・クリヤラッカー塗り(OL)</td> <td>木部</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>屋内鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)</td> <td>屋内鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>屋内垂鉛めっき鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・アクリル樹脂系非水分散系塗料塗り(NAD)</td> <td>屋内コンクリート面</td> <td>※B種 ・A種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>屋内モルタル面</td> <td>※B種 ・A種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・耐候性塗料塗り(OP)</td> <td>屋外鉄鋼面</td> <td>※A種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>屋外垂鉛めっき鋼面</td> <td>※A種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-0)</td> <td>屋内木部</td> <td>※B種</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>屋内鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">◎合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)</td> <td>屋内垂鉛めっき鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面</td> <td>※B種</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)</td> <td>モルタル面・プaster面</td> <td>※B種</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面</td> <td>※B種</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-0)</td> <td>コンクリート面</td> <td>※B種</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面・プaster面</td> <td>※B種</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ウレタン樹脂ワニス塗り(UO)</td> <td>木部</td> <td>・A種 ・B種</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>・A種 ・B種</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・オイルステイン塗り(OS)</td> <td>木部</td> <td>・A種 ・B種</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>・A種 ・B種</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・マステック塗料塗り</td> <td>コンクリート面</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント版面</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・モルタル面</td> <td>モルタル面</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>ALCパネル面</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	塗装の種類	塗装面	工 程		塗替え	新 規	・合成樹脂塗料(EP-T)塗り	木部	※B種	※A種(屋外) ・B種(屋内)	鉄鋼面	※B種	※A種 ・B種	・クリヤラッカー塗り(OL)	木部	※A種 ・B種	※A種 ・B種	屋内鉄鋼面	※B種	※A種 ・B種	・フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)	屋内鉄鋼面	※B種	※A種 ・B種	屋内垂鉛めっき鋼面	※B種	※A種 ・B種	・アクリル樹脂系非水分散系塗料塗り(NAD)	屋内コンクリート面	※B種 ・A種	※B種 ・A種	屋内モルタル面	※B種 ・A種	※B種 ・A種	・耐候性塗料塗り(OP)	屋外鉄鋼面	※A種	※A種	屋外垂鉛めっき鋼面	※A種	※A種	・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-0)	屋内木部	※B種	※A種 ・B種	屋内鉄鋼面	※B種	※A種 ・B種	◎合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)	屋内垂鉛めっき鋼面	※B種	※A種 ・B種	コンクリート面	※B種	※A種 ・B種	・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)	モルタル面・プaster面	※B種	※A種 ・B種	せっこうボード面	※B種	※A種 ・B種	・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-0)	コンクリート面	※B種	※A種 ・B種	モルタル面・プaster面	※B種	※A種 ・B種	・ウレタン樹脂ワニス塗り(UO)	木部	・A種 ・B種	・A種 ・B種	木部	・A種 ・B種	・A種 ・B種	・オイルステイン塗り(OS)	木部	・A種 ・B種	・A種 ・B種	木部	・A種 ・B種	・A種 ・B種	・マステック塗料塗り	コンクリート面	・	・	押出成形セメント版面	・	・	・モルタル面	モルタル面	・	・	ALCパネル面	・	・
塗装の種類	塗装面	工 程																																																																																																	
		塗替え	新 規																																																																																																
・合成樹脂塗料(EP-T)塗り	木部	※B種	※A種(屋外) ・B種(屋内)																																																																																																
	鉄鋼面	※B種	※A種 ・B種																																																																																																
・クリヤラッカー塗り(OL)	木部	※A種 ・B種	※A種 ・B種																																																																																																
	屋内鉄鋼面	※B種	※A種 ・B種																																																																																																
・フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)	屋内鉄鋼面	※B種	※A種 ・B種																																																																																																
	屋内垂鉛めっき鋼面	※B種	※A種 ・B種																																																																																																
・アクリル樹脂系非水分散系塗料塗り(NAD)	屋内コンクリート面	※B種 ・A種	※B種 ・A種																																																																																																
	屋内モルタル面	※B種 ・A種	※B種 ・A種																																																																																																
・耐候性塗料塗り(OP)	屋外鉄鋼面	※A種	※A種																																																																																																
	屋外垂鉛めっき鋼面	※A種	※A種																																																																																																
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-0)	屋内木部	※B種	※A種 ・B種																																																																																																
	屋内鉄鋼面	※B種	※A種 ・B種																																																																																																
◎合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)	屋内垂鉛めっき鋼面	※B種	※A種 ・B種																																																																																																
	コンクリート面	※B種	※A種 ・B種																																																																																																
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)	モルタル面・プaster面	※B種	※A種 ・B種																																																																																																
	せっこうボード面	※B種	※A種 ・B種																																																																																																
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-0)	コンクリート面	※B種	※A種 ・B種																																																																																																
	モルタル面・プaster面	※B種	※A種 ・B種																																																																																																
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UO)	木部	・A種 ・B種	・A種 ・B種																																																																																																
	木部	・A種 ・B種	・A種 ・B種																																																																																																
・オイルステイン塗り(OS)	木部	・A種 ・B種	・A種 ・B種																																																																																																
	木部	・A種 ・B種	・A種 ・B種																																																																																																
・マステック塗料塗り	コンクリート面	・	・																																																																																																
	押出成形セメント版面	・	・																																																																																																
・モルタル面	モルタル面	・	・																																																																																																
	ALCパネル面	・	・																																																																																																

8	1	適用範囲	<p>工事内容</p> <p>耐震改修工事に伴う以下の工事に適用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場打ち鉄骨コンクリート壁の増設工事 ・鉄骨ブレースの設置工事 ・柱補強工事 ・連続繊維補強工法 ・新設スリット新設工事 ・免震改修工事 ・制振改修工事 ・土工事及び地業工事 <p>工事種別</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工調査(施工計画調査、施工数量調査、調査のための破壊部分の補修) ・鉄骨工事 ・あと施工アンカー工事 ・コンクリート工事 ・鉄骨工事 ・グラウト工事 ・連続繊維補強工事 ・スリット新設工事 ・免震改修工事 ・制振改修工事 ・土工事及び地業工事 ・撤去工事(設備機器配管及び仕上げの取壊し・撤去(下地の一部又はすべてを含む)、構造物のつくり) ・その他工事 									
	8-1	鉄筋の種類	<p>※図示</p> <p>※図示 (JIS S 5931)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>SD295A</td> <td>D16以下</td> </tr> <tr> <td>SD45</td> <td>D19~D25</td> </tr> <tr> <td>SD980</td> <td>D29~D35</td> </tr> </table>	種類の記号	呼び名(mm)	SD295A	D16以下	SD45	D19~D25	SD980	D29~D35	
	種類の記号	呼び名(mm)										
	SD295A	D16以下										
SD45	D19~D25											
SD980	D29~D35											
2	溶接金網	<p>網目の形状、寸法等</p> <p>※図示 (JIS S 3551)</p> <p>※図示 (JIS S 3551)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)</th> <th>鉄線の径又は呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>・溶接金網</td> <td>100×100</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td>250×250</td> <td>D10</td> </tr> </table>	種類	網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)	鉄線の径又は呼び名(mm)	・溶接金網	100×100	6.0	・鉄筋格子	250×250	D10	
種類	網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)	鉄線の径又は呼び名(mm)										
・溶接金網	100×100	6.0										
・鉄筋格子	250×250	D10										
3	鉄筋の加工及び組立	<p>※図示</p> <p>[表8.3.1]</p>										
8-2	1	鉄筋の種類	<p>※図示</p> <p>※図示 (JIS S 5931)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>SD295A</td> <td>D16以下</td> </tr> <tr> <td>SD45</td> <td>D19~D25</td> </tr> <tr> <td>SD980</td> <td>D29~D35</td> </tr> </table>	種類の記号	呼び名(mm)	SD295A	D16以下	SD45	D19~D25	SD980	D29~D35	
	種類の記号	呼び名(mm)										
	SD295A	D16以下										
	SD45	D19~D25										
SD980	D29~D35											
2	溶接金網	<p>網目の形状、寸法等</p> <p>※図示 (JIS S 3551)</p> <p>※図示 (JIS S 3551)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)</th> <th>鉄線の径又は呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>・溶接金網</td> <td>100×100</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td>250×250</td> <td>D10</td> </tr> </table>	種類	網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)	鉄線の径又は呼び名(mm)	・溶接金網	100×100	6.0	・鉄筋格子	250×250	D10	
種類	網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)	鉄線の径又は呼び名(mm)										
・溶接金網	100×100	6.0										
・鉄筋格子	250×250	D10										
3	鉄筋の加工及び組立	<p>※図示</p> <p>[表8.3.1]</p>										
4	鉄筋の継手及び定着	<p>継手方法等</p> <p>※図示</p> <p>※図示 (図8.3.1~8.3.4)</p> <p>※図示 (表8.3.2~8.3.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋()</td> <td>※重ね継手</td> <td></td> </tr> </table> <p>鉄筋の重ね継手の長さ、継手位置</p> <p>※図示</p> <p>鉄筋の定着長さ、定着方法</p> <p>※図示</p>	部位	継手方法	呼び名(mm)	柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手		その他の鉄筋()	※重ね継手		
部位	継手方法	呼び名(mm)										
柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手											
その他の鉄筋()	※重ね継手											
8-3	1	鉄筋の加工及び組立	<p>※図示</p> <p>[表8.3.1]</p>									
	2	鉄筋の継手及び定着	<p>継手方法等</p> <p>※図示</p> <p>※図示 (図8.3.1~8.3.4)</p> <p>※図示 (表8.3.2~8.3.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋()</td> <td>※重ね継手</td> <td></td> </tr> </table> <p>鉄筋の重ね継手の長さ、継手位置</p> <p>※図示</p> <p>鉄筋の定着長さ、定着方法</p> <p>※図示</p>	部位	継手方法	呼び名(mm)	柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手		その他の鉄筋()	※重ね継手	
	部位	継手方法	呼び名(mm)									
	柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手										
その他の鉄筋()	※重ね継手											
3	鉄筋の加工及び組立	<p>※図示</p> <p>[表8.3.1]</p>										
4	鉄筋の継手及び定着	<p>継手方法等</p> <p>※図示</p> <p>※図示 (図8.3.1~8.3.4)</p> <p>※図示 (表8.3.2~8.3.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋()</td> <td>※重ね継手</td> <td></td> </tr> </table> <p>鉄筋の重ね継手の長さ、継手位置</p> <p>※図示</p> <p>鉄筋の定着長さ、定着方法</p> <p>※図示</p>	部位	継手方法	呼び名(mm)	柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手		その他の鉄筋()	※重ね継手		
部位	継手方法	呼び名(mm)										
柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手											
その他の鉄筋()	※重ね継手											
8-4	1	鉄筋の種類	<p>※図示</p> <p>※図示 (JIS S 5931)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>SD295A</td> <td>D16以下</td> </tr> <tr> <td>SD45</td> <td>D19~D25</td> </tr> <tr> <td>SD980</td> <td>D29~D35</td> </tr> </table>	種類の記号	呼び名(mm)	SD295A	D16以下	SD45	D19~D25	SD980	D29~D35	
	種類の記号	呼び名(mm)										
	SD295A	D16以下										
	SD45	D19~D25										
SD980	D29~D35											
2	溶接金網	<p>網目の形状、寸法等</p> <p>※図示 (JIS S 3551)</p> <p>※図示 (JIS S 3551)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)</th> <th>鉄線の径又は呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>・溶接金網</td> <td>100×100</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td>250×250</td> <td>D10</td> </tr> </table>	種類	網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)	鉄線の径又は呼び名(mm)	・溶接金網	100×100	6.0	・鉄筋格子	250×250	D10	
種類	網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)	鉄線の径又は呼び名(mm)										
・溶接金網	100×100	6.0										
・鉄筋格子	250×250	D10										
3	鉄筋の加工及び組立	<p>※図示</p> <p>[表8.3.1]</p>										
4	鉄筋の継手及び定着	<p>継手方法等</p> <p>※図示</p> <p>※図示 (図8.3.1~8.3.4)</p> <p>※図示 (表8.3.2~8.3.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋()</td> <td>※重ね継手</td> <td></td> </tr> </table> <p>鉄筋の重ね継手の長さ、継手位置</p> <p>※図示</p> <p>鉄筋の定着長さ、定着方法</p> <p>※図示</p>	部位	継手方法	呼び名(mm)	柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手		その他の鉄筋()	※重ね継手		
部位	継手方法	呼び名(mm)										
柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手											
その他の鉄筋()	※重ね継手											
8-5	1	鉄筋の種類	<p>※図示</p> <p>※図示 (JIS S 5931)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>SD295A</td> <td>D16以下</td> </tr> <tr> <td>SD45</td> <td>D19~D25</td> </tr> <tr> <td>SD980</td> <td>D29~D35</td> </tr> </table>	種類の記号	呼び名(mm)	SD295A	D16以下	SD45	D19~D25	SD980	D29~D35	
	種類の記号	呼び名(mm)										
	SD295A	D16以下										
	SD45	D19~D25										
SD980	D29~D35											
2	溶接金網	<p>網目の形状、寸法等</p> <p>※図示 (JIS S 3551)</p> <p>※図示 (JIS S 3551)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)</th> <th>鉄線の径又は呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>・溶接金網</td> <td>100×100</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td>250×250</td> <td>D10</td> </tr> </table>	種類	網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)	鉄線の径又は呼び名(mm)	・溶接金網	100×100	6.0	・鉄筋格子	250×250	D10	
種類	網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)	鉄線の径又は呼び名(mm)										
・溶接金網	100×100	6.0										
・鉄筋格子	250×250	D10										
3	鉄筋の加工及び組立	<p>※図示</p> <p>[表8.3.1]</p>										
4	鉄筋の継手及び定着	<p>継手方法等</p> <p>※図示</p> <p>※図示 (図8.3.1~8.3.4)</p> <p>※図示 (表8.3.2~8.3.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋()</td> <td>※重ね継手</td> <td></td> </tr> </table> <p>鉄筋の重ね継手の長さ、継手位置</p> <p>※図示</p> <p>鉄筋の定着長さ、定着方法</p> <p>※図示</p>	部位	継手方法	呼び名(mm)	柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手		その他の鉄筋()	※重ね継手		
部位	継手方法	呼び名(mm)										
柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手											
その他の鉄筋()	※重ね継手											
8-6	1	鉄筋の種類	<p>※図示</p> <p>※図示 (JIS S 5931)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>SD295A</td> <td>D16以下</td> </tr> <tr> <td>SD45</td> <td>D19~D25</td> </tr> <tr> <td>SD980</td> <td>D29~D35</td> </tr> </table>	種類の記号	呼び名(mm)	SD295A	D16以下	SD45	D19~D25	SD980	D29~D35	
	種類の記号	呼び名(mm)										
	SD295A	D16以下										
	SD45	D19~D25										
SD980	D29~D35											
2	溶接金網	<p>網目の形状、寸法等</p> <p>※図示 (JIS S 3551)</p> <p>※図示 (JIS S 3551)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)</th> <th>鉄線の径又は呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>・溶接金網</td> <td>100×100</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td>250×250</td> <td>D10</td> </tr> </table>	種類	網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)	鉄線の径又は呼び名(mm)	・溶接金網	100×100	6.0	・鉄筋格子	250×250	D10	
種類	網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)	鉄線の径又は呼び名(mm)										
・溶接金網	100×100	6.0										
・鉄筋格子	250×250	D10										
3	鉄筋の加工及び組立	<p>※図示</p> <p>[表8.3.1]</p>										
4	鉄筋の継手及び定着	<p>継手方法等</p> <p>※図示</p> <p>※図示 (図8.3.1~8.3.4)</p> <p>※図示 (表8.3.2~8.3.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋()</td> <td>※重ね継手</td> <td></td> </tr> </table> <p>鉄筋の重ね継手の長さ、継手位置</p> <p>※図示</p> <p>鉄筋の定着長さ、定着方法</p> <p>※図示</p>	部位	継手方法	呼び名(mm)	柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手		その他の鉄筋()	※重ね継手		
部位	継手方法	呼び名(mm)										
柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手											
その他の鉄筋()	※重ね継手											
8-7	1	鉄筋の種類	<p>※図示</p> <p>※図示 (JIS S 5931)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>SD295A</td> <td>D16以下</td> </tr> <tr> <td>SD45</td> <td>D19~D25</td> </tr> <tr> <td>SD980</td> <td>D29~D35</td> </tr> </table>	種類の記号	呼び名(mm)	SD295A	D16以下	SD45	D19~D25	SD980	D29~D35	
	種類の記号	呼び名(mm)										
	SD295A	D16以下										
	SD45	D19~D25										
SD980	D29~D35											
2	溶接金網	<p>網目の形状、寸法等</p> <p>※図示 (JIS S 3551)</p> <p>※図示 (JIS S 3551)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)</th> <th>鉄線の径又は呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>・溶接金網</td> <td>100×100</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td>250×250</td> <td>D10</td> </tr> </table>	種類	網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)	鉄線の径又は呼び名(mm)	・溶接金網	100×100	6.0	・鉄筋格子	250×250	D10	
種類	網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)	鉄線の径又は呼び名(mm)										
・溶接金網	100×100	6.0										
・鉄筋格子	250×250	D10										
3	鉄筋の加工及び組立	<p>※図示</p> <p>[表8.3.1]</p>										
4	鉄筋の継手及び定着	<p>継手方法等</p> <p>※図示</p> <p>※図示 (図8.3.1~8.3.4)</p> <p>※図示 (表8.3.2~8.3.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋()</td> <td>※重ね継手</td> <td></td> </tr> </table> <p>鉄筋の重ね継手の長さ、継手位置</p> <p>※図示</p> <p>鉄筋の定着長さ、定着方法</p> <p>※図示</p>	部位	継手方法	呼び名(mm)	柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手		その他の鉄筋()	※重ね継手		
部位	継手方法	呼び名(mm)										
柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手											
その他の鉄筋()	※重ね継手											
8-8	1	鉄筋の種類	<p>※図示</p> <p>※図示 (JIS S 5931)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>SD295A</td> <td>D16以下</td> </tr> <tr> <td>SD45</td> <td>D19~D25</td> </tr> <tr> <td>SD980</td> <td>D29~D35</td> </tr> </table>	種類の記号	呼び名(mm)	SD295A	D16以下	SD45	D19~D25	SD980	D29~D35	
	種類の記号	呼び名(mm)										
	SD295A	D16以下										
	SD45	D19~D25										
SD980	D29~D35											
2	溶接金網	<p>網目の形状、寸法等</p> <p>※図示 (JIS S 3551)</p> <p>※図示 (JIS S 3551)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)</th> <th>鉄線の径又は呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>・溶接金網</td> <td>100×100</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td>250×250</td> <td>D10</td> </tr> </table>	種類	網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)	鉄線の径又は呼び名(mm)	・溶接金網	100×100	6.0	・鉄筋格子	250×250	D10	
種類	網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)	鉄線の径又は呼び名(mm)										
・溶接金網	100×100	6.0										
・鉄筋格子	250×250	D10										
3	鉄筋の加工及び組立	<p>※図示</p> <p>[表8.3.1]</p>										
4	鉄筋の継手及び定着	<p>継手方法等</p> <p>※図示</p> <p>※図示 (図8.3.1~8.3.4)</p> <p>※図示 (表8.3.2~8.3.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋()</td> <td>※重ね継手</td> <td></td> </tr> </table> <p>鉄筋の重ね継手の長さ、継手位置</p> <p>※図示</p> <p>鉄筋の定着長さ、定着方法</p> <p>※図示</p>	部位	継手方法	呼び名(mm)	柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手		その他の鉄筋()	※重ね継手		
部位	継手方法	呼び名(mm)										
柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手											
その他の鉄筋()	※重ね継手											
8-9	1	鉄筋の種類	<p>※図示</p> <p>※図示 (JIS S 5931)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>SD295A</td> <td>D16以下</td> </tr> <tr> <td>SD45</td> <td>D19~D25</td> </tr> <tr> <td>SD980</td> <td>D29~D35</td> </tr> </table>	種類の記号	呼び名(mm)	SD295A	D16以下	SD45	D19~D25	SD980	D29~D35	
	種類の記号	呼び名(mm)										
	SD295A	D16以下										
	SD45	D19~D25										
SD980	D29~D35											
2	溶接金網	<p>網目の形状、寸法等</p> <p>※図示 (JIS S 3551)</p> <p>※図示 (JIS S 3551)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)</th> <th>鉄線の径又は呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>・溶接金網</td> <td>100×100</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td>250×250</td> <td>D10</td> </tr> </table>	種類	網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)	鉄線の径又は呼び名(mm)	・溶接金網	100×100	6.0	・鉄筋格子	250×250	D10	
種類	網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)	鉄線の径又は呼び名(mm)										
・溶接金網	100×100	6.0										
・鉄筋格子	250×250	D10										
3	鉄筋の加工及び組立	<p>※図示</p> <p>[表8.3.1]</p>										
4	鉄筋の継手及び定着	<p>継手方法等</p> <p>※図示</p> <p>※図示 (図8.3.1~8.3.4)</p> <p>※図示 (表8.3.2~8.3.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋()</td> <td>※重ね継手</td> <td></td> </tr> </table> <p>鉄筋の重ね継手の長さ、継手位置</p> <p>※図示</p> <p>鉄筋の定着長さ、定着方法</p> <p>※図示</p>	部位	継手方法	呼び名(mm)	柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手		その他の鉄筋()	※重ね継手		
部位	継手方法	呼び名(mm)										
柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手											
その他の鉄筋()	※重ね継手											
8-10	1	鉄筋の種類	<p>※図示</p> <p>※図示 (JIS S 5931)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>SD295A</td> <td>D16以下</td> </tr> <tr> <td>SD45</td> <td>D19~D25</td> </tr> <tr> <td>SD980</td> <td>D29~D35</td> </tr> </table>	種類の記号	呼び名(mm)	SD295A	D16以下	SD45	D19~D25	SD980	D29~D35	
	種類の記号	呼び名(mm)										
	SD295A	D16以下										
	SD45	D19~D25										
SD980	D29~D35											
2	溶接金網	<p>網目の形状、寸法等</p> <p>※図示 (JIS S 3551)</p> <p>※図示 (JIS S 3551)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)</th> <th>鉄線の径又は呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>・溶接金網</td> <td>100×100</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td>250×250</td> <td>D10</td> </tr> </table>	種類	網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)	鉄線の径又は呼び名(mm)	・溶接金網	100×100	6.0	・鉄筋格子	250×250	D10	
種類	網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)	鉄線の径又は呼び名(mm)										
・溶接金網	100×100	6.0										
・鉄筋格子	250×250	D10										
3	鉄筋の加工及び組立	<p>※図示</p> <p>[表8.3.1]</p>										
4	鉄筋の継手及び定着	<p>継手方法等</p> <p>※図示</p> <p>※図示 (図8.3.1~8.3.4)</p> <p>※図示 (表8.3.2~8.3.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋()</td> <td>※重ね継手</td> <td></td> </tr> </table> <p>鉄筋の重ね継手の長さ、継手位置</p> <p>※図示</p> <p>鉄筋の定着長さ、定着方法</p> <p>※図示</p>	部位	継手方法	呼び名(mm)	柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手		その他の鉄筋()	※重ね継手		
部位	継手方法	呼び名(mm)										
柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手											
その他の鉄筋()	※重ね継手											
8-11	1	鉄筋の種類	<p>※図示</p> <p>※図示 (JIS S 5931)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>SD295A</td> <td>D16以下</td> </tr> <tr> <td>SD45</td> <td>D19~D25</td> </tr> <tr> <td>SD980</td> <td>D29~D35</td> </tr> </table>	種類の記号	呼び名(mm)	SD295A	D16以下	SD45	D19~D25	SD980	D29~D35	
	種類の記号	呼び名(mm)										
	SD295A	D16以下										
	SD45	D19~D25										
SD980	D29~D35											
2	溶接金網	<p>網目の形状、寸法等</p> <p>※図示 (JIS S 3551)</p> <p>※図示 (JIS S 3551)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)</th> <th>鉄線の径又は呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>・溶接金網</td> <td>100×100</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td>250×250</td> <td>D10</td> </tr> </table>	種類	網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)	鉄線の径又は呼び名(mm)	・溶接金網	100×100	6.0	・鉄筋格子	250×250	D10	
種類	網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)	鉄線の径又は呼び名(mm)										
・溶接金網	100×100	6.0										
・鉄筋格子	250×250	D10										
3	鉄筋の加工及び組立	<p>※図示</p> <p>[表8.3.1]</p>										
4	鉄筋の継手及び定着	<p>継手方法等</p> <p>※図示</p> <p>※図示 (図8.3.1~8.3.4)</p> <p>※図示 (表8.3.2~8.3.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び名(mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋()</td> <td>※重ね継手</td> <td></td> </tr> </table> <p>鉄筋の重ね継手の長さ、継手位置</p> <p>※図示</p> <p>鉄筋の定着長さ、定着方法</p> <p>※図示</p>	部位	継手方法	呼び名(mm)	柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手		その他の鉄筋()	※重ね継手		
部位	継手方法	呼び名(mm)										
柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手											
その他の鉄筋()	※重ね継手											

8-1	1	コンクリートの種類及び強度	<p>※図示(普通コンクリートの気乾単位容積質量は2.3t/m³程度とする)</p> <p>※図示(普通コンクリートの設計基準強度)</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m³)</th> <th>スラップ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>Fc(N/mm²)</td> <td>(t/m³)</td> <td>(cm)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・21</td> <td>2.3程度</td> <td>18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・18</td> <td>2.3程度</td> <td>18</td> <td></td> </tr> </table> <p>軽量コンクリートの設計基準強度等 [表8.9.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度</th> <th>種 別</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m³)</th> <th>スラップ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>Fc(N/mm²)</td> <td></td> <td>(t/m³)</td> <td>(cm)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・21</td> <td>・1種 ・2種</td> <td>1.9程度</td> <td>18</td> <td></td> </tr> </table>	設計基準強度	気乾単位容積質量 (t/m ³)	スラップ (cm)	適用箇所	Fc(N/mm ²)	(t/m ³)	(cm)		・21	2.3程度	18		・18	2.3程度	18		設計基準強度	種 別	気乾単位容積質量 (t/m ³)	スラップ (cm)	適用箇所	Fc(N/mm ²)		(t/m ³)	(cm)		・21	・1種 ・2種	1.9程度	18	
	設計基準強度	気乾単位容積質量 (t/m ³)	スラップ (cm)	適用箇所																														
	Fc(N/mm ²)	(t/m ³)	(cm)																															
	・21	2.3程度	18																															
・18	2.3程度	18																																
設計基準強度	種 別	気乾単位容積質量 (t/m ³)	スラップ (cm)	適用箇所																														
Fc(N/mm ²)		(t/m ³)	(cm)																															
・21	・1種 ・2種	1.9程度	18																															
2	コンクリートの類別	<p>類別 ※I類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)</p> <p>・II類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)</p> <p>[表8.1.1]</p>																																
3	セメント	<p>種類</p> <p>※普通ポルトランドセメント (JIS R 5210) 使用部位()</p> <p>・高炉セメント(A種 ・B種) (JIS R 5211) 使用部位()</p> <p>・シリカセメントA種 (JIS R 5212) 使用部位()</p> <p>・フライアッシュセメント(A種 ・B種) (JIS R 5213) 使用部位()</p> <p>・普通エコセメント (JIS R 5214) 使用部位()</p> <p>[表8.2.3]</p>																																
4	骨材	<p>砕石及び砂のアルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B</p> <p>アルカリシリカ反応試験成績表を提出する事。</p>																																
8-2	1	コンクリートの種類及び強度	<p>※図示(普通コンクリートの気乾単位容積質量は2.3t/m³程度とする)</p> <p>※図示(普通コンクリートの設計基準強度)</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m³)</th> <th>スラップ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>Fc(N/mm²)</td> <td>(t/m³)</td> <td>(cm)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・21</td> <td>2.3程度</td> <td>18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・18</td> <td>2.3程度</td> <td>18</td> <td></td> </tr> </table> <p>軽量コンクリートの設計基準強度等 [表8.9.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度</th> <th>種 別</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m³)</th> <th>スラップ (cm)</th> </tr></table>	設計基準強度	気乾単位容積質量 (t/m ³)	スラップ (cm)	適用箇所	Fc(N/mm ²)	(t/m ³)	(cm)		・21	2.3程度	18		・18	2.3程度	18		設計基準強度	種 別	気乾単位容積質量 (t/m ³)	スラップ (cm)											
	設計基準強度	気乾単位容積質量 (t/m ³)	スラップ (cm)	適用箇所																														
	Fc(N/mm ²)	(t/m ³)	(cm)																															
	・21	2.3程度	18																															
・18	2.3程度	18																																
設計基準強度	種 別	気乾単位容積質量 (t/m ³)	スラップ (cm)																															

項目	内容	建築	機械				備考	項目	内容	建築	機械				備考	項目	内容	建築	機械				備考
			衛生	空調	昇降機	別途					衛生	空調	昇降機	別途					衛生	空調	昇降機	別途	
19 小荷物専用昇降機	(1) 小荷物用リフト本体設備						24 外構関係	(1) 敷地境界外の外構整備						1 中型搬送機	(1) 中型搬送設備								
	(2) マシンルーム穴明工事							(2) 敷地境界外のサインやり替え								A. 昇降機架設工事							
	(3) 出し入れ口の呼びボタン							(3) 翻箱道具								B. 床、壁開口部挿入、穴明、補強及び点検扉、天井点検扉							
	(4) 点検扉(鍵付)							(4) 外灯								C. 吊りフック取付及び開口部延長し後仕上							
	(5) ビット防水仕上げ工事							(5) 屋外オイルタンク躯体								D. キャットウォーク及びシャフト立柱鉄骨							
	(6) 昇降路内機器取付用ファスナー、ビーム、柱等の設置工事							(6) 屋外オイルタンク本体								(11) 気送管搬送設備							
	(7) 三方枠又は四方枠、踏板															A. 床、築貫通スリーブ入れ及び築貫通スリーブ入れ							
	(8) 各階出し入れ口の穴明工事															B. 床、築貫通部補修及び天井点検口							
	(9) 出し入れ口関係機器取付後の出し入れ口周りの壁及び床仕上げ工事															C. 機械室構内仕切、基礎防音工事							
	(10) 各階出し入れ口周囲のモルタル又はロックウール詰め工事															D. ステーション部遮断用仕切壁							
	(11) 出し入れ口関係機器取付用鋼材の設置工事															(1) 医療機器用アンカーボルト及び架台の取付							
	(12) 機械室制御盤までの動力電源・接地線の引込工事															(2) 液断タンク用基礎及び引い							
20 仕上	(1) 壁ボード類、下地の切込及び補強						25 解体関係	(1) 使用していない配管記録・ダクトの解体						2 気送管搬送設備	(1) 医療機器用アンカーボルト及び架台の取付								
	(2) 鋼板パネルの切込及び補強							(2) 使用中の配管記録・ダクトの盛替								(2) 液断タンク用基礎及び引い							
	(3) ガラス・鉄板・石貼等の設備器具 取付用穴あけ							(3) 解体又は改修する建物等の機器のうち、再使用するものの取外し								(3) 点検レール、天井吊り点検フック							
	(4) 機械室の吸音材内張り															(4) 遺体冷蔵庫							
	(5) 機械室・厨房等の軽量コンクリート															(5) 蒸留水製造装置、RO製造装置							
	(6) 床暖房															(6) 滅菌水製造装置							
	(7) フリーアクセスフロア															(7) 手術用消毒手洗装置							
21 電話設備	(1) PBX改修、電話機						26 その他	(1) カーテン・増補						3 医療機器等関連	(11) 歯科用コンプレッサー及び吸引ブローア及び配管								
	(2) 既存MFから事務室端子盤間の配管							(2) プラインド・ロールスクリーン								(12) 撮影灯							
	(3) 同上配線								(3) 電動ブラインド・電動ロールスクリーン								(13) シャーカステン						
	(4) 端子盤								(4) 視聴覚設備スクリーン								(14) 便器消毒器						
	(5) 2次創設管、ボックス、プレート								(5) 電動視聴覚設備スクリーン								(15) 自動現象装置及びミキシングバルブ、音量計、フィルター						
	(6) 同上配線、モジュラージャック								(6) (1)・(3)~(6)ボックス								(16) 水治療用特殊浴槽						
22 情報設備	(1) LANケーブル						26 その他	(7) 電動ボタン						3 医療機器等関連	(17) 病棟機械式浴槽及びバス浴槽								
	(2) 光ケーブル、HUB、交換装置							(8) テレビハンガー・プロジェクター昇降装置								(18) 各種機能訓練器具							
	(3) 情報機器用配管工事								(9) 視聴覚設備								(19) 各種機能訓練器具増強・取付						
	(4) 光伝送装置及び収納ボックス								(10) 移動機仕切壁(スライディングウォール)								(20) 内視鏡洗浄器具・排気装置						
	(5) 情報機器(ルータ、サーバー、SW-HUB、無線LANアクセスポイント等)								(11) 掲示板								(21) 超音波洗浄装置						
	(6) 19インチラック								(12) ビクチャーレール								(22) X線検査撮影装置等						
	(7) 19インチラック2次創設管、ボックス、プレート(ブランクチップ)								(13) 移動書架								(23) 放射線治療装置						
	(8) 同上配線、モジュラージャック								(14) 造作家具								(24) 放射線治療室遮断扉						
	(9) 管理用PC								(15) 電気時計								(25) 放射線治療室重畳遮断扉本体、先物金物						
23 水廻り	(1) 手洗器(陶器)						26 その他	(16) 什器・備品						3 医療機器等関連	A. 同上電源供給								
	(2) 洗面カウンター							(17) 既存家具・什器・備品の移設・接続・処分								B. 同上リミットスイッチ、二次創設管・配線							
	(3) 洗面化粧台							(18) サイン(室名表示・階段表示・案内板等)									C. 直引給湯						
	(4) 流し台							(19) サイン(内照式)									(26) RI関係諸重畳遮断扉本体						
	(5) 身障者用手摺							(20) 避難器具									A. 同上電源供給接続						
	(6) ベビーシート・ベビーチェア							(21) 消火器									B. 同上リミットスイッチ、二次創設管・配線						
	(7) 多目的シート							(22) 消火器ボックス										C. 直引給湯					
	(8) 便器シートBOX・ダストBOX・サニタリーBOX							(23) 消火器ボックス									(27) 病室床頭ユニット類						
	(9) ベーパータオルホルダー							(24) AEDボックス									A. 床頭台						
	(10) ジェットタオル							(25) 厨房機器及び接続									B. 壁面コンソールユニット						
	(11) 水石継ぎ							(26) 各バスボックス本体									C. ナースコール機付属機器取付け						
	(12) 塵・姿勢機							(27) 給茶器・ウォータークーラー									D. ナースコール機付属機器取付け						

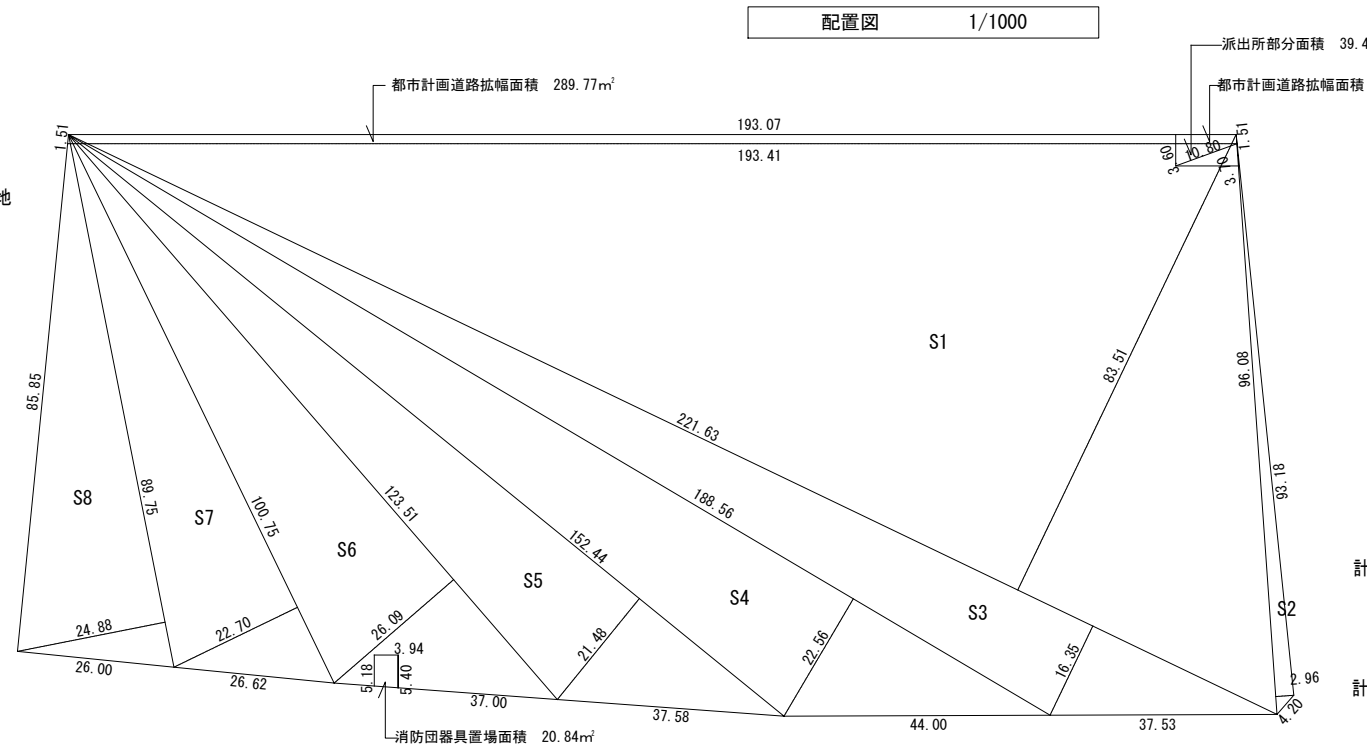
工事概要・建物概要	
工事名称	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館4階生殖医療センター改修工事
工事場所	神奈川県横浜市南区浦舟町4丁目57番地
建物用途	病院
用途地域	商業地域
防火地域指定	防火地域
日影規制	規制なし
前面道路幅員	北側：22.0m（都市計画道路で幅員25.0mに拡幅予定有り） 東側：9.5m 南側：9.7m 西側：4.0m
敷地面積	18,493.50 m ²
法定建ぺ率	100%
法定容積率	400%



案内図

建物名：横浜市立大学附属市民総合医療センター
工事場所：神奈川県横浜市南区浦舟町4丁目57番地

配置図 1/1000



敷地求積図 1/1250

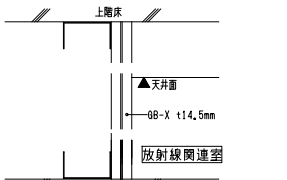
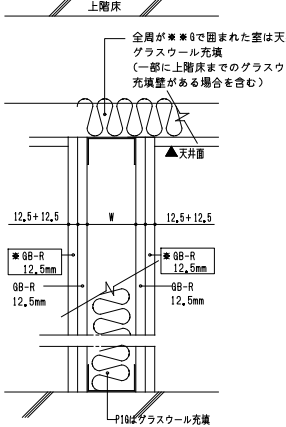
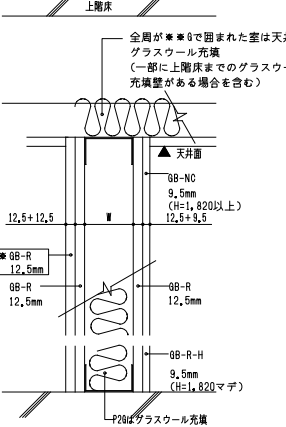
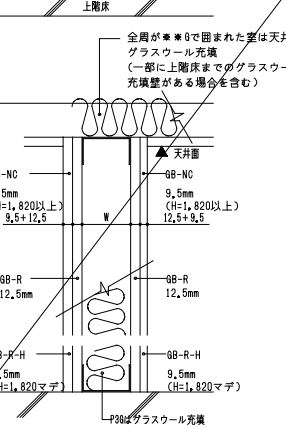
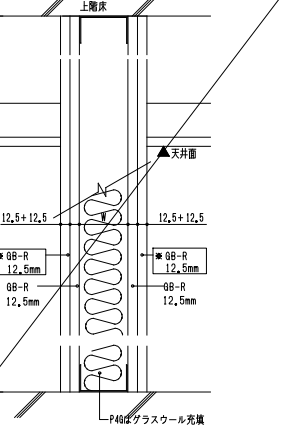
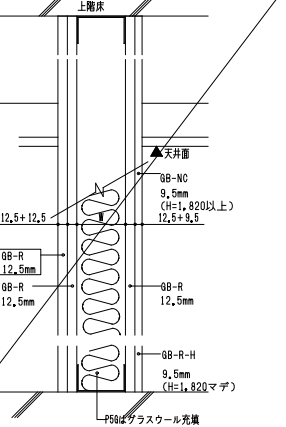
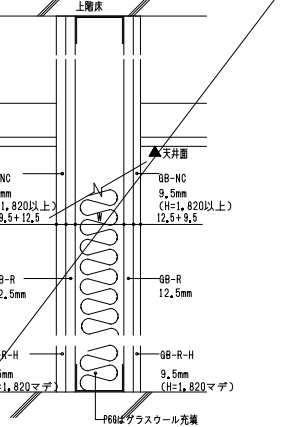
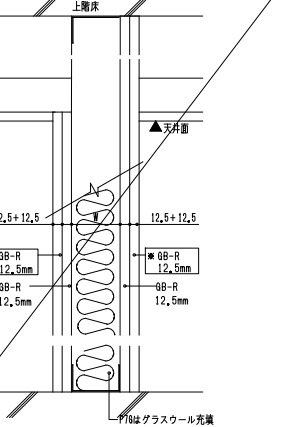
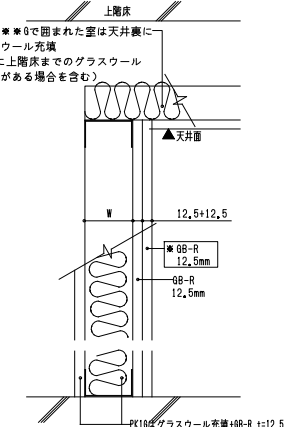
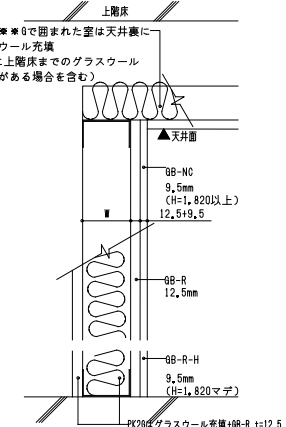
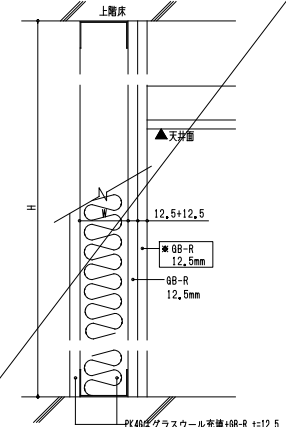
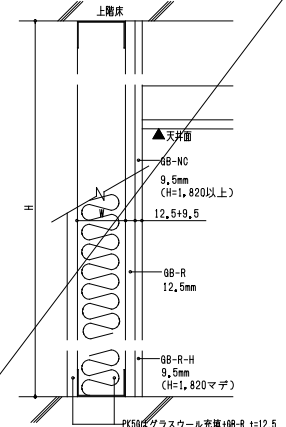
敷地求積表

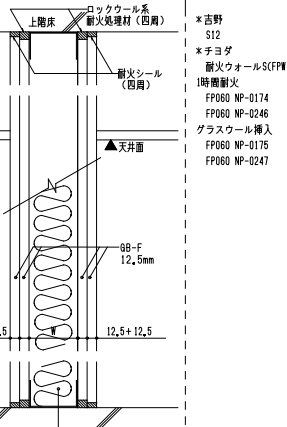
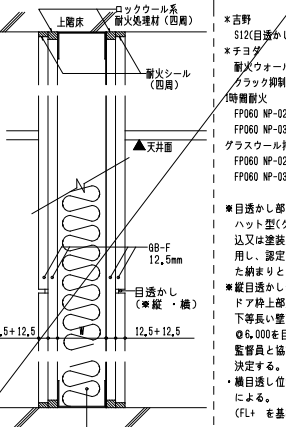
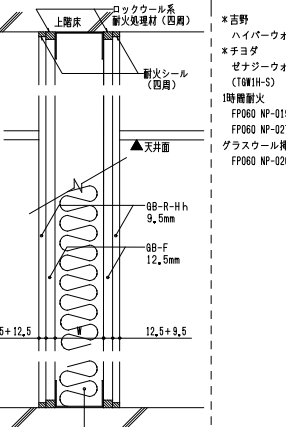
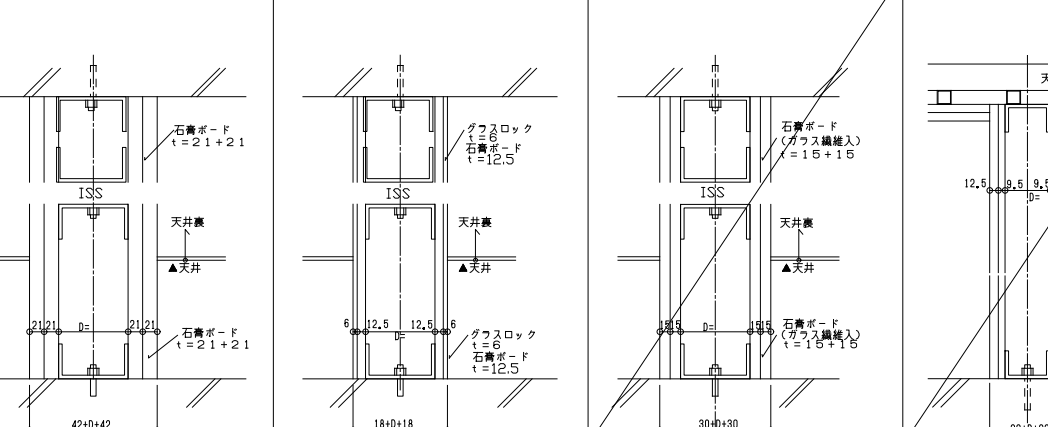
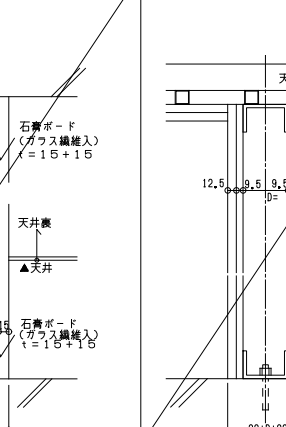
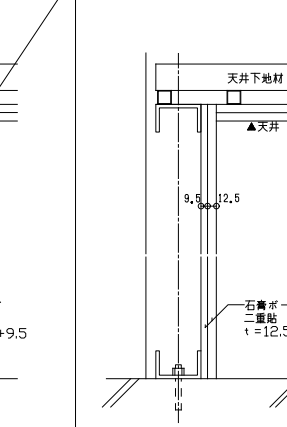
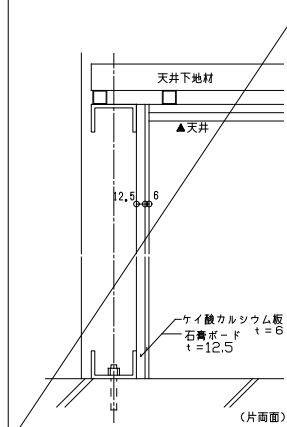
符号	底辺	高さ	倍面積	面積 (m ²)
S1	221.63	83.51	18,508.3213	
S2	96.08	2.96	284.3968	
S3	221.63	16.35	3,623.6505	
S4	188.56	22.56	4,253.9136	
S5	152.44	21.48	3,274.4112	
S6	123.51	26.09	3,222.3759	
S7	100.75	22.70	2,287.0250	
S8	89.75	24.88	2,232.9800	
				37,687.0743
				× 1/2
				18,843.5371

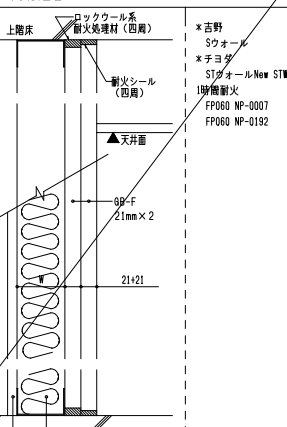
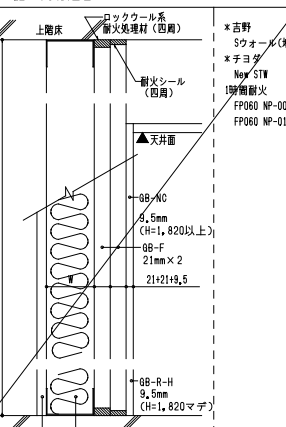
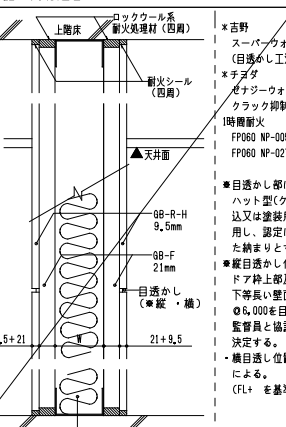
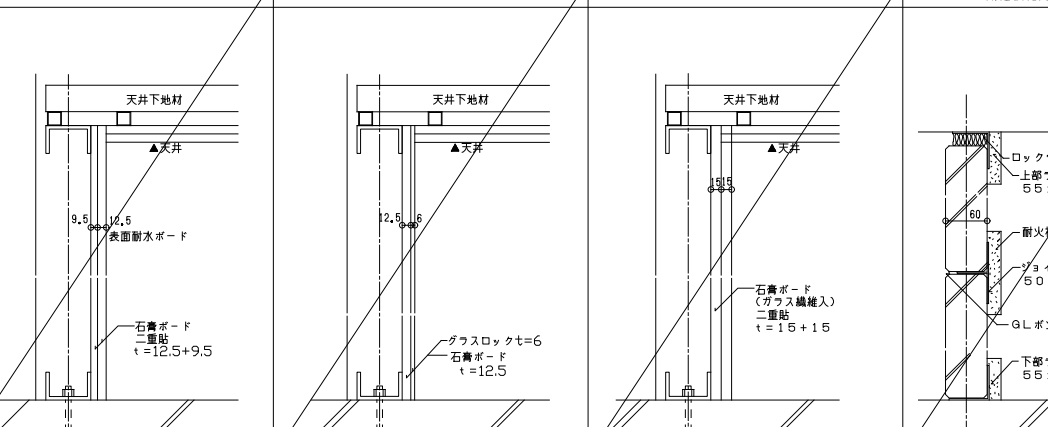
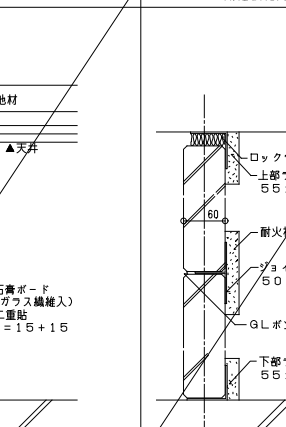
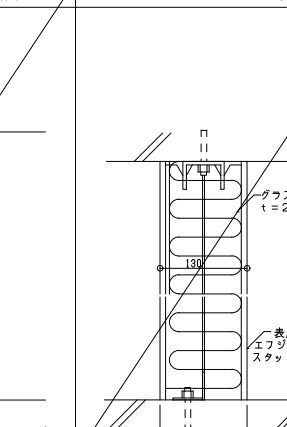
計画敷地面積 = 現況敷地面積 - 消防団器具置場面積 - 派出所部分面積
= 18,843.5371 - 20.84 - (39.42+15.30)
= 18,767.9771
(18,767.97)

計画道路を除いた面積 = 計画敷地面積 - 計画道路面積
= 18,767.97 - (289.97-15.30)
= 18,493.50





一般記号凡例				不燃・準不燃・難燃材料等の記号凡例及び認定番号(製品名・認定番号の記載は同等品以上として扱うこと)				記号凡例リスト				記号凡例リスト(外構)										
記号	名称	記号	名称	記号	名称	厚・寸法等	認定番号	JIS規格	特記事項	種別	表示記号	呼出記号	種別	表示記号	呼出記号	種別	表示記号	呼出記号				
W	幅	RC	鉄筋コンクリート	GB-NC	不燃積層石膏ボード(不燃)	9,5	NM-0441・NM-2817	A6901		一般間仕切壁	壁符号	壁符号は 間仕切りに よる	縦型ルーフレイン(TRD) *特記無き限り100φ用	TBD	TRD150φ	雨水管(ヒューム管) *xxxは管径を示す	---xxx---	▲	地先境界ブロック *xxxはサイズを示す	E-111	▲	
L	長さ	ALC	軽量気泡コンクリートパネル(ALC板)	GB-R	石膏ボード(不燃)	12,5, 15	NM-8619	A6901		コンクリート(柱・壁) 【1/50以上】	コンクリート		中継ルーフレイン(CRD) *特記無き限り100φ用	CRD	CRD150φ	雨水管(VP管) *xxxは管径を示す	---VP---	▲	緑石ブロック *xxxはサイズを示す	E-111	▲	
D	奥行	PC	プレキャストコンクリート	GB-F	強化石膏ボード(不燃)	12,5, 15, 21	NM-8615	A6901		プレキャストコンクリート(PC) 【1/50以上】	PC		横型ルーフレイン(YRD) *特記無き限り100φ用	YRD	YRD150φ	雨水会所 *コンクリート蓋付	■	▲	L型削溝(PC製) *xxxはサイズを示す *削溝は歩道切下部を示す	E-111	▲	
H	高さ	EOP	押出成形セメント板	GB-R-H	普通硬質石膏ボード(不燃) 【吉野 杉板・スナーク・ナツ】	9,5, 12,5	NM-9645・NM-1139	A6901		軽量気泡コンクリートパネル(ALC) 【1/50以上】	ALC		壁紙(DP) *特記無き限り100φ	DP	DP150φ	雨水会所 *グレーチング蓋付	■	▲	U字溝(PC製) *xxxはサイズを示す	E-111	▲	
φ	直径	GB	コンクリートブロック	GB-R-Hh	普通硬質石膏ボード(不燃) 【吉野 杉板・スナーク・ナツ】	9,5, 12,5	NM-1908・NM-1139	A6901		押出成形セメント板(EOP) 【1/50以上】	EOP		オーバーフロー管 *特記無き限りSOS 50φ 2-UE	OF50φ		雨水会所 *化粧蓋付	○	▲	U字溝(既製PC) *グレーチング蓋付 *xxxはサイズを示す	E-111	▲	
R	半径	NC	嵩上コンクリート(普通コンクリート)	GB-X	鉛板石膏ボード(不燃)	12,5+2	NM-8619	A6901		コンクリートブロック(CB) 【1/50以上】	CB		横引き雨水管(天井内) *特記無き限り100φ	150φ	→---	雨水会所 *スリット蓋付	■	▲	U字溝(既製PC) *コンクリート蓋付 *xxxはサイズを示す	E-111	▲	
⊙	間隔	SLベ	セルフレベリング	GB-S	耐水石膏ボード(不燃)	12,5	NM-9639・NM-9346	A6901		軽量鉄骨下地			横引き雨水管(床下) *特記無き限り100φ	床下150φ	→---	雨水会所 *マンホール蓋付	■	▲	車止めブロック	□	□	
t	厚さ	LGS	軽量鉄骨	GB-D	化粧石膏ボード(不燃)	9,5	NM-1864・NM-2816	A6901		スチールパーティション(可動間仕切)	SP	▲	雨水浸透ます 有孔コンクリート製・鉄製蓋付	○	▲	雨水浸透ます 有孔コンクリート製・鉄製蓋付	○	▲	車止めポール	○BP		
CH	天井高さ	St	スチール	GB-W	化粧石膏ボード(木目・模様・色紙等をもつて製造・販売停止)	9,5	QM-9824	A6901		シャッター	SS		カーテンレール	Or	▲	アスファルト舗装	■	▲				
FL	基準床面(床仕上げレベル)	SUS	ステンレス	GB-W(不)	化粧石膏ボード(木目・模様・色紙等をもつて製造・販売停止)	12,5	NM-0127	A6901		石材 【1/20以上】			点滴フック	f	▲	透水性アスファルト舗装	■	▲				
GL	基準地盤面	AL	アルミニウム	GB-PD	化粧石膏吸音ボード(不燃) 【吉野 スクエーション・D】	9, 12	NM-0879	A6301		吸音材 【1/20以上】			点滴レール	l	▲	遮熱性アスファルト舗装	■	▲				
SL	スラブ天端レベル	PL	プレート	DR	ロックウール化粧吸音板	9, 12	NM-8585	A6301		断熱材 【1/20以上】			壁面保護材	○	▲	コンクリート舗装	■	▲				
CL	センターライン	FB	金属平鋼(フラットバー)	FG	繊維強化石膏ボード【ABA FGボード】 【AA FGボード】	6	NM-9028			固定防煙垂壁 *xxxは高さを示す	---xxx---		壁面台車槽	Op	▲	透水性コンクリート舗装	■	▲				
BW	ベンチマーク	SS	スチール重量シャッター	KB	ケイ酸カルシウム板(不燃) 【ABA ハイラックW】	6, 8	NM-2773	A5430		可動防煙垂壁および操作ボックス *xxxは高さを示す	---ht---	▲	壁付手摺	---ht---	▲	遮熱性コンクリート舗装	■	▲				
TP	東京湾中等潮位	LS	スチール軽量シャッター	KB	化粧ケイ酸カルシウム板 【ABA ステート #400/500】	6	NM-3073・NM-3345			点状床誘導表示	○	▲	床状床誘導表示	○	▲	弾性舗装	■	▲				
OP	大阪湾最低標準潮位	SP	スチールパーティション(可動間仕切)	KB	化粧ケイ酸カルシウム板 【ABA ステート #400/500】	6	NM-3073・NM-3345			線状床誘導表示	■	▲	線状床誘導表示	■	▲	玉砂利・玉砂利舗装	○	▲				
DS	ダクトスペース	MP	スライディングウォール(移動間仕切)	QWB	グラスウールボード(ガラスクロス巻き製品)	50, 100	NM-8606	A9504・A6301		補助散水栓・屋内消火栓ボックス *特記無き限り設置工事	▲	▲	補助散水栓・屋内消火栓ボックス (消火栓ボックス併設工事) *特記無き限り設置工事	▲	▲	埋込型消火器ボックス	▲	▲				
PS	パイプスペース	FA	フリーアクセスフロア	VC	合成高分子系断熱材 【エスケロシセラミライトエコQ】	20, 30	NM-0916			半埋込型消火器ボックス	▲	▲	半埋込型消火器ボックス	▲	▲	床型消火器	▲	▲				
EPS	電気配管スペース	SF	乾式遮音二重床	VCC(準不)	ビニルクロス(準不燃)		QM-xxxx			タラップ	▲	▲	タラップ	▲	▲	背かご付タラップ	▲	▲				
EV	エレベーター	EXP-J	エキスパンションジョイント	WVB	メラミン不燃化粧板 【アイカ工業 セラール】	3	NM-2183			機械基礎	▲	▲	機械基礎	▲	▲	排水溝	▲	▲				
SEV	小荷物専用昇降機	A防	アスファルト防水	WVS	化粧塩ビシート(不燃)		NM-xxxx			排水溝(グレーチング蓋)	▲	▲	排水溝(グレーチング蓋)	▲	▲							
ESC	エスカレーター	AS防	改質アスファルトシート防水	WVB(不)	天然木繊維化粧板(不燃)	6,0	NM-xxxx			階段	▲	▲	階段	▲	▲							
UB	ユニットバス	M防	モルタル防水	WVB(準不)	天然木繊維化粧板(準不燃)	6,0	QM-xxxx															
US	ユニットシャワー	S防	合成高分子系ルーフィングシート防水																			
SK	掃除用流し	塗防	塗膜防水																			
V	塩ビ	布防	塗布防水																			
VS	化粧塩ビシート	FLP	塗床																			
RD	ルーフレイン	GRC	ガラス繊維強化セメント																			
DP	とい	FRP	繊維強化プラスチック																			

<p>間仕切壁リスト符号凡例および共通事項 (部位毎の種類は平面図又は平面詳細図に符号を明示)</p> <p>P : 一般間仕切壁 ボード片面張り PK : 一般間仕切壁 ボード片面張り T : 耐火間仕切壁 ボード片面張り(耐火認定番号明示) TK : 耐火間仕切壁 ボード片面張り(耐火認定番号明示) TS : 耐火・遮音間仕切壁 (耐火認定番号、遮音性能、遮音認定番号明示) G : グラスウール充填 (簡易遮音・特記なき限り t=50mm、24kg/m³) X : X線遮蔽間仕切壁</p> <p>特記事項</p> <p>① 仕上表の下端は、特記なき限り間仕切壁リスト符号によるボード下地とする。 ② LGSのW寸法は特記仕様書による。 ③ 耐火間仕切壁は柱・梁・スラブ取合い部及びダクト等貫通部について、適切な区画処理を行うこと。</p> <p>間仕切壁リスト図中「※印」表記のあるボードの取り扱い</p> <p>① 仕上表、壁下地裏に下地ボードが明記されている場合は、当該上張ボードを指定の下地ボードに読み替えるものとする。 ② 仕上表において、壁仕上がMVB・WVB・化粧KBで範囲が天井までの場合、当該上張りボードを明記された壁仕上に読み替えるものとする。 ただし、壁下地裏に下地ボードが明記されている場合は上項①を準用の上指定の壁仕上とする。 ③ 上記壁仕上範囲が天井より低い場合(隠壁等)は増し張りとする。(仕上寸法は仕上表による)</p> <p>末尾に X がつく間仕切り符号 (X線遮蔽間仕切壁)</p>  <p>① 各間仕切り符号の末尾に X が付くものは、X線遮蔽間仕切壁とし、放射線防護室側の下張ボードをGB-X t=14.5に置きかえるものとする。 ② 特記なき限り鉛厚は2mm、鉛は上階スラブまでとする。厚みが異なる場合は末尾に表記【3mm例】P4X(3)</p>	<p>P1 (簡易遮音)</p> 	<p>P2 (片側耐衝撃)</p> 	<p>P3 (高側耐衝撃)</p> 	<p>P4 (簡易遮音)</p> 	<p>P5 (片側耐衝撃)</p> 	<p>P6 (両側耐衝撃)</p> 	<p>P7 (簡易遮音)</p> 
	<p>PK1 (片面張り)</p> <p>PK1G (上記+簡易遮音)</p> 	<p>PK2 (片面張り耐衝撃)</p> <p>PK2G (上記+簡易遮音)</p> 	<p>PK4 (片面張り)</p> <p>PK4G (上記+簡易遮音)</p> 	<p>PK5 (片面張り耐衝撃)</p> <p>PK (上記+簡易遮音)</p> 			

<p>T1(1時間耐火)</p> <p>T1G(上記+簡易遮音)</p> 	<p>T2(1時間耐火・目透かし工法)</p> <p>T2G(上記+簡易遮音)</p> 	<p>T3(1時間耐火・耐衝撃)</p> <p>T3G(上記+簡易遮音)</p> 	<p>旧間仕切りリスト</p> <p>[TA](2時間耐火)</p> <p>[TB](1時間耐火)</p> <p>[TC](1時間耐火)(遮音壁)</p> 	<p>[S1]</p> 	<p>[S6]</p> 	<p>[S7]</p> 	
--	---	---	---	---	---	---	--

<p>TK1(片面張り1時間耐火)</p> <p>TK1G(上記+簡易遮音)</p> 	<p>TK2(片面張り1時間耐火・片側耐衝撃)</p> <p>TK2G(上記+簡易遮音)</p> 	<p>T4(1時間耐火・耐衝撃・目透かし工法)</p> <p>T4G(上記+簡易遮音)</p> 	<p>旧間仕切りリスト</p> <p>[S9]</p> <p>[S8]</p> <p>[S3]</p> 	<p>[U1](ガラス繊維強化発泡壁)(2時間耐火)</p> 	<p>[T01](スタッドレスパネル)(2時間耐火)</p> 	<p>仕様表</p> <table border="1"> <tr><td>G</td><td>グラスウール</td><td>t=50</td></tr> <tr><td>K</td><td>ケイカル</td><td>t=6</td></tr> <tr><td>N</td><td>鉛</td><td>t=2</td></tr> <tr><td>T</td><td>タイル</td><td></td></tr> <tr><td>Y</td><td>天井裏のヨコベ</td><td></td></tr> <tr><td>SP</td><td>スチールパイプ・ジョイント</td><td></td></tr> <tr><td>W</td><td>木製パネル</td><td>t=6</td></tr> <tr><td>D</td><td>ディックフネン</td><td></td></tr> </table>	G	グラスウール	t=50	K	ケイカル	t=6	N	鉛	t=2	T	タイル		Y	天井裏のヨコベ		SP	スチールパイプ・ジョイント		W	木製パネル	t=6	D	ディックフネン		
G	グラスウール	t=50																													
K	ケイカル	t=6																													
N	鉛	t=2																													
T	タイル																														
Y	天井裏のヨコベ																														
SP	スチールパイプ・ジョイント																														
W	木製パネル	t=6																													
D	ディックフネン																														

【凡例】

	改修範囲(白抜き)
	工事対象範囲外を示す
	仮囲 仮設間仕切(CLS+GB-R12.5×2片面張り GW充填)
	工事動線(職人・資材・廃材)



【凡例】

	改修範囲(白抜き)
	工事対象範囲外を示す

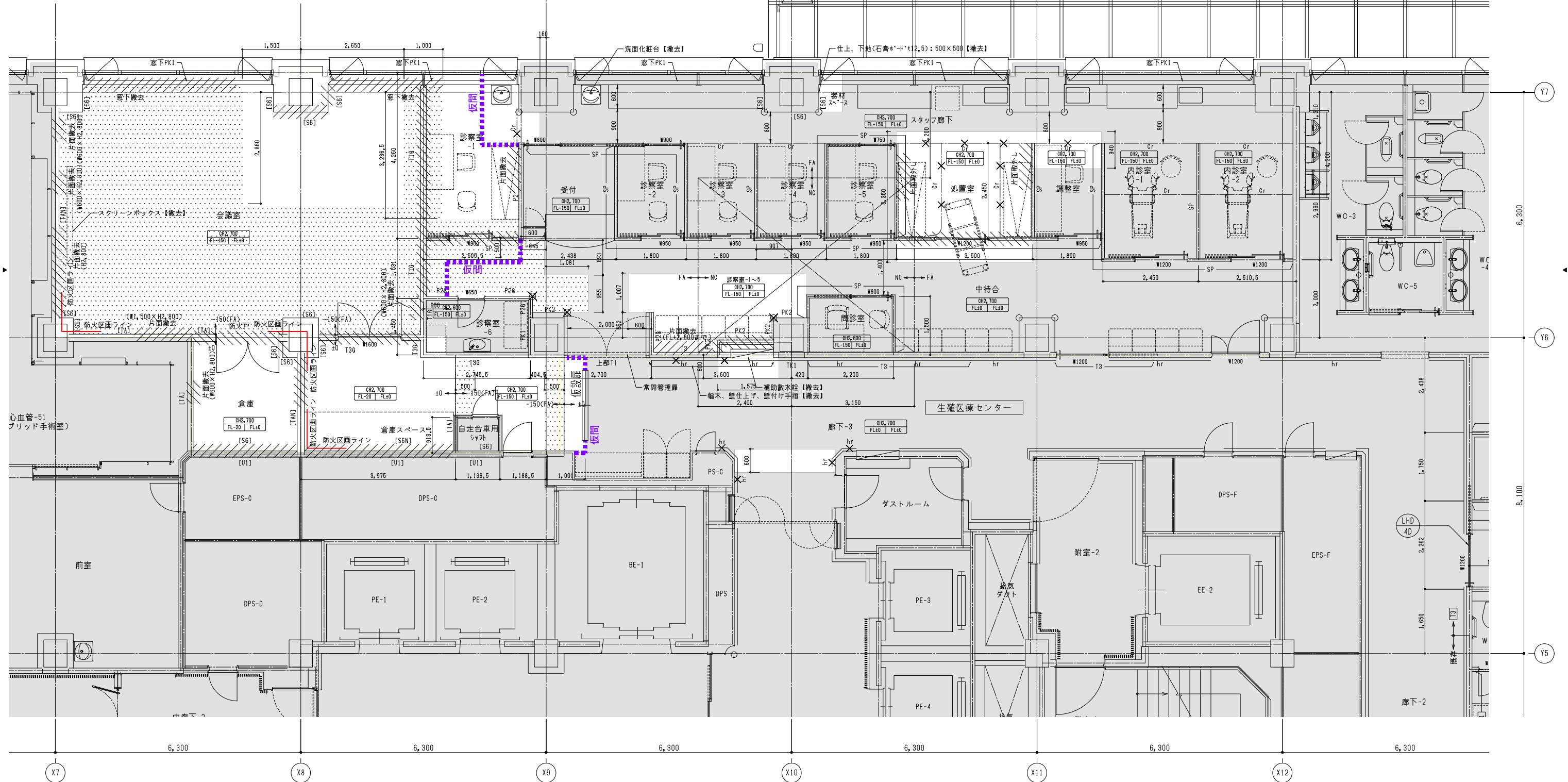


【凡例】

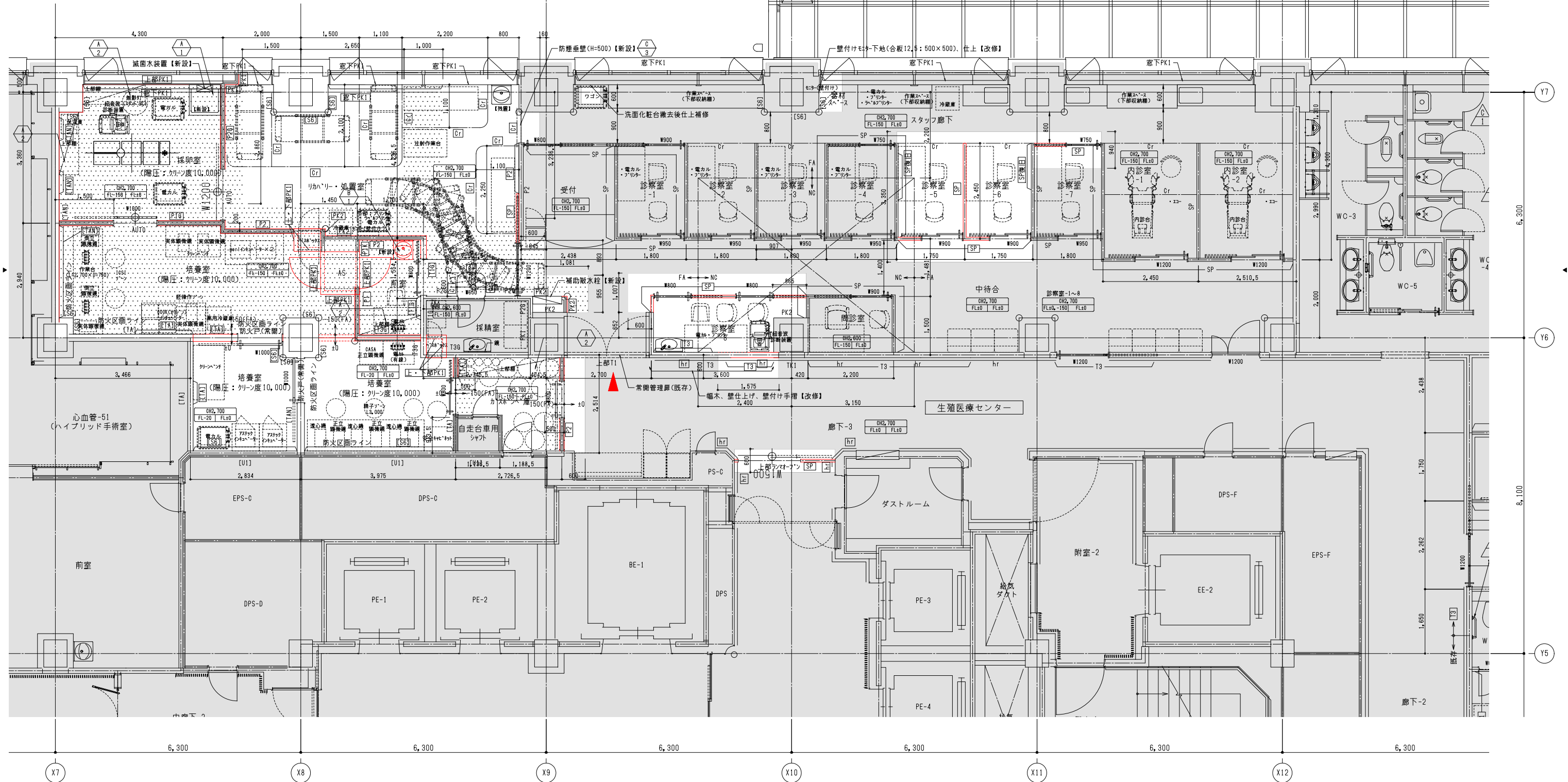
- 白抜範囲が当該階改修範囲
- 当該階工事対象範囲外
- キャットウォークを示す

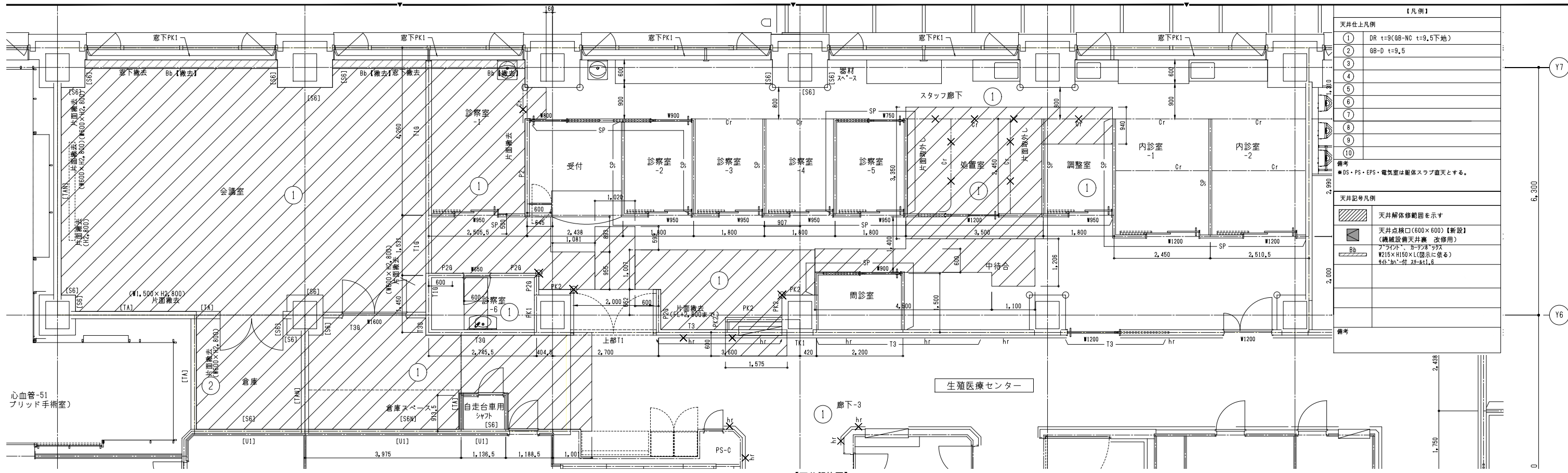


記号凡例		詳細記号	撤去表示	記号凡例	詳細記号	撤去表示
既存壁【撤去】 						
一般簡仕切壁 コンクリート【柱・壁】 [内壁(DS, PS, EPSは除く)、 外壁面(断熱材t15+0L壁)] スチールパーティション FA撤去範囲を示す		壁符号 	符号 	白抜範囲を工事対象範囲とする 工事対象範囲外を示す 仮設簡仕切 仮設扉	 	
コーナーガード(塩ビ) カーテンレール 壁付手摺(1段)		 	 	特記事項 ・壁符号: 囲いのない壁符号、[]の壁符号は、既存壁を示す。 ・壁符号: []で囲った壁符号は、今回新設する壁を示す。 ・仮設簡仕切の仕様はPK10、仮設扉はアルミ製(W=1,800×H=2,000) ・既存簡仕切撤去(軽鋼鉄骨壁、RC壁)に伴いコック床取合い部は 目荒しの上、無収縮モルタル(t10)にて補修のこと。		

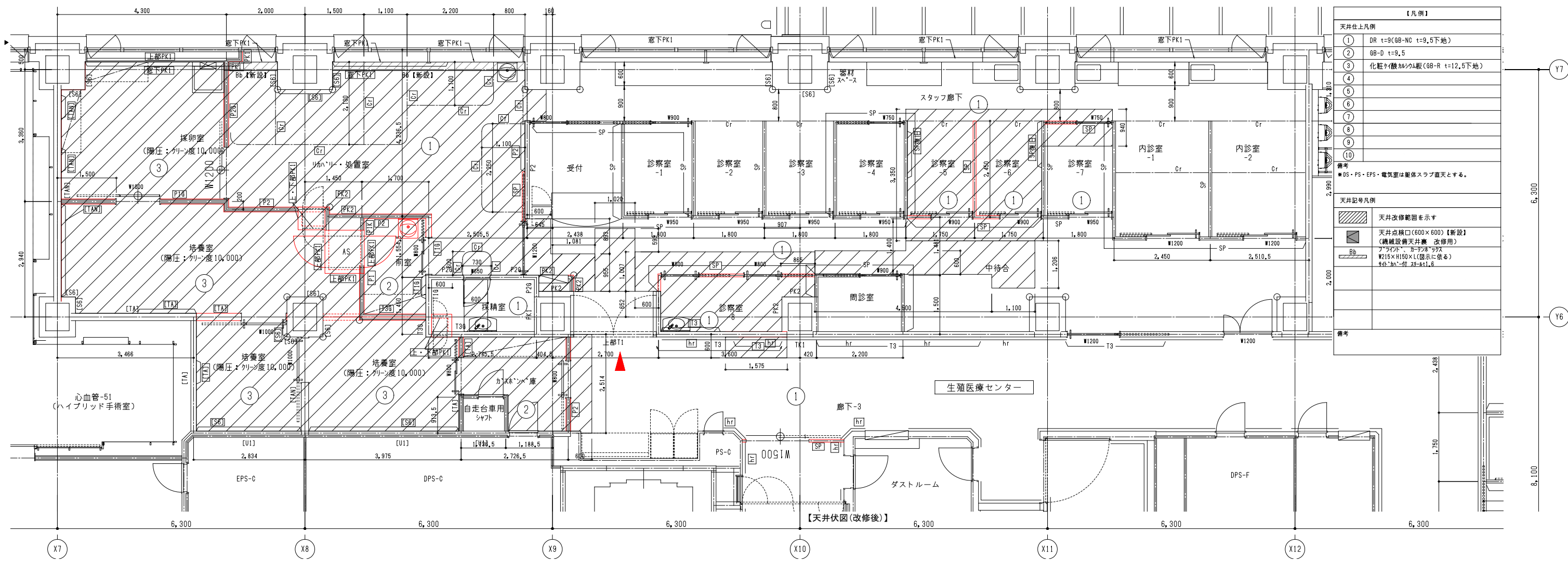


記号凡例		新設表示		記号凡例		新設表示	
○ C X	雑【新設】						
*符号下部に内容を記載							
一般簡仕切壁 コンクリート【柱・壁】 [内壁(DL壁・DS, PS, EPSは除く)・ 外壁面(断熱材+15+0L壁)] スチールパーティション FA新設範囲を示す	壁符号 SP	既設	白抜範囲を工事対象範囲とする				
コーナガード(掘ビ)	C-7b		工事対象範囲外を示す				
カーテンレール 壁付手摺(1段)	Cr hr	C-2 C-1					
特記事項 ・壁符号: 囲いのない壁符号, []の壁符号は、既存壁を示す。 : 囲った壁符号は、今回新設する壁を示す。							

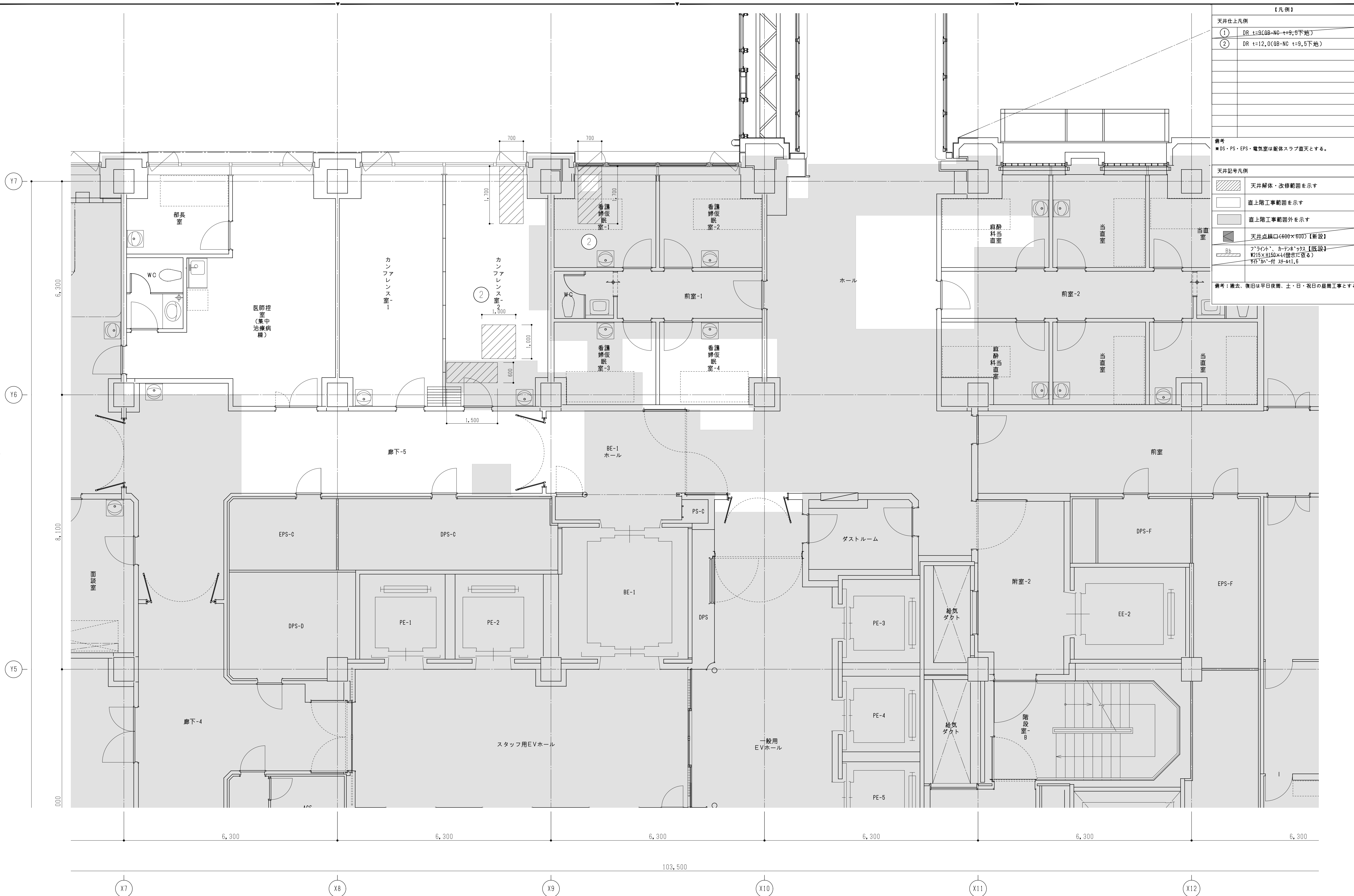




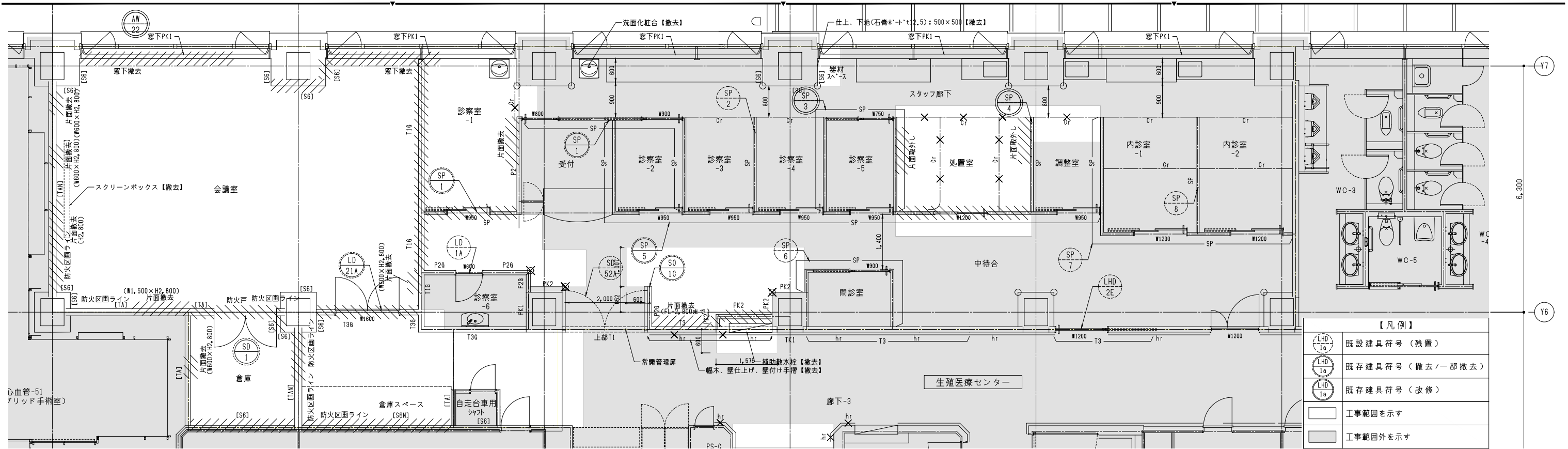
【天井解体図】



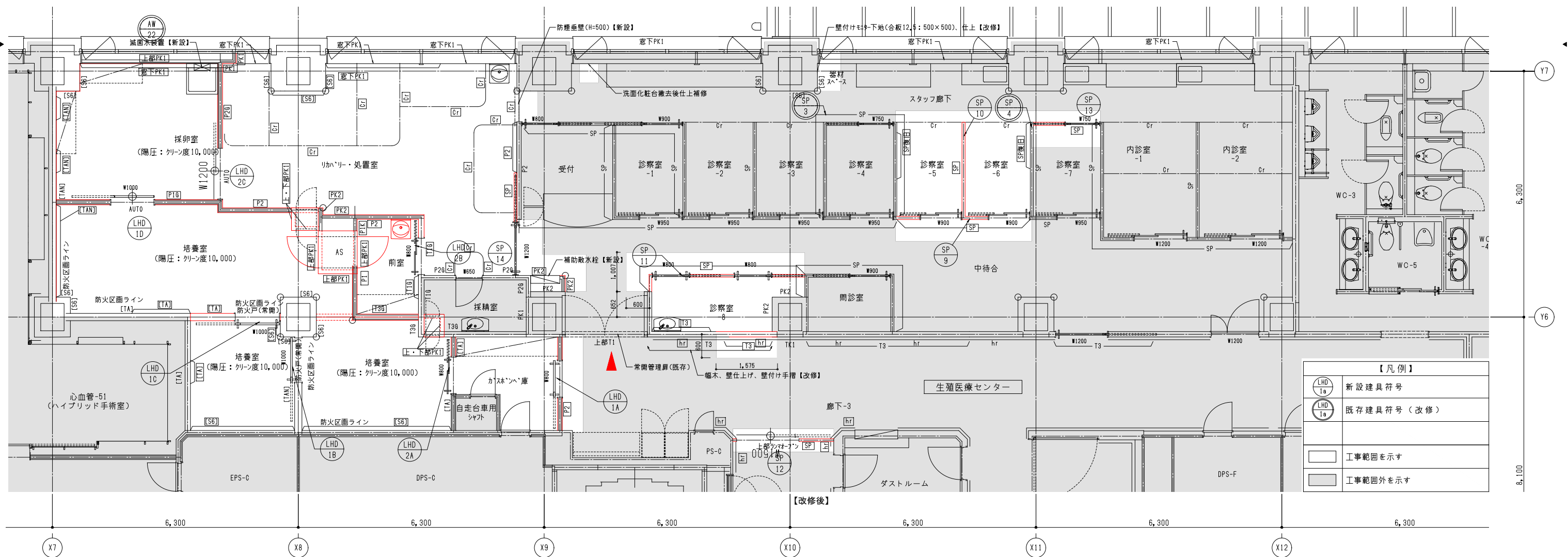
【天井伏図(改修後)】



【凡例】	
天井仕上凡例	
①	DR t=9.0(GB-NC t=9.5下地)
②	DR t=12.0(GB-NC t=9.5下地)
備考 ※DS・PS・EPS・電気室は躯体スラブ直天とする。	
天井記号凡例	
	天井解体・改修範囲を示す
	直上階工事範囲を示す
	直上階工事範囲外を示す
	天井点検口(600×600)【新設】
	フラインド、カーネン'タタ【既設】 W215×H150×L(隠蔽に依る) Y付'加'付 ｽﾌﾟﾙt1.8
備考：撤去、復旧は平日夜間、土・日・祝日の昼間工事とする	



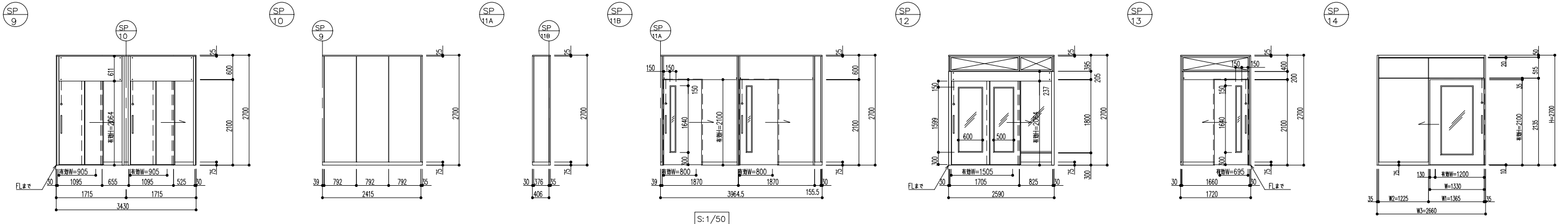
【改修前】



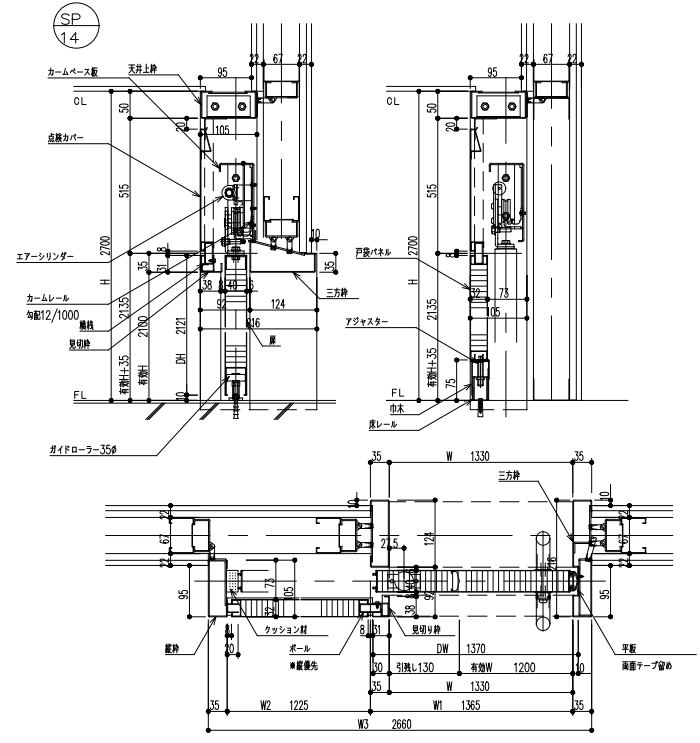
【改修後】

形状	記号	取付箇所	建具寸法					仕様	備考	形状	記号	取付箇所	数量	建具寸法					仕様	備考
			W1	W2	H1	H2	形状							W1	W2	H1	H2	形状		
	SP 1	4階 診察室-1 ・受付・診察室-2	1	図示	図示	70	C	AEB	U	1	S	S	S		不	W2=5-2370+4250+2410+2410 【撤去】W5				
	SP 5	4階 診察室-2~調整室	1	図示	図示	70	C	AEB							不	【一部撤去】				
	LD 21	4階 会議室	1	800	800		A								不	【撤去】				
	SD 1	4階 倉庫	1	800	800		A								特	【撤去】				
	SO 10	4階 中待合	1			2,700										特見込み=壁厚10+10【撤去】				
	AW 22	4階 採卵室	1	図示	図示											ガラス面不透明フィルム貼付【改修】				
	SP 3	4階 診察室-5	1													ハネ取外し、復旧【改修】 (W1, 200×H2, 700) 電気用キツク開口(100×54×4) 穴あけ加工				
	SP 4	4階 診察室-6	1													ハネ取外し、復旧【改修】 (W1, 200×H2, 700) 電気用キツク開口(100×54×2) 穴あけ加工				

建具記号	建具寸法	形状	仕様	仕上	錠	建具金物	ガラス	法規制	
<p>第1符号:材質</p> <p>第2符号:機能</p> <p>第3符号:整理番号</p> <p>防火戸の種別</p> <p>電気錠: X</p>	<p>材質</p> <p>機能</p> <p>防火戸の種別</p>	<p>A 抱持1</p> <p>B 抱持2</p> <p>C 普通種</p> <p>D フラット種</p> <p>E 防火戸種</p> <p>F フラットバー種</p> <p>G ガラリ種</p> <p>H ガラリ種</p>	<p>※は、寸法を示す</p> <p>A ステンレス</p> <p>B ステンレス目巻13</p> <p>C 仕上材合せ</p> <p>D ステンレス</p> <p>E ステンレス</p> <p>F 三方種同材</p> <p>G 三方種同材</p> <p>H FR-6×65</p>	<p>SP-F 合成樹脂適合ペイント塗</p> <p>SP-F 合成樹脂適合ペイント塗</p> <p>FUB フッ素樹脂付着塗料</p> <p>AEB アクリル樹脂エナメル付着塗料</p> <p>2-UE 2液形ポリウレタンエナメル塗</p> <p>UEB ポリウレタン樹脂エナメル付着塗料</p> <p>2-UC 2液形ポリウレタン樹脂フニス塗</p> <p>LC クリアラッカー塗</p> <p>OS オイルステイン塗</p> <p>HL ステンレスヘアライン仕上</p> <p>BF ステンレスバフ仕上</p> <p>BL ステンレスバフイノベーション仕上</p> <p>VS 化粧シート貼</p> <p>VC ビニルクロス貼</p> <p>アルミ建具仕上</p> <p>外部 A-1,A-2,B-1,B-2,D</p> <p>内部 B-1,B-2,C-1,C-2,D</p>	<p>L レバーハンドル付本錠</p> <p>H 扉引付本錠</p> <p>D 本錠</p> <p>O 空錠</p> <p>E 非常解放装置付本錠</p> <p>EL 非常解放装置付レバーハンドル錠</p> <p>U 引錠</p> <p>DU 引錠</p> <p>G グレモン錠</p> <p>B 窓錠</p> <p>I 表示錠 (非常解放装置付)</p> <p>O ケースハンドル錠</p> <p>F 錠錠</p> <p>X 点錠錠</p> <p>Y カードロック(電気式)</p> <p>T ナンキー(電気式)</p> <p>T ナンキー(電池式)</p> <p>K クレセント・レバーハンドル</p> <p>Z 特異錠 (備考欄による)</p>	<p>本錠の施錠方式</p> <p>1 レバーハンドル付 — サムターン</p> <p>2 シリンダー — 空</p> <p>3 空 — サムターン</p> <p>4 シリンダー — シリンダー</p> <p>5 サムターン — サムターン</p> <p>電気錠の作動方式</p> <p>a 瞬時通電解除錠</p> <p>b 通電時解除錠</p> <p>c 通電時施錠錠</p> <p>d モーター駆動錠</p>	<p>建具金物</p> <p>H 丁番</p> <p>P ビレットヒンジ</p> <p>A オーバーヒンジ</p> <p>F フロアヒンジ</p> <p>S 引戸用ハンガーレール</p> <p>T 点錠用ビレットヒンジ</p> <p>L ラバレットヒンジ</p>	<p>ガラス</p> <p>FL フロート板ガラス</p> <p>PN 網入り板ガラス</p> <p>PN 網入り板ガラス</p> <p>F 複層ガラス</p> <p>FM 複層ガラス</p> <p>S 複層ガラス</p> <p>O 自膜装置付ガラス</p> <p>HR 熱線反射ガラス</p> <p>HR 熱線反射ガラス</p> <p>ST 紫外線強化ガラス</p> <p>DS 低放射ガラス</p> <p>TP 防熱ガラス</p> <p>Le Low-eガラス</p> <p>B ゴムマット式</p> <p>X ガラスブロック</p> <p>X 鉛入ガラス</p> <p>レは、合わせガラスを示す</p> <p>外側/内側</p> <p>両面ガラスを示す</p> <p>外側+中空層+内側</p>	<p>法規制</p> <p>特 特定防火設備</p> <p>防 防火設備</p> <p>不 不燃戸</p> <p>不 不燃性能</p> <p>代 非常用出入口に代わる窓</p> <p>機 能</p> <p>S 感知器連動</p> <p>O 非常用エレベーター付</p> <p>CP 防犯通報機能</p> <p>T エアタイト扉(AT)</p> <p>T セミエアタイト扉(SAT)</p> <p>T セミエアタイト扉(SAT)</p> <p>※ 防音ドア・サッシ(※は等級)</p> <p>H※ 防音ドア・サッシ(※は等級)</p> <p>D※ 防音ドア・サッシ(※は等級)</p> <p>F 面一サッシ</p>



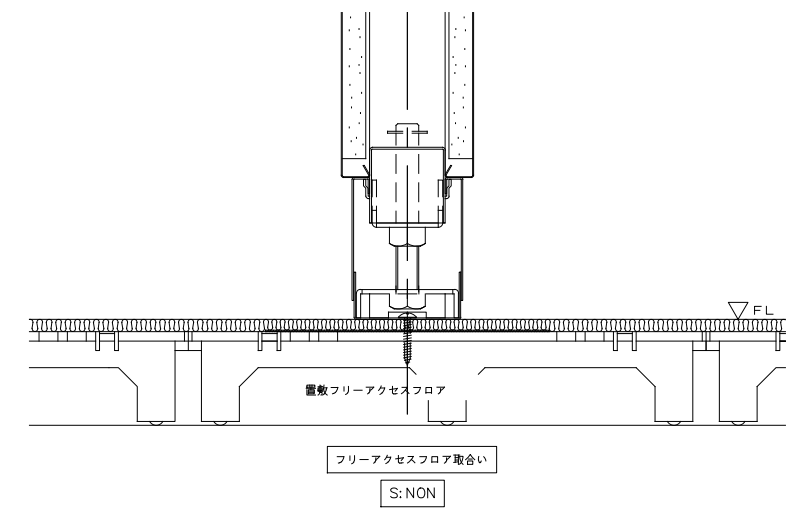
S: 1/50

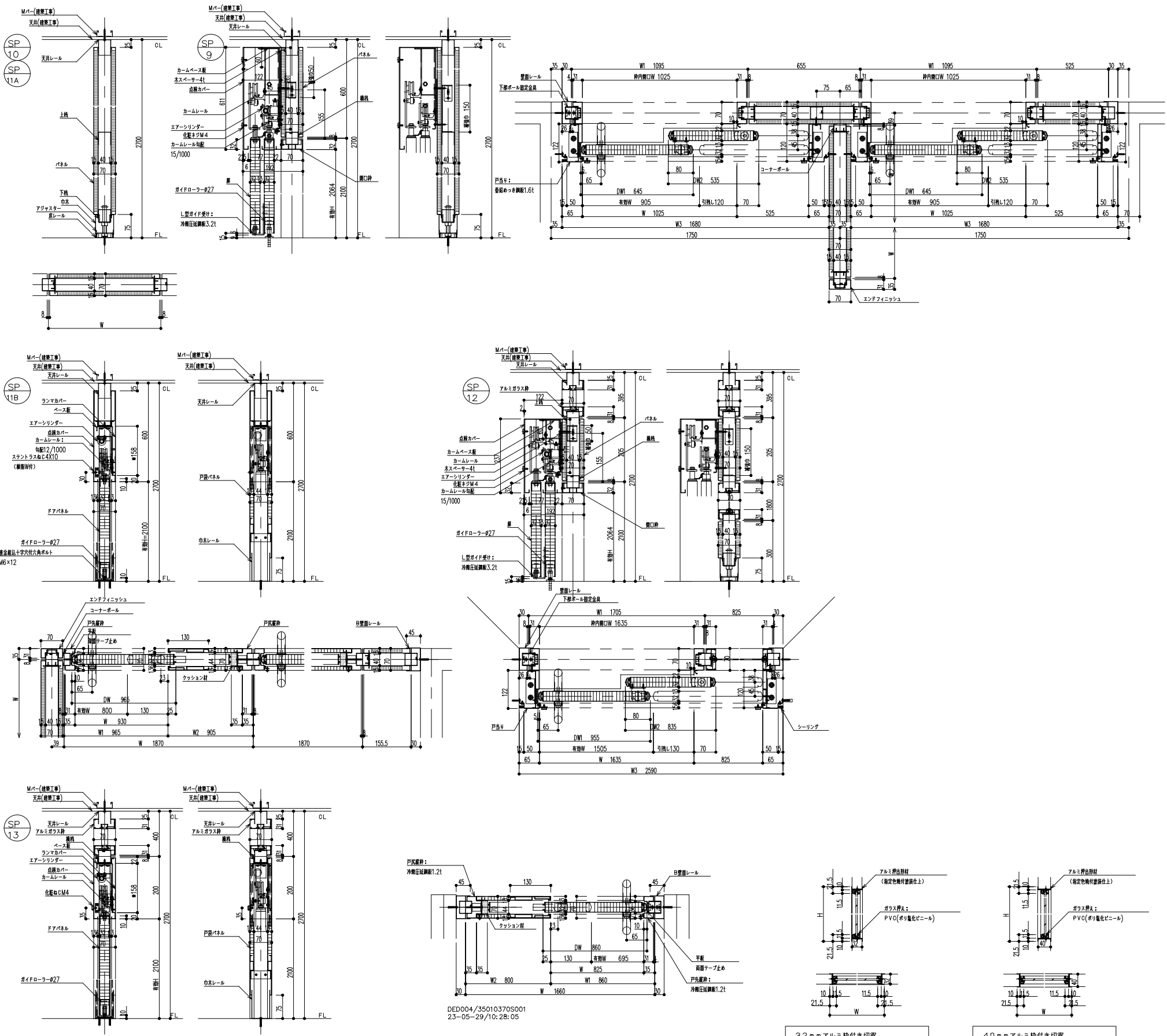


S: 1/5

◇仕様表 (小窓カール カムFF型P型パネル付片開扉タイプ標準品)

項目	部材	材料 (取厚mm)
駆動装置	駆動方式	巻上り巻下式
	カムベース板	亜鉛めっき鋼板 2.3mm <防錆塗装仕上>
	カムレール	アルミ押出型材 A6063S-T5 <アルマイト処理仕上>
枠	ハンガー戸葉	鋼製戸葉 プラケットはめつき仕上
	先付付枠	亜鉛めっき鋼板 1.6mm <指定色焼付塗装仕上>
	点検カバー・見切り材	冷間圧延鋼板 1.2mm <指定色焼付塗装仕上>
	P型パネル裏面材	亜鉛めっき鋼板 0.6mm <指定色焼付塗装仕上>
	P型パネル芯材	ペーパークラフト
	付木・裏レール	冷間圧延鋼板 1.0mm <指定色焼付塗装仕上>
扉	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.6mm <指定色焼付塗装仕上>
	芯材	ペーパークラフト
金物	フロントゴム	ポリ塩化ビニル(PVC) <ブラック色>
	ロック	長形ロック POS圧着
	電手	ステンレス鋼製ハンドルφ25 L=450





◇仕様表 (小窓ウォール マイティ70規格品)

項目	部材	材 質 (断面mm)	
部材	天吊レール	冷間圧延鋼板 1.0mm <指定色焼付塗装仕上>	
	横吊レール	冷間圧延鋼板 0.8mm <指定色焼付塗装仕上>	
	吊レール	冷間圧延鋼板 0.8mm <指定色焼付塗装仕上>	
	巾木	冷間圧延鋼板 0.8mm <指定色焼付塗装仕上>	
	ポール(支柱)・横吊	冷間圧延鋼板 1.2mm <指定色焼付塗装仕上>	
	コーナーポール	冷間圧延鋼板 1.2mm <指定色焼付塗装仕上>	
	上軌・下軌	冷間圧延鋼板 1.0mm <指定色焼付塗装仕上>	
	エンドフィニッシュ	冷間圧延鋼板 1.2mm <指定色焼付塗装仕上>	
	天吊レール補強	亜鉛めっき鋼板 1.2mm	
	枠	開口枠	冷間圧延鋼板 1.2mm <指定色焼付塗装仕上>
ガラス枠		アルミ押出型材 <指定色焼付塗装仕上>	
ガラス枠ビード		ポリ塩化ビニル 別添資料第3-6.8mm<グレー色>	
オープン自動カバー		ポリ塩化ビニル <アイボリー色>	
パネル		パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm <指定色焼付塗装仕上>
		芯材	セッココボード12.5mm
自閉式戸内窓 (内窓)		パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm <指定色焼付塗装仕上>
		芯材	ペーパーコア
		フロントゴム	ポリ塩化ビニル <ブラック色>
		戸先・戸尻密封	冷間圧延鋼板 1.2mm <指定色焼付塗装仕上>
	巾木レール	亜鉛めっき鋼板 0.8mm <指定色焼付塗装仕上>	
	カムベース版	亜鉛めっき鋼板 2.3mm	
	点検カバー	冷間圧延鋼板 1.0mm <指定色焼付塗装仕上>	
	ランマカバー	冷間圧延鋼板 1.0mm <指定色焼付塗装仕上>	
	カムレール	アルミ押出型材 <アルミマイティ規格仕上>	
	戸設パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.6mm <指定色焼付塗装仕上>	
自閉式戸外窓 (外窓)	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm <指定色焼付塗装仕上>	
	芯材	ペーパーコア	
	ロック(枠内)	美製ロック POSTE製	
	自閉装置	横吊レール 制御装置=アダンバ	
	用戸取手	ステンレス黒色ハンドφ25 L=450	
	戸当り	亜鉛めっき鋼板 1.6mm <指定色焼付塗装仕上>	
	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm <指定色焼付塗装仕上>	
	芯材	ペーパーコア	
	フロントゴム	ポリ塩化ビニル <ブラック色>	
	カムベース版	亜鉛めっき鋼板 2.3mm	
自閉式2連動戸	点検カバー	冷間圧延鋼板 1.2mm <指定色焼付塗装仕上>	
	カムレール	アルミ押出型材 <アルミマイティ規格仕上>	
	ロック(枠内)	美製ロック POSTE製	
	自閉装置	横吊レール 制御装置=アダンバ	
	用戸取手	ステンレス黒色ハンドφ25 L=450	
	L型ガイド受け	冷間圧延鋼板 3.2mm	

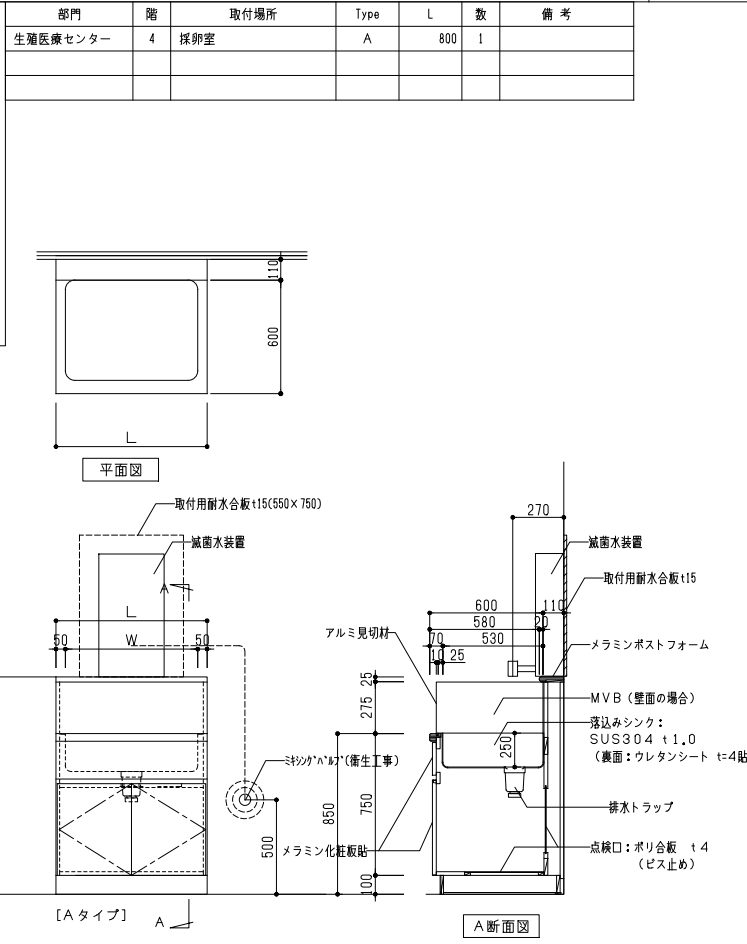
DED004/35010370S001
23-05-29/10:28:05

32mmアルミ枠付き切窓

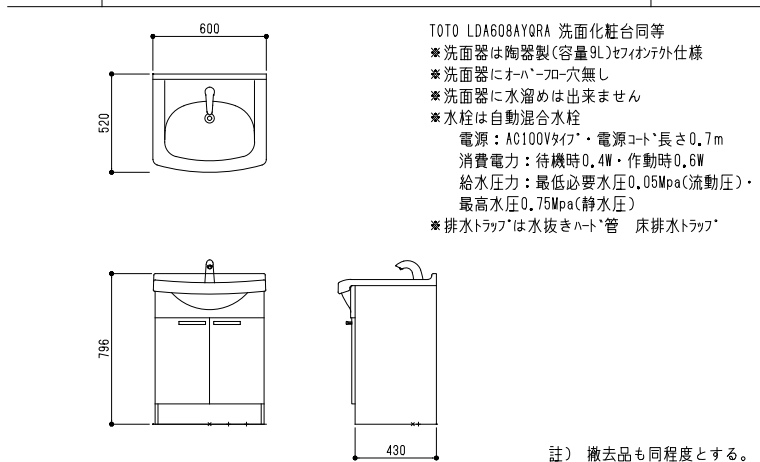
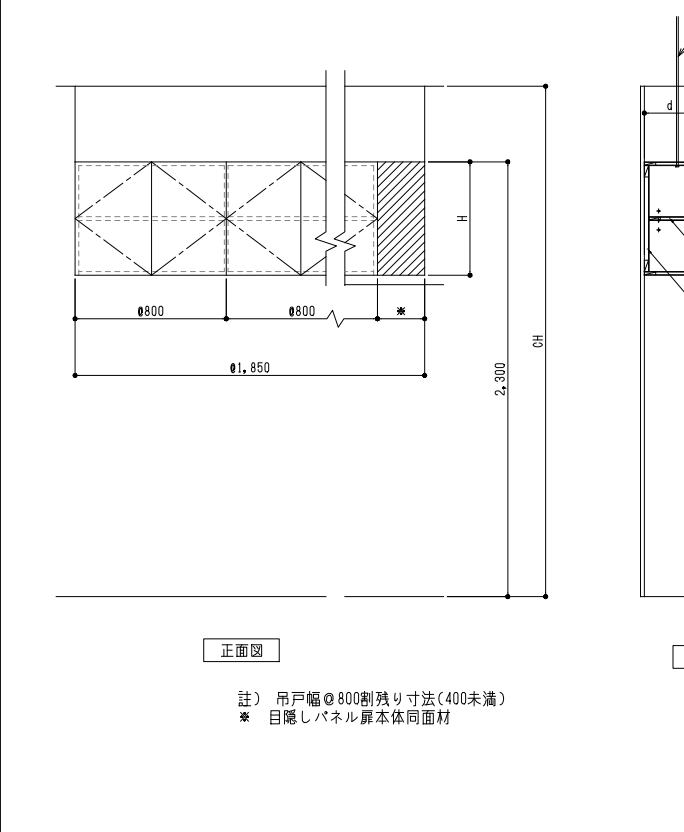
40mmアルミ枠付き切窓

共通仕様(流し台、吊戸棚)
 天板
 シンク
 本体外部
 本体内部
 扉
 棚板
 把手
 引出し
 蝶番
 縦受け

* 製作はISO9001認証工場とすること
 * シンクの位置(左・右)は平面図による。
 * 備考欄に特記なき限りステンレスタイプとする。
 SUS304 t1.0又はメラミンポストフォーム
 SUS304 防露シート貼り
 メラミン化粧板貼り
 ポリ合板(F☆☆☆☆)
 メラミン化粧板貼り
 ポリ合板フラッシュ(F☆☆☆☆)貼 t20
 握り込み引手又は樹脂成型品
 シナランバー又は樹脂化粧MDF
 スライド蝶番 110°開き
 ステンレス製 φ9

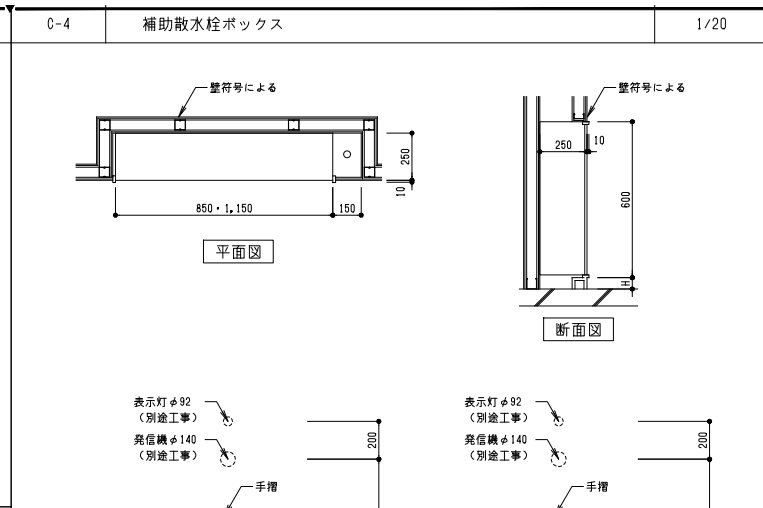
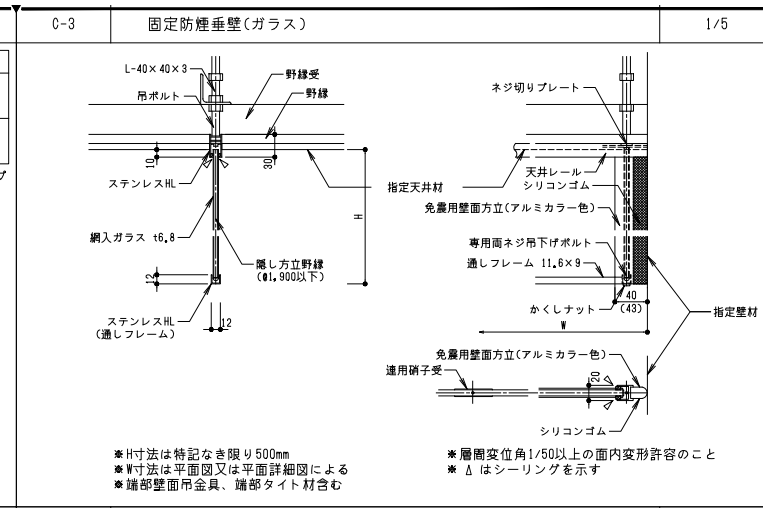
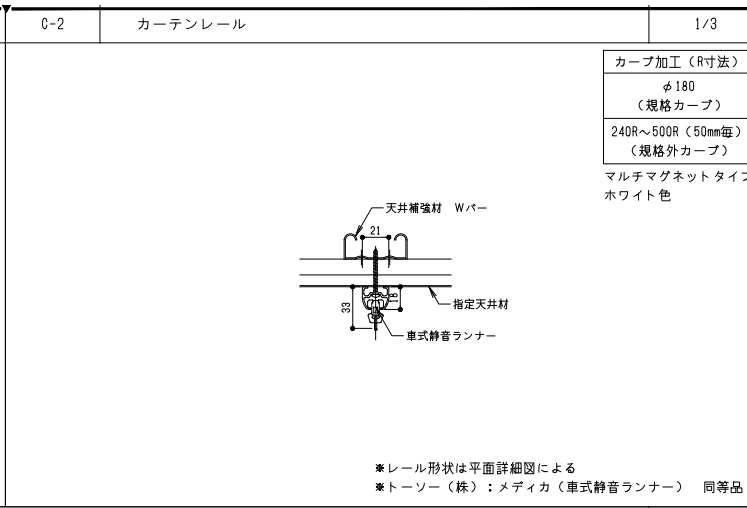
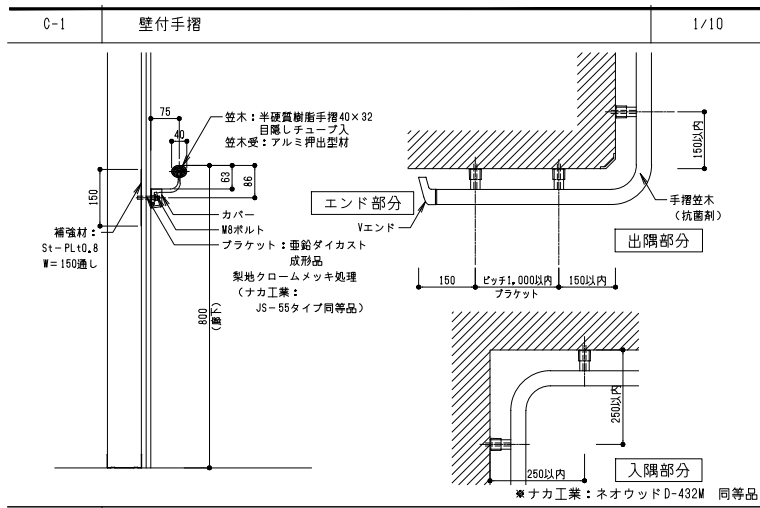


部門	階	取付場所	L	D	H	数	備考
生殖医療センター	4	採卵室	1,600	500	650	2	
生殖医療センター	4	前室	1,550	500	650	1	
生殖医療センター	4	カスレン庫	2,600	450	650	1	



註) 撤去品も同程度とする。

部門	階	取付場所	数	備考
生殖医療センター	4	前室	1	新設



C-5 開口補強リスト

(機械設備)

		□150	□200	□250	□300	□350	□400	□600	1000×100	760×521	1860×521	1860×1060	1860×1360	1860×1460
4階	生類医療センター	9	4				1			3	3	3	1	1
計		9	4				1			3	3	3	1	1

(電気設備)

		□370	□450	660×620	1250×150	1250×220
4階			5		12	16
計			5		12	16

C-6 点検口リスト

天井点検口 (電気・機械設備共通)

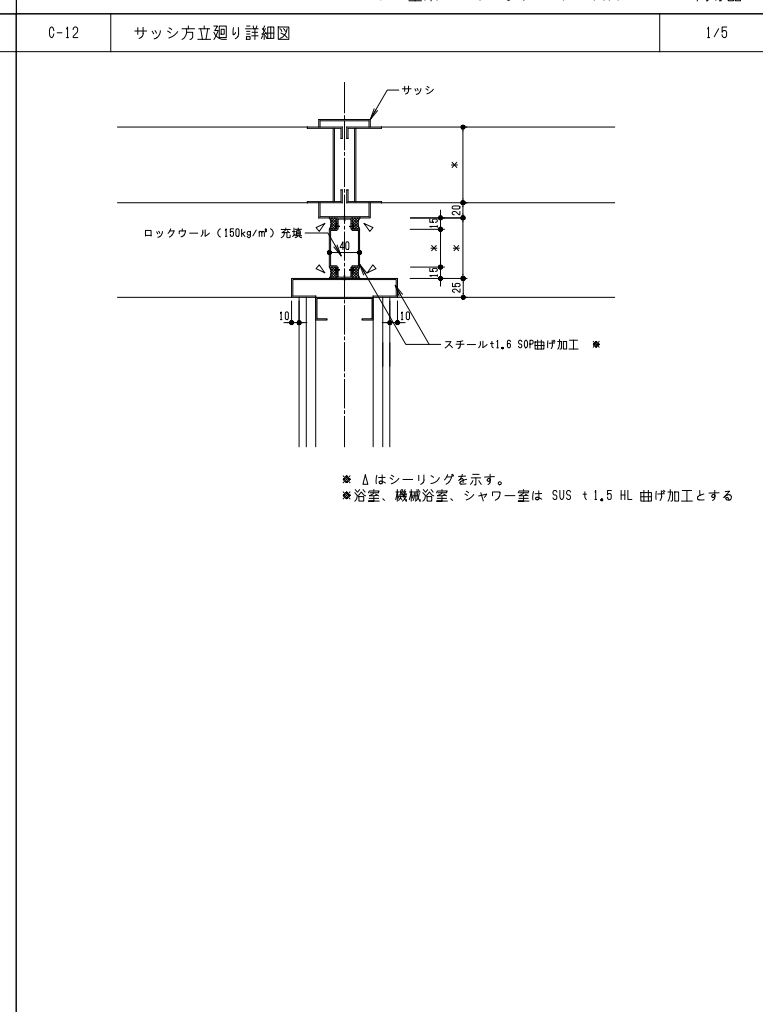
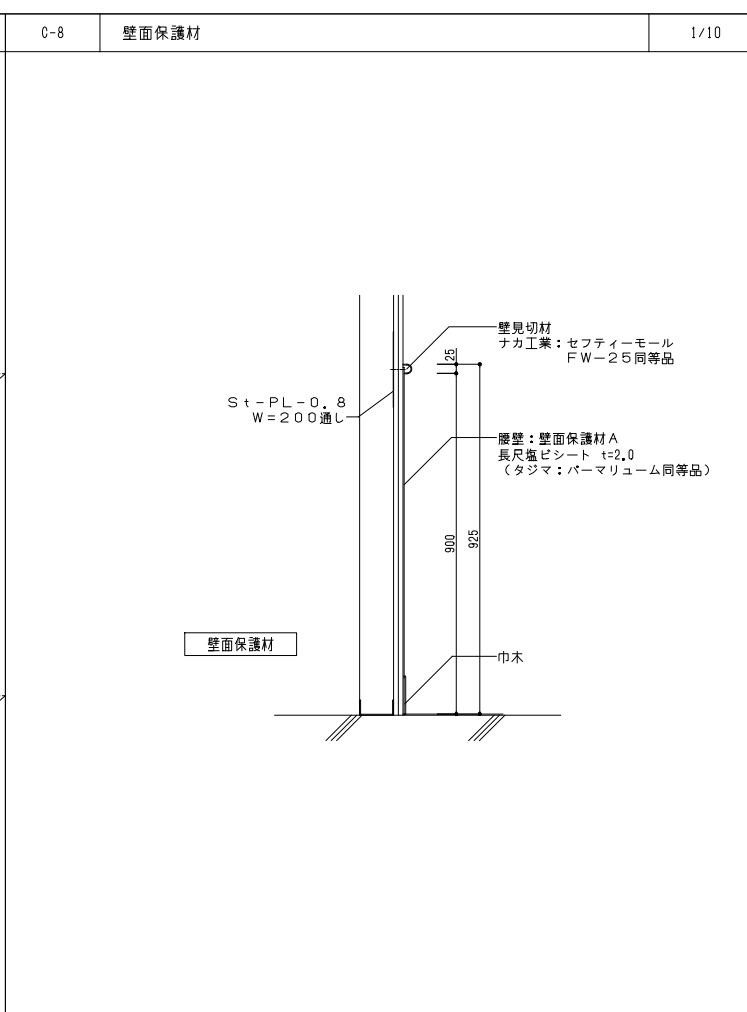
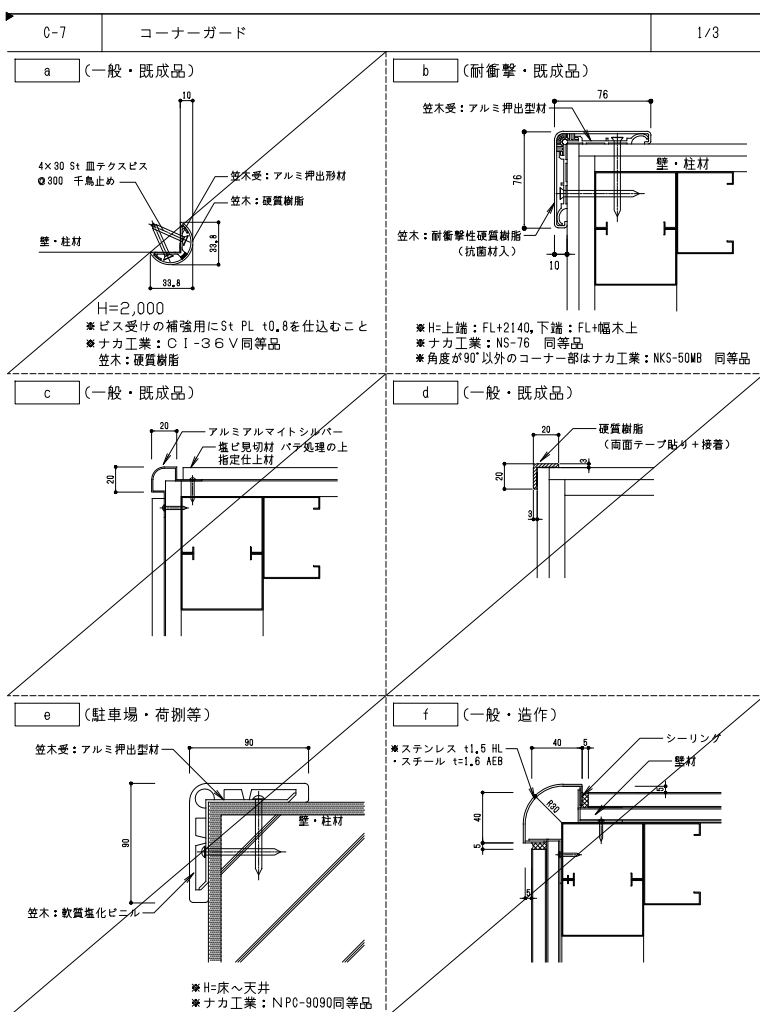
		450×450 (一般) ※1	600×600 (一般) ※1	450×450 (クラン仕様) ※2	600×600 (クラン仕様) ※2
4階	生類医療センター	10		21	
3階	上記の直下階	0			
計		10		21	

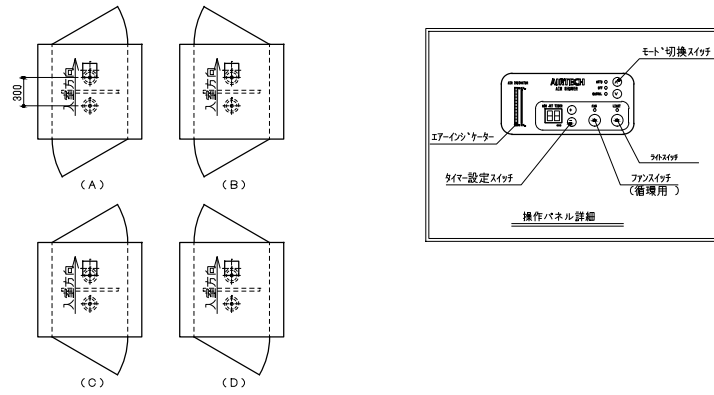
※1: ナカ工業: ハイハッチSD (一般)
※2: ナカ工業: ハイハッチAT (AT-9付)

同等品
同等品

天井内、開口補強要領は「公共建築工事標準詳細図集 (令和4年度版)」による

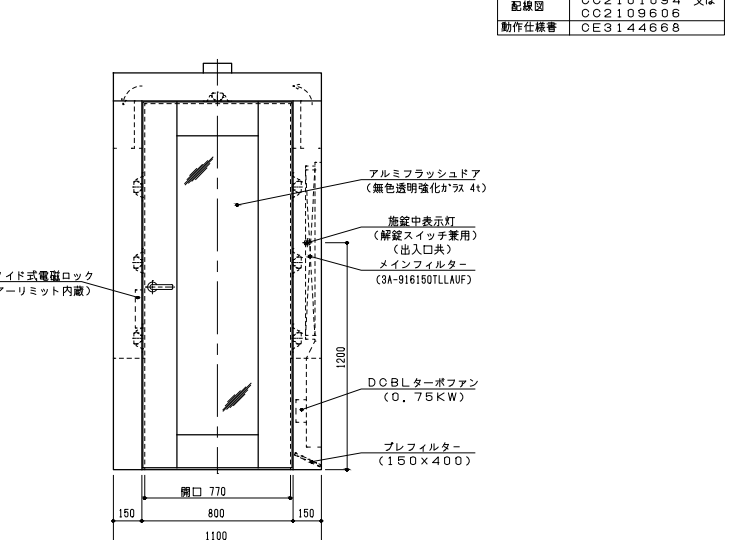
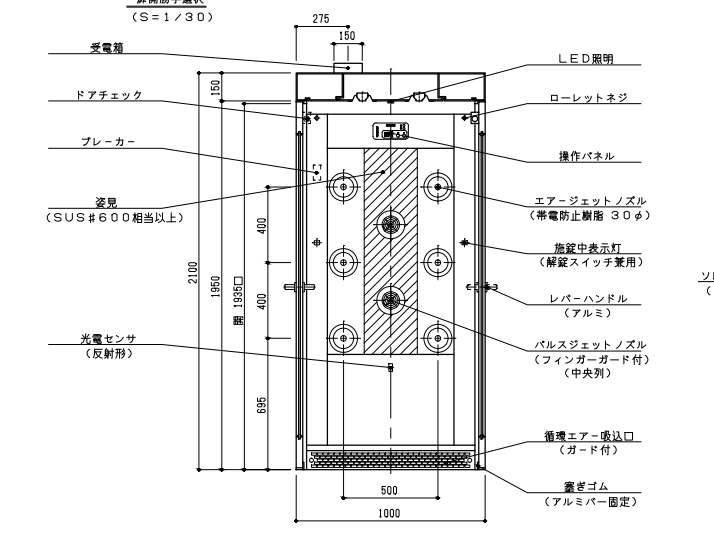
天井点検口は機械設備改修用
天井内、開口補強要領は「公共建築工事標準詳細図集 (令和4年度版)」による





仕様

標準効率	0.3μm粒子にて99.99%以上
循環回数	JET時 ~ 約730 [回/時] / 循環時 ~ 約230 [回/時]
エアージェットノズル	18個 (パルスジェットノズル×4個)
吹出風速	JET時 ~ 約25[m/sec]
風量	JET時 ~ 約19[m³/min] / 循環時 ~ 約6[m³/min]
プレフィルタ	サラネットフィルタ 150×400×2枚
メインフィルタ	HEPAフィルタ 3A-916150TLLAUF×1枚
返風機	LNF-6E×1台
騒音	約70dB (Aスケール) 設置より1mにて
内外装	鋼板製機付塗装仕上 (窓のみSUS#600相当以上)
床	無し (建築床を使用)
電源	AC200V 3φ 50/60 [Hz]
消費電力	JET時 ~ 約610 [W] (約3.4[A]) / 循環時 ~ 約60 [W]
設置電力	約1410 [VA]
質量	約280 [kg]
塗色	マンセルN9.0 木ホワイトグレー色 半ツヤ (ATC-7)
エアージェット起動	光センサ及びドアリミットスイッチにより湧り吹き無し
エアージェット時節電	エアージェットと扉とのインターロック
電磁ロック動作	片側扉開時反対側扉施錠 (扉同士の間隔)
標準装備内容	片側扉開時反対側扉施錠 (扉同士のインターロック) 尚、停電時及び電磁ロック解除スイッチにより電磁ロックは解除します

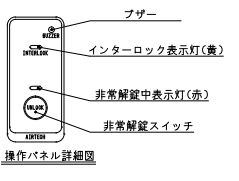
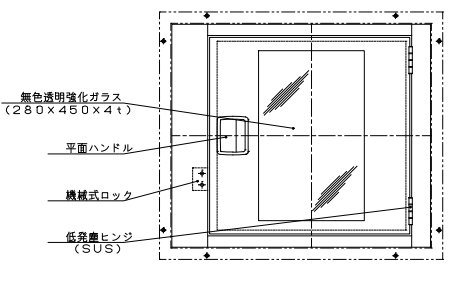
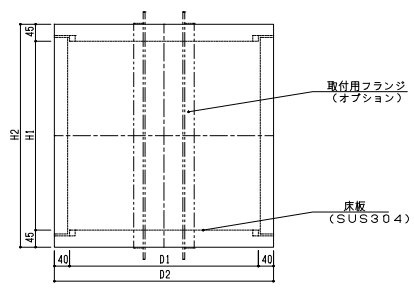
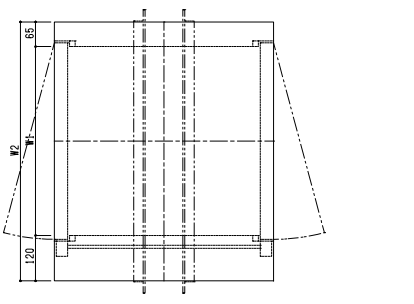


配線図

OC2101094 又は
OC2109606
動作仕様書
OE3144668

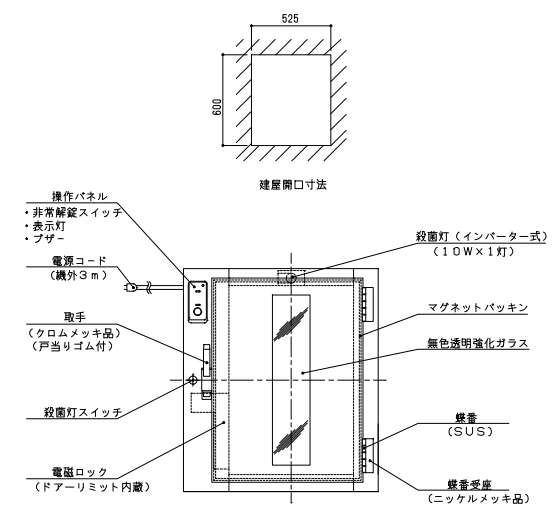
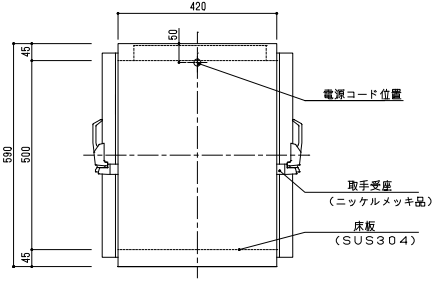
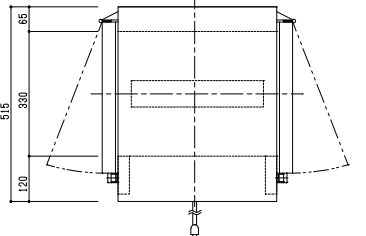
仕様

外装	鋼板製機付塗装仕上
内装	鋼板製機付塗装仕上
床板	SUS304 ヘアライン仕上
塗色	ホワイトグレー色 半ツヤ (ATC-7)
インターロック	機械式ロックによる
質量	約 A kg

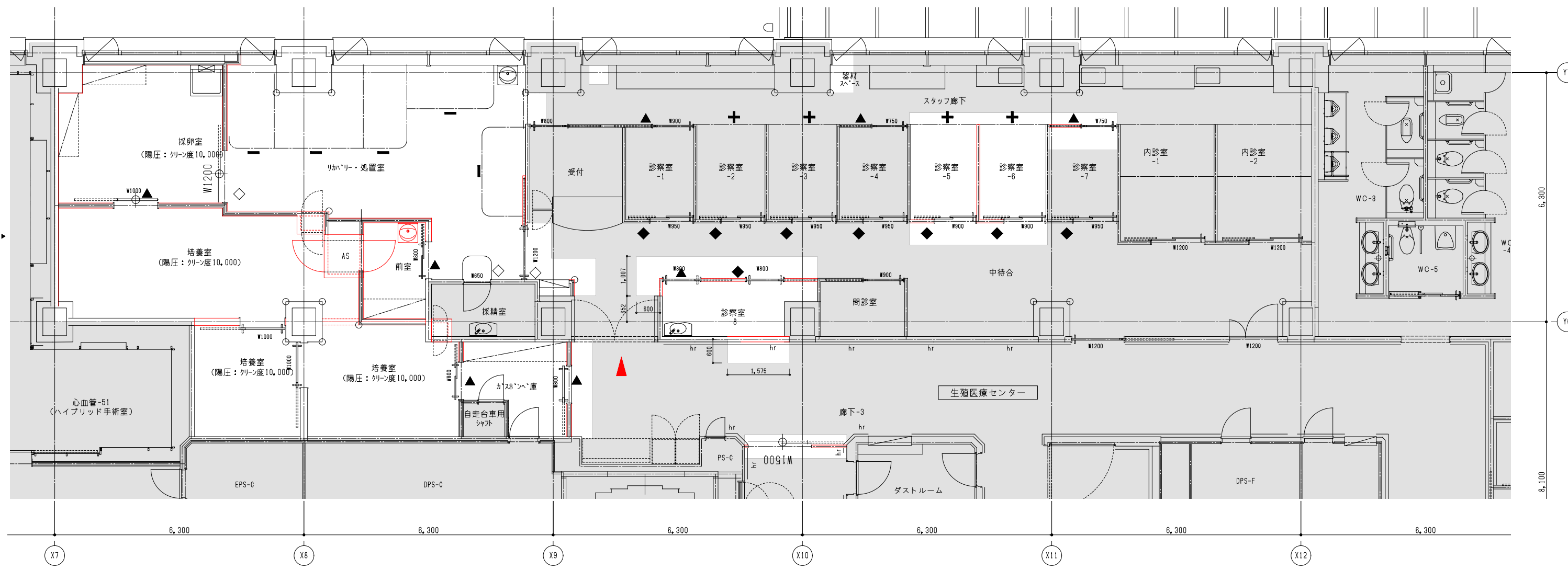


仕様

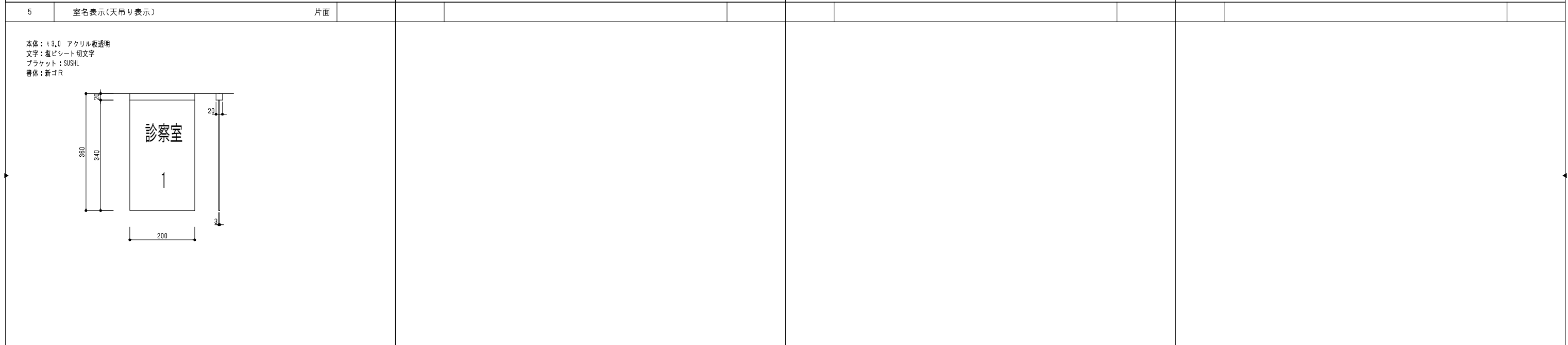
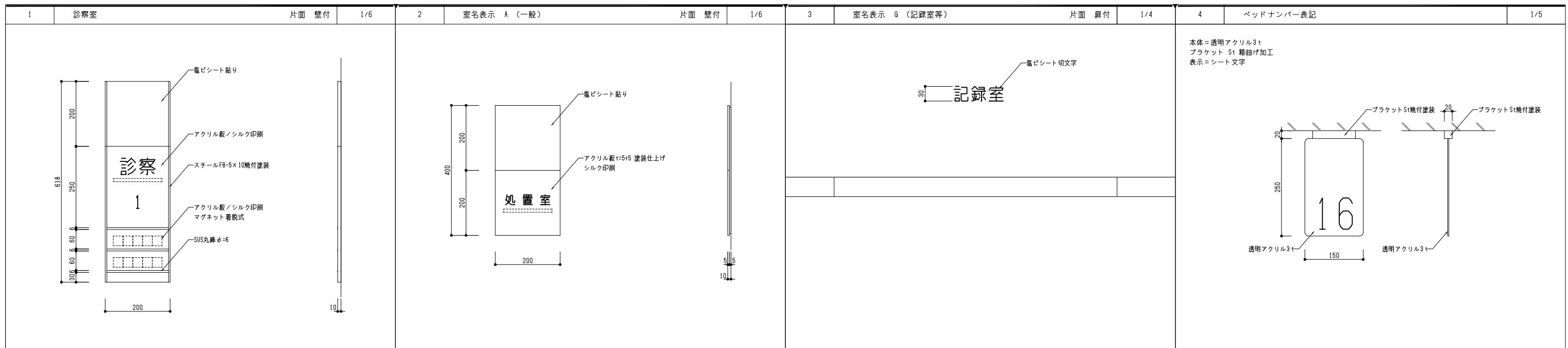
電源	AC100V 1φ 50/60Hz
外装	鋼板製機付塗装仕上
内装	SUS304 ヘアライン仕上 (内部部品は除く)
床板	SUS304 ヘアライン仕上
塗色	ホワイトグレー色 半ツヤ (ATC-7)
インターロック	表示灯、及びプザーにて警報する 投電灯は扉を開くと消灯します
質量	約 70 Kg
設置電力	約 30 VA
注意事項	扉は完全密閉仕様とはなっていません
電磁ロック動作	片側扉開時反対側扉施錠 (扉同士のインターロック) 尚、停電時及び電磁ロック解除スイッチにより電磁ロックは解除します



- ◆ : ① 診察室表示
- ◇ : ② 室名表示(診療等)
- ▲ : ③ 室名表示(スタッフ)
- : ④ 番号表示
- ⊕ : ⑤ 室名表示(天井り表示)



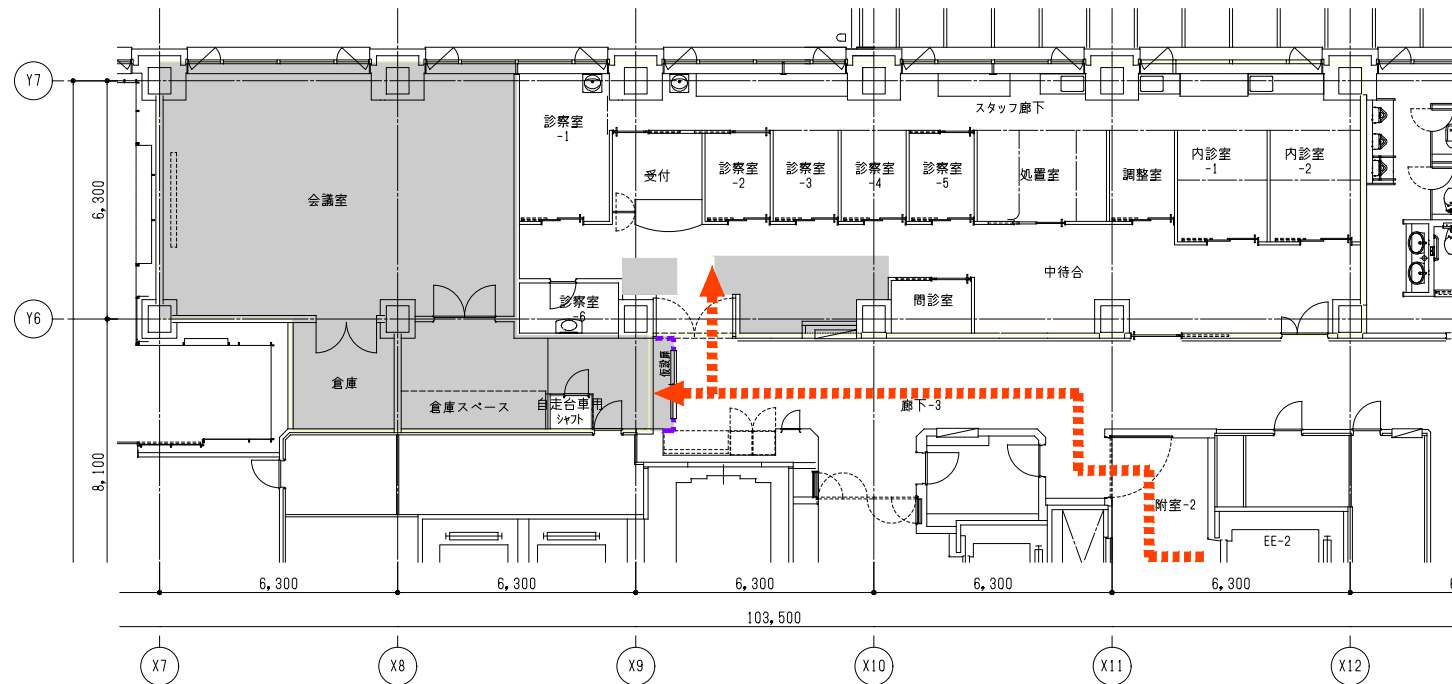
【改修後】



番号	サイン名称	4F(生殖医療C)			計
1	◆ 診察室番号表示	8			8
2	◇ 室名表示	3			3
3	▲ 室名表示(職員用)	8			8
4	— ベッドナンバー表示	5			5
5	⊕ 室名表示(天吊り表示)	4			4
6					
7					
8					
9					
10					

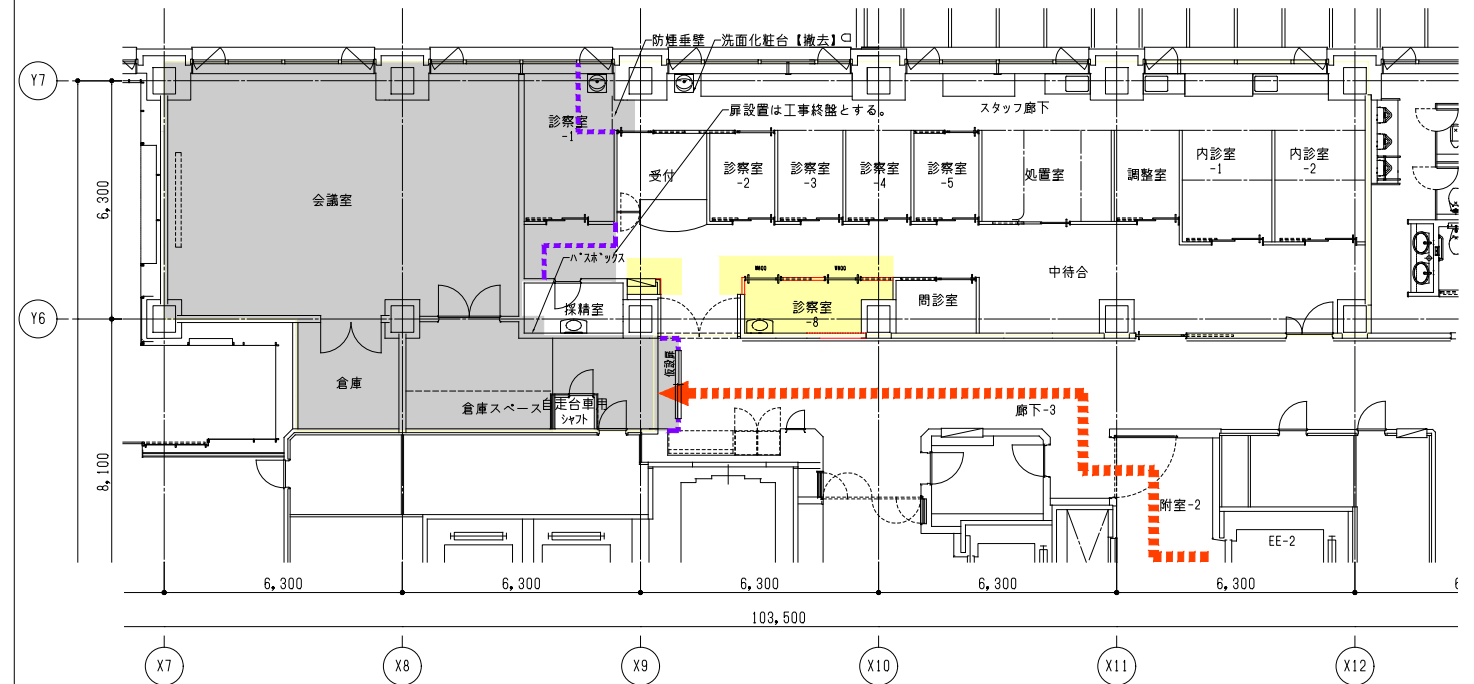
フェーズ1

- 中待合の一部を診察室-8に改修
 - ・養生はブルーシート、トラバー程度とする。
 - ・現状の部屋は使用可。
- 会議室、倉庫、書庫スペースエリアは撤去解体作業を行う。
- 工事時期・時間(仮)
 - ・2023.11 中旬~2023.11 下旬(2週間)・平日夜間、土・日・祝日の昼間



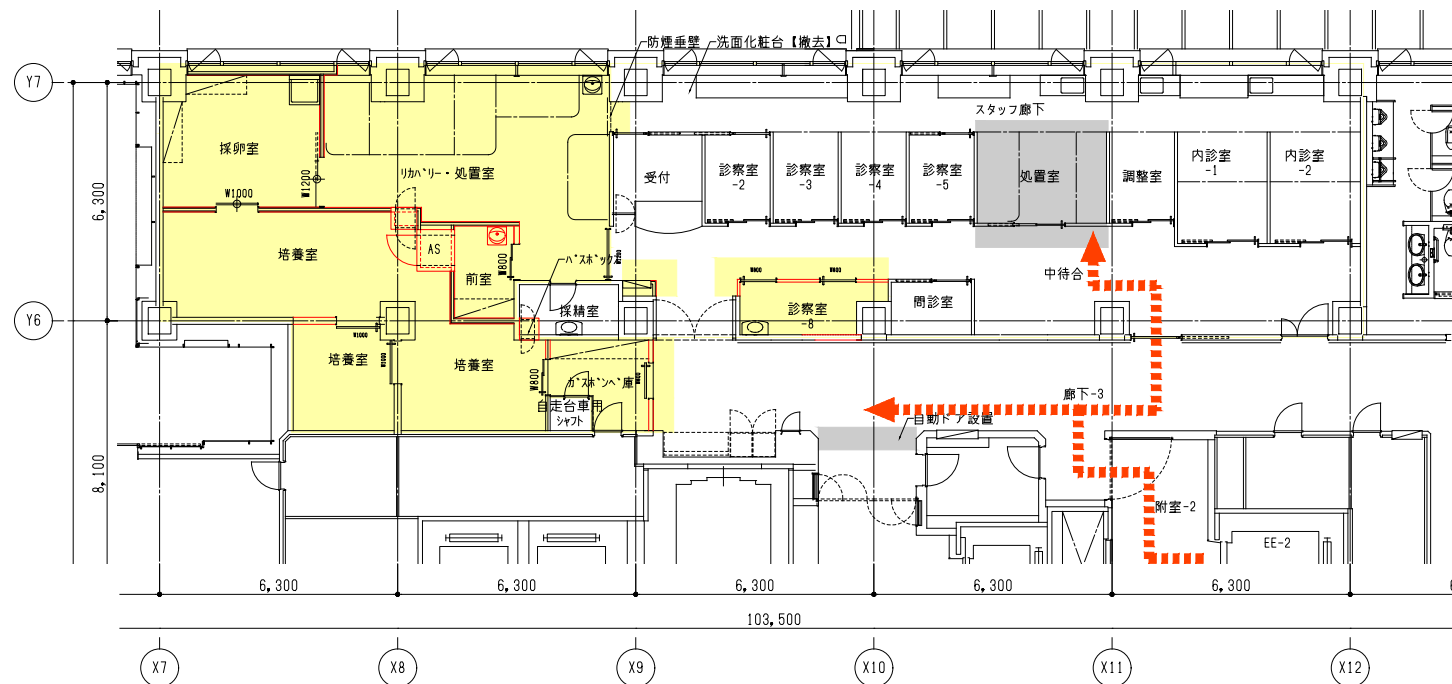
フェーズ2

- 会議室、倉庫、書庫スペース、廊下-3(一部)を採卵室、培養室、ガスシャブ庫、リカバリー・処置室に改修。
 - ・防煙垂壁とバスボックス(採精室)の取付、洗面化粧台の撤去は工事終盤に作業。
 - ・リカバリー・処置室、中待合間の扉は工事終盤に作業。
- 工事時期・時間(仮)
 - ・2023.12 初旬~2024.1 下旬(2ヶ月)・平日昼間



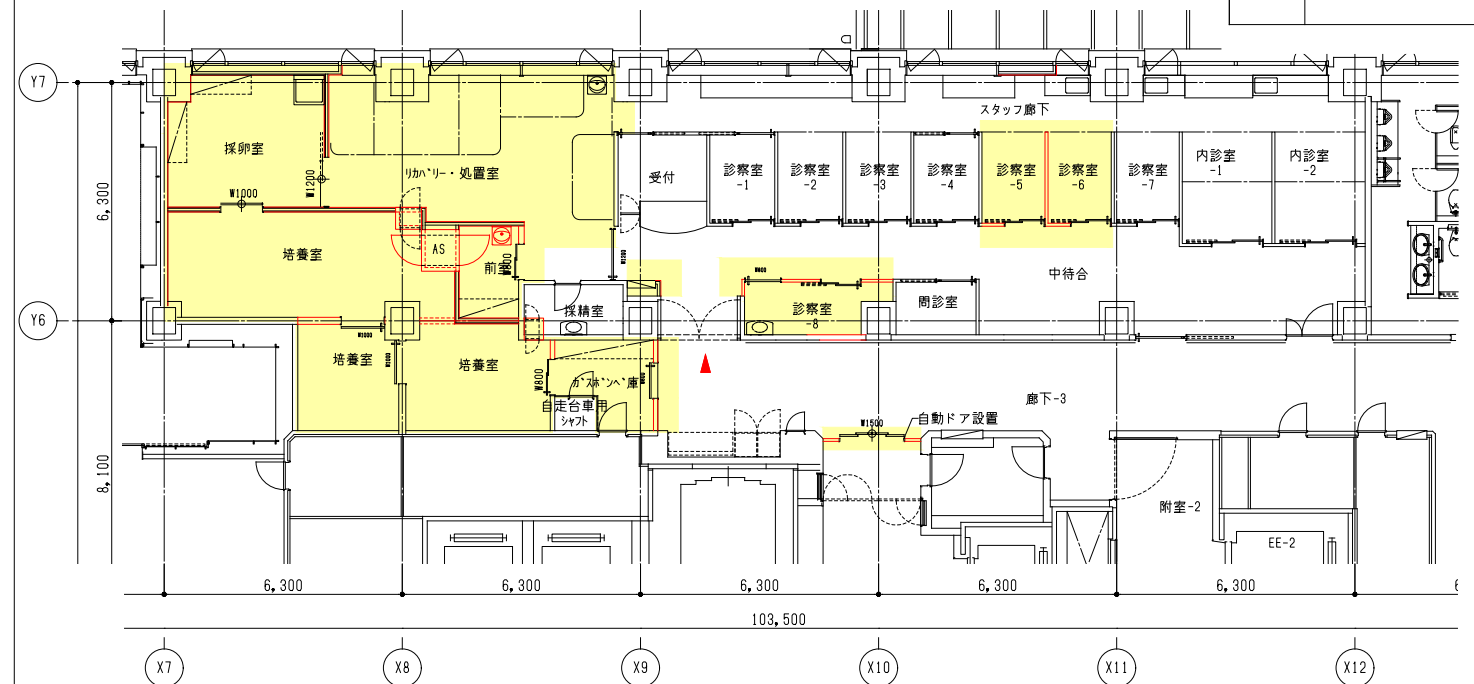
フェーズ3

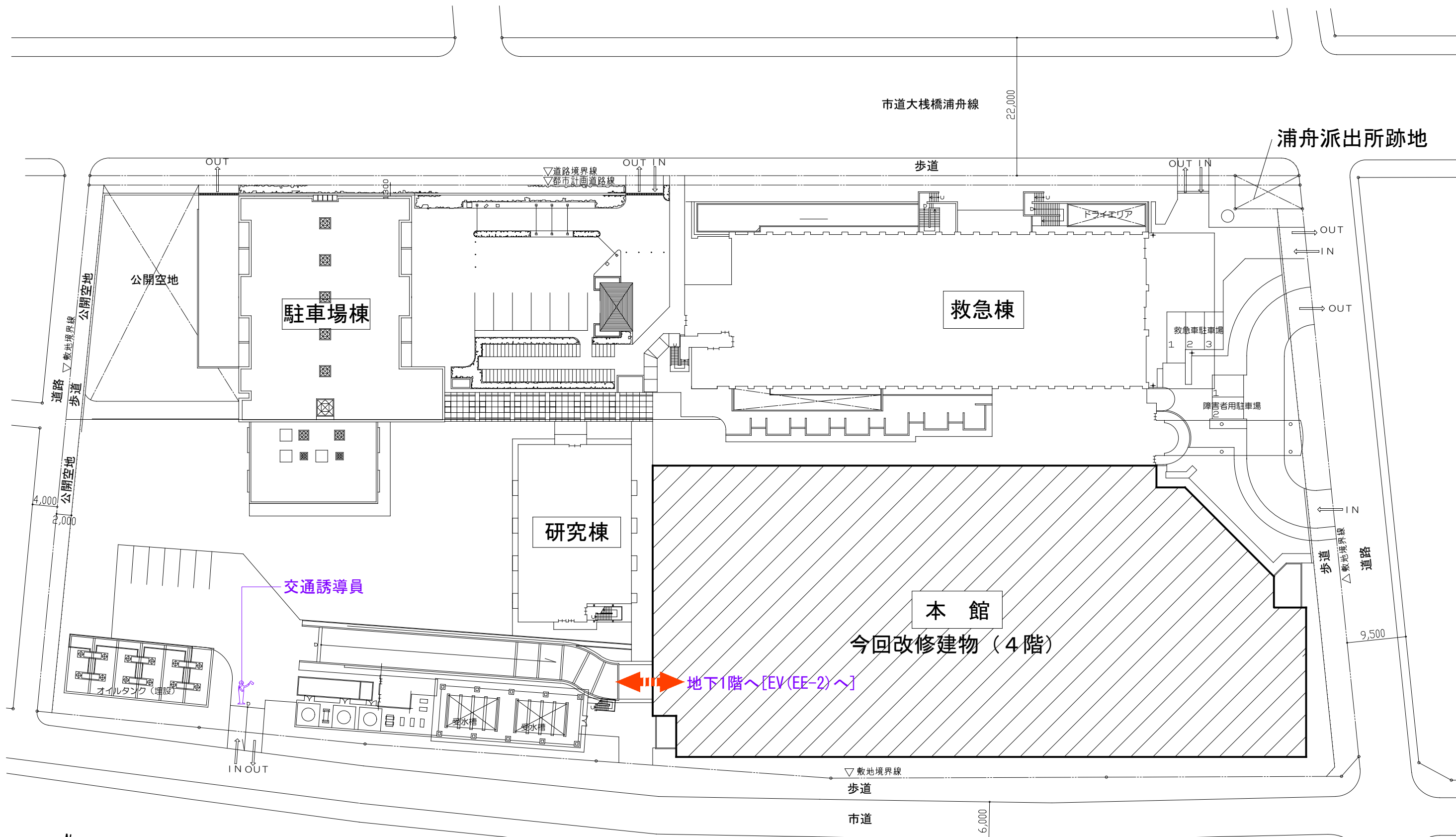
- 処置室を診察室-5、-6に改修
 - ・養生はブルーシート、トラバー程度とする。
- 廊下-3に自動ドア設置
- 工事時期・時間(仮)
 - ・2024.2 初旬~2023.2 中旬(2週間)・平日夜間、土・日・祝日の昼間



改修工事完了

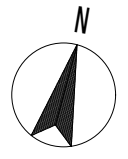
【凡例】	
	改修工事中
	工事完了
	仮設欄仕切 (L65+GB-R12.5×2片面張り 0W充填)
	工事動線(職人・資材・廃材)





交通誘導員

地下1階～[EV(EE-2)～]



【凡例】	
	工事動線（職人・資材・廃材）
	交通誘導員 60人
*職人詰所、コンクリ等置場は工事契約後、施設担当と協議とする	

- 機械排煙区域
- 自然排煙区域
- 防火区画 (兼防煙区画・間仕切壁他)
- 防火区画 (兼防煙区画・随時閉鎖式防火戸他)
- 防火区画のスバンドレル部を示す (≥ 900)
- 防煙区画 (間仕切壁・不燃ドア閉式)
- 防煙区画 (垂れ壁)
- 防火上主要な間仕切壁 (間仕切壁: 耐火構造)
- 防火上主要な間仕切壁 (開口部: 開口部外は耐火構造)

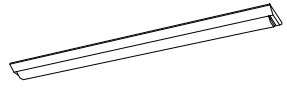
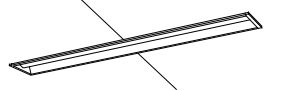
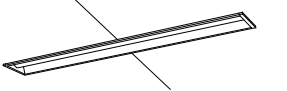


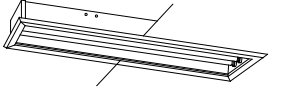
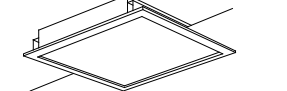




- 排煙設備代替部分 (排煙免除・建設省告示1436号適用)
令126条の2 1項 第3号適用
- 排煙口 (機械排煙)
- 補助散水栓
- 消火器
- 改修範囲を示す

【備考】

- * 防火区画の壁は耐火構造 (1時間) とする。
- * 防火上主要な間仕切壁は建築基準法施工令114条による間仕切壁 (耐火構造: 1時間) とする。
- * シャフト (PS, DS, EPS等) は全て水平区画とする。
- * 防火戸及び防火シャッター (煙感連動) は、危害防止機能付とする。
- * 自然排煙、機械排煙同等、異種排煙区画面上にある建具は、常時閉鎖式不燃戸、又は煙感連動閉鎖式不燃戸とする。
- * 白抜き階段、昇降路は、令126条の2の1項3号とする。
- * 自然排煙室については、各エリアのどの部位からも、排煙開口まで30m以内とする。(機械排煙の排煙口は設備図参照)
- * 排煙オペレーターは、付位置は床上800以上1500以下とする。
- * 全階を消防上の無窓階として法に適した計画とする。
- * 防火戸は3m以下又は子扉 (幅750以上、高さ1800以上、床上150以下) 付きのものとする。
- * 屋外避難階段から2mの範囲に開口部は設置しないこととする。
- * 既存本館とは一棟とみなし、延焼の恐れ線は発生しないものとする。
- * H12告示1436号第4号ハ (四) について、100m以下ごとの防煙区画とする。

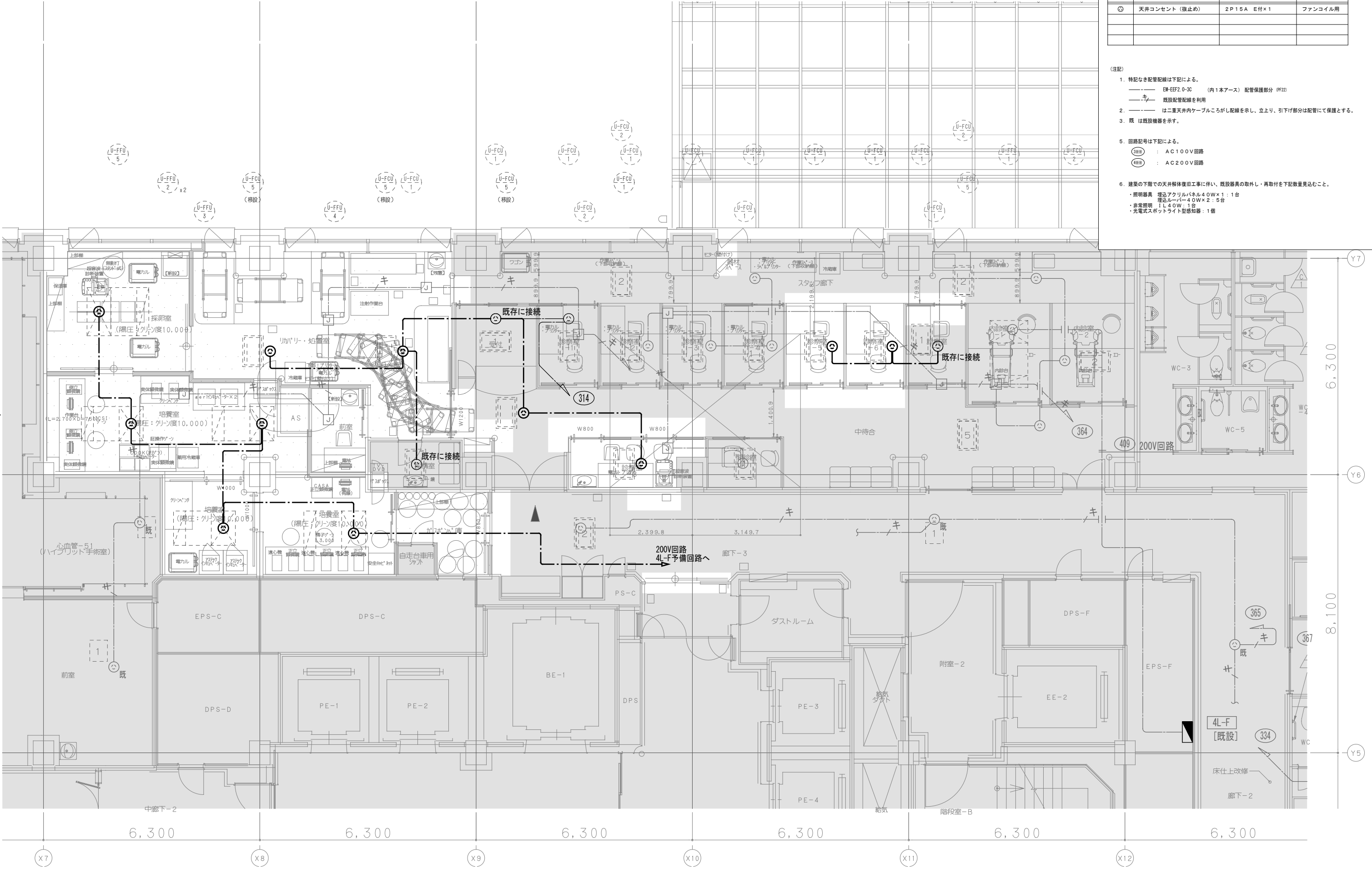


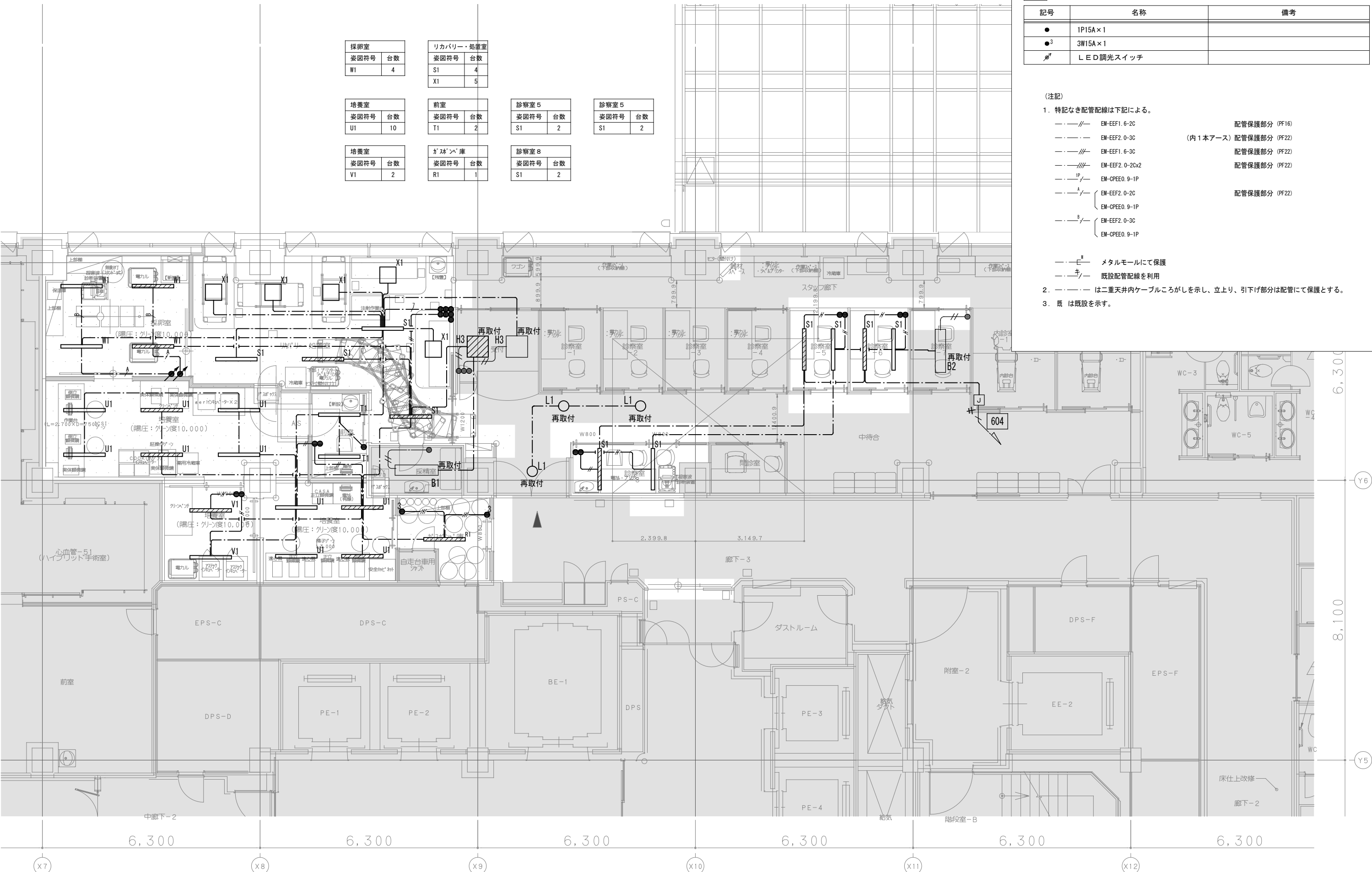
B 埋込下面開放型			B 埋込下面開放型			C 埋込下面パネル			D 埋込下面ルーバー			E 直付型			G 埋込下面開放 (スクエア型)			H 埋込下面パネル (スクエア型)															
B 1	ライトバー-32.5W (5040 l m)	W150, 5000K	B 4	ライトバー-26.7W (3880 l m)	W150, 5000K	C 1	ライトバー-44.3W (6360 l m)	W150, 5000K	D 1	ライトバー-44.3W (4310 l m)	W150, 5000K	E 1	ライトバー-16.3W (2500 l m)	W150, 5000K	G 1	ライトバー-24W (3020 l m)	□275, 5000K	H 1	ライトバー-17W (2050 l m)	□275, 5000K													
B 2	ライトバー-43.1W (6680 l m)	W150, 5000K	B 5	ライトバー-32.5W (5040 l m)	W300, 5000K							E 3	ライトバー-43.1W (6900 l m)	W150, 5000K				H 2	ライトバー-24W (3170 l m)	□350, 5000K													
B 2 L	ライトバー-43.1W (6680 l m)	W150, 5000K										E 2 (再)	ライトバー-32.5W (5200 l m)	W150, 5000K				H 3	ライトバー-43W (5530 l m)	□450, 5000K													
B 3 L	5~100%調光 ライトバー-32.5W (5040 l m)	W150, 5000K																H 4	ライトバー-60W (8470 l m)	□600, 5000K													
<p>パナソニック XLX450PENZ LE9 パナソニック XLX460PENZ LE9 パナソニック XLX460PENZ LR9 パナソニック XLX450PENZ LR9</p>			<p>パナソニック XLX440PENZ LE9 パナソニック XLX450VENZ LE9</p>			<p>パナソニック XLX460FENK LE9</p>			<p>パナソニック XLX464FENK LE9</p>			<p>パナソニック XLX420AENZ LE9 パナソニック XLX460AENZ LE9 パナソニック NNL4500ENZ LE9 NNLK41515</p>			<p>パナソニック XL553LWVJ LE9</p>			<p>パナソニック XL553PFVJ LE9 パナソニック XL564PFVJ LA9 パナソニック XL574PFVJ LA9 パナソニック XL584PFVJ LA9</p>															
I ダウンライト			J ダウンライト			K ダウンライト			L ダウンライト			M ダウンライト			N ミラーライト			O 棚下灯															
I 1	LED5.0W (440 l m)	85φ, 5000K	J 1	LED5.0W (460 l m)	100φ, 5000K	K 1	LED7.9W (485 l m)	100φ, 5000K	L 1	LED13.3W (1525 l m)	150φ, 5000K	M 1 L	LED18.6W (1350 l m)	100φ, 4000K	N 1	LED19W	5000K	O 1	LED20W	5000K													
<p>パナソニック NDN06105 LE1</p>			<p>パナソニック NDN06305 LE1</p>			<p>パナソニック XNDN1039WAK LE9</p>			<p>パナソニック XNDN1668WVK LE9</p>			<p>東芝ライテック LEDD-21311WV LD9</p>			<p>パナソニック NNN13205 LE1</p>			<p>パナソニック LGB52095 LE1</p>															
P 標示灯			Q RGBダウンライト			LED B級・BL形 避難口誘導灯片面型			LED B級・BL形 避難口誘導灯片面型			LED B級・BL形 避難口誘導灯片面型			LED B級・BL形 避難口誘導灯片面型			LED B級・BL形 通路誘導灯片面型															
P 1	LED5W	5000K	Q 1 L	LED50W (115~2000 l m)	175φ	誘導灯 1	LED2W		誘導灯 2	LED2W		誘導灯 3	LED2W		誘導灯 4	LED2W		誘導灯 5	LED2W														
壁・天井面取付兼用 消し文字パネル			0~100%調光、2700~6500K調色			壁・天井直付型			壁・天井直付型			天井埋込型			天井埋込型			壁・天井直付型															
<p>使用中</p> <p>パナソニック NNF11930+FK11571</p>			<p>日本ビーアイ NDD-2000WV</p>			<p>認定番号: 1AM111-3209 パナソニック FA20312LE1+FK20000</p>			<p>認定番号: 1AM111-3270 長時間定格型 (60分間) パナソニック FA20316LE1+FK20000</p>			<p>認定番号: 1AM111-3492 パナソニック FA20352LE1+FK20050</p>			<p>認定番号: 1AM221-3493 パナソニック FA20362LE1+FK20076</p>			<p>認定番号: 1AM111-3209 パナソニック FA20312LE1+FK20016</p>															
誘導灯 6			誘導灯 7			誘導灯 8			誘導灯 9			○			○			○															
LED2W 壁・天井直付型			LED2W 天井埋込型			LED2W 天井埋込型			LED2W 天井埋込型																								
認定番号: 1AM111-3209			認定番号: 1AM111-3492			認定番号: 1AM221-3493			認定番号: 1AM221-3497 長時間定格型 (60分間)																								
<p>パナソニック FA20312LE1+FK20017</p>			<p>パナソニック FA20352LE1+FK20066</p>			<p>パナソニック FA20362LE1+FK20086</p>			<p>パナソニック FA20366LE1+FK20086</p>																								
a 非常照明			○			○			○			○			○			○															
a50	JD50W-1	電池別置型																															
<p>評定番号: LCLH-03</p> <table border="1"> <tr> <td>取付の高さ</td> <td>2.4m</td> <td>2.6m</td> <td>3.0m</td> </tr> <tr> <td>単体配置</td> <td>4.7</td> <td>4.8</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>直線配置</td> <td>11.3</td> <td>11.8</td> <td>12.5</td> </tr> <tr> <td>四角配置</td> <td>9.8</td> <td>10.2</td> <td>10.9</td> </tr> </table> <p>パナソニック LB95500K</p>			取付の高さ	2.4m	2.6m	3.0m	単体配置	4.7	4.8	5.0	直線配置	11.3	11.8	12.5	四角配置	9.8	10.2	10.9															
取付の高さ	2.4m	2.6m	3.0m																														
単体配置	4.7	4.8	5.0																														
直線配置	11.3	11.8	12.5																														
四角配置	9.8	10.2	10.9																														
<p>■ 特記事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 仕上げは特記なきはメーカー標準品とする。 寸法、色等の指定があるものは図中に示す。 非常用照明、誘導灯は認定品を使用する。 																																	

R 天井直付40形LEDベースライト R1 ライト-31.9W (5200 lm) W150. 5000K			S 天井埋込40形LEDベースライト S1 ライト-32.0W (5200 lm) W150. 5000K			T 天井埋込40形LEDベースライト T1 ライト-32.3W (5200 lm) W150. 5000K			U 天井埋込クリーンルーム向け照明器具 U1 ライト-26.3W (5200 lm) W220. 5000K																																		
 パナソニック 直付XLX450AENPLE9			 パナソニック 埋込XLX450PENTRC9			 パナソニック 埋込XLX450PENTRZ9			 パナソニック 埋込XLX451JHNPLE9																																		
V 天井埋込クリーンルーム向け照明器具 V1 ライト-36.3W (6900 lm) W220. 5000K			W 天井埋込クリーンルーム向け照明器具 W1 直管LED (5200 lm) W220.			X 天井埋込LEDベースライトFHP32形×3灯相当タイプ X1 ライト-34W (5080 lm) □450. 5000K			○																																		
 パナソニック 埋込XLX461JHNTLE9			 パナソニック NNFJ42851LT9			 パナソニック 埋込XL573PFVKRZ9			○																																		
aa 非常照明 aa LED 電池別置型			aa 非常照明 クリーンルーム用 aaCL LED 電池別置型			bb 避難口誘導灯 bb LED B級 BL形 片面 電池内蔵型			bb 避難口誘導灯 クリーンルーム用 bbCL LED B級 BL形 片面 電池内蔵型																																		
非常灯評定番号: LCLE-001  <table border="1"> <tr><td>取付の高さ</td><td>2.4m</td><td>2.6m</td><td>3.0m</td></tr> <tr><td>単体配置</td><td>5.1</td><td>5.2</td><td>5.2</td></tr> <tr><td>直線配置</td><td>12.9</td><td>13.3</td><td>13.9</td></tr> <tr><td>四角配置</td><td>10.9</td><td>11.4</td><td>12.3</td></tr> </table> パナソニック NNF84665			取付の高さ	2.4m	2.6m	3.0m	単体配置	5.1	5.2	5.2	直線配置	12.9	13.3	13.9	四角配置	10.9	11.4	12.3	非常灯評定番号: LCLE-001  <table border="1"> <tr><td>取付の高さ</td><td>2.4m</td><td>2.6m</td><td>3.0m</td></tr> <tr><td>単体配置</td><td>4.9</td><td>5.1</td><td>5.2</td></tr> <tr><td>直線配置</td><td>11.4</td><td>12.0</td><td>13.0</td></tr> <tr><td>四角配置</td><td>9.2</td><td>9.8</td><td>10.7</td></tr> </table> パナソニック NNF84815			取付の高さ	2.4m	2.6m	3.0m	単体配置	4.9	5.1	5.2	直線配置	11.4	12.0	13.0	四角配置	9.2	9.8	10.7	型式認定番号: 1AM111-3209  パナソニック FA20312CLE1+FK20300			型式認定番号: 1AM111-3351  パナソニック JF21347CLE1+FK20300		
取付の高さ	2.4m	2.6m	3.0m																																								
単体配置	5.1	5.2	5.2																																								
直線配置	12.9	13.3	13.9																																								
四角配置	10.9	11.4	12.3																																								
取付の高さ	2.4m	2.6m	3.0m																																								
単体配置	4.9	5.1	5.2																																								
直線配置	11.4	12.0	13.0																																								
四角配置	9.2	9.8	10.7																																								
○			○			○			■ 特記事項 1. 仕上げは特記なきはメーカー標準品とする。 2. 寸法、色等の指定があるものは図中に示す。 3. 非常用照明、誘導灯は認定品を使用する。																																		

凡例			
記号	名称	仕様	備考
◎	天井コンセント (抜止め)	2P15A E付×1	ファンコイル用

- (注記)
- 特記なき配管配線は下記による。
 〰 〰 EM-EF2.0-3C (内1本アース) 配管保護部分 (PFZ)
 〰 〰 既設配管配線を利用
 〰 〰 は二重天井内ケーブルところがし配線を示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。
 既 既設機器を示す。
 - 回路記号は下記による。
 ④④④ AC100V回路
 ④④④ AC200V回路
 - 建築の下階での天井解体復旧工事に伴い、既設器具の取外し・再取付を下記数量見込むこと。
 ・照明器具 埋込アクリルパネル40W×1: 1台
 埋込ルーバー40W×2: 5台
 ・非常照明 1L40W: 1台
 ・充電式スポットライト変換器: 1個





採卵室	姿図符号	台数	リハビリ・処置室	姿図符号	台数
W1		4	S1		4
			X1		5

培養室	姿図符号	台数	前室	姿図符号	台数
U1		10	T1		2

診察室 5	姿図符号	台数	診察室 5	姿図符号	台数
S1		2	S1		2

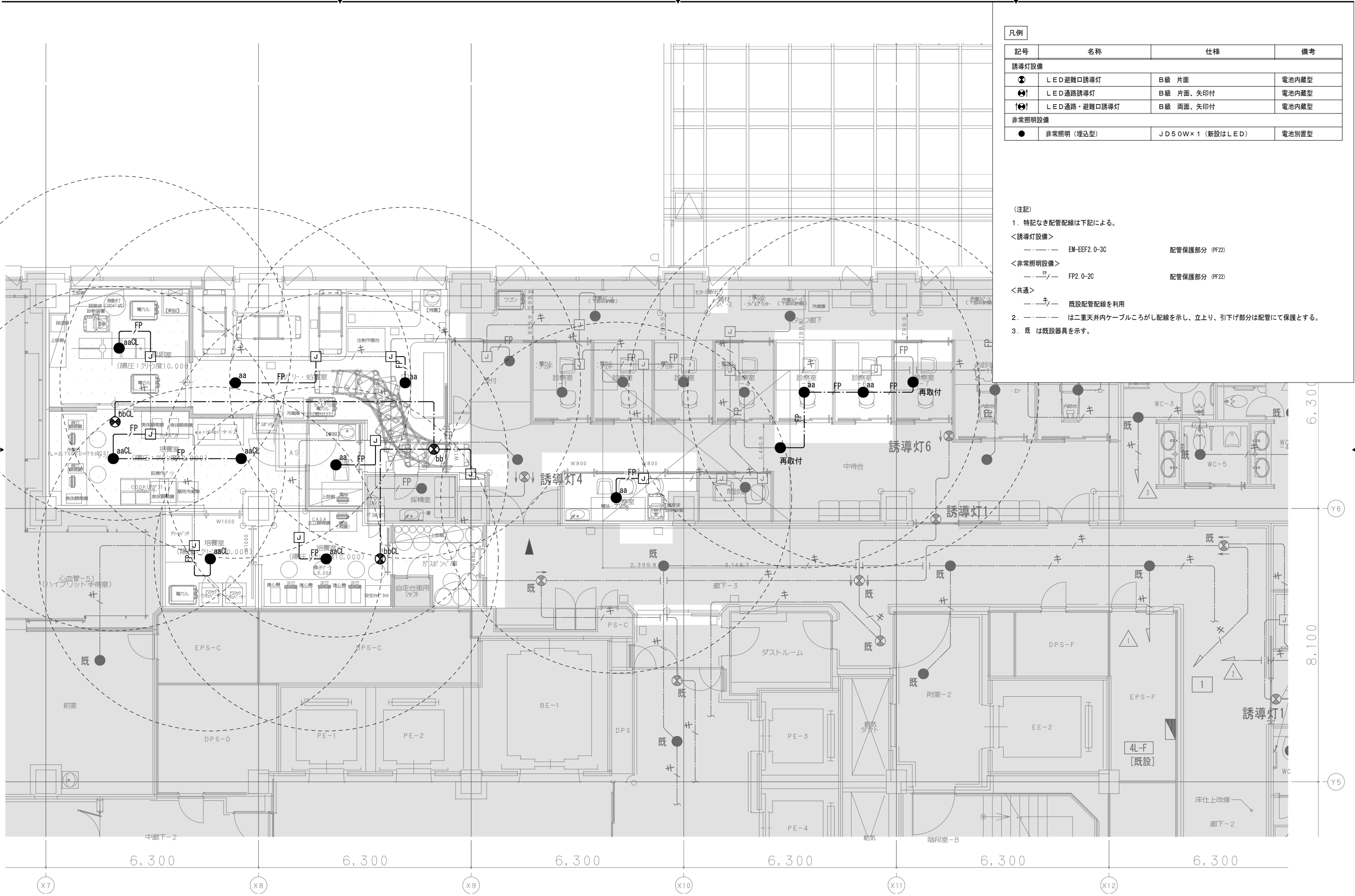
診察室 8	姿図符号	台数	診察室 5	姿図符号	台数
S1		2	S1		2

培養室	姿図符号	台数	ガスボンベ庫	姿図符号	台数
V1		2	R1		1

凡例		
記号	名称	備考
●	1P15A×1	
● ³	3W15A×1	
⌘	LED調光スイッチ	

- (注記)
- 特記なき配管配線は下記による。

---	EM-EEF1.6-2C	配管保護部分 (PF16)
---	EM-EEF2.0-3C	(内1本アース) 配管保護部分 (PF22)
---	EM-EEF1.6-3C	配管保護部分 (PF22)
---	EM-EEF2.0-2Cx2	配管保護部分 (PF22)
---	EM-CPEE0.9-1P	
---	EM-EEF2.0-2C	配管保護部分 (PF22)
---	EM-CPEE0.9-1P	
---	EM-EEF2.0-3C	
---	EM-CPEE0.9-1P	
 - | | |
|-----|-----------|
| --- | 金属モールにて保護 |
| --- | 既設配管配線を利用 |
 - は二重天井内ケーブルこしがしを示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。
 - 既設は既設を示す。



凡例			
記号	名称	仕様	備考
誘導灯設備			
●	LED避難口誘導灯	B級 片面	電池内蔵型
●↑	LED通路誘導灯	B級 片面、矢印付	電池内蔵型
●↑↓	LED通路・避難口誘導灯	B級 両面、矢印付	電池内蔵型
非常照明設備			
●	非常照明(埋込型)	JD50W×1 (新設はLED)	電池別置型

(注記)

1. 特記なき配管配線は下記による。

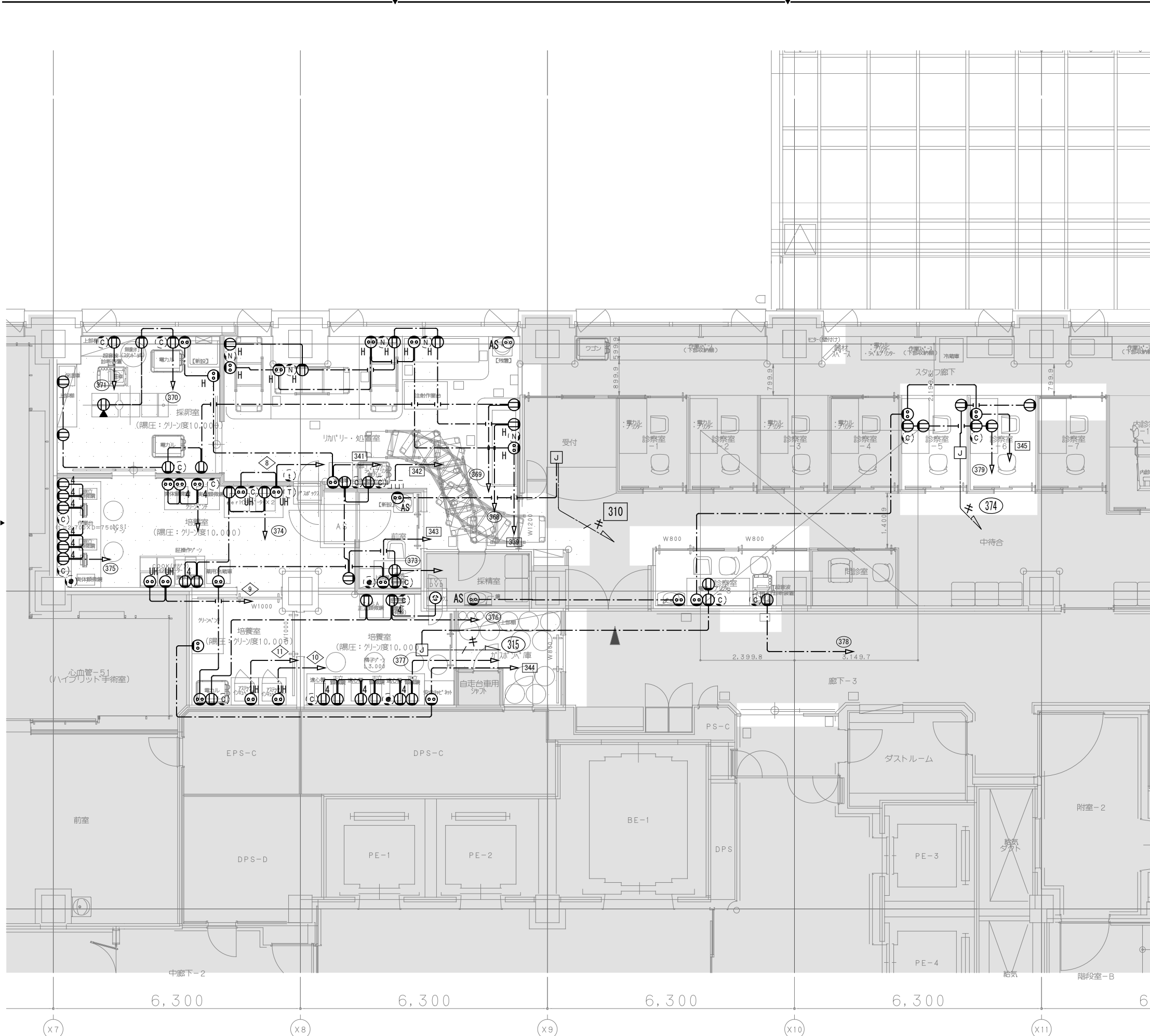
<誘導灯設備>
 --- EM-EEF2 0-3C 配管保護部分 (PF22)

<非常照明設備>
 --- PF2 0-2C 配管保護部分 (PF22)

<共通>
 --- 既設配管配線を利用

2. --- は二重天井内ケーブルところがし配線を示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3. 既 は既設器具を示す。



記号	名称	仕様	備考
①	埋込コンセント	2P15A E付×2	
②	埋込コンセント	2P15A E付×4	
③	埋込コンセント	2P15A E付×2	GC回路
④	埋込コンセント	2P15A E付×4	GC回路
⑤	医用コンセント (埋込)	2P15A E付×2	
⑥	医用コンセント (埋込)	2P15A E付×4	
⑦	医用コンセント (埋込)	2P15A E付×2	GC回路
⑧	医用コンセント (埋込)	2P15A E付×4	GC回路
⑨	医用コンセント (埋込)	2P15A E付×2	UPS回路
⑩	医用コンセント (天井)	2P15A E付×2	UPS回路
⑪	埋込コンセント (天井)	2P15A E付×2 (抜止め)	
⑫	アップコンセント (床埋込)	2P15A E付×2	
⑬	ウォシュレット用	2P15A E付×1	
⑭	自動水栓用	2P15A E付×1	GC回路
⑮	フラッシュバルブ用		
—	配線ダクト (1m)	リチコネク 2P15A, E付×2ケロ (抜止め) をそれぞれに各1個取付	
□	ハーネスジョイントボックス		
■	ハーネスジョイントボックス		GC回路
□	OAタップコンセント	2P15A E付×2 (抜止め) コードなし	
■	OAタップコンセント	2P15A E付×2 (抜止め) コードなし	GC回路

(注記)

- 特記なき配管配線は下記による。

—	EM-EEF2.0-2C	配管保護部分 (PF16)
—	EM-EEF2.0-3C (内1本アース)	配管保護部分 (PF22)
—	EM-CE5.5-3C (内1本アース)	配管保護部分 (PF22)
—	EM-CE8-3C (内1本アース)	配管保護部分 (PF22)
—	EM-EEF2.0-3C (内1本アース)	OAフロアころがし
—	EM-CE5.5-3C (内1本アース)	OAフロアころがし
- は二重天井内ケーブルころがし配線を示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。
- 既 設 機器を示す。
- コンセントの回路は既設回路及び予備回路を利用とする。
- 回路記号は下記による。

③※※	: AC100V回路
③※	: GC100V回路

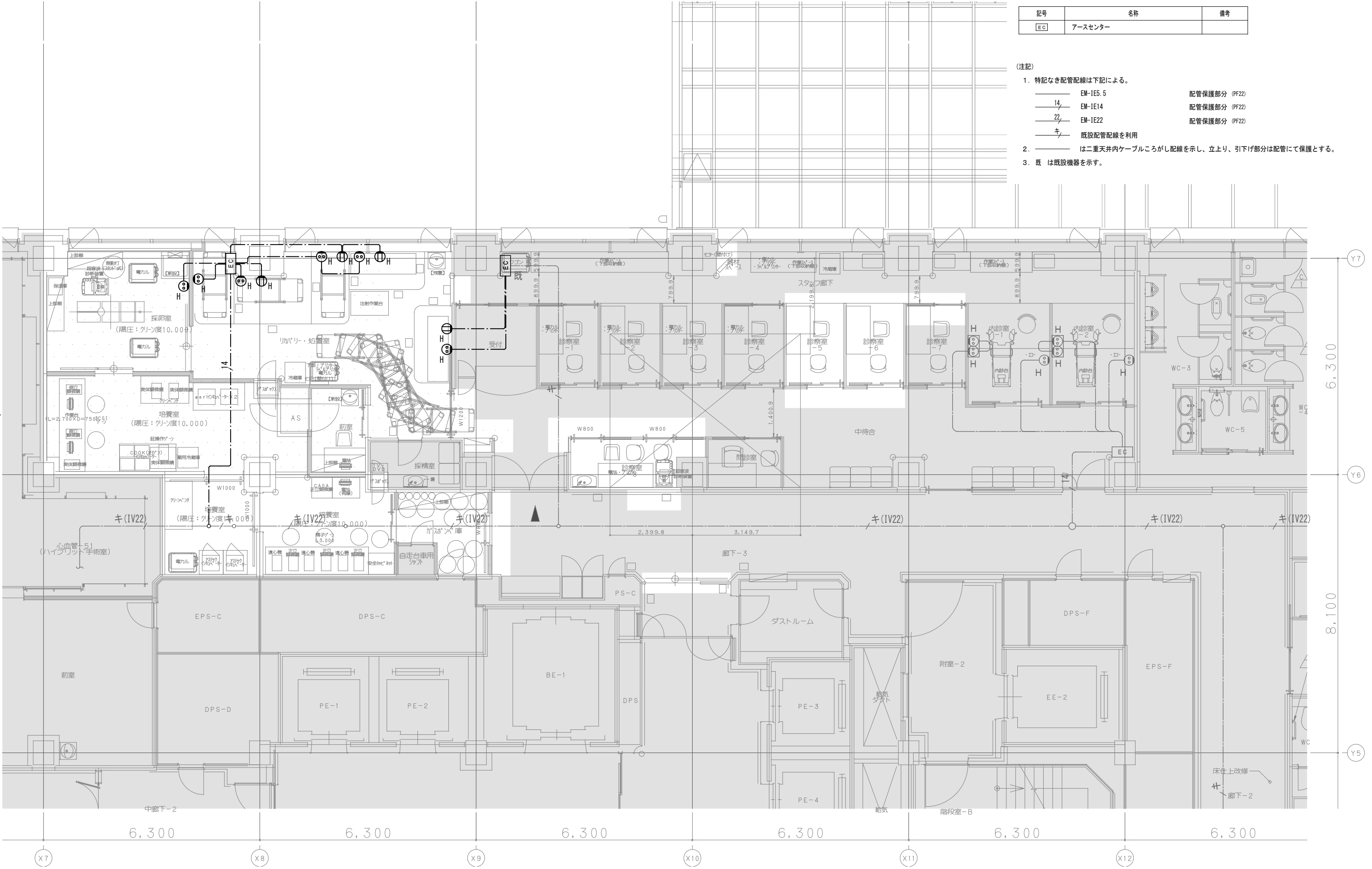
凡例

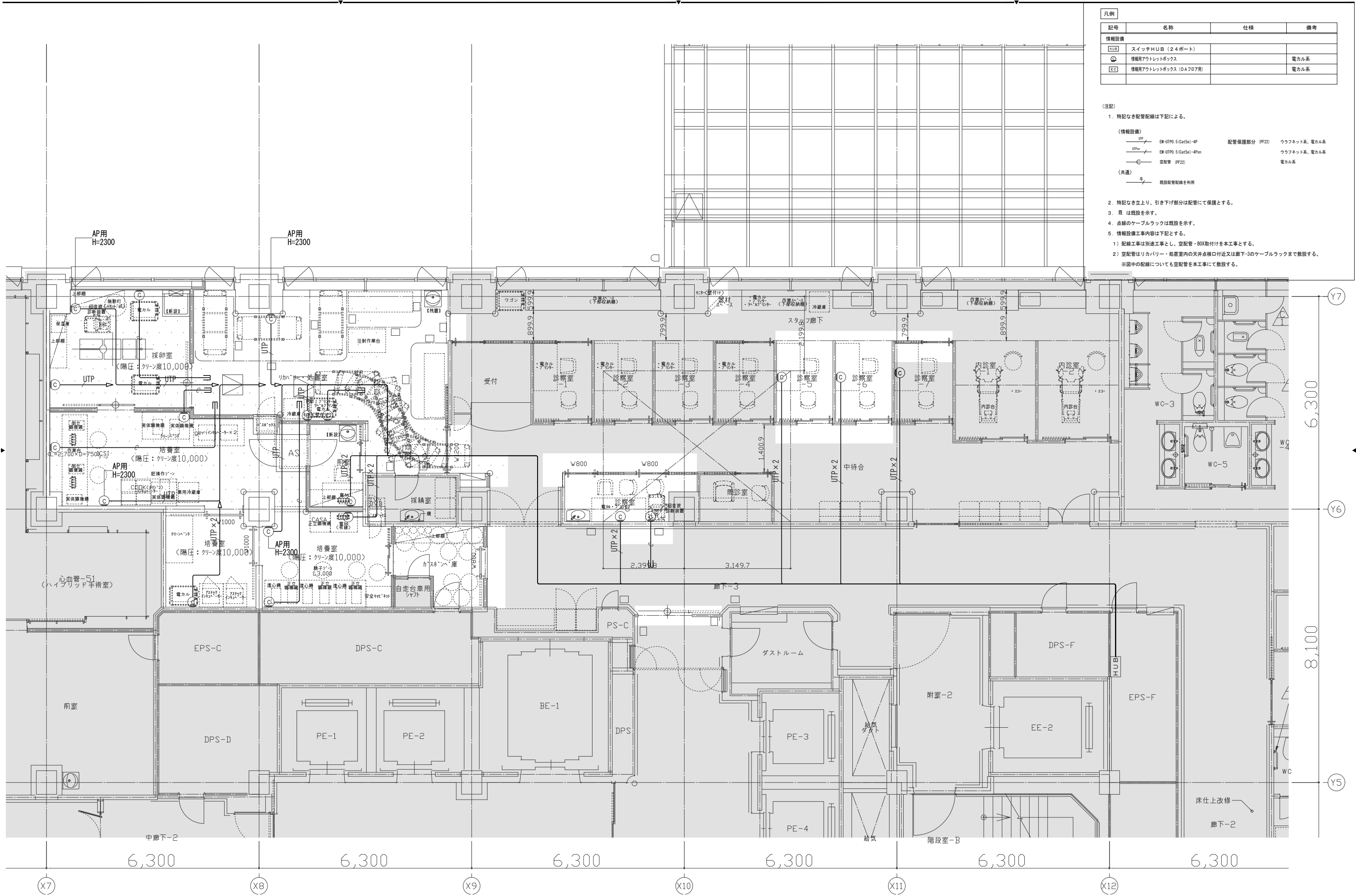
記号	名称	備考
EC	アースセンター	

(注記)

- 特記なき配管配線は下記による。

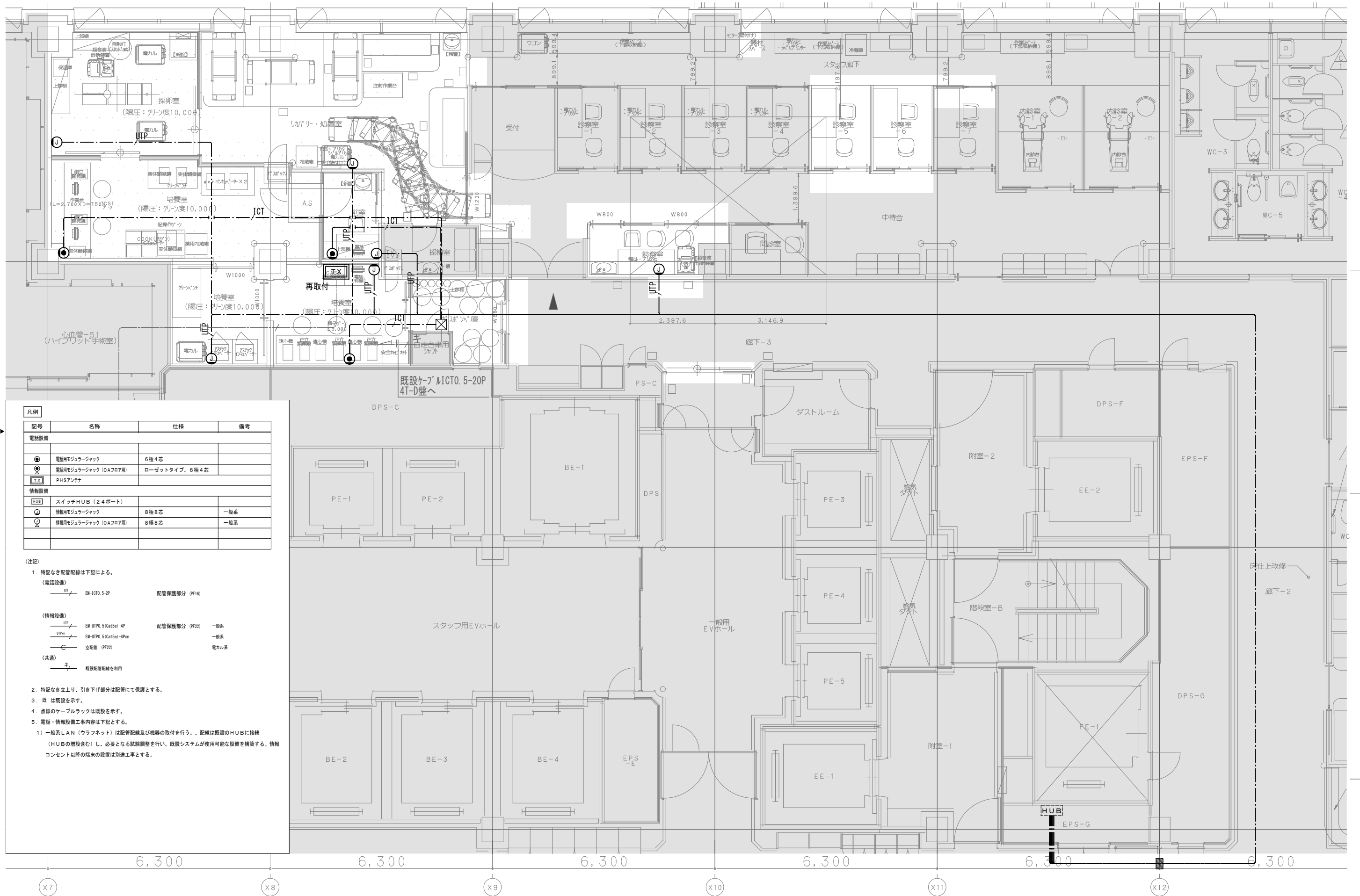
EM-1E5.5	配管保護部分 (PF22)
EM-1E14	配管保護部分 (PF22)
EM-1E22	配管保護部分 (PF22)
キ	既設配管配線を利用
- は二重天井内ケーブルところがし配線を示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。
- 既 は既設機器を示す。





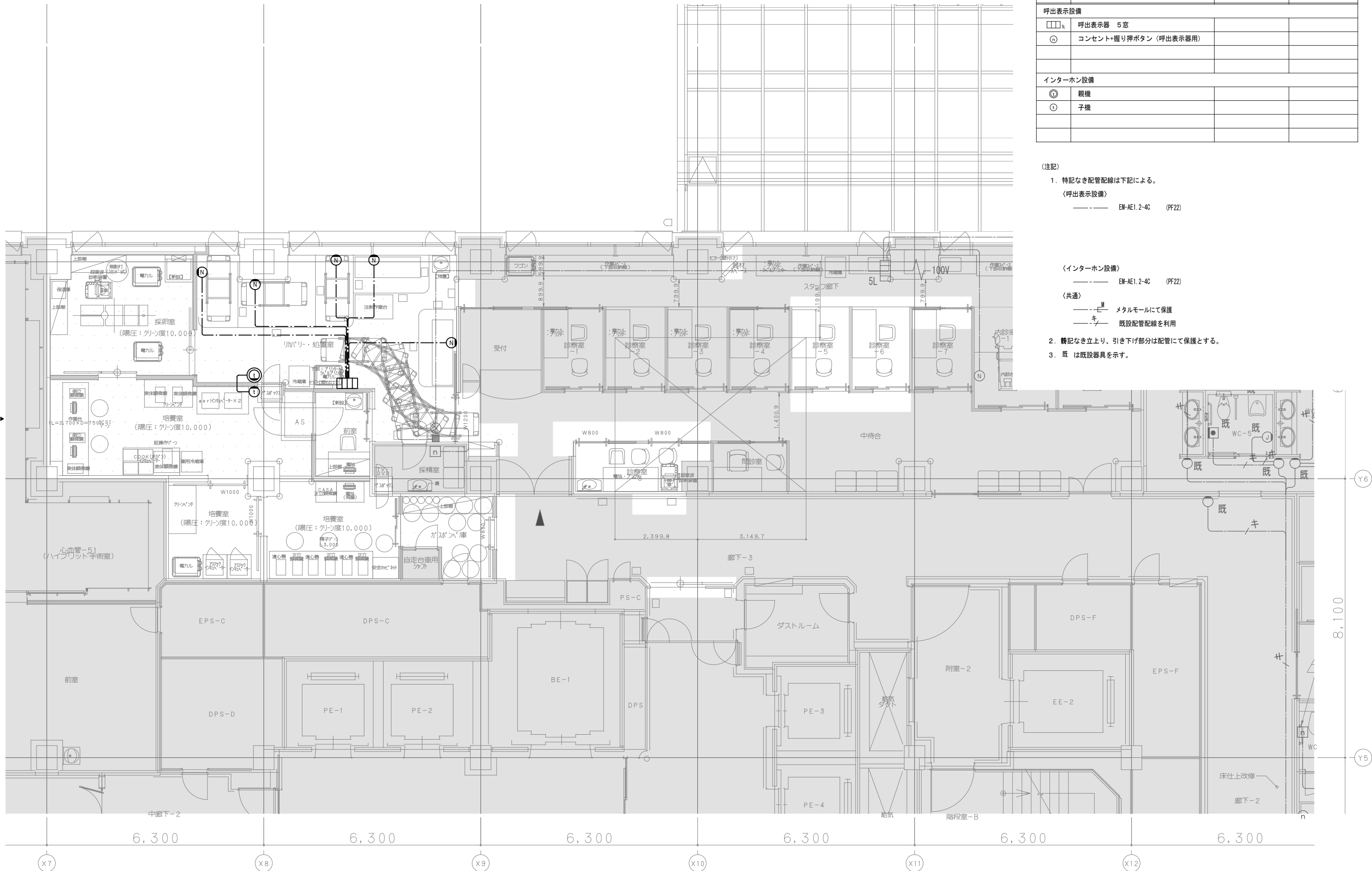
凡例	記号	名称	仕様	備考
情報設備	UB	スイッチUB (24ポート)		
	○	情報用アクトレットボックス		電カ系
	□	情報用アクトレットボックス (OAフロア)		電カ系

- (注記)
- 特記なき配管配線は下記による。
 - (情報設備)
 - ETP ETP-UPO. S (Cat5e)-4P 配管保護部分 (PF22) クラフネット系、電カ系
 - ETPm ETP-UPO. S (Cat5e)-4Pm クラフネット系、電カ系
 - 空配管 (PF22) 電カ系
 - (共通)
 - 配管配線配線を利用
 - 特記なき立上り、引き下げ部分は配管にて保護とする。
 - 既設は既設を示す。
 - 点線のケーブルラックは既設を示す。
 - 情報設備工事内容は下記とする。
 - 配線工事は別途工事とし、空配管・BOX取付けを本工事とする。
 - 空配管はリカバリー・処置室内の天井点検口付近又は廊下-3のケーブルラックまで敷設する。
- ※図中の配線についても空配管を本工事にて敷設する。



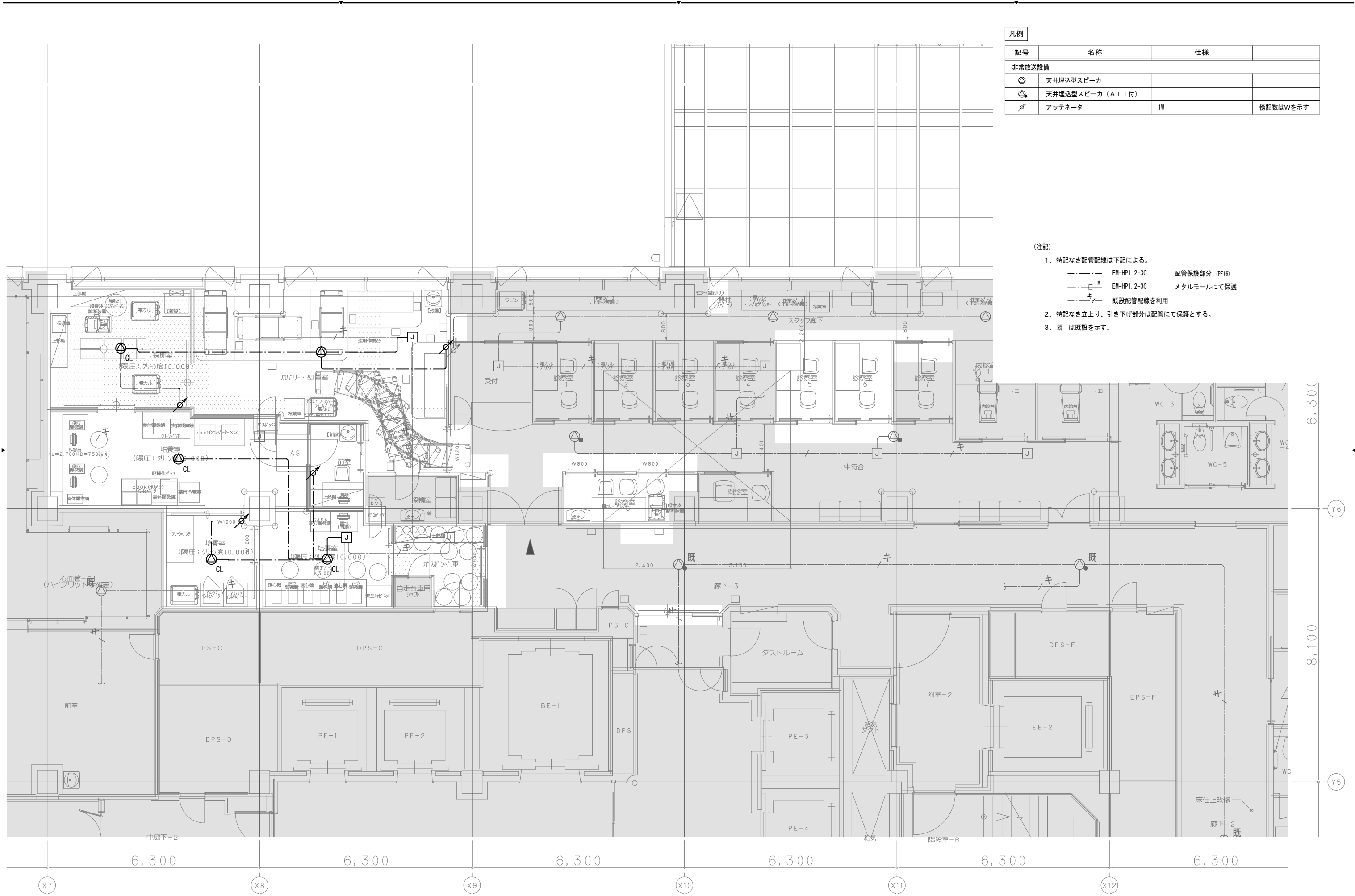
凡例	記号	名称	仕様	備考
電話設備				
●	電話用モジュラージャック	6極4芯		
○	電話用モジュラージャック (OA707用)	ローゼットタイプ、6極4芯		
△	PHSアンテナ			
情報設備				
□	スイッチHUB (24ポート)			
○	情報用モジュラージャック	8極8芯	一般系	
○	情報用モジュラージャック (OA707用)	8極8芯	一般系	

- (注記)
- 特記なき配管配線は下記による。
 <電話設備>
 ICT EM-ICT0.5-2P 配管保護部分 (PF16)
 <情報設備>
 UTP EM-UTP0.5 (Cat5e)-4P 配管保護部分 (PF22) 一般系
 UTPm EM-UTP0.5 (Cat5e)-4Pm 一般系
 C 変配管 (PF22) 電カル系
 (共通)
 キ 既設配管配線を利用
 - 特記なき上立り、引き下げ部分は配管にて保護とする。
 - 既 既設を示す。
 - 点線のケーブルラックは既設を示す。
 - 電話・情報設備工事内容は下記とする。
 1) 一般系LAN (ウラフネット) は配管配線及び機器の取付を行う。配線は既設のHUBに接続 (HUBの増設含む)。必要となる試験調整を行い、既設システムが使用可能な設備を構築する。情報コンセント以降の端末の設置は別途工事とする。



凡例			
記号	名称	仕様	
呼出表示設備			
□	呼出表示器 5窓		
○	コンセント+握り押ボタン (呼出表示器用)		
インターホン設備			
ⓐ	親機		
ⓑ	子機		

- (注記)
- 特記なき配管配線は下記による。
 (呼出表示設備)
 ——— EM-AE1.2-4C (PF22)
 (インターホン設備)
 ——— EM-AE1.2-4C (PF22)
 (共通)
 ——— M ——— 金属モールにて保護
 ——— キ ——— 既設配管配線を利用
 - 特記なき立上り、引き下げ部分は配管にて保護とする。
 - 既 は既設器具を示す。

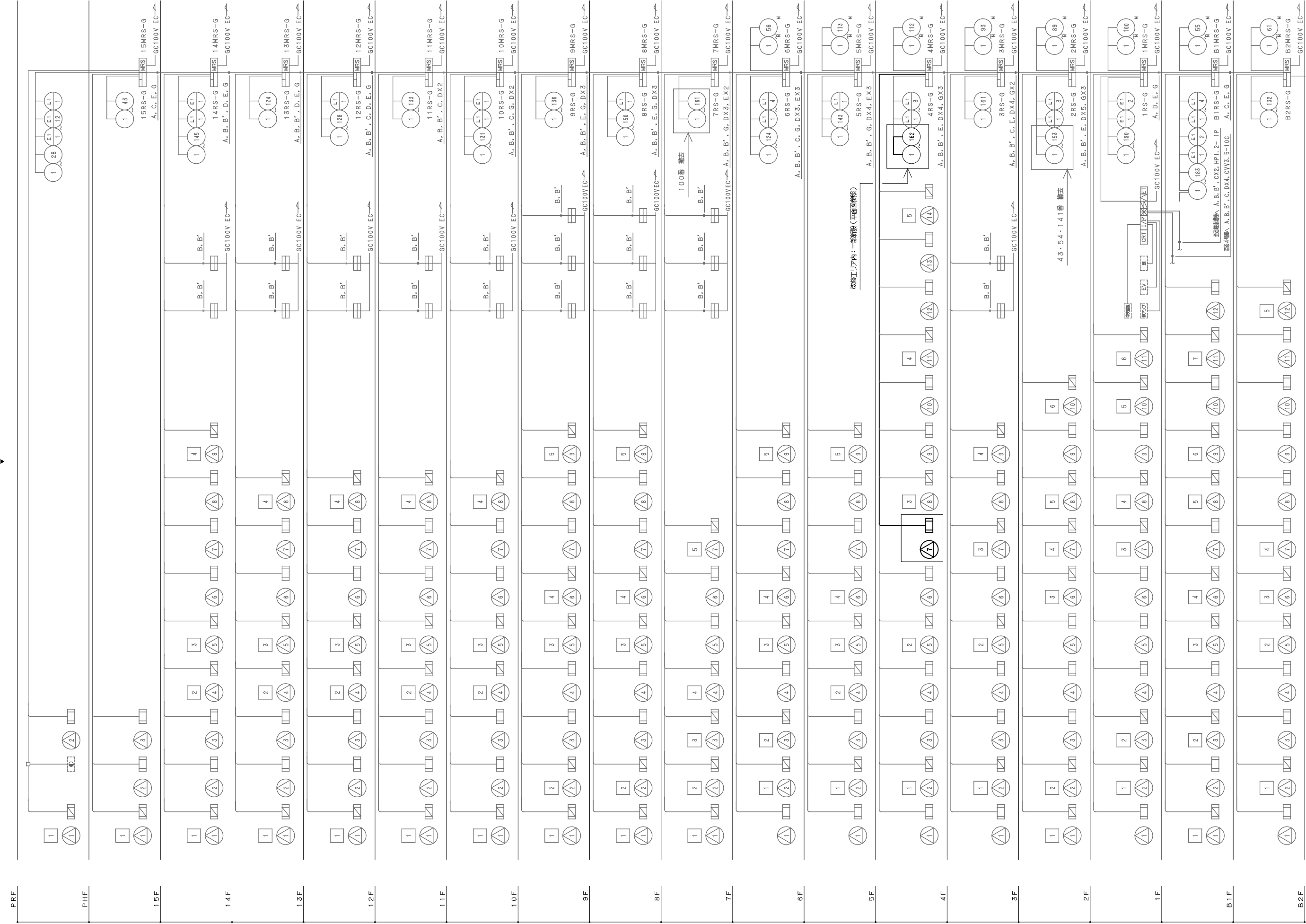


凡例

記号	名称	仕様	
非常放送設備			
⊙	天井埋込型スピーカ		
⊙	天井埋込型スピーカ (ATT付)		
⊙	アッテネータ	1W	傍記数はWを示す

(注記)

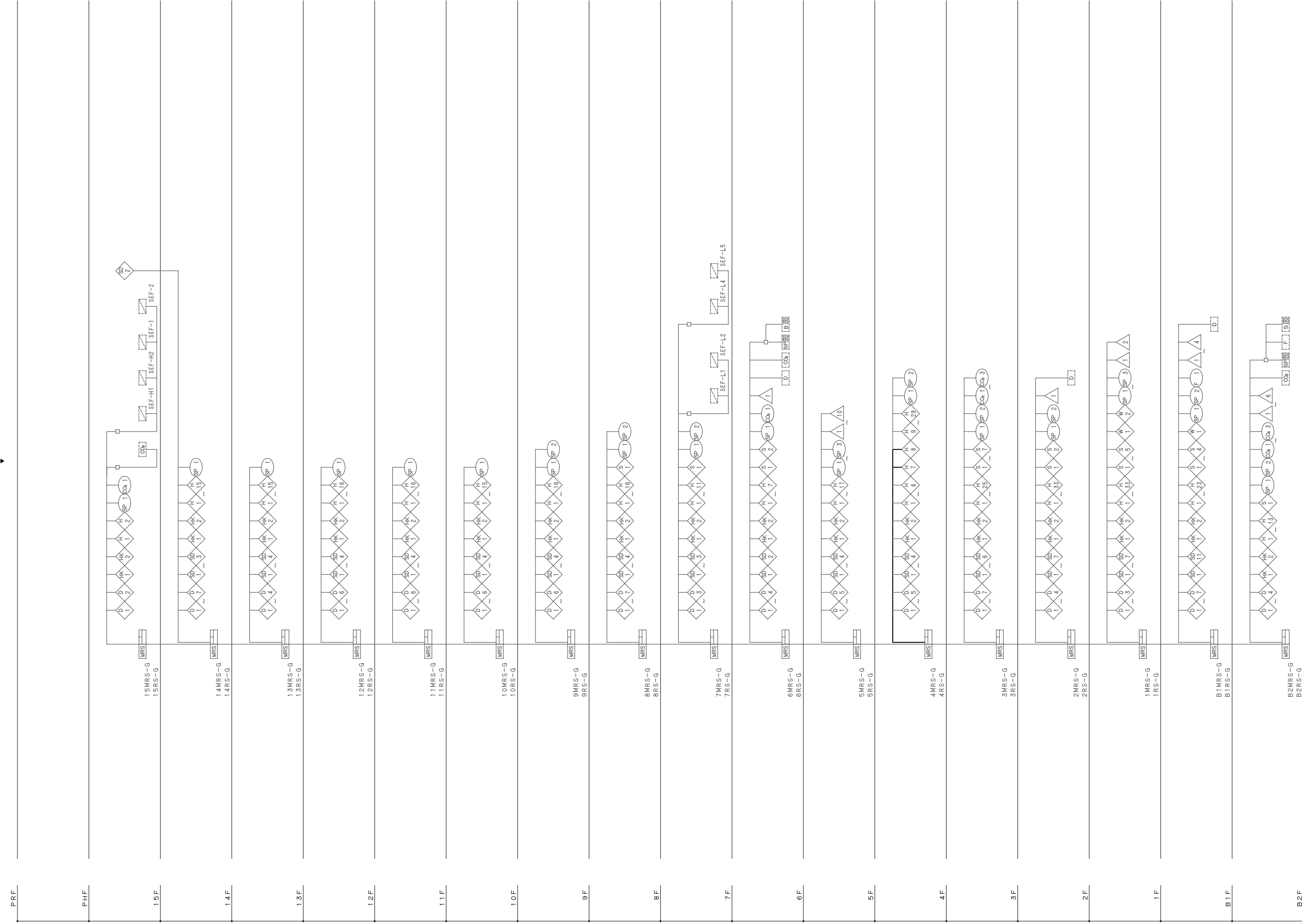
- 特記なき配管配線は下記による。
 - EM-HP1.2-3C 配管保護部分 (PF16)
 - E M EM-HP1.2-3C メタルモールにて保護
 - キ/ 既設配管配線を利用
- 特記なき立上り、引き下げ部分は配管にて保護とする。
- 既 は既設を示す。



設備系統図

記号	機種	設置箇所
A	HP7c-2VX4 (PF22)	HP1.2-10P (PF28)
B	HPS1.2-2P (PF16)	HP1.2-5P (PF22)
B'	HPS1.2-5P (PF18)	HP1.2-5P (PF22)
C	HP1.2-5P (PF18)	HP1.2-5P (PF22)
D	HP1.2-10P (PF22)	HP1.2-10P (PF28)
E	HP1.6-3P (PF22)	HP1.2-3P (PF28)
F	HP1.6-5P (PF28)	HP1.2-5P (PF22)

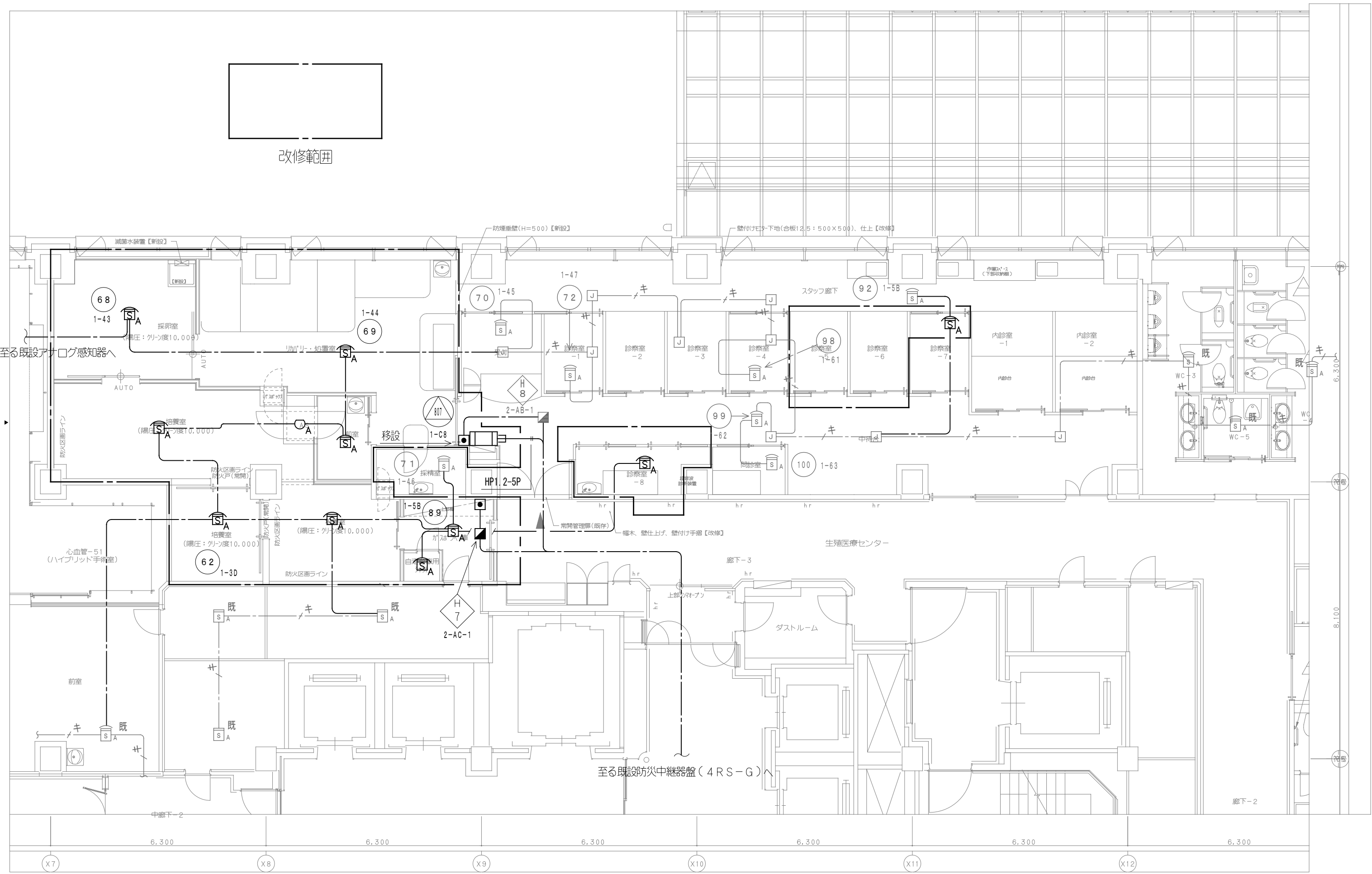
※機器設置時、中継器の仕様は、全てHP1.2-5Pとする。ただし中継器の仕様は、HP1.2-5P+HP1.2-2Cとする。
 ※注中継器-中継器の仕様は、全てHP7c-2VX4+HP1.2-10P×2とする。

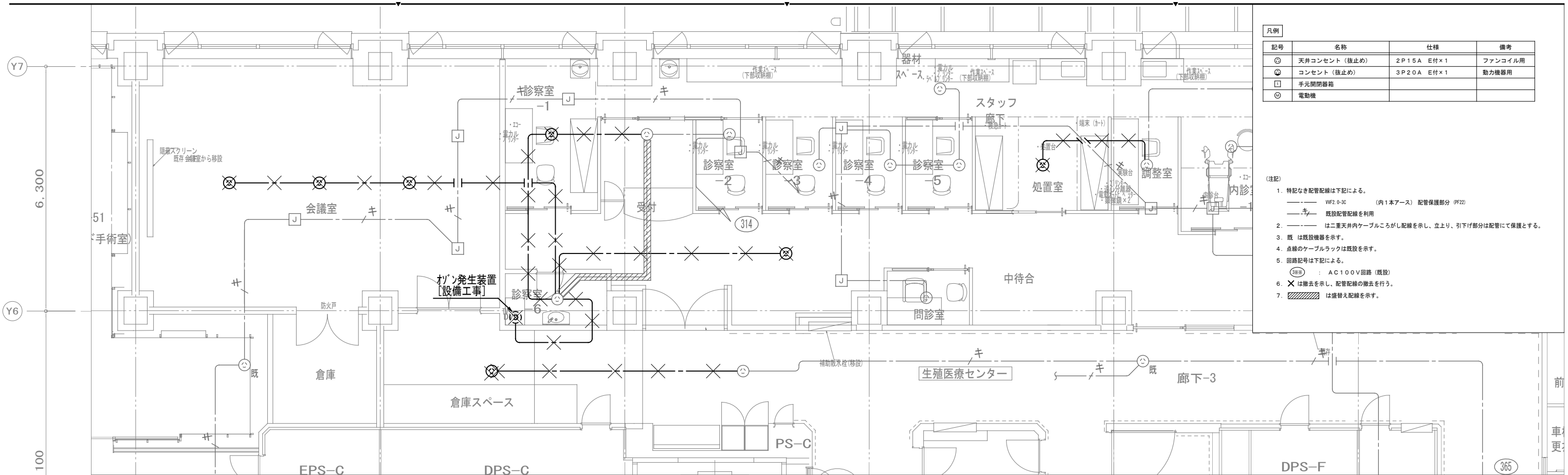


設備系統図

記号	番号	設備説明
A	HP7c-2VX4 (PF22)	
A	HP1.2-10P (PF28)	
B	HPS1.2-2P (PF16)	
B	HP1.2-5P (PF22)	
B'	HPS1.2-2P (PF16)	
C	HP1.2-5P (PF22)	
D	HP1.2-10P (PF28)	
E	HP1.6-3P (PF22)	
F	HP1.2-3P (PF22)	
G	HP1.6-5P (PF28)	

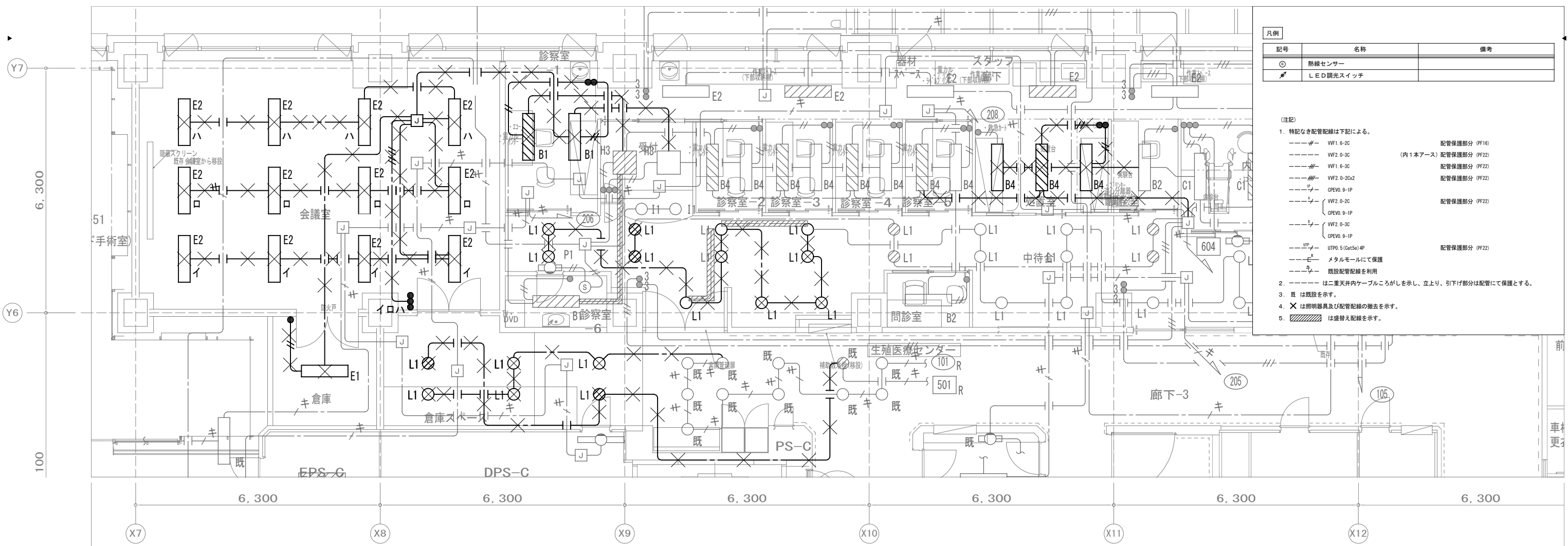
※機器仕様・中継器の仕様は、全てHP1.2-5Pとする。ただし非標記のものは、HP1.2-5P+HP1.2-2Cとする。
 ※注中継器・中継器の仕様は、全てHP7c-2VX4+HP1.2-10Pとする。





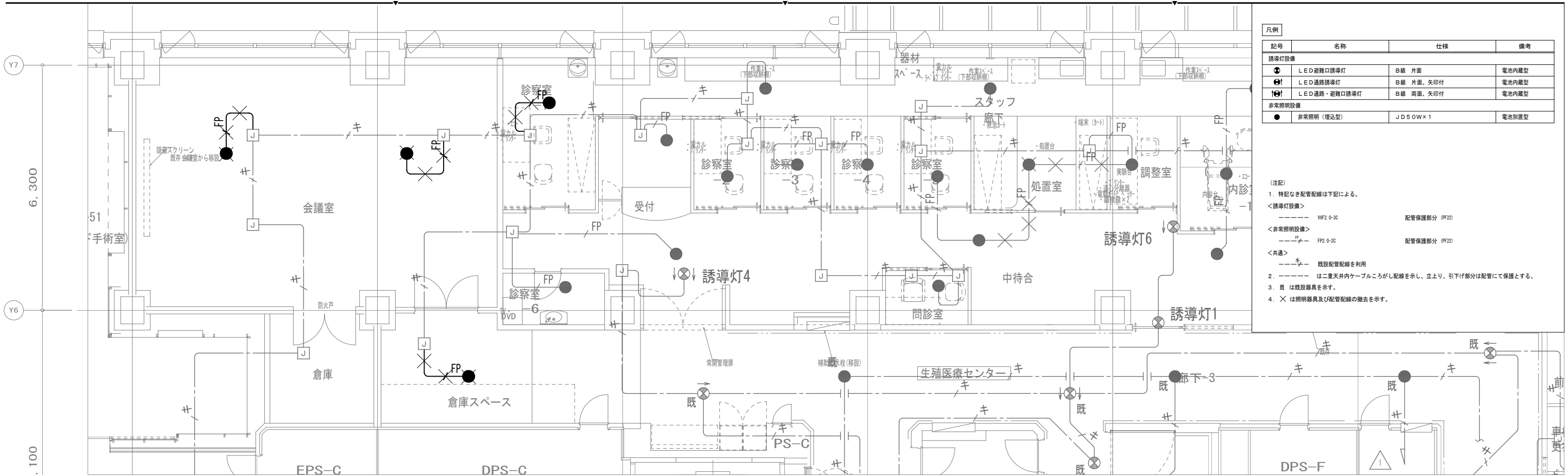
記号	名称	仕様	備考
⊙	天井コンセント (抜止め)	2P15A E付×1	ファンコイル用
⊗	コンセント (抜止め)	3P20A E付×1	動力機器用
□	手元開閉器箱		
⊕	電動機		

- (注記)
- 特記なき配管配線は下記による。
WF2-0-3C (内1本アース) 配管保護部分 (PF22)
既設配管配線を利用
 - は二重天井内ケーブルこしがし配線を示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。
 - 既 は既設機器を示す。
 - 点線のケーブルラックは既設を示す。
 - 回路記号は下記による。
⊕ : AC100V回路 (既設)
 - × は撤去を示し、配管配線の撤去を行う。
 - は撤替え配線を示す。



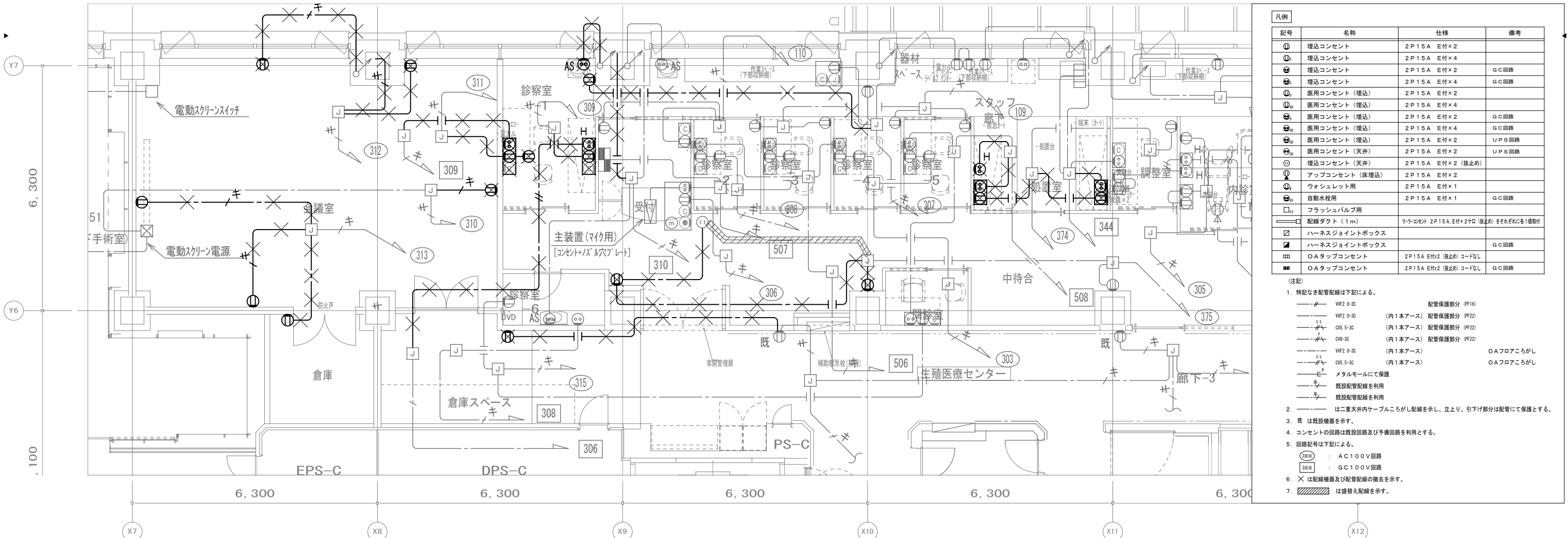
記号	名称	備考
⊙	熱線センサー	
⊕	LED調光スイッチ	

- (注記)
- 特記なき配管配線は下記による。
WF1-6-2C 配管保護部分 (PF16)
WF2-0-3C (内1本アース) 配管保護部分 (PF22)
WF1-6-3C 配管保護部分 (PF22)
WF2-0-20x2 配管保護部分 (PF22)
CPEVO-9-1P 配管保護部分 (PF22)
WF2-0-20 CPEVO-9-1P 配管保護部分 (PF22)
WF2-0-3C CPEVO-9-1P 配管保護部分 (PF22)
UTP0.5(Cat5e)4P 配管保護部分 (PF22)
メタルモールにて保護
既設配管配線を利用
 - は二重天井内ケーブルこしがし配線を示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。
 - 既 は既設を示す。
 - × は照明器具及び配管配線の撤去を示す。
 - は撤替え配線を示す。



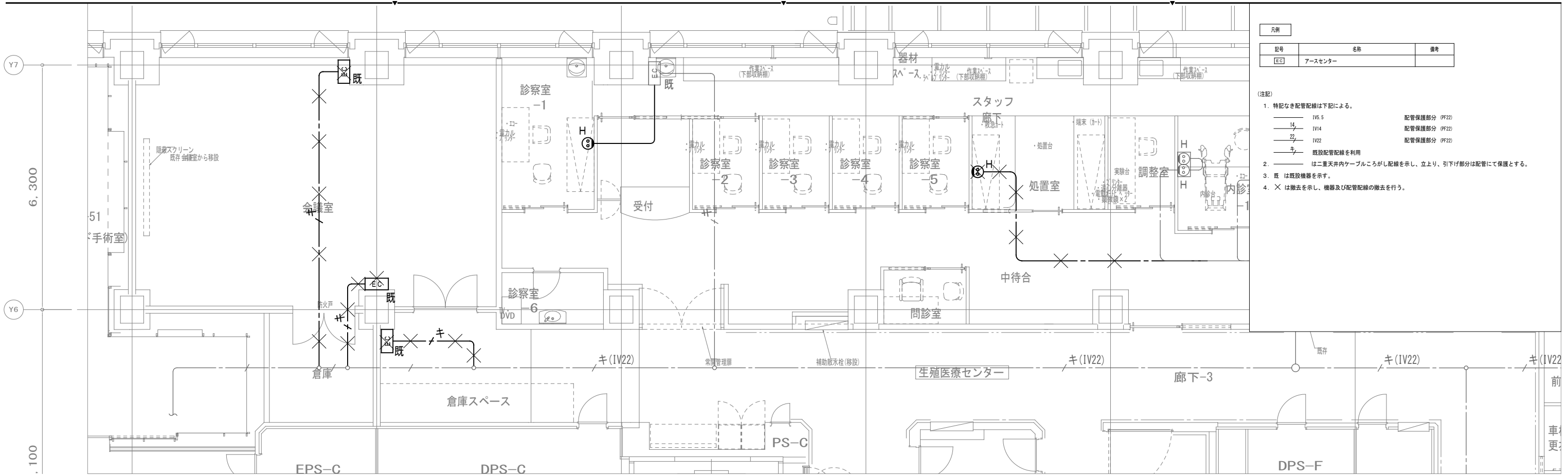
記号	名称	仕様	備考
①	LED避難口誘導灯	B級 片面	電池内蔵型
②	LED通路誘導灯	B級 片面、矢印付	電池内蔵型
③	LED通路・避難口誘導灯	B級 両面、矢印付	電池内蔵型
●	非常照明 (埋込型)	JD50W×1	電池別置型

(注記)
 1. 特記なき配管配線は下記による。
 <誘導灯設備>
 --- WF2-0-30 配管保護部分 (PF22)
 <非常照明設備>
 --- FP2-0-20 配管保護部分 (PF22)
 <共通>
 --- 既設配管配線を利用
 --- は二重天井内ケーブルころがし配線を示し、上立り、引下げ部分は配管にて保護とする。
 3. 既 は既設器具を示す。
 4. X は照明器具及び配管配線の撤去を示す。



記号	名称	仕様	備考
①	埋込コンセント	2P15A E付×2	
②	埋込コンセント	2P15A E付×4	
③	埋込コンセント	2P15A E付×2	G/C回路
④	埋込コンセント	2P15A E付×4	G/C回路
⑤	医用コンセント (埋込)	2P15A E付×2	
⑥	医用コンセント (埋込)	2P15A E付×4	
⑦	医用コンセント (埋込)	2P15A E付×2	G/C回路
⑧	医用コンセント (埋込)	2P15A E付×4	G/C回路
⑨	医用コンセント (埋込)	2P15A E付×2	UPS回路
⑩	医用コンセント (天井)	2P15A E付×2	UPS回路
⑪	埋込コンセント (天井)	2P15A E付×2 (抜止め)	
⑫	アップコンセント (床埋込)	2P15A E付×2	
⑬	ウォシュレット用	2P15A E付×1	
⑭	自動水栓用	2P15A E付×1	G/C回路
□	フラッシュバルブ用		
▭	配線ダクト (1m)	リフコンパ 2P15A E付×2ケロ (抜止め) をそれぞれに各1個取付	
⊠	ハーネスジョイントボックス		
⊡	ハーネスジョイントボックス		G/C回路
⊞	OAタップコンセント	2P15A E付×2 (抜止め) コードなし	
⊞	OAタップコンセント	2P15A E付×2 (抜止め) コードなし	G/C回路

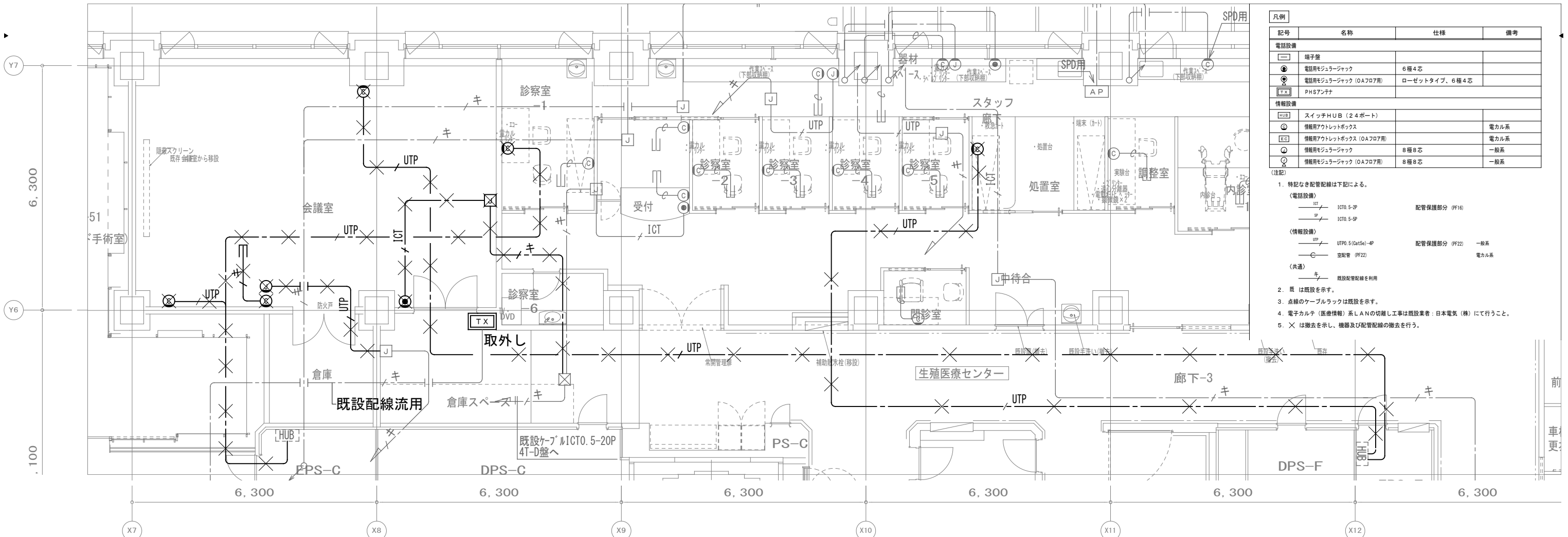
(注記)
 1. 特記なき配管配線は下記による。
 --- WF2-0-20 配管保護部分 (PF16)
 --- WF2-0-30 配管保護部分 (PF22)
 --- CV5-5-30 (内1本アース) 配管保護部分 (PF22)
 --- CV8-30 (内1本アース) 配管保護部分 (PF22)
 --- WF2-0-30 (内1本アース) O/Aフロアころがし
 --- CV5-5-30 (内1本アース) O/Aフロアころがし
 --- は金属モールにて保護
 --- 既設配管配線を利用
 --- は既設配管配線を利用
 --- は二重天井内ケーブルころがし配線を示し、上立り、引下げ部分は配管にて保護とする。
 3. 既 は既設機器を示す。
 4. コンセントの回路は既設回路及び予備回路を利用とする。
 5. 回路記号は下記による。
 (AC) : AC100V回路
 (GC) : GC100V回路
 6. X は配線機器及び配管配線の撤去を示す。
 7. は撤替え配線を示す。



凡例	記号	名称	備考
	EC	アースセンター	

- (注記)
- 特記なき配管配線は下記による。

IVS 5	配管保護部分 (PF22)
14	配管保護部分 (PF22)
22	配管保護部分 (PF22)
キ	既設配管配線を利用
 - は二重天井内ケーブルルックがし配線を示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。
 - 既 は既設機器を示す。
 - X は撤去を示し、機器及び配管配線の撤去を行う。

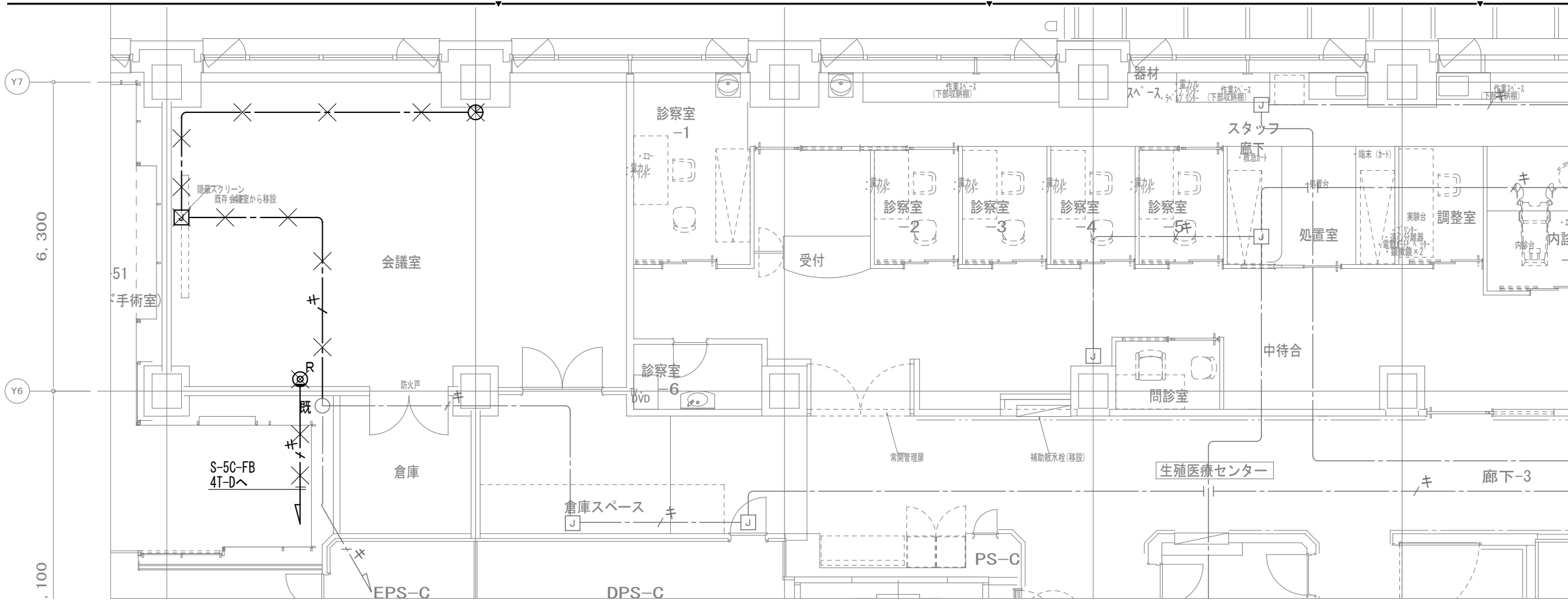


凡例	記号	名称	仕様	備考
電話設備		端子盤		
	●	電話用モジュラージャック	6極4芯	
	○	電話用モジュラージャック (OA707用)	ローゼットタイプ、6極4芯	
	TX	PHSアンテナ		
情報設備				
	Hub	スイッチHUB (24ポート)		
	○	情報用アクトレットボックス		電カ系
	EC	情報用アクトレットボックス (OA707用)		電カ系
	○	情報用モジュラージャック	8極8芯	一般系
	○	情報用モジュラージャック (OA707用)	8極8芯	一般系

(注記)

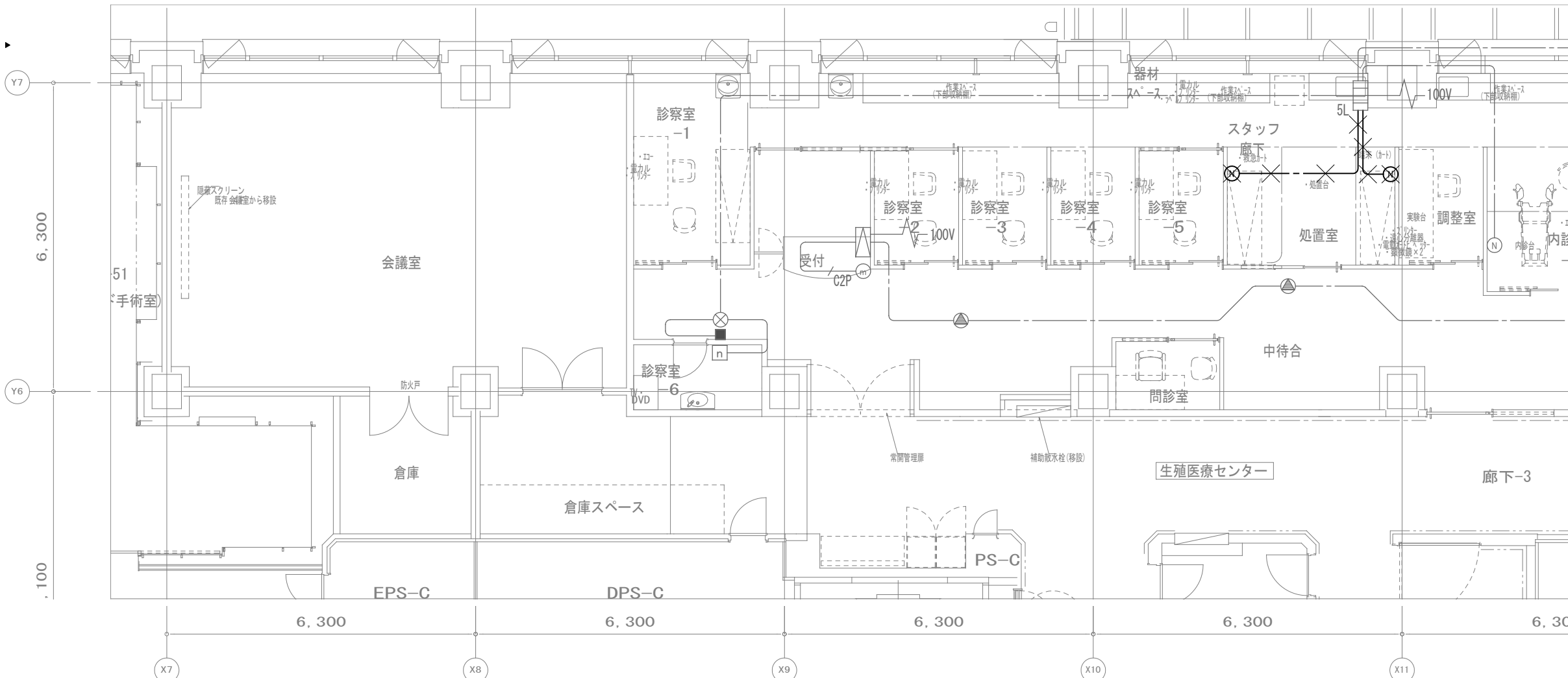
- 特記なき配管配線は下記による。

ICT	ICT0.5-2P	配管保護部分 (PF16)
SP	ICT0.5-5P	
- 既 は既設を示す。
- 点線のケーブルラックは既設を示す。
- 電子カルテ (医療情報) 系 LAN の切離し工事は既設業者: 日本電気 (株) にて行うこと。
- X は撤去を示し、機器及び配管配線の撤去を行う。



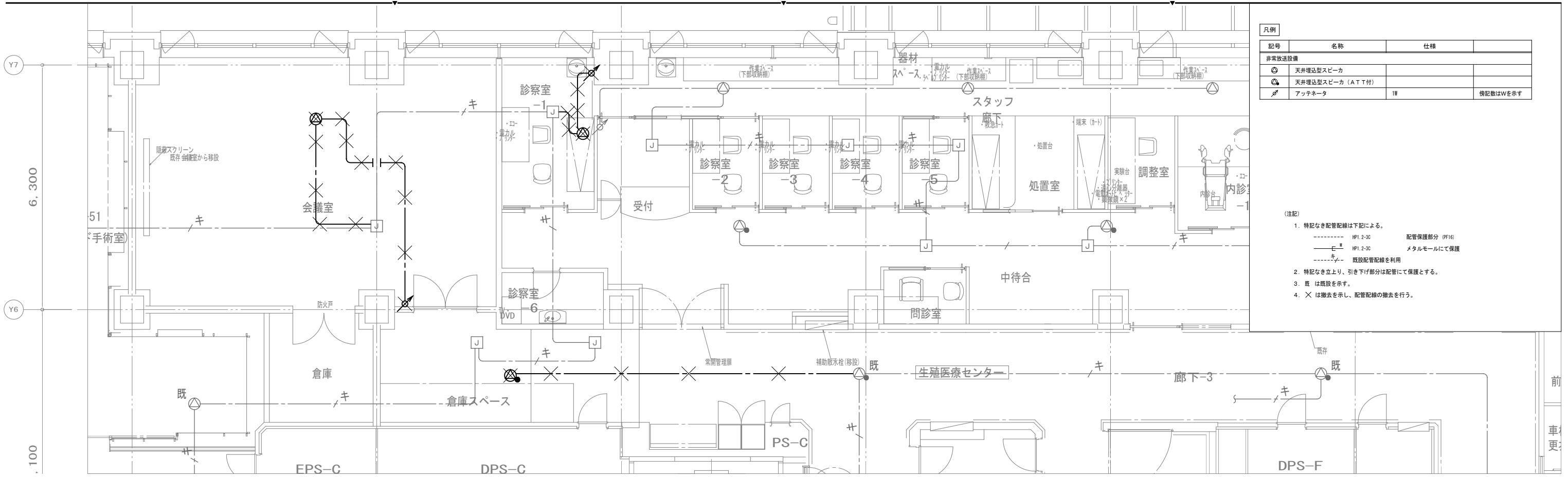
記号	名称	備考
テレビ共聴設備		
Ⓜ	テレビ用直列ユニット	
Ⓜ	テレビ用直列ユニット(端末)	
時計設備		
Ⓜ	電気時計子機	既設再利用
入退出管理設備		
Ⓜ	電気錠操作盤	
Ⓜ	テンキー	
Ⓜ	制御盤	
Ⓜ	電気錠	建築工事
患者呼出設備		
Ⓜ	待合共同呼出装置	既設再利用
Ⓜ	卓上マイクコンセント	
Ⓜ	天井埋込スピーカ	

- (注記)
- 特記なき配管配線は下記による。
 <テレビ共聴設備>
 --- S-50-FB 配管保護部分 (PF22)
 <時計設備>
 --- AE1.2-4C 配管保護部分 (PF22)
 <入退出管理設備>
 --- AE1.2-4C 配管保護部分 (PF22)
 <一般呼出設備>
 --- AE1.2-4C 配管保護部分 (PF22)
 <共通>
 --- マタルモールにて保護
 --- 既設配管配線を利用
 - は二重天井内ケーブルルーフとし配線を示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。
 - Ⓜ は既設器具を示す。
 - × は撤去を示し、配管配線の撤去を行う。



記号	名称	仕様
呼出表示設備		
Ⓜ	呼出表示器 A	
Ⓜ	呼出表示器 B	
Ⓜ	呼出表示器 5局	
Ⓜ	呼出表示器 3局	
Ⓜ	大代表廊下灯 (呼出表示器用)	
Ⓜ	代表廊下灯 (呼出表示器用)	
Ⓜ	復旧ボタン (呼出表示器用)	
Ⓜ	コンセント+覆り押ボタン (呼出表示器用)	
Ⓜ	トイレ・浴室用押ボタン (呼出表示器用)	
診察待合呼出設備		
Ⓜ	呼出アンプ装置	
Ⓜ	1元コンセント+卓上マイク (1系統用)	
Ⓜ	天井埋込スピーカ子機 (診察待合呼出)	
インターホン設備		
Ⓜ	カラーモニター観機	
Ⓜ	カラーカメラ付玄関子機	
Ⓜ	メロディサイン	
Ⓜ	チャム用押ボタン	

- (注記)
- 特記なき配管配線は下記による。
 (呼出表示設備)
 --- AE1.2-4C (PF22)
 (診察待合呼出設備)
 --- AE1.2-4C (PF22)
 --- OPEV-S0.9-2P (PF22)
 (インターホン設備)
 --- AE1.2-4C (PF22)
 (共通)
 --- マタルモールにて保護
 --- 既設配管配線を利用
 - は立上り、引き下げ部分は配管にて保護とする。
 - Ⓜ は既設器具を示す。
 - × は撤去を示し、配管配線の撤去を行う。



凡例			
記号	名称	仕様	
非常放送設備			
⊙	天井埋込型スピーカ		
⊕	天井埋込型スピーカ (ATT付)		
⊘	アンテナ	1W	傍記数はWを示す

- (注記)
- 特記なき配管配線は下記による。
 - - - - - HP1.2-3C 配管保護部分 (PF16)
 E HP1.2-3C メタルモールにて保護
 - - - - - キ 既設配管配線を利用
 - 特記なき立上り、引き下げ部分は配管にて保護とする。
 - 既 は既設を示す。
 - × は撤去を示し、配管配線の撤去を行う。

記号	名称	備考
☒	複合盤	註記参照
☒	副表示機	註記参照
MRS	主中継器盤	
	中継器盤	
I/F	インターフェイス盤	
CRT	防災監視操作卓	
☉	機器収容箱	補助放水栓組込型 ① 収容
☉	機器収容箱	補助放水栓組込型 ② 収容
☉	機器収容箱	補助放水栓組込型 ③ 収容
☉	機器収容箱	補助放水栓組込型 ④ 収容
☉	表示灯	AC24V 0.5W LED 防滴型
☉	表示灯	AC24V 0.5W LED
☉	発信機	P型1級
☉	非常電話器	子機 話中音付
①	非常コンセント	(別途工事)
☉	放水口格納箱	表示灯のみ本工事
☉	放水口格納箱	
☉	光電式スポット型感知器	2種 埋込型
☉	光電アナログ式スポット型感知器	2.5~15%/m 露出型
☉	光電アナログ式スポット型感知器	2.5~15%/m 埋込型
☉	光電アナログ式スポット型感知器	2.5~15%/m 壁付用点検口付
☉	熱アナログ式スポット型感知器	45~80℃ 防水型
☉	熱アナログ式スポット型感知器	45~80℃ 防水型 埋込型
☉	定温式スポット型感知器	1種 防水型 埋込型
☉	機器制御盤	(別途工事)
Ω	終端器	
②	圧電ブザー	防火シャッター降下警報用
☐	手動開放装置	排煙口用 電気式 (空調工事)
☐	切換器	
☐	排煙機制御盤	(別途工事)
☉	自動閉鎖装置	防火戸用 ラッチ式
☉	自動閉鎖装置	防火シャッター用 (建築工事)
☉	自動閉鎖装置	防火ダンパー用床付 遠隔復帰 (空調工事)
☉	自動閉鎖装置	防火ダンパー用 遠隔復帰 (空調工事)
☉	自動開放装置	排煙口用 遠隔復帰 (空調工事)
☉	自動閉鎖装置	排煙ダンパー用 遠隔復帰 (空調工事)
☉	自動閉鎖装置	吸気口用 遠隔復帰 (建築工事)
☐	スプリンクラーポンプ起動盤	(衛生工事)
☐	池ポンプ起動盤	(衛生工事)
☉	スプリンクラー自動警報弁	(衛生工事)
☉	池自動警報弁	(衛生工事)
☐	ダクト消火制御盤	(衛生工事)
☐	二酸化炭素制御盤	(衛生工事)
☐	消防用水盤	(衛生工事)
☐	ブースターポンプ	(衛生工事)
☐	誘導灯	(別途工事)
☐	ガス漏れ検知器	DC24V 天井付
☐	中継器	表示灯付
—	配管配線	天井いんべい
—	配管配線	床いんべい
—	ケーブル配線	天井いんべい
☐	ジョイントボックス	立上がり・引下げ
☐	端子盤	
☐	配管つき出し	
○	警戒区域番号	自火報
◇	制御番号	防火シャッター用
◇	制御番号	防火戸用
◇	制御番号	防火ダンパー用
◇	制御番号	排煙口用
◇	制御番号	防煙垂れ壁用
◇	制御番号	吸気口用
☉	表示番号	二酸化炭素消火設備
☉	表示番号	池
☉	表示番号	スプリンクラー
☉	警戒区域番号	ガス漏れ警報
☉	表示番号	非常電話
☉	警戒区域番号	発信機用

註記

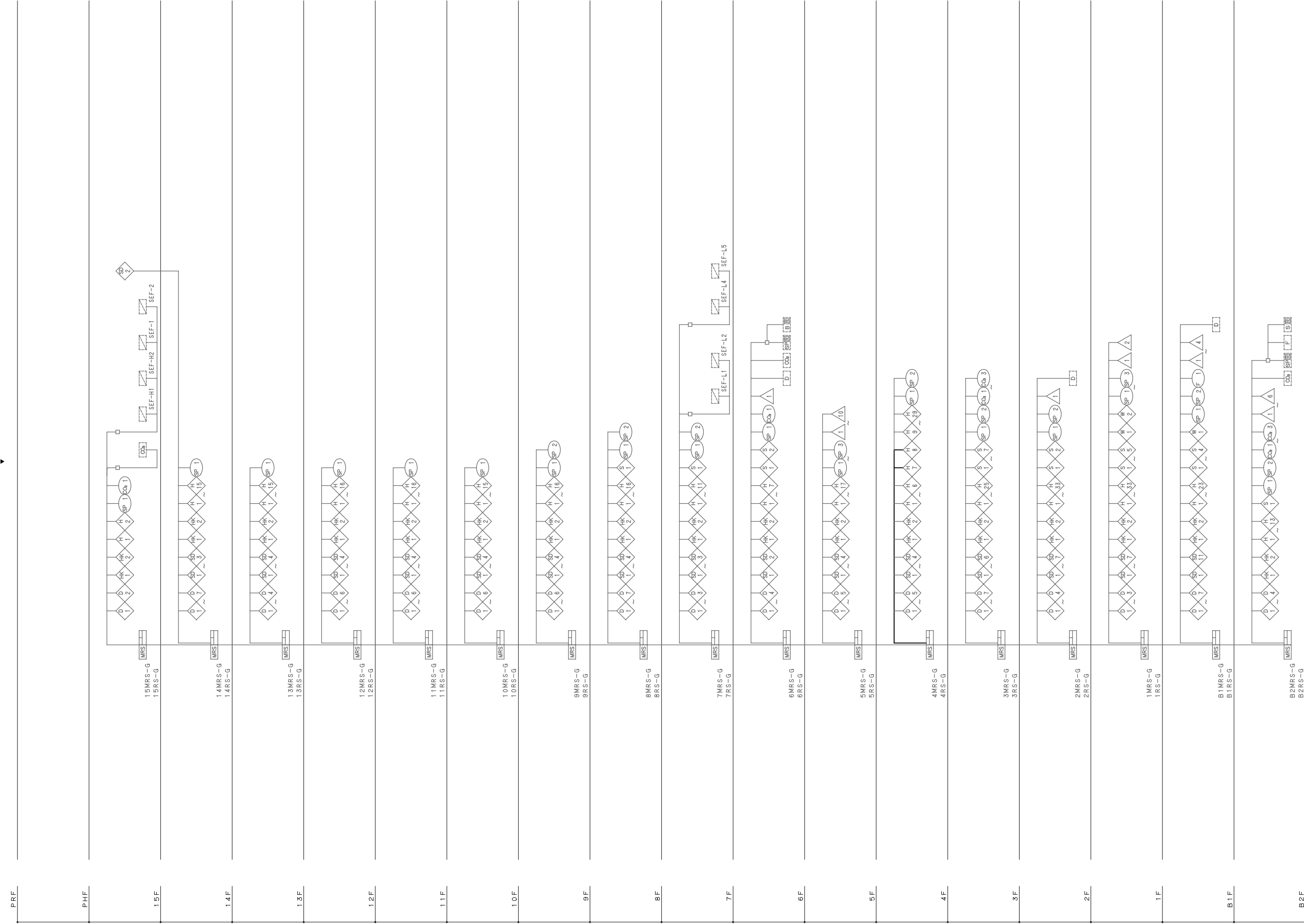
1	工事概要	
	・本館4階改修工事に伴い、改修エリア内の機器及び配線の撤去・新設を行うものとする。	
	・改修後図中、細線は既設の機器、配線を示す。	
	・改修エリア内に既設排煙口は離線・再結線とする。	
	・補助放水栓1台は撤去及び1台は新設とする。	
	・今回工事のアドレス無し感知器のアドレス設定は受信機のデータを確認する。	
	・本工事に伴い、既設受信機のデータ変更、追加等を見込むものとする。	
2	改修エリア内の回線内訳	
	1) 撤去	
	・火災表示 4 L	
	(アナログ式感知器) 4 L	
	・合計 4 L	
3	既設複合盤仕様 (改修前)	
	GR型 25系統 自立型	
	受信機 7桁×2窓 (7セグメントLED)	
	・火災表示 3246回線	
	アナログ式感知器 3089 L	
	発信機 157 L	
	防災運動制御盤 8桁×2窓 (7セグメントLED)	
	・防排煙 533回線	
	防火戸 84 L 排煙機 16 L	
	排煙口 302 L 防火ダンパー 71 L	
	防火シャッター 23 L 防煙垂れ壁 3 L	
	吸気口 34 L	
	・附属表示 116回線	
	スプリンクラー 放出29 L	
	ポンプ起動 2 L 故障 2 L 呼水槽減水 1 L	
	池 放出 1 L	
	ポンプ起動 1 L 故障 1 L 呼水槽減水 1 L	
	二酸化炭素 準備 8 L 起動 3 L 放出 3 L	
	閉止弁閉止 3 L 制御盤異常 3 L	
	ブースターポンプ 起動 1 L 故障 1 L	
	消防用水ポンプ ポンプ起動 1 L 故障 1 L 呼水槽減水 1 L	
	消防用水盤 満水 4 L 減水 4 L	
	ダクト消火 放出 3 L	
	副表示機 伝送異常 4 L 電源異常 21 L	
	ガス漏れ受信機 7桁×2窓 (7セグメントLED)	
	24回線	
	非常電話 (自動選択) 110回線 (実室 80 L 予備 30 L)	
	非常放送設備運動用として、下記の信号を移信する。	
	・階別火災代表番号 26回線	
	・火災確定信号 1回線	
	自動点検機能付とする。	
4	アナログ式感知器廻りの配線は、全てHP1. 2-2Cとする。	
5	各中継器盤は、防排煙制御系のトラブルをローカル毎に切り離すSCI付とする。	
6	運動機器制御方式	
	防火戸、防火シャッター、防煙垂れ壁 アナログ式感知器運動	
	防火ダンパー 自火報運動	
	排煙口 現場手動開放及び遠隔復帰	
7	特記なき配管配線は下記とする。	
	HP1. 2-2C HP1. 2-2C(PF16)	
	HP1. 2-3C HP1. 2-3C(PF16)	
	HP1. 2-3P HP1. 2-3P(PF22)	
	HPS1. 2-2P+HP1. 2-5P HPS1. 2-2P+HP1. 2-5P (PF22)	
	HP1. 2-5P HP1. 2-5P(PF22)	
	HP1. 2-10P HP1. 2-10P(PF28)	
	HP1. 6-3P HP1. 6-3P(PF22)	
	HP1. 6-5P HP1. 6-5P(PF22)	
	HP1. 6-10P HP1. 6-10P(PF28)	
	HP1. 2-5P+HP1. 2-2C HP1. 2-5P+HP1. 2-2C(PF22)	
	HP1. 2-3C HP1. 2-3C(PF16)	
	HP1. 2-3P HP1. 2-3P(PF22)	
	HP1. 2-3P HP1. 2-3P(PF22)	

回線数表 (改修前)

階	中継器盤名称		自火報		防排煙										附属表示										
	主中継器盤名称	中継器盤名称	アナログ式感知器	発信機	地区ヘル	非常電話	ガス漏れ	防火戸	防火シャッター	防火ダンパー	排煙口	防煙垂れ壁	排煙機制御盤	ローカルガス遮断弁	消防用水盤 満水・減水	ダクト消火 放出	ブースターポンプ 起動・故障	副表示器 伝送・電源異常	消防用水ポンプ	池	SP	CO			
B2	B2MRS-G	B2RS-G	132	12	2	5	6	4	1		13	2			2						3	2	3	3	4
ISSB2			61																						
B1	B1MRS-G	B1RS-G	183	12		7	4	7	4	11	23	2	1	1	1				1			2			
ISSB1			55																						
1	1MRS-G	1RS-G	190	11		6	2	3	5	7	33	2	2									3			
ISS1			100																						
2	2MRS-G	2RS-G	150	10		6	1	4	2	7	33	2		1	1							2			
ISS2			89																						
3	3MRS-G	3RS-G	155	9		4	7	7	6	25	2						4					2		3	
ISS3			93																						
4	4MRS-G	4RS-G	155	14		5	5	4	29	2												2			
ISS4			112																						
5	5MRS-G	5RS-G	143	9		5	10	5	4	17	2											3			
ISS5			113																						
6	6MRS-G	6RS-G	124	9		5	1	2	2	7	2			1	2	1	2					1	2	1	4
ISS6			56																						
7	7MRS-G	7RS-G	160	7		5	3	1	3	11	2						6					2			
8	8MRS-G	8RS-G	150	9		5	7	1	4	16	2						6					2			
9	9MRS-G	9RS-G	136	9		5	6	4	16	2							6					2			
10	10MRS-G	10RS-G	131	8		4	6	4	15	2							4					1			
11	11MRS-G	11RS-G	133	8		4	6	4	16	2							4					1			
12	12MRS-G	12RS-G	128	8		4	6	4	16	2							4					1			
13	13MRS-G	13RS-G	124	8		4	4	4	15	2							4					1			
14	14MRS-G	14RS-G	145	9		4	7	3	15	2							4					1			
15	15MRS-G	15RS-G	43	3		1	2	2	2	8				4								1		1	4
PH			28	2		1																			
合計			3089	157	2	80	24	84	23	71	302	34	3	16	3	8	3	2	42	1	3	29	5	8	12

階	排煙口No.	SEF-L1	SEF-L2	SEF-L4	SEF-L5
B2		排煙口No.	排煙口No.	排煙口No.	排煙口No.
B1	1, 2	3~16	17~21		
1		1~25, 33		26~30	
2		1~22	29	23~28, 32, 33	
3		1~19, 25		20~22	
4		1~18	19~21	22~27	
5		1~10	11	12~15	
6		1~5			

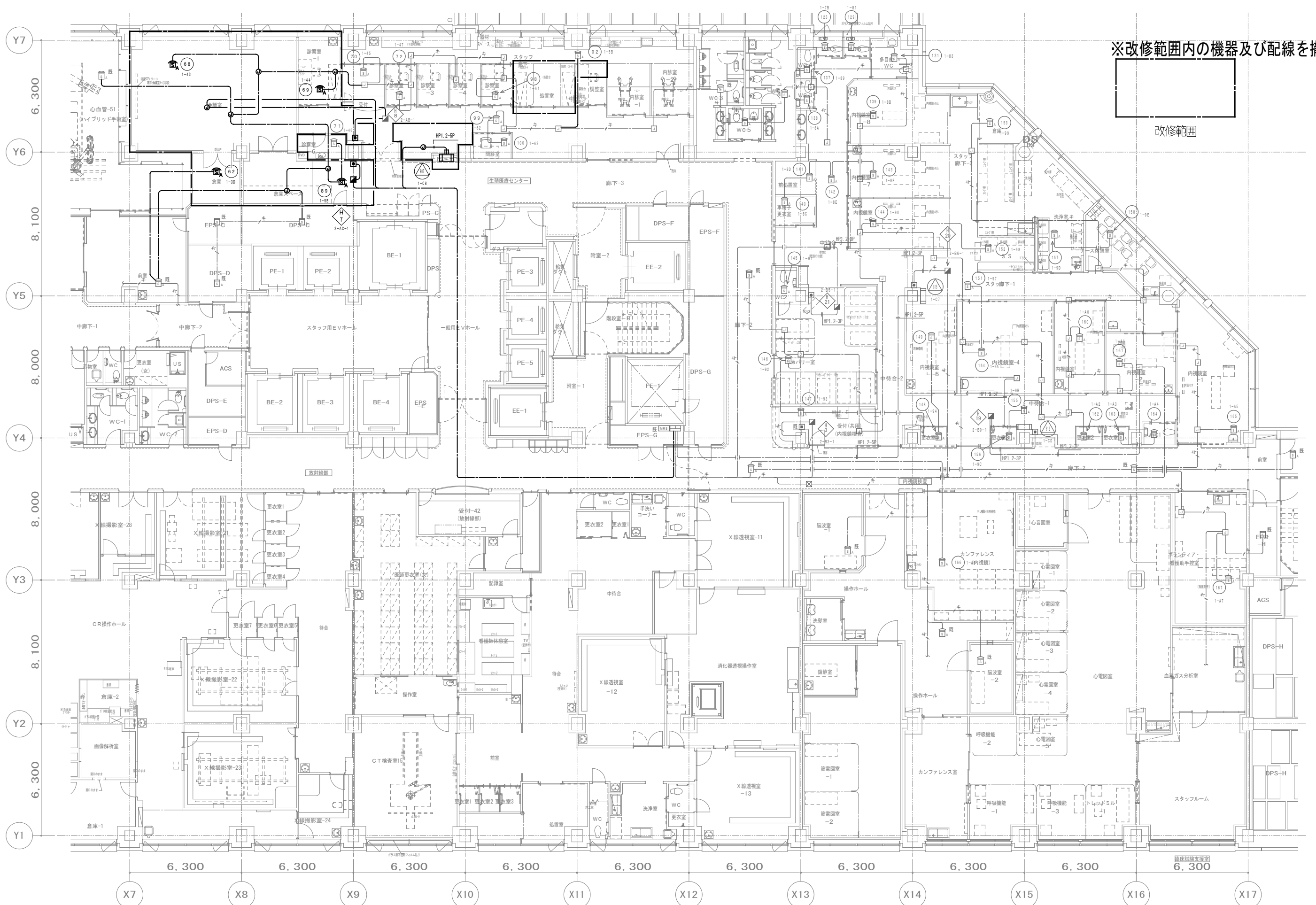
階	排煙口No.	SEF-H1	SEF-H2	SEF-1	SEF-2
B2		排煙口No.	排煙口No.	排煙口No.	排煙口No.
B1				12	13
1				22	23
2				31	32
3				30	31
4				23	24
5				28	29
6				16	17
7	1, 2	3~9		8	1
8	1~7	8~14		10	11
9	1~7	8~14		15	16
10	1~3	4~13		15	16
11	1~3	4~14		15	16
12	1~3	4~14		15	16
13	1~3	4~13		14	15
14	1~3	4~13		14	15
15				1	2
PH					



設備系統図

記号	番号	設備名称
A	HP7c-2VX4	(PF22)
A	HP1.2-10P	(PF28)
B	HPS1.2-2P	(PF18)
B	HP1.2-5P	(PF22)
B'	HPS1.2-2P	(PF18)
C	HP1.2-5P	(PF22)
D	HP1.2-10P	(PF28)
E	HP1.6-3P	(PF22)
F	HP1.2-3P	(PF22)
G	HP1.6-5P	(PF28)

※機器故障時、中継器の稼働は、全てHP1.2-5Pとする。ただし非稼働設備の場合は、HP1.2-5P+HP1.2-2Cとする。
 ※注中継器-中継器の稼働は、全てHP7c-2VX4+HP1.2-10Pとする。



※改修範囲内の機器及び配線を撤去

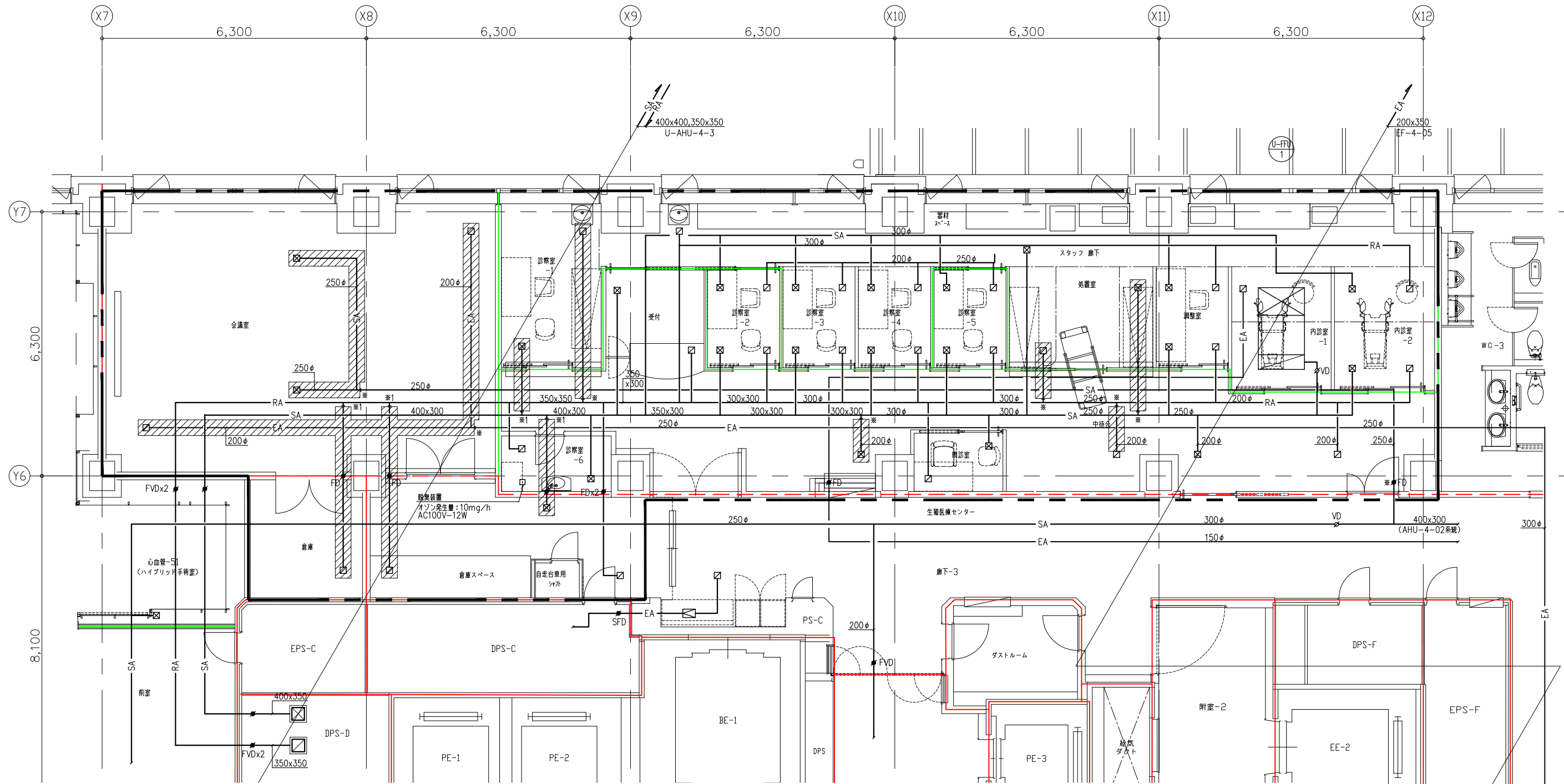


改修範囲

●	①設計温湿度	下記条件は、建築設備設計基準(令和3年度)横浜地区の値を参照																																	
		<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">外気条件</th> <th colspan="2">室内</th> <th colspan="2">室内</th> <th colspan="2">室内</th> </tr> <tr> <th>温度(DB)</th> <th>湿度(RH)</th> <th>温度(DB)</th> <th>湿度(RH)</th> <th>温度(DB)</th> <th>湿度(RH)</th> <th>温度(DB)</th> <th>湿度(RH)</th> </tr> <tr> <td>夏季</td> <td>34.0℃</td> <td>59.4%</td> <td>26℃</td> <td>50%</td> <td>26℃</td> <td>50%</td> <td>26℃</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>2.0℃</td> <td>44.9%</td> <td>22℃</td> <td>50%</td> <td>24℃</td> <td>50%</td> <td>23℃</td> <td>50%</td> </tr> </table>		外気条件		室内		室内		室内		温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	夏季	34.0℃	59.4%	26℃	50%	26℃	50%	26℃	50%	冬季	2.0℃	44.9%	22℃	50%	24℃	50%
	外気条件			室内		室内		室内																											
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)																											
夏季	34.0℃	59.4%	26℃	50%	26℃	50%	26℃	50%																											
冬季	2.0℃	44.9%	22℃	50%	24℃	50%	23℃	50%																											
●	②機器付属の制御盤	標準仕様書第2編 1,2,2 による。ただし、下記の項目は本仕様による。 ○故障表示及び故障表示用無電圧接点並びに端子を設ける。 ・往復動冷凍機、パッケージ形空気調和機、遠心冷凍機、吸収冷凍機及び直炊き吸収冷凍水機には、ポンプインターロック用端子を設ける。 ・往復動冷凍機には、冷凍機操作の遠方、手元切り換えスイッチを設ける。 ・遠心冷凍機の主開閉器は気中式とする。 ○電動機停止時には電動機及び進相コンデンサは無電圧となるように主回路に電磁接触器を設ける。 ・空気調和機内設置のモータは全閉型とする。 ・ボイラー、チラー、冷凍水機ユニット、パッケージ空調機には運転時間計、及び表示用端子を取り付ける。 ・インバーター機器には、高調波対策としてD0リアクトル、アクティブフィルタを設ける。 ○進相コンデンサの容量が電力会社の電気供給規定にないものは、定格能力時における改善後の力率を90%以上となるように選定する。																																	
		<p>3 オイルタンク</p> <p>オイルタンクは ・鋼製タンク ・二重殻タンク ※SF型(鋼板製、外殻FRP) ※FF型(内外ともFRP)</p> <p>オイルタンクを設置する躯体等は ※建築工事 ・本工事 とする。</p> <p>4 ばい煙濃度計</p> <p>※設ける ・設けない</p> <p>5 ばいじん量測定口</p> <p>※設ける(測定口は80φ以上とし、煙道の直線部に取り付けける。)</p> <p>6 煙突</p> <p>・別途工事 ・本工事(機器付属) ・建築工事</p> <p>7 煙道</p> <p>・鋼板製(・6.0t ・4.5t) ・ステンレス鋼板製(・ t)</p> <p>⑧風道</p> <p>使用ダクトは ○低圧ダクト ・高圧1ダクト ・高圧2ダクト ※長方形ダクトはアングルフランジ工法、又はコーナーボルト工法とする。 ※屋外露出ダクトは(※SUS鋼板製 ・ガルバリウム鋼板製)とする。 ・ダクトはグラスウール製を使用して良い。使用範囲は標準仕様書による。</p> <p>⑨風量測定口</p> <p>取り付け箇所は(・図示した位置 ○送風機吐出ダクト又は吸込みダクト ○外気取り入れダクト ○空調機出口チャンパーの分岐ダクト)とする。</p> <p>⑩チャンパー</p> <p>※内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外寸を示す。 ※空気調和機、温風暖房機に取り付けるサプライチャンパー、レタンチャンパー及び風道系で消音内張りしたチャンパーには点検口を設ける。 ※点検口の大きさは図示による。 ※外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーには排水管(呼び径20)を設け、屋外又は間接排水口に導く。</p> <p>⑪制気口及びダンパー</p> <p>・制気口ボックスは、グラスウール製としても良い。 (範囲:一般居室、) ※外気が浸入する恐れのある部分の空調吹出口は、結露防止型とする。</p> <p>12 防煙ダンパー</p> <p>標準仕様書第3編 1.15.8 によるほか、下記による。 ※自動閉鎖機構はソレノイド(瞬時通電式)又は電動式とし、自動復帰機構は電動式とする。 定格入力はDC24V、0.7A 以下とする。 ※感知器、運動制御器及び配管配線(感知器から運動自動制御器を経て防煙ダンパーに至るまで)は(※電気設備工事 ・)とする。</p> <p>⑬弁類</p> <p>○JIS 5 kgf/cm² ・ JIS 10 kgf/cm² ・蒸気ヘッダー弁はベローシール弁とする。 ※65A以上の冷温水・冷却水用弁装置の仕切弁はバタフライ弁とする。 ※鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。 ※ステンレス配管を使用する場合の弁の材質はステンレス製とする。 ※ファンコイルユニット等と冷温水管の接続部(送り・返り)は、フレキシブル管とし、ボール弁を取付ける。また、接続部(返り)には、(・定流量弁 ・流量調整弁 ○自動定流量弁)を取付ける。</p> <p>14 温度計</p> <p>取付け箇所は、標準図 配管要領によるほか、図示による。</p> <p>15 圧力計</p> <p>取付け箇所は、標準図 配管要領によるほか、図示による。</p> <p>16 瞬間流量計又は瞬間流量計取付用タッピング</p> <p>下記の管に取り付ける。尚、タッピングは 32A とする。 ・冷凍機の冷水管及び冷却水管(送り又は返り)に(・流量計 ・タッピング)を設ける。 ○直炊き吸収冷凍水機の冷温水管及び冷却水管(送り又は返り)に(・流量計 ・タッピング)を設ける。 ・空気調和機の冷温水管(送り又は返り)に(・流量計 ・タッピング)を設ける。 ・冷温水ヘッダーの各送り管に(・流量計 ・タッピング)を設ける。</p> <p>17 油面制御装置</p> <p>フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。</p> <p>18 遠隔油量指示計</p> <p>・設ける 遠隔油量指示計はフロートの作動による抵抗変位式液面計又は磁変式液面計とする。</p> <p>⑭つり金物</p> <p>機械室内配管のつり金物は下記による。</p> <table border="1"> <tr> <th>機械室名</th> <th>熱源機械室</th> <th>機械室</th> <th></th> <th></th> </tr> <tr> <td>防振</td> <td>シングル</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>つり金物</td> <td>ダブル</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>施工範囲</td> <td>冷温水管、温水管、冷水管</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	機械室名	熱源機械室	機械室			防振	シングル		○		つり金物	ダブル	○			施工範囲	冷温水管、温水管、冷水管																
機械室名	熱源機械室	機械室																																	
防振	シングル		○																																
つり金物	ダブル	○																																	
施工範囲	冷温水管、温水管、冷水管																																		
●	②0 保温及び消音内張り	標準仕様書第2編 3.1,4 による。ただし、下記の部分は本仕様による。 ※返り風道の保温要(保温の厚さ25mm)(※屋外露出 ※屋内露出 ・全て) ※外気風道の保温要(保温の厚さ25mm)(・空調室の天井内 ○全て) ※換気用風道の保温要、但し(保温の厚さ25mm) ○全長 ・外壁より1m) ※全熱交換器の室外側ダクト(0A,EA)は、全長に保温を行うこと。 ※火気使用系統排気ダクトの保温(ロックウール ※50mm) 排ガス管や排ガスダクトの保温(使用温度上限600℃以下 ロックウール ※75mm ・50mm) (使用温度上限600℃超 けい酸カルシウム保温材 ※75mm) ・風道のインベイ部分の保温材は、保温帯を使用してよい(亀甲金網押え)。 ※風道の保温の外装は下記による。 <table border="1"> <tr> <td>屋倉庫・倉庫</td> <td>○アルミガラスクロス+金網</td> <td>・ガラスクロス</td> <td>・着色亜鉛鉄板</td> </tr> <tr> <td>内各階機械室</td> <td>○アルミガラスクロス+金網</td> <td>・ガラスクロス</td> <td>・着色亜鉛鉄板</td> </tr> <tr> <td>露中央機械室</td> <td>○アルミガラスクロス+金網</td> <td>・着色亜鉛鉄板</td> <td>・アルミニウム板</td> </tr> <tr> <td>出居室・廊下など</td> <td>・着色亜鉛鉄板</td> <td>・アルミニウム板</td> <td>・ステンレス鋼板</td> </tr> </table> ※配管の保温の外装は下記による。 ○給水、給湯、排水、消火配管等も同様とする。 <table border="1"> <tr> <td>屋外露出及び浴室</td> <td>・亜鉛鉄板</td> <td>・着色亜鉛鉄板</td> <td>○ステンレス鋼板</td> </tr> <tr> <td>厨房などの多湿箇所</td> <td>・ガルバリウム鋼板</td> <td>・化粧保温カバー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機械室内露出</td> <td>○アルミガラスクロス+金網</td> <td>・アルミ箔+金網</td> <td>・着色亜鉛鉄板</td> </tr> <tr> <td>インベイ部分</td> <td>○アルミガラスクロス+金網</td> <td>・アルミ箔+金網</td> <td>・着色亜鉛鉄板</td> </tr> </table> ・共同溝内の保温の外装材は(※ステンレス鋼板製 ・ガルバニウム鋼板製)とする。 ○冷及及び冷温水の吊りバンドには合成樹脂製の支持受けを使用する。 ○建物内の空気抜き管の保温は標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。 ○空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は標準仕様書第2編3.1.5の排水管の項による。 ・屋内配管(PS内、機械室露出、多湿箇所)の塗装は不要とする。 ※蒸気(往・還)用の弁類、フランジには保温(容易に脱着可能なもの)を設ける。 ※蒸気(還)管には保温(・全面 ○P S内FL+2000程度まで ○機械室内)を行う。 ※暖べダクトのフランジ部(補強を含む)は厚さ25mmの保温を重ね巻きする。 ※アルミガラスクロス仕上げの保温は、アルミガラス化粧保温筒(露出部分は原紙入り)を使用してよい。 ※管及びダクトの保温材はグラスウールを使用しても良い。 (但し防火区画貫通部及び多湿箇所、蒸気管、火気排気系統等を除く) ※冷媒配管 断熱材被覆鋼管の断熱厚さは JCOA 0009によるものとし、液管を10mm以上ガス管を20mm以上とする。 なお、断熱厚さは JCOA 0009多湿箇所等に使用する場合は下記による。 ・液管 xxx mm以上、ガス管 xxx mm以上 <p>② その他</p> <p>・空調機トラップは、フロートボール式(蒸気加湿系のトラップはSUS製)とする。 ・冷媒用ラックは歩行用(○ステンレス製 ・ガルバリウム鋼板製)とする。 ・冷却塔の天板には手すり(○SUS製 ・溶融亜鉛メッキ)を設置する。 ○ファンコイルユニット及び、パッケージエアコン用のドレン管で、機器から第一接続箇所までは、断熱ドレンホースを使用してもよい。</p>	屋倉庫・倉庫	○アルミガラスクロス+金網	・ガラスクロス	・着色亜鉛鉄板	内各階機械室	○アルミガラスクロス+金網	・ガラスクロス	・着色亜鉛鉄板	露中央機械室	○アルミガラスクロス+金網	・着色亜鉛鉄板	・アルミニウム板	出居室・廊下など	・着色亜鉛鉄板	・アルミニウム板	・ステンレス鋼板	屋外露出及び浴室	・亜鉛鉄板	・着色亜鉛鉄板	○ステンレス鋼板	厨房などの多湿箇所	・ガルバリウム鋼板	・化粧保温カバー		機械室内露出	○アルミガラスクロス+金網	・アルミ箔+金網	・着色亜鉛鉄板	インベイ部分	○アルミガラスクロス+金網	・アルミ箔+金網	・着色亜鉛鉄板	
		屋倉庫・倉庫	○アルミガラスクロス+金網	・ガラスクロス	・着色亜鉛鉄板																														
内各階機械室	○アルミガラスクロス+金網	・ガラスクロス	・着色亜鉛鉄板																																
露中央機械室	○アルミガラスクロス+金網	・着色亜鉛鉄板	・アルミニウム板																																
出居室・廊下など	・着色亜鉛鉄板	・アルミニウム板	・ステンレス鋼板																																
屋外露出及び浴室	・亜鉛鉄板	・着色亜鉛鉄板	○ステンレス鋼板																																
厨房などの多湿箇所	・ガルバリウム鋼板	・化粧保温カバー																																	
機械室内露出	○アルミガラスクロス+金網	・アルミ箔+金網	・着色亜鉛鉄板																																
インベイ部分	○アルミガラスクロス+金網	・アルミ箔+金網	・着色亜鉛鉄板																																
●	①システム構成その他	図示による。																																	
●	②電気計装工事の配線	※使用する電線類はEM電線とし、規格は標準仕様書第4編表4.1.11の使用する電線類の規格による。(機器、盤類は除く) ※屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 ※天井内隠ぺいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。																																	
●	①風道	※使用ダクト (○低圧ダクト ・高圧1ダクト ・高圧2ダクト(・アングルフランジ工法・コーナーボルト工法)) ・下記の部分は1番手厚いものを使用する。 範囲(※厨房排気ダクト ・) ※屋外露出ダクトは(※SUS鋼板製 ・ガルバリウム鋼板製)とする。 ※厨房用排気ダクトは(※SUS鋼板製 ・ガルバリウム鋼板製)とする。 ・制気口ボックスは、グラスウール製としても良い。 (範囲:一般居室、)																																	
●	②風量測定口	取付け位置は(・図示した位置 ○送風機吐出ダクト又は吸込みダクト ○外気取り入れダクト)とする。																																	
●	③防煙ダンパー	空気調和設備の防煙ダンパーの項による。																																	
●	4ピストンダンパー	空気調和設備のピストンダンパーの項による。																																	
●	5多湿箇所の風道範囲	※範囲は(○厨房 ○浴室 ・) ※多湿箇所の排気ダクトは標準図によりシールを施工する。 ※ダクトには水抜き管を設ける。																																	
●	①風道	○亜鉛鉄板 ・普通鋼板製(厚さ1.6t) ・コンクリート																																	
●	②排煙口の形式	○天井取り付け(・1枚形 ・) ・壁取り付け(・表面スリット形 ・)																																	
●	③排煙口開放装置	・手動 ○手動及び遠隔操作可能なもの																																	
●	④排煙風量測定	建築設備定期検査業務指導書(日本建築設備安全センター)の排煙風量の検査方法に準ずる。																																	
●	1大便器洗浄弁	節水形のバキュームブレーカー付とする。																																	
●	2大便器自動洗浄弁	○タッチ式 ・非接触センサー式 感知部と洗浄弁間の渡り配管配線は(・衛生工事 ・空調(自動制御)工事)とする。																																	
●	3大・小便器洗浄弁	○中水対応洗浄弁 水源は雑用水(○井水 ・雨水利用水 ・中水)																																	
●	4小便器洗浄弁	○個別本体組込み型 ・別置集合型																																	
●	5汚物流し洗浄弁	・非接触センサー式 ・レバーハンドル式																																	
●	6温水洗浄便座	(・温水貯湯型 ・温水瞬間型)とする。 なお、水源は上水とする。																																	
●	①洗面器・手洗器	洗面器、手洗器のオーバーフロー穴、ポップアップは無いものとする。																																	
●	8化粧鏡	車いす利用者の洗面器の化粧鏡(○円形(450×1000h程度) ・傾斜鏡) 又は、鏡は防食タイプとする。																																	
●	⑨止水栓	流し台等に設ける水栓の給水、給湯管には止水栓(水栓の付属品ではない)を設ける。																																	

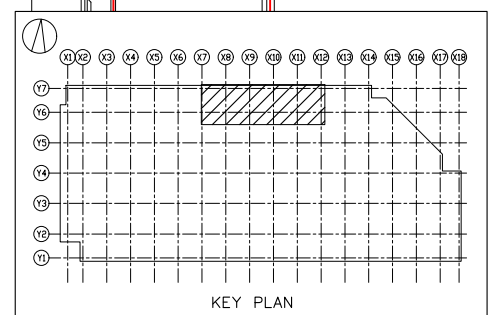
●	給水設備	1 量水器	○親メーター (○貸与品 ・) ○子メーター (○買取り ・) 計量方式は(○現地表示式 ・遠隔表示式)とする。																				
		2 タンク	・受水槽、高架水槽の天板には手すり(・SUS製 ・溶融亜鉛メッキ)を設置する。 ・高架水槽の底板の高さが床面から2m以上のものは点検歩道を設ける。																				
●	排水設備	3 量水器併	○水道事業者指定品(・貸与品 ・買取り) ・標準図M9形																				
		④弁	・水道直結部分 JIS (○10kgf/cm ² ・) ○その他の部分 JIS (○5kgf/cm ² ・10kgf/cm ²)																				
●	給湯設備	⑤つり金物	機械室内の配管つり金物は下記による。 <table border="1"> <tr> <th>機械室名</th> <th>熱源機械室</th> <th>機械室</th> <th></th> <th></th> </tr> <tr> <td>防振</td> <td>シングル</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>つり金物</td> <td>ダブル</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>施工範囲</td> <td>冷温水管、温水管、冷水管</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	機械室名	熱源機械室	機械室			防振	シングル		○		つり金物	ダブル	○			施工範囲	冷温水管、温水管、冷水管			
		機械室名	熱源機械室	機械室																			
防振	シングル		○																				
つり金物	ダブル	○																					
施工範囲	冷温水管、温水管、冷水管																						
●	6 管の埋設深さ	管の地中埋設深さは、車路部分(※600mm ・750mm ・1200mm)以上、それ以外は(※300mm ・450mm ・凍結深度 mm)以上とする。																					
●	①保温	標準仕様書第2編3.1,5による。但し、下記の部分は本仕様とする。 ・鋼板製高置水槽の保温(○不要 ・要) ・鋼板製受水槽の保温(○不要 ・要) ・屋外露出管(弁類を含む)は防凍保温を行うものとし、仕様は空気調和設備の項による。																					
●	8 引き込み納付金等	・要(・別途工事 ・本工事) ○不要																					
●	9 水栓柱	・合成樹脂製 ・人研ぎ製 ○ステンレス製(円柱) ・アルミニウム合金製																					
●	10 スリーブ等	※土中埋設する鋼管が地中梁及び地中壁を貫通する部分(水密を要さない部分に限る)には、硬質塩化ビニル管(VU)(JIS K6741)のスリーブを設ける。 ※外壁の地中部分で水密を要する部分のスリーブは(○つば鋼管 ・VU管(止水リング付))とする。																					
●	11 地中埋設機	・要(・共通仕様書による ・) ・不要																					
●	12 水槽の災害対策	○緊急遮断弁装置(制御盤共)(○電気式 ・機械式) ・給水車対応水位調整板 ・給水車対応給水口 ○災害時取水口																					
●	①洗面器等の排水管	洗面器及び手洗いに直結する排水管寸法は、器具トラップより1サイズアップとする。流し床土部分の配管は、VP(又はHT)管としても良い。																					
●	②漏水試験継手	※標準仕様書による ・図示箇所に取り付けける																					
●	③保温	排水鉄管の保温はロックウール保温帯を使用してもよい。																					
●	4 グリーストラップ	グリーストラップの蓋は防臭型(・SUS製 ・アルミ製)とする。																					
●	④試験	衛生器具などの取り付け完了後に行う試験は、煙試験又は過水試験とする。																					
●	⑤放流納付金	・要(・別途工事 ・本工事) ○不要																					
●	給湯設備	①電熱防止継手 ※取り付ける。 JIS (○5kgf/cm ² ・10kgf/cm ²) 2 弁 3 ガス給湯器 使用ガス(○都市ガス ・液化石油ガス) 4 電気給湯器 ○貯湯式 ・瞬間式 5 給湯器の給水管接続 湯沸器と給水管の接続には、ステンレス製フレキシブルチューブ(ステンレス用ガasket)を使用してもよい。 6 保温 標準仕様書第2編3.1,5による。但し、下記の部分は本仕様による。 ・湯沸器から水栓までのコンクリート壁埋込配管は(・防水麻布巻き ○被覆鋼管を使用)とする。 ・膨張水槽及び減圧水槽の保温は(・要 ・)とする。 ⑦給湯器の転倒防止 ※給湯器本体の漏水時の質量(支持部材含む)が15kg 超のもの、H24年建設省告示第1447号に規定する構造方法により転倒防止策を行うこと。																					
●	消火設備	1 屋内消火栓 ※機器表による ・HB-1A ・HB-1B ・HB-2A ・HB-2B ・HB-4A ・1号易操作性消火栓 2 ホース掛け ・くし形 ・リール形 3 消火栓弁 ※10kgf/cm ² 4 消火栓BOX ・屋内消火栓及び、補助散水栓BOXは消火器BOXを併設する。 ・屋内消火栓及び、補助散水栓BOXの表面仕上げは、指定色とする。 ・手すりにかかる屋内消火栓、及び補助散水栓BOXは、構型とする(火気分離)。 ※屋外に面する場所に設置する消火栓BOXの材質はステンレス鋼板製とする。																					
●	⑤保温	標準仕様書第2編3.1,5による。但し、下記の部分は本仕様による。 ・呼水槽の保温は(・要 ・不要)とする。 保温仕様は標準仕様書第2編3.1.4 ①(イ)VIによる。 ・スプリンクラー及び泡消火配管の保温は(・不要 ・要)とする。 ・屋内消火栓、連結送水管、連結散水管の保温は(・不要 ・要)とする。 ・屋外露出管(弁類を含む)は防凍保温を行うものとし、仕様は空気調和設備の項による。																					
●	⑥その他	・スプリンクラー設備において、ヘッド及び巻き出し配管は実数の10%予備を見込む。																					

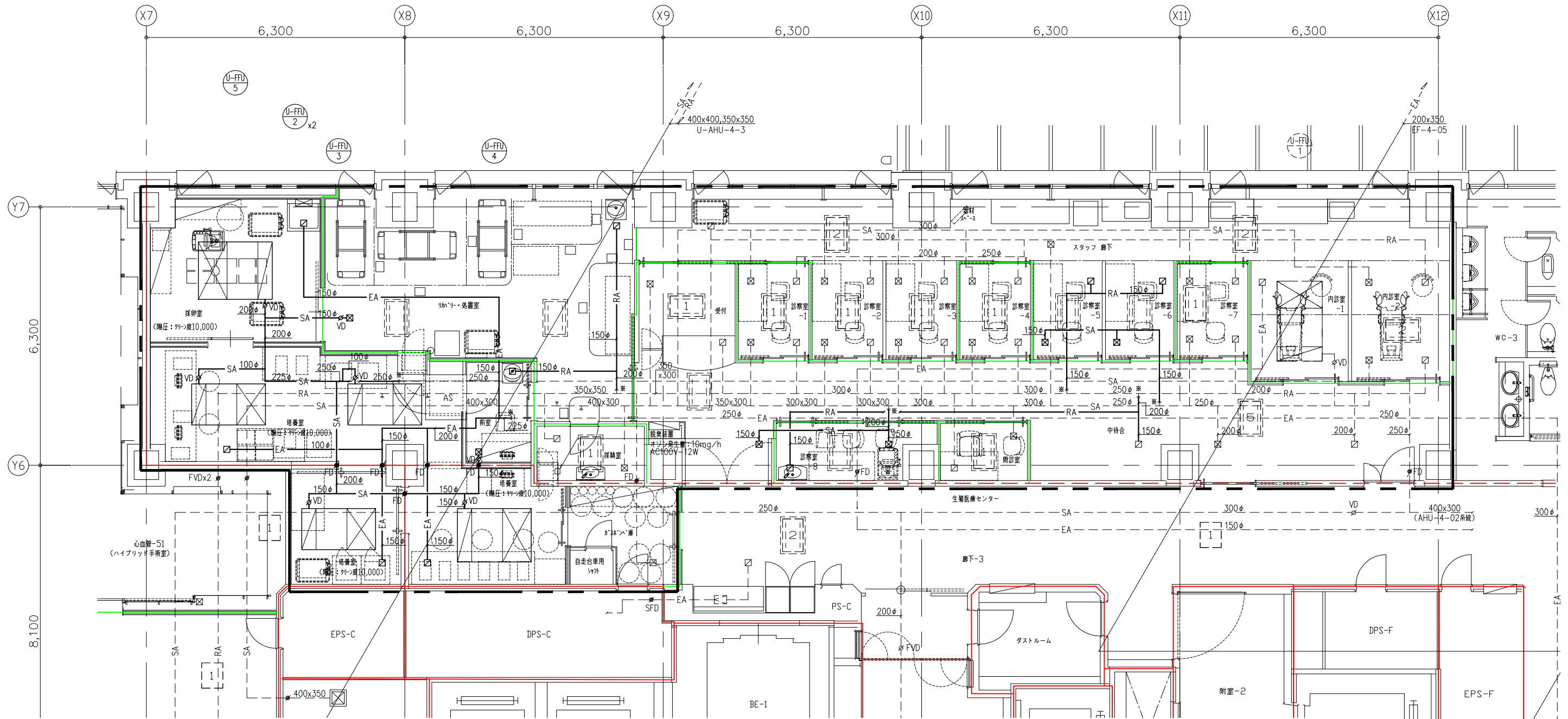
●	改修工事	①仮設・盛替え工事	※本工事は既設建物を使用しながら行う工事であるため、施設機能、運営を極力停止しないように工事手順に応じた仮設・盛替えを行うこと。 ※停電、断水等が必要となる場合には、事前に施設管理者と綿密に打合せを行い詳細計画を立て承認後施工すること。
		②再使用品	・再使用する機材は、取外し前に状態及び性能・機能の確認を行い、機材に損傷を与えないように取外す。なお、確認する状態及び性能・機能は下記による。 (・外観 ・動作 ・絶縁状態 ・風量 ・) ※取外後、機材の清掃洗浄等を行い、再取り付け後は状態、機材の性能・機能確認を行う。 ・機材の分解・整備等による特別な清掃は下記による。 (・エアハンドリングユニット ・ファン ・ポンプ ・ファンコイルユニット) 試験機材(・)
●	足場その他	③足場その他	内部足場の種別は下記によるほか、改修工事標準仕様書2.2.1による。 ※設ける(・単管足場 ・くさび緊結式足場 ・枠組足場) ・設けない 外部足場の種別は下記によるほか、改修工事標準仕様書2.2.1による。 ※設ける(・施工箇所面に枠組足場を設ける ・施工箇所面にくさび緊結式足場を設ける ・施工箇所面に単管足場を設ける ・高所作業車を使用する) ・設けない
		④仮設圍巾切り	・A種 ・B種 ○C種
●	養生範囲	⑤養生範囲	既存部分の養生範囲は図示による。
		⑥撤去	機器、配管の撤去前に内容物(・冷媒 ・吸収液 ○廃油等)の回収が必要である。石綿含有材の撤去工事(・要 ○不要) 回収した内容物、石綿含有材は、適切に処分を行うこと。 ※機器撤去部の取付ボルト孔及び壁面、天井面の変色等の補修並びに床補修等は、周辺の仕上げ同等とし、凹凸のないように仕上げること。 ※床、壁、天井等の撤去後の開口部の補修の方法及び仕上げの仕様は、既設と同等とし、凹凸のないように仕上げること。
●	発生材の処理	⑧発生材の処理	発注者に引渡しを要するもの並びに特別管理産業廃棄物の処理(・有 ○無) ※処理方法: 工事現場において再利用を図るもの及び再資源化を図るもの(・有 ○無) 又は、再資源化を図るものは、分別を行い、所定の再資源化施設等に搬入後、調査を作成し監督職員に提出すること。 特別管理産業廃棄物の処理(・有 ○無) ※処理方法:
		⑨はつり	既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、ダイヤモンドカッターを用いる。また、その際、配筋、埋設配管等を切断しないようにX線撮影等の調査を行うこと。
●	既設配管の再生を行う場合	⑩既設配管の再生を行う場合	再生を行う場合、事前に既設配管の肉厚等を十分に調査し、対応可能なものとする。対象範囲及びサンプリング個数は ・給水管(ヶ所) ・給湯管(ヶ所) ・排水管(ヶ所) ・冷水管(ヶ所) ・温水管(ヶ所) ・冷温水管(ヶ所) ・冷却水管(ヶ所) 作業後、管内の洗浄及び消毒を行う。 ・給湯管 ・給湯管 は、過水後、末端部の水栓等より採水し、水質検査を行い、監督職員に提出する。
		⑪インサート及びアンカー	・既存のインサート及びアンカーボルトは、使用しない。 ○既存のインサート及びアンカーボルトを再使用する場合は、状態及び強度を確認し、十分に清掃を行ってから使用すること。 引張強度の確認試験(※要 ・不要)
●	確認試験	⑫確認試験	あと施工アンカーの性能確認試験(※要 ・不要) 又は施工アンカーの施工後確認試験(※要 ・不要)
		⑬試験(空気調和)	分割搬入を行う機器の試験(・要 ○不要)
●	既設ダクトの再利用	⑭既設ダクトの再利用	既設ダクトを再利用する場合、ダクト内清掃は(※要 ・不要)とする。吹出口、吸込口、ダンパー等を作業場一時取外し、再利用する機材は再取付け前の清掃を(※要 ・不要)とする。 ・所定の清掃作業終了後にダクト系の機能を調査確認する。また、清掃後のダクト内面の状態は、監督職員の指示による記録場所と個所数の記録写真を撮り監督職員に提出する。 ○再使用する吹出口、吸込口、ダンパー等の機材は再取付け前に清掃を行う。 ・ダクト内清掃に伴う仮設ダクトの設置(・要 ・不要)
		⑮仮設工事(昇降機)	複数台のエレベーターが同一昇降路内に設置されている場合で、やむを得ず隣接するエレベーターを運転する場合は、防護ネット等により作業区分を分離し、安全対策等の措置を講ずる。 ・要 ・不要
●	その他	⑯その他	※本工事は既設建物を使用しながら行う工事であるため、増築改修手順に応じた仮設・盛替えを行うこと。 ※本改修においては病院運営に支障ないよう、空調配管の切断、分岐に伴い、仮設バルブ、ホース等の設置、水抜き4人×4回、水張り5人×4回見込むこと。



U-AHU-4-2系統 会議室 吸出口 VHS SA 250 x 250 BOX 400x400x300 内貼 GW25t Q= 350 m³/h	U-EF-4-05系統 会議室 吸入口 HS EA 200 x 200 BOX 350x350x300 内貼 GW25t Q= 225 m³/h	U-AHU-4-3系統 倉庫 吸入口 HS RA 150 x 150 BOX 300x300x300 内貼 GW25t Q= 150 m³/h	U-AHU-4-3系統 倉庫スペース 吸入口 HS RA 150 x 150 BOX 300x300x300 内貼 GW25t Q= 100 m³/h	U-AHU-4-3系統 倉庫スペース 吸入口 HS SA 150 x 150 BOX 300x300x300 内貼 GW25t Q= 100 m³/h	U-AHU-4-3系統 倉庫スペース 吸入口 HS RA 150 x 150 BOX 300x300x300 内貼 GW25t Q= 100 m³/h	U-AHU-4-3系統 診察室-1 吸出口 VHS SA 150 x 150 BOX 300x300x300 内貼 GW25t Q= 100 m³/h	U-AHU-4-3系統 診察室-1 吸入口 HS RA 150 x 150 BOX 300x300x300 内貼 GW25t Q= 100 m³/h
U-AHU-4-3系統 中待合 吸出口 VHS SA 200 x 200 BOX 350x350x300 内貼 GW25t Q= 225 m³/h	U-AHU-4-3系統 中待合 吸入口 HS RA 200 x 200 BOX 350x350x300 内貼 GW25t Q= 225 m³/h	U-AHU-4-3系統 中待合 吸出口 VHS SA 200 x 200 BOX 350x350x300 内貼 GW25t Q= 225 m³/h	U-AHU-4-3系統 中待合 吸入口 HS RA 200 x 200 BOX 350x350x300 内貼 GW25t Q= 225 m³/h	U-AHU-4-3系統 処置室 吸出口 VHS SA 150 x 150 BOX 300x300x300 内貼 GW25t Q= 150 m³/h	U-AHU-4-3系統 処置室 吸入口 HS RA 150 x 150 BOX 300x300x300 内貼 GW25t Q= 150 m³/h		

- 注記) 1. 改修範囲を示す。
 2. 撤去範囲を示す。
 3. 4階の階高は6,000Hとする。
 4. ※... 既設ダクト切断箇所を示す。
 5. ※1... 既設ダクト切断・撤去後、ダクト閉塞とする。
 6. 明記なきダクトサイズは、150φとする。
 7. 赤線：防火区画（兼防煙区画・隔仕切壁他）を示す。
 緑線：防火上主要な隔仕切壁（隔仕切壁・耐火構造）を示す。
 青線：防煙区画を示す。

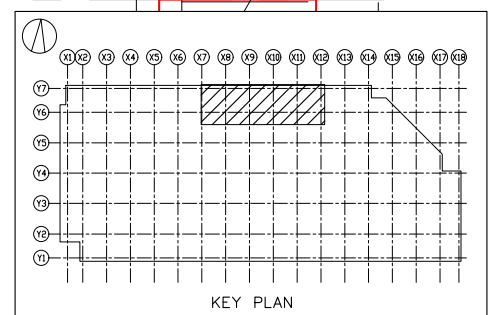


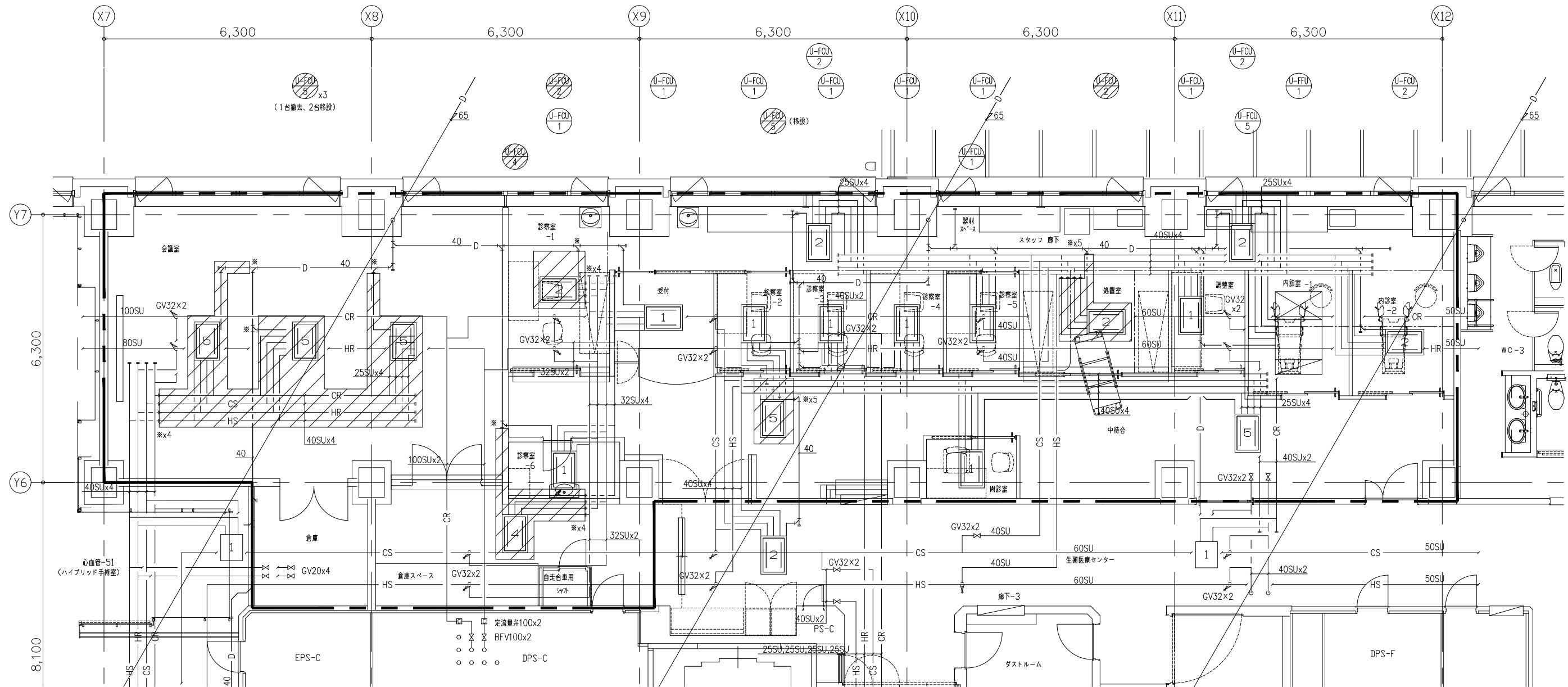


U-AHU-4-2系統 採卵室 機器接続 SA - BOX - 内貼 - Q= 225 m ³ /h	U-EF-4-05系統 採卵室 吸込口 HS EA 200 x 200 BOX 350x350x300 内貼 GW25t Q= 200 m ³ /h	U-AHU-4-2系統 培養室-1 機器接続 SA - BOX - 内貼 - Q= 50 m ³ /h	U-EF-4-05系統 培養室-1 吸込口 HS EA 150 x 150 BOX 300x300x300 内貼 GW25t Q= 50 m ³ /h	U-AHU-4-2系統 培養室-2 機器接続 SA - BOX - 内貼 - Q= 100 m ³ /h	U-EF-4-05系統 培養室-2 吸込口 HS EA 150 x 150 BOX 300x300x300 内貼 GW25t Q= 100 m ³ /h	U-AHU-4-3系統 培養室-3 機器接続 SA - BOX - 内貼 - Q= 100 m ³ /h	U-EF-4-05系統 培養室-3 吸込口 HS EA 150 x 150 BOX 300x300x300 内貼 GW25t Q= 100 m ³ /h	U-AHU-4-3系統 ガスボンベ庫 吸込口 HS RA 150 x 150 BOX 300x300x300 内貼 GW25t Q= 100 m ³ /h	U-AHU-4-3系統 リカバリー・処置室 吸込口 VHS SA 150 x 150 BOX 300x300x300 内貼 GW25t Q= 125 m ³ /h	U-AHU-4-3系統 リカバリー・処置室 吸込口 HS RA 200 x 200 BOX 350x350x300 内貼 GW25t Q= 200 m ³ /h
U-AHU-4-3系統 中待合 吹出口 VHS SA 150 x 150 BOX 300x300x300 内貼 GW25t Q= 125 m ³ /h	U-AHU-4-3系統 中待合 吸込口 HS RA 200 x 200 BOX 350x350x300 内貼 GW25t Q= 125 m ³ /h	U-AHU-4-3系統 中待合 吹出口 VHS SA 200 x 200 BOX 350x350x300 内貼 GW25t Q= 225 m ³ /h	U-AHU-4-3系統 中待合 吸込口 HS RA 200 x 200 BOX 350x350x300 内貼 GW25t Q= 225 m ³ /h	U-AHU-4-3系統 診察室-8 吹出口 VHS SA 150 x 150 BOX 300x300x300 内貼 GW25t Q= 100 m ³ /h	U-AHU-4-3系統 診察室-8 吸込口 HS EA 150 x 150 BOX 300x300x300 内貼 GW25t Q= 100 m ³ /h	U-AHU-4-3系統 診察室-5・6 吹出口 VHS SA 150 x 150 BOX 300x300x300 内貼 GW25t Q= 75 m ³ /h	U-AHU-4-3系統 診察室-5・6 吸込口 HS EA 150 x 150 BOX 300x300x300 内貼 GW25t Q= 75 m ³ /h	U-AHU-4-2系統 前室 吹出口 VHS SA 150 x 150 BOX 300x300x300 内貼 GW25t Q= 100 m ³ /h	U-AHU-4-3系統 前室 吸込口 HS RA 150 x 150 BOX 300x300x300 内貼 GW25t Q= 100 m ³ /h	

- 注記 1. 点線部は、改修範囲を示す。
2. 图中、ダクトの施工区分は下記の通りとする。
 1) 点線部は、既設機器・ダクトを示す。
 2) 実線部は、新設機器・ダクトを示す。
3. ※... 既設ダクト接続箇所を示す。
4. 明記なきダクトサイズは、150φとする。
5. 機器仕様は配管平面図参照とする。
6. 赤線部は、防火区画（兼防煙区画・間仕切壁地）を示す。
 青線部は、防火上主要な間仕切壁（間仕切壁：耐火構造）を示す。
 緑線部は、防煙区画を示す。

※ 制気口は開口率70%、面風速2.5m/Sとする。





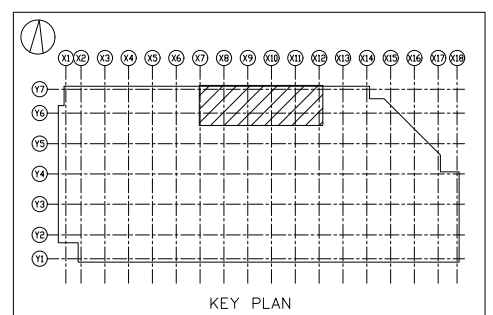
ファンコイルユニット ※撤去 (移設)

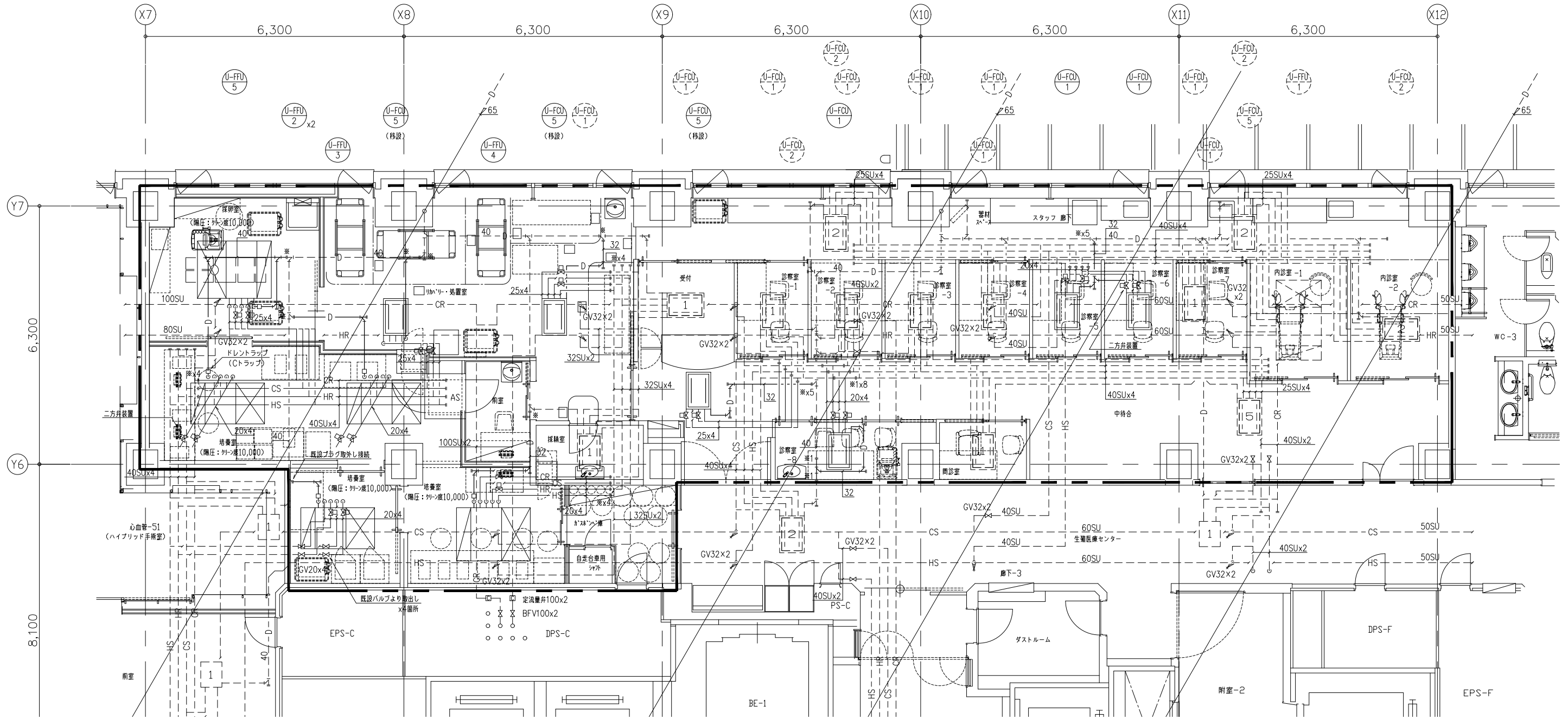
室名	機器番号	台数	型式	コイル種類		冷房能力 (H)				暖房能力 (H)				送風量	視外	動力				インター	非常	フィルター	洗浄度	備考		
				冷温水	冷+温	入口空気温度 (DB)		入口空気温度 (DB)		送風量	視外	動力														
						26℃		25℃				出力	相			電圧	起動									
						顕熱	全熱	顕熱	全熱									方式								
会議室	U-FCU-5	2SET	カセット	○		4,120	5,220	—	—	7	21.0	3,580	—	50	21.0	1,150	—	136	1	100	L-S	—	—	○	—	化粧パネル付 (2方向)
中待合	U-FCU-5	1SET	カセット	○		4,120	5,220	—	—	7	21.0	3,580	—	50	21.0	1,150	—	136	1	100	L-S	—	—	○	—	化粧パネル付 (2方向)

既設ファンコイルユニット・既設ファンフィルターユニット

室名	機器番号	台数	型式	コイル種類		冷房能力 (H)				暖房能力 (H)				送風量	視外	動力				インター	非常	フィルター	洗浄度	備考		
				冷温水	冷+温	入口空気温度 (DB)		入口空気温度 (DB)		送風量	視外	動力														
						26℃		25℃				出力	相			電圧	起動									
						顕熱	全熱	顕熱	全熱									方式								
受付、診察室-2~6、問診室、調整室、	U-FCU-1	8SET	カセット	○		930	1,080	—	—	7	4.0	1,080	—	50	4.0	320	—	41	1	100	L-S	—	—	○	—	化粧パネル付 (2方向)
スタッフ廊下、内診室-2	U-FCU-2	3SET	カセット	○		1,350	1,580	—	—	7	6.0	1,540	—	50	6.0	405	—	55	1	100	L-S	—	—	○	—	化粧パネル付 (2方向)
診察室-1、処置室	U-FCU-2	2SET	カセット	○		1,350	1,580	—	—	7	6.0	1,540	—	50	6.0	405	—	55	1	100	L-S	—	—	○	—	化粧パネル付 (2方向)
倉庫スペース	U-FCU-4	1SET	カセット	○		2,930	3,290	—	—	7	12.0	2,630	—	50	12.0	850	—	78	1	100	L-S	—	—	○	—	化粧パネル付 (2方向)
会議室	U-FCU-5	1SET	カセット	○		4,120	5,220	—	—	7	21.0	3,580	—	50	21.0	1,150	—	136	1	100	L-S	—	—	○	—	化粧パネル付 (2方向)
中待合	U-FCU-5	1SET	カセット	○		4,120	5,220	—	—	7	21.0	3,580	—	50	21.0	1,150	—	136	1	100	L-S	—	—	○	—	化粧パネル付 (2方向)
内診室-1	U-FFU-1	1SET	カセット	○		940	1,100	—	—	7	3.7	1,900	—	50	6.3	780	—	200	1	200	L-S	—	—	HEPA	10,000	遠方発伴、表示

- 注記 1. [] : 改修範囲を示す。
 2. [] : 撤去範囲を示す。
 3. 4階の階高は6,000Hとする。
 4. ※・・・既設配管切断箇所を示す。(冷温水は仮設バルブ、水抜、水張を見込む)
 5. 明記なき配管は天井配管とする。
 6. 明記なき機器周りの冷温水管は20A、ドレン管は32Aとする。





移設（再取付）ファンコイルユニット

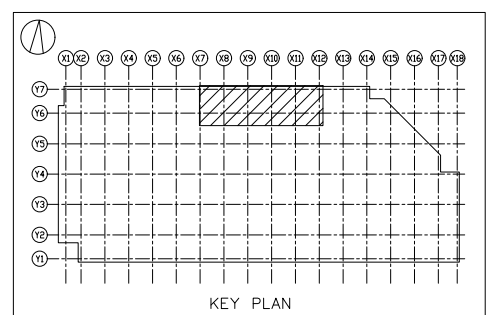
室名	機器番号	台数	型式	コイル種類	冷房能力 (H)				暖房能力 (H)				送風量	機外静圧	動力			インターロック	非常電源	フィルター	洗浄度	備考			
					入口空気温度 (DB)		冷水入口温度	冷水量	入口空気温度 (DB)		温水入口温度	温水量			出力	相	電圧						起動方式		
					26℃	25℃			22℃	25℃															
会議室 → リカバリー・処置室	U-FCU-5	2SET	カセット	○	4,120	5,220	—	—	7	21.0	3,580	—	50	21.0	1,150	—	136	1	100	L-S	—	—	—	—	化粧パネル付 (2方向)、新設:FCU用弁、FCU用フレキ
中待合 → 中待合	U-FCU-5	1SET	カセット	○	4,120	5,220	—	—	7	21.0	3,580	—	50	21.0	1,150	—	136	1	100	L-S	—	—	—	—	化粧パネル付 (2方向)、新設:FCU用弁、FCU用フレキ

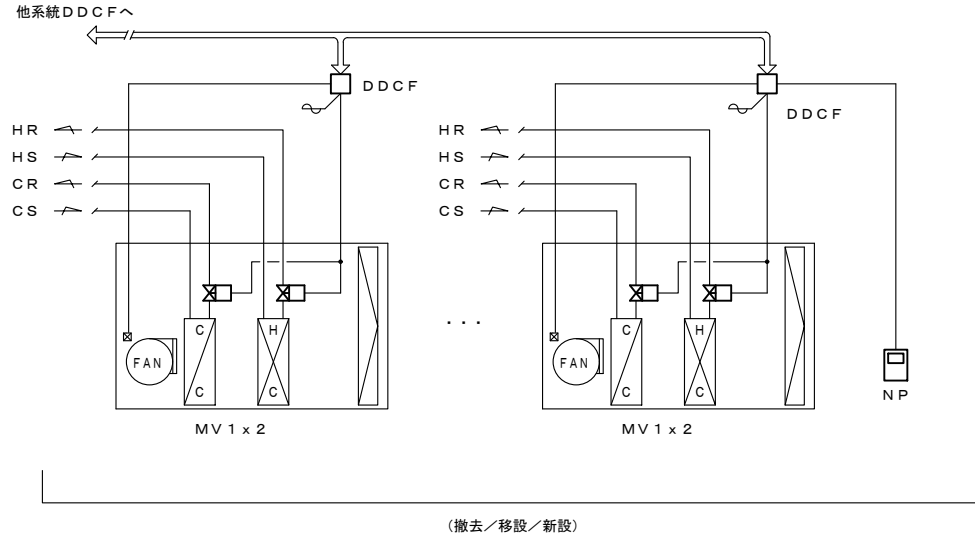
新設ファンコイルユニット・新設ファンフィルターユニット

室名	機器番号	台数	型式	コイル種類	冷房能力 (H)				暖房能力 (H)				送風量	機外静圧	動力			インターロック	非常電源	フィルター	フィルター	洗浄度	備考		
					入口空気温度 (DB)		冷水入口温度	冷水量	入口空気温度 (DB)		温水入口温度	温水量			出力	相	電圧							起動方式	
					26℃	25℃			22℃	25℃															
診察室-5, 6, 8	U-FCU-1	3SET	カセット	○	930	1,080	—	—	7	4.0	1,080	—	50	4.0	320	—	41	1	100	L-S	—	—	—	—	化粧パネル付 (2方向)、付属品:FCU用弁、FCU用フレキ
培養室-1	U-FFU-2	2SET	カセット	○	3.6	—	—	—	7	10.3	4.3	—	50	12.3	1,140	—	325	1	200	L-S	—	—	○	10,000	遠方発停、表示
培養室-2	U-FFU-3	1SET	カセット	○	3.6	—	—	—	7	10.3	4.3	—	50	12.3	1,140	—	325	1	200	L-S	—	—	○	10,000	遠方発停、表示
培養室-3	U-FFU-4	1SET	カセット	○	4.4	—	—	—	7	12.6	4.8	—	50	13.8	1,350	—	325	1	200	L-S	—	—	○	10,000	遠方発停、表示
採卵室	U-FFU-5	1SET	カセット	○	5.8	—	—	—	7	16.6	6.8	—	50	19.5	1,800	—	570	1	200	L-S	—	—	○	10,000	遠方発停、表示

※予備フィルターを見込むこと。

- 注記) 1. [] : 改修範囲を示す。
 2. 図中、配管の施工区分は下記の通りとする。
 1) - - - (点線部)は、既設機器・配管を示す。
 2) — (実線部)は、新設機器・配管を示す。
 3. 4階の層高は6,000Hとする。
 4. ※... 既設配管接続箇所を示す。
 5. ※1... 既設配管切断・接続箇所を示す。(冷温水は仮設バルブ、水核、水張を見込む)
 6. 明記なき配管は天井配管とする。
 7. 明記なき機器廻りの冷温水管は20A、ドレン管は32Aとする。





<FCU新設に伴う工事内容>

1. FCU新設に伴い、各自動制御機器の新設を行う。
2. FCU廻りの自動制御機器新設に伴う、配管/配線の新設を行う。
3. 中央監視ポイントの確認、中央監視でのサマリグラフの修正作業を行う。

<FCU移設/撤去に伴う工事内容>

1. FCU撤去時の各種配線、自動制御機器の撤去を行う。
2. 他系統のDDCF通信断を防ぐ為、撤去を行うFCU通信幹線と他のDDCFとの通信幹線の再接続を行う。
3. 中央監視ポイントの確認、中央監視でのサマリグラフの修正作業を行う。

(注記)

1. FCUの電源配線撤去工事は、別途電気工事区分とする。

<撤去/移設>

フロア	系統名	FCU番号	区分 (改修後・移設先)	DDCF (台数)	区分	MV1 (台数)	区分	NP (台数)	区分	備考	
4F	倉庫スペース	U-FCU-4	撤去	1	撤去	2	撤去	1	撤去		
	診察室-1	U-FCU-2	撤去	1	撤去	2	撤去	1	撤去		
	処置室	U-FCU-2	撤去	1	撤去	2	撤去	1	撤去		
	中待合	U-FCU-5	移設 (中待合)	1	移設	2	移設	1	移設		
	会議室	U-FCU-5	撤去	1	撤去	2	撤去				
		U-FCU-5	移設 (リカバリー・処置室)	2	移設	4	移設	1	移設		
	診察室-2	U-FCU-1	診察室-1							部屋名称変更	
	診察室-3	U-FCU-1	診察室-2							部屋名称変更	
	診察室-4	U-FCU-1	診察室-3							部屋名称変更	
	診察室-5	U-FCU-1	診察室-4							部屋名称変更	
	診察室-6	U-FCU-1	採精室							部屋名称変更	
	調整室	U-FCU-1	診察室-7							部屋名称変更	

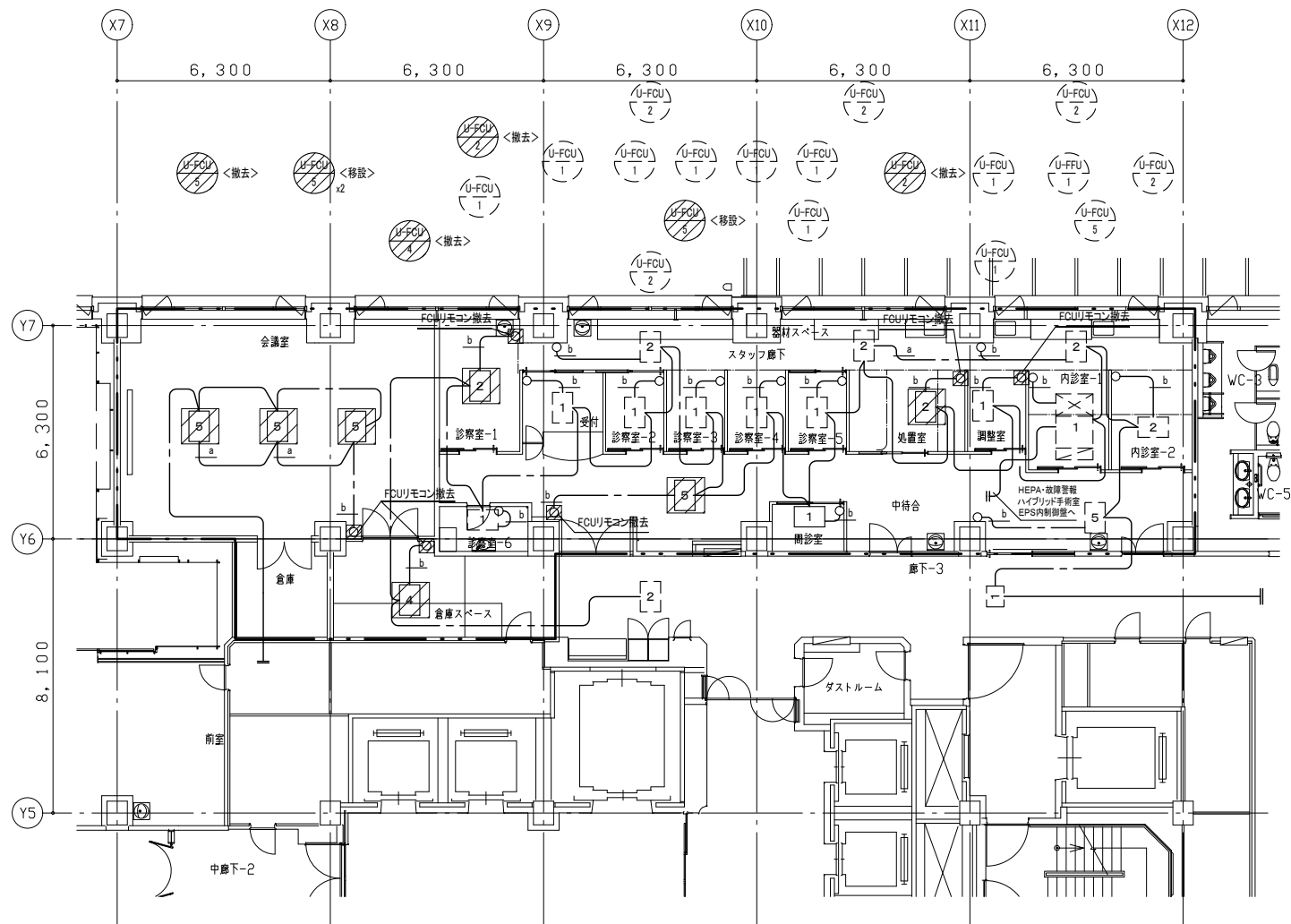
自動制御機器表

記号	名称	形番	備考
NP	室内温度設定器	QY7205	温度センサ内蔵
MV1	FCU2方弁	65FBW-1F04-20	15A
DDCF	FCUコントローラ	WY5205W	互換型

<新設> (改修後)

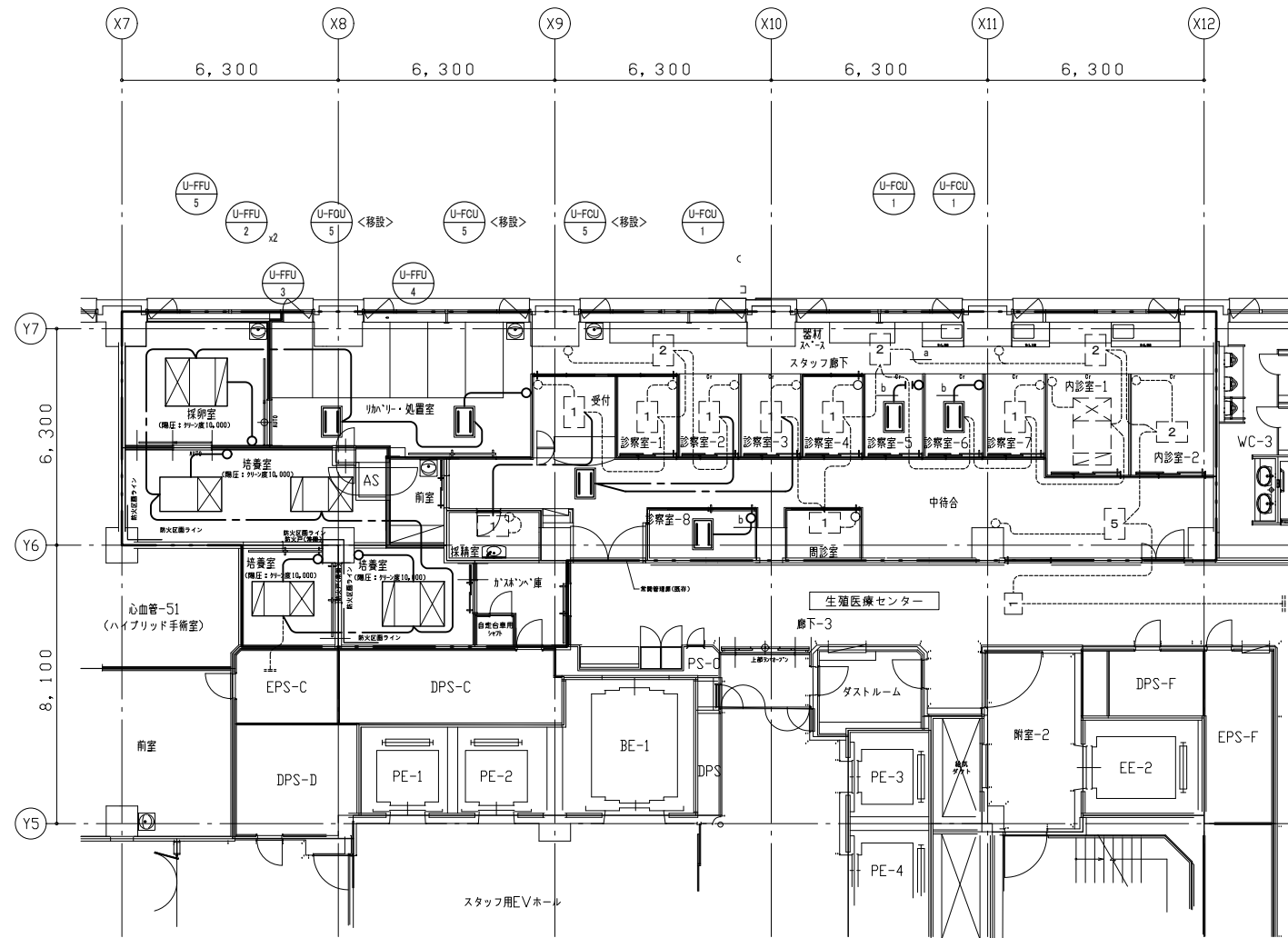
フロア	系統名	FCU番号	DDCF (台数)	MV1 (台数)	NP (台数)	備考
4F	診察室-5	U-FCU-1	1	2	1	
	診察室-6	U-FCU-1	1	2	1	
	診察室-8	U-FCU-1	1	2	1	
	培養室-1	U-FFU-2	2	4	1	
	培養室-2	U-FFU-3	1	2	1	
	培養室-3	U-FFU-4	1	2	1	
	採卵室	U-FFU-5	1	2	1	

撤去



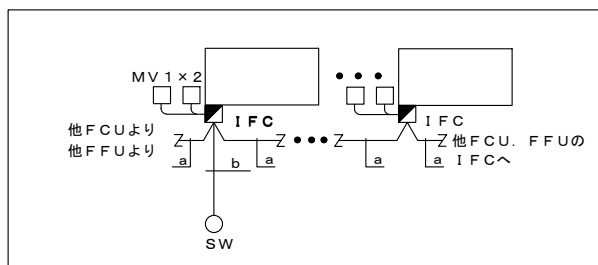
注記 1. [---]: 改修範囲を示す。
2. [斜線]: 撤去範囲を示す。

改修後

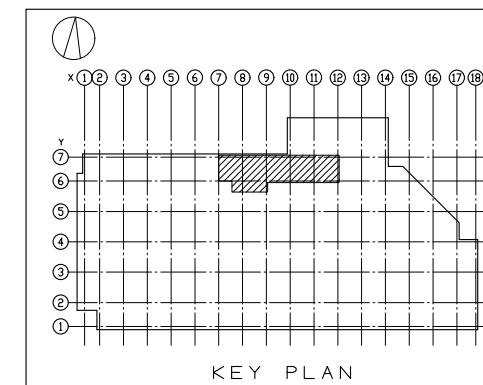


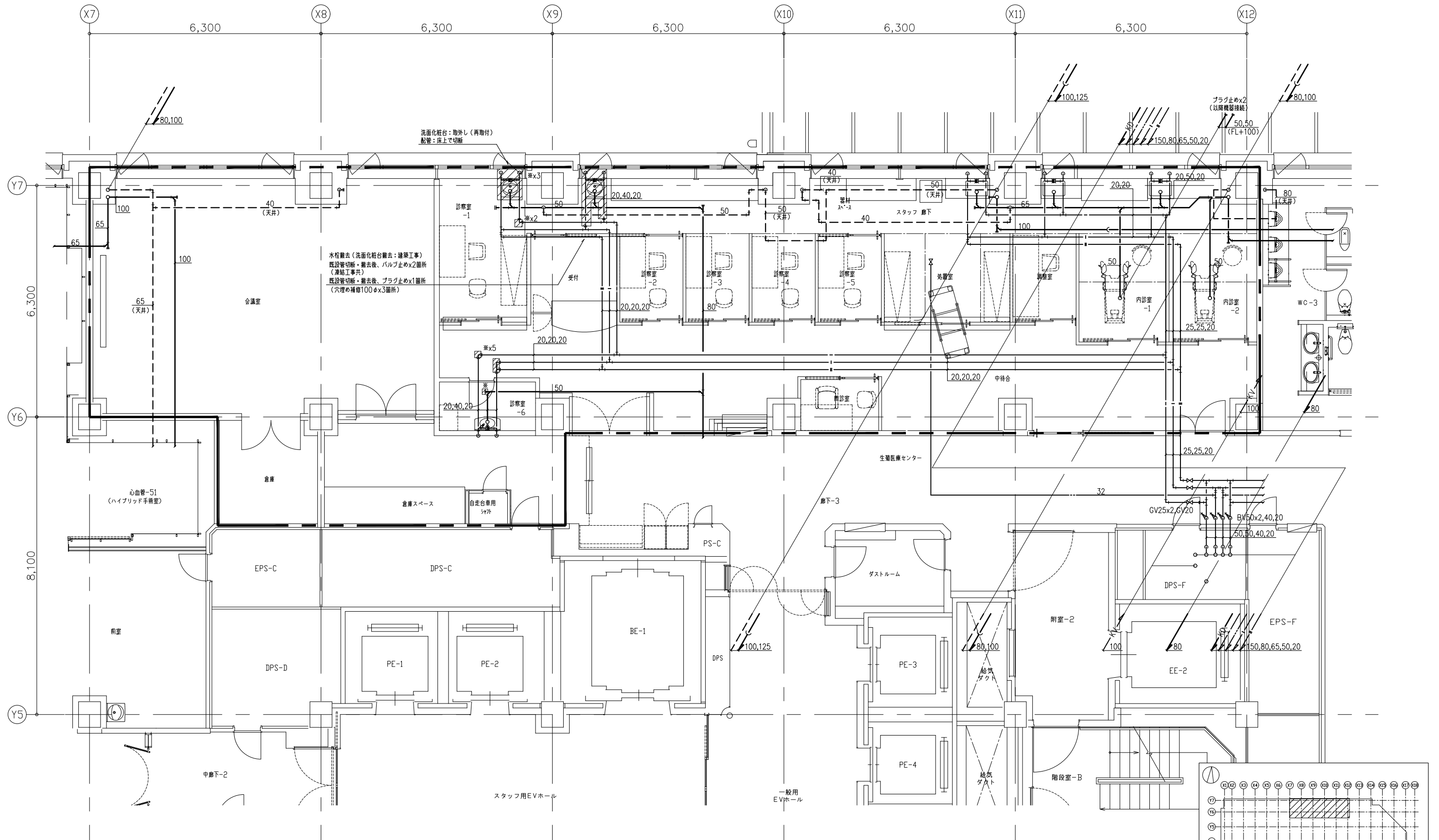
注記 1. [---]: 改修範囲を示す。
2. 図中の施工区分は下記の通りとする。
1) --- (点線部)は、既設機器・配管を示す。
2) — (実線部)は、新設機器・配管を示す。
3.4階の階高は6,000Hとする。

FCU凡例



- a -				
CVV2.0	-	3C	(コロガシ)	IFC電源 (FCUより渡り)
CVV2.0	-	2C	(コロガシ)	FCU (MV1) 2方弁電源
LANケーブル			(コロガシ)	IFC幹線
- b -				
LANケーブル			(コロガシ)	FCU-SW



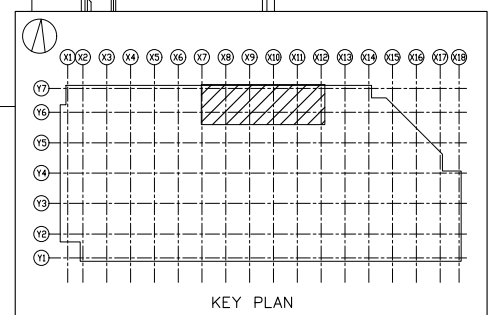


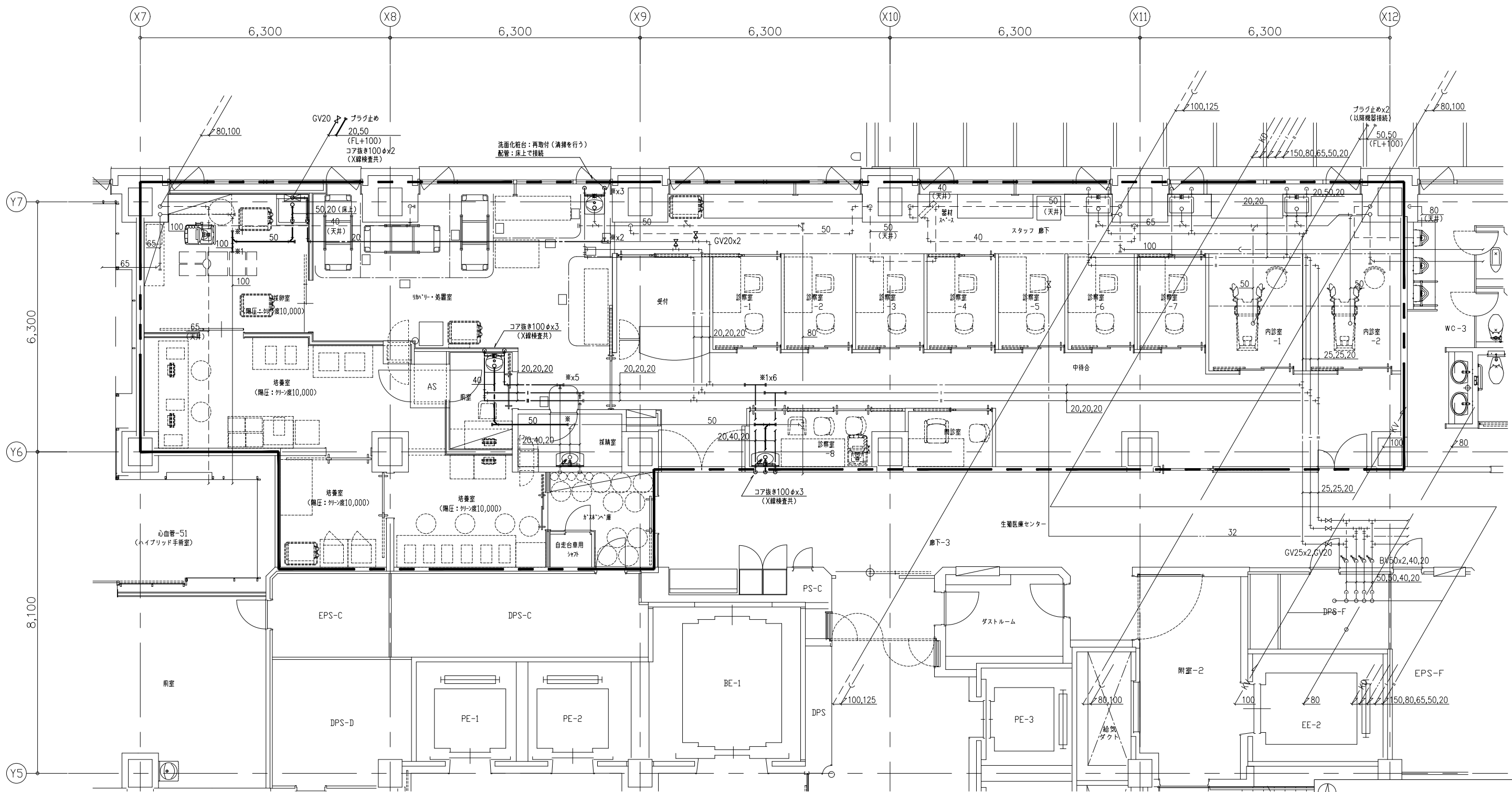
水栓撤去（洗面化粧台撤去：建築工事）
 既設管切断・撤去後、バルブ止めx2箇所
 （凍結工事共）
 既設管切断・撤去後、プラグ止めx1箇所
 （穴埋め補修100φx3箇所）

洗面化粧台：取外し（再取付）
 配管：床上で切断

- 注記) 1. : 改修範囲を示す。
 2. : 撤去範囲を示す。
 3. 4階の階高は6,000Hとする。
 4. ※・・・既設配管切断箇所を示す。（給水・給湯管は凍結工事共）

5. 明記なき配管は床下配管とする。



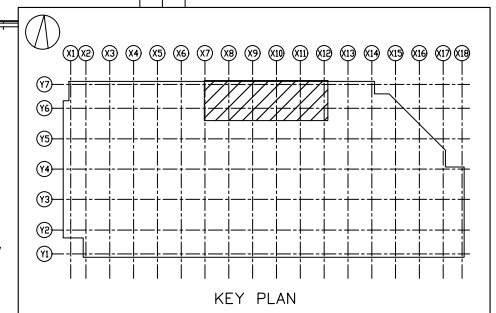


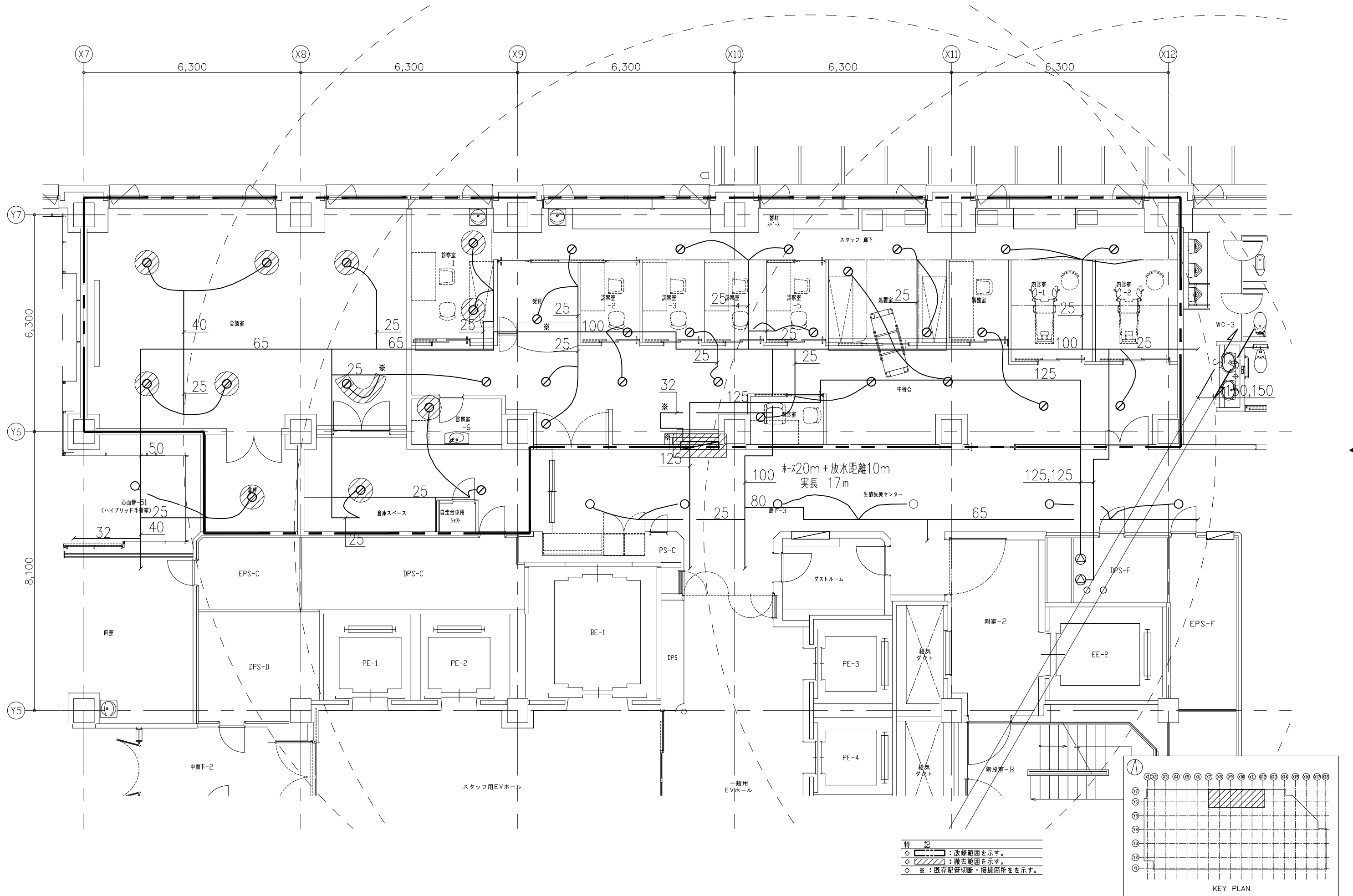
新設器具表

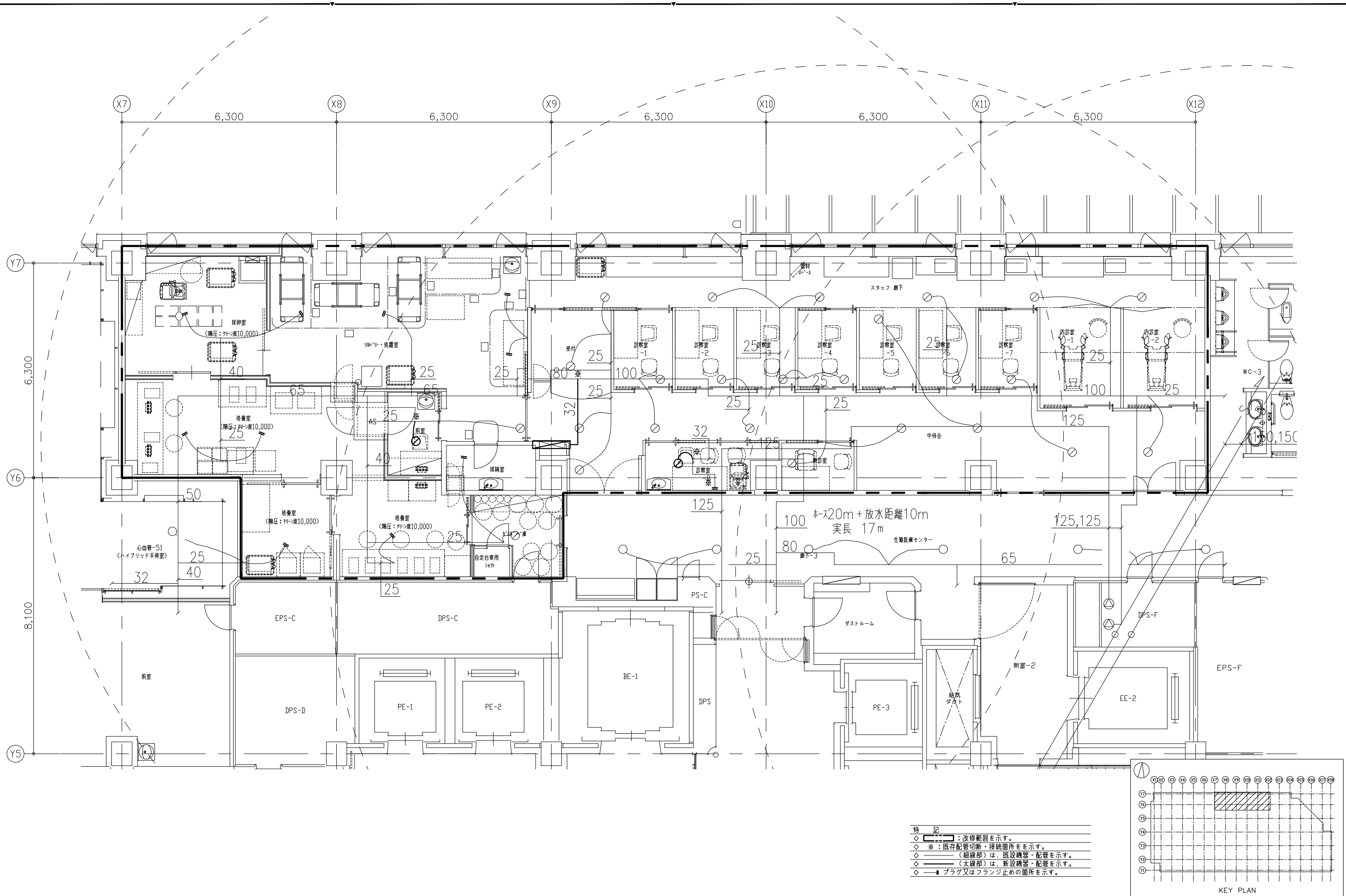
器具名	品番 (参考型番: TOTO)	付属品	採 卵 室	前 室	診 察 室	合 計	備 考
洗面化粧台 (自動混合水栓付)	LDA608AYQRA			1		1	
壁掛け洗面器	L270CM	TLE28SS2A (自動混合水栓)	(1)		1	1	水石入れ無し
滅菌水装置、ステンレス製流し台			(1)			(1)	建築工事

※各接続金具、その他標準付属品は一式込みとする。

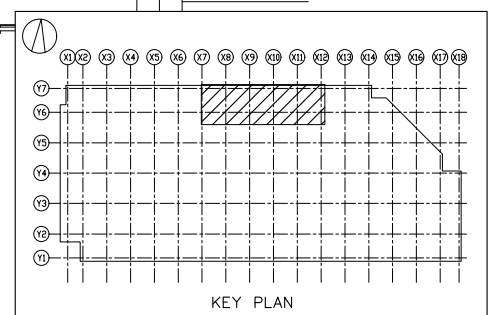
- 注記) 1. : 改修範囲を示す。
 2. 图中、配管の施工区分は下記の通りとする。
 1) (細線部) は、既設機器・配管を示す。
 2) (実線部) は、新設機器・配管を示す。
 3. 4階の階高は6,000Hとする。
 4. ※... 既設配管接続箇所を示す。
 5. ※1... 既設配管切断・接続箇所を示す。
 (給水・給湯管は凍結工事共)
 6. 明記なき配管は床下配管とする。







- 特記
- ◇ : 改修範囲を示す。
 - ※ : 既存配管切断・接続箇所を示す。
 - (細線部) : 既設機器・配管を示す。
 - (太線部) : 新設機器・配管を示す。
 - : プラグ又はフランジ止めの箇所を示す。



1. 設備概要

- 1-1 酸素配管設備
酸素の供給は、既設配管より分岐し、これより図示された各部屋の配管端末器へガスを供給する。
- 1-2 治療用空気配管設備
空気の供給は、既設配管より分岐し、これより図示された各部屋の配管端末器へガスを供給する。
- 1-3 吸引配管設備
吸引の供給は、既設配管より分岐し、これより図示された各部屋の配管端末器へガスを供給する。
- 1-4 配管端末器（アウトレット）
配管端末器はガスの種別による着色が施されていて、保守点検用バルブ機能付きとする。
また、異なる種類のガスの誤接続を防止するためのガス別特定の構造とする。
配管端末器の種類は、壁取付型がある。

2. 配管工事

2-1 配管材料

ガスの種類	配管	継手仕様	備考
酸素	リン脱酸銅継目無管 (JIS H 3300 C1220T Lタイプ)	左記銅管による形成品	支持金具と銅管が直接接触しないよう 銅管用吊金具を使用する。
治療用空気	ガスの使用区分に応じた着色熱収縮性チューブを	JIS H 3401 銅及び銅合金の管継手	
吸引	被覆したものとする。	JIS H 3250 銅及び銅合金棒 C1100, C3602, C3712, C3771	

2-2 配管の支持間隔

呼称管径 (mm)	<20
支持間隔 (m)	1.5 以内

曲部及び分岐箇所は必要に応じて支持する。

2-3 配管の識別表示

隠蔽部は着色熱収縮性チューブ被覆銅管を使用する。各識別色は下記による。
機械室露出部分は下記の識別色にて塗装を行う。

配管色別	酸素	治療用空気	吸引
色別	緑	黄	黒

2-4 配管のろう付け

銅管のろう付け作業は、配管内部の酸化防止措置として、配管内に不活性ガス（窒素ガス）を送気しながら行うものとする。

2-5 配管方式

配管は天井内隠蔽壁内埋込配管とする。

2-6 既設配管への接続

既設配管への接続工事、及び既設撤去工事については、事前にガス停止区域、閉止するバルブ、仮設供給方法について打ち合わせをすること。

3. 検査・試験

3-1 配管系統検査

配管工事完了後、各配管ごとに系統に誤りのないことを確認する。

3-2 配管気密試験

気密試験の圧力及び時間は下表による。
但し既設管との接続部は、吸引を除く配管で標準送気圧力での検知液による発泡漏れ試験とし、
吸引配管は煙を吸い込ませる漏れ試験とする。

配管名	配管気密試験			総合気密試験（排気を除く）		
	圧力 MPa	時間 h	使用ガス	圧力 MPa	時間 h	使用ガス
酸素	1	24	窒素又は 清浄な脱脂 空気	0.4	24	窒素又は 清浄な脱脂 空気又は 吸引圧
治療用空気	1	24		0.4	24	
吸引	0.5	2		-0.05±0.1	2	

3-3 配管内清浄度検査

施工した配管内に微小物質の有無について検査する。但し、吸引は除く。

4. 工事区分

4-1 建築工事

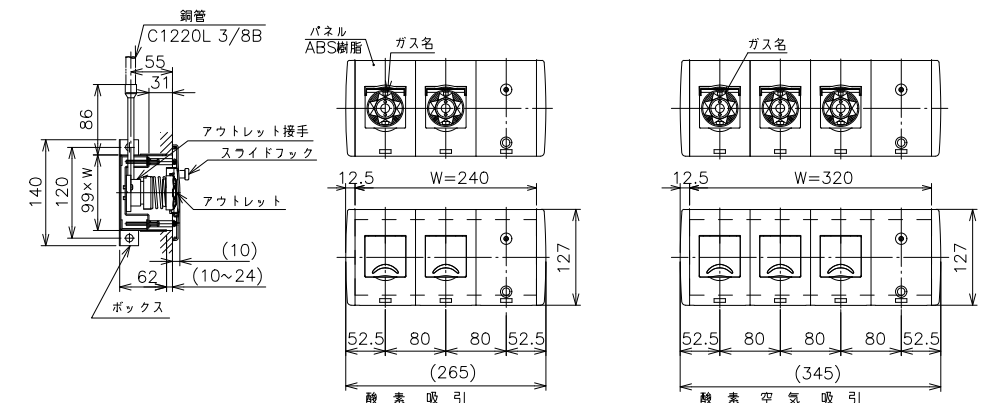
- ・天井、壁の解体、復旧
- ・点検口

凡例

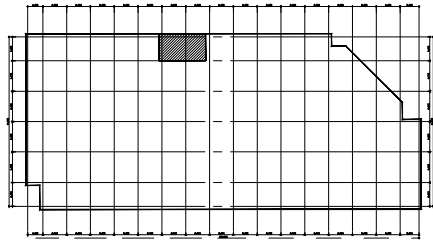
記号	名称	備考
□V	2口壁型アウトレット	埋込型 (O,V)
□AV	3口壁型アウトレット	埋込型 (O,A,V)
⊗	系統用バルブ	
— O —	酸素配管	JIS H3300 C1220T
— A —	空気配管	JIS H3300 C1220T
— V —	吸引配管	JIS H3300 C1220T
.....	既設配管	
⊙	点検口	別途建築工事

参考器具図

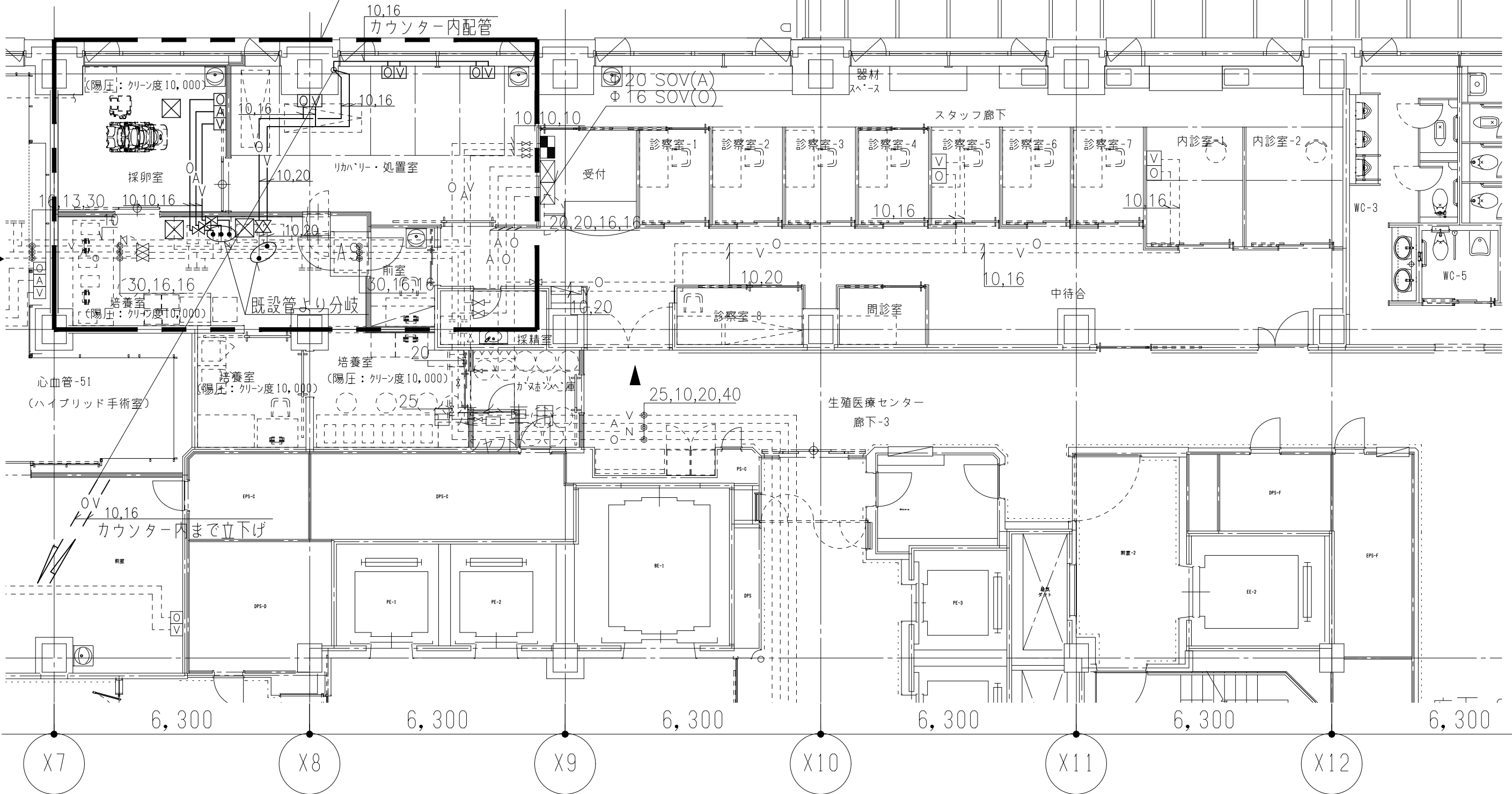
壁埋込型配管端末器



KEY PLAN



改修範囲



Y7

Y6

Y5

6,300

8,100

6,300

6,300

6,300

6,300

6,300

6,300

X7

X8

X9

X10

X11

X12